事務	事業	名	文化財情報	発信	の充実	ミによ	る問題	知、	啓発事	業					事業期	間 平月	戉	~		年月	き 型	隆理番号	0702	20103
担当	当部	署	教育委員会			文	化財	課			文化	財係			作成担	当者名	小	林	深	志		連絡先	76-	2386
								政	策	03	第3:	章	上涯を迫	通じて楽	しく学び	が続け	5、元	気で心	豊か	な市員	えをす	育む		
	市	民:	プランに	有	πh- Δ	策体	Z -	施	策	06	第6:	節 生	上涯をi	直じ学び	続けるこ	ことの:	できる	学習機	会の	充実と	-場0	の提供		
			位置づけ	177	以上	東 14	术	細力	拖 策	80	文化!	財のま	亡実											
								事務	事業	03	文化!	財情幸	设発信 の	の充実に	よる周知	0、啓	 	事業						
計	予	算	事 業 名		事業												+=-	الا 00 الا	1 款	10	項	05 目	08 事	業 01
画	事務	第事 にゅ	· 業の概要 oかりやすく)	県ヲ啓寶	を を行	念物・	ミヤマ	アシロ	チョワ	けなど	の希少	高山!	蝶の保	護パトロ	演会の 队 コールを	市民団		ミヤ	マシロ	リチョ '	ウの	会に委請	ŧL、J	司知、
			と 背 景うして)	34	7マシ	ロチ:	ョウを	指定	文化!	けと知	ないた らない	め、	講座を による	開催した 、捕獲な	子評を得 よどがあ	ている り 減 少	。 の一途	とな	ってし	たが	, <i>/</i>	トローノ	レを継	読する
^		対	受益者 (誰のために)						然に見		ある者	i												
P		象	対 象 (直接働きかける)	茅里	ラミヤ	マシロ	コチョ	ウの	きかけ)会に	助きか														
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	身边	に貴	重な	ミヤマ	シロ	チョウ	うが生	息して	いる	ことを	知っても	存確認し ららい、	保護・	保存に			昇を深 る	めて	もらう。		
L A			・ 方 法 やって)												記者2名 〈 ひ一つの					啓発	パト	ロールを	を行う。	•
			行政活動の	結果	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出ス	方法・	計算式	・目	標値詞	殳定の	考え	方など	最終	目標値
N	誣	- 期	講演会PR							案内	犬の発	送数		通	NP0会	員・地	元の舅	味の	あるね	5				500
	価	指 標 .	パトロール	実数						パト	ロール	日数		Ħ	3人×	20日								60
	標の																							
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出に	ち法・	計算式	・目	標値፤	役定の	考え	方など	最終	目標値
	成	EE	聴講者数							聴講	者数			人	当日0)聴講	香数							80
		130	指導しない	日を	増やす	+				指導	しない	日を	増やす	%	1- (指導日	数/バ	۵۱،	ールョ	尾施日	数)	×100		100

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
-	Ę	事業費等	(a)	円	407, 480	499, 000	390, 260	467, 800	498, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	407, 480	499, 000	390, 260	467, 800	498, 000
施	職	正規職	員	人	0. 35	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 35	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	Ż		数						
			(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
		市民一人当たりのコス		円	7. 00	9. 00	7.00	8. 00	36.00
			目標	通	500	400	300	300	300
		案内状の発送数	実績		400	400	300	300	300
	活		達成率	%	80. 00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指		目標	B	60	60	60	60	60
	指	パトロール日数	実績		60	100	60	60	60
D	標		達成率	%	100.00	166. 67	100. 00	100. 00	100. 00
	IV.		目標	_					
		-	実績	0.4					
			達成率	%				— 80	
0	成	Tab (10) (14) (14)	目標	人	80	100	100	75	80
	果	聴講者数	実績達成率	%	100, 00	125. 00	125. 00	93, 75	100, 00
	指			9/0	100.00	125.00	125.00	100	100.00
	拒 標	指導しない日を増やす	目標実績	%	100	100	100	100	100
	惊	日中しない口で相でり	達成率	%	100, 00	100.00	100.00	100, 00	100, 00
-		本年度より、絶滅危惧種					100.00	100.00	100.00
	備	十八人 ウン、 配成心 快性	E C 80 %	יייי נייייני	ノノい五代/13月17日	LE C11 70			
	老								

京	担当部署	义16期16年	発信の充	天による	る同知、名	発事業				事	業期	間 平月	火	~	4	F度 整理番	号 070	20103
#		教育委員会	•	文化	化財課		文化	財係		作	成担	当者名	小	林	深志	連絡:	先 76 -	2386
#	期		目相						2						1	課 題		
2 関係を開催する。	第 第 1 2 1	ミヤマシロ・			E契約の締			コチョウの	会総:			結。			野ミヤマ		の会と委託	E契約
第3	2 講座			せを行り	い、縄文文	化 縄文文文化訓	て化輝く	会と打ちf 催した。	合わせ	を行い、	8/28(縄文					かず、広	報活動
4 素託金の支払い等、前募業務。 字野ミヤマシロチョウの会への委託金支払い。 なし 本 中 評 価	第 3 茅野	ミヤマシロ・	チョウの会・	への委託	モ金支払い	なし											情求が遅	れ、委
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 契別等務など、順関に作業を進めることができた。 2	4 委託	金の支払し	、特算	≹務 。		茅野ミ	ヤマシロ	コチョウの	会への	の委託金	支払し	١,	なし					
当年度開始後、約6ヶ月が報過し、新たに生じた問題点や環境の変化 安全の	D						-	•		価								
### 1	当年度						点や環境	境の変化	_=		. :	充		2		⑤	7	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)		など、順調	に作業を加	18のもし	とかできた	•					 状維	诗		(3	3)	6 L	9	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)												ds				8	M	
個年通り。		新年度の国	2 体計画。	予質型	10 本本項	(改苗。改	7盖等)		4 .	同		·····		0	<i>y</i>	•		
性 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	100			1 11 9	《小子女	(0,4-0				11 11	. 発 .							
評価年度 当年度 当年度 技 有 対 性 対 率 性 総 合 評 価 判 定											/				-			大
現 点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判 定									性	/			_	ス	ト投	入の:	方向	性
現 点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判 定	評価:	在度	当在日	.	1													
Famon					性	有	効				効	率	性	=	絵	合 評	価 判	定
## 1	証価の額									1					1			, <u> </u>
					4				4					4		A	V	
##	課	ども自然挑	『検隊』に	よる活!	助、博物魚	官の「子ど	も科学	クラブ」	による	5観察会	なども	行わ	れ、啓も	う活	の定義の印象を	: 事業規模 の見直した : 事業の統定 討が必要 度総合評価	・内容・集 が必要 合、休・廃 判定	経施主体 経止の相 A
# 議演内容を、より一般人が興味を引く話題性のあるものを取り上げる 文化財についての理解と関心を深め、身近な文化財について再認識など、企画内容を練る必要がある。		如	協	4	= ₩	/無		前		фm		協	4	=				J4010 <i>i</i>
は、企画内容を練る必要がある。 さヤマシロチョウの監視活動は、パトロールだけでなく、幅広い啓も 言語	***								る文				•					認識し
R	c 合 評	マシロチョ	ョウの監視	活動は、	、パトロー			幅広い啓	もり	近に貴重	なさ	ヤマシ	ロチョ めても	ウが生 らうえ	Ė息して↓ 大切な施設	いることを 策である。	知っても	らい、
後 成 拡 充 ② ⑤ ⑦ 成 拡 充 果 の 現状維持 ③ ⑥ レ ③ 現状維持 レ の 方向 縮 小 値 体 廃 止 ① 性 体 廃 止 ① 性 体 廃 止 ① は 体 廃 止 ② であり、できるだけ現状を維持したい。	価	年 度 改	革・改	女 善 贫	もの 実	施状況			前	「年度	田施多	6 評 佰	面にお	ける	今後の	方向性		
世	価 <u>前</u>						_	前	前								後	
の 方 縮 小 ④ ⑧ ⑪	世 一 前	細	施		評	価				細		施					後	
方 向 作 休 廃 止 ①	か 今 後 果	描	施 充		2	個		7	F	細	5 3	施					後	
	一 一 一 一 成果の方	拡張	施 充 註持		2 3	価 ⑤ ⑥	V	⑦ ⑨	F.	細 成	見状維持	施					後	
性 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大 コ ス ト 投 入 の 方 向 性 コ ス ト 投 入 の 方 向 性 コ ス ト 投 入 の 方 向 性 コ ス ト 投 入 の 方 向 性 ウンチョウの生態やその観察を維持しなくてはならない。 文化財の重要性を周知し、関心を高めるために講演会の開催は重要な手立てとなり、これを継続することは重要である。 改 善 策	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 成果の方向	掘 拡 現状維	施 充 排		2 3	価 ⑤ ⑥	V	⑦ ⑨	月 () () ()	が	法 3 思状維持	施 た 寺					後	
本 改	************************************	掘 拡 現状維	施 充 註持 小 ①		(2) (3) (4)	価 ⑤ ⑥ ⑧	ν	⑦ ⑨ ⑩	月 月 「「 ↑	が	法 3 思状維持	施 帝	9	ŧ	評	価レ		
3.46 57 T C D D	が 本・改善の方向は 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	掘 拡 現状維	施 充 註持 小 ①	策	評 ② ③ ④	価 ⑤ ⑥ ⑧	レ維持	⑦ ⑨ ⑩ 拡 カ	月 月 「「 ↑	が	法 3 思状維持	施 帝	皆	使	縮小	価 レ り現状維	持拡	
晨終評価年月日│ 平成29年3月31日 ┃最 終 評 価 責 任 者│ 文化財課長 		細拡現状維縮体 廃した また	施 充 持 小 止 ① 皆 い を の は を を の に を の に に の に の に に に に の に に に の に に に に に に に に に に に に に	策の保護を記している。	評 ② ③ ④ 縮 ト活しめ を 権格高め	価 ⑤ ⑥ ⑧ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	レ維方でいるない。	⑦ ⑨ ⑩ 拡 ブ i 性 で、ミヤ		細	法 3 現状維持 / · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	皆っていく	し ストめに	評 縮 小 ト 投 には、周分	価 レ 現状維 入 の プ	持拡	ŧ

事務	事業	名	未指定文化則	すの	指定	事務事	業								事業期間	引 平成	Ì	~		年度	整理番	号	07020104
担	当部	署	教育委員会	生流	里学習	文部	て化財	課			文化財	係			作成担当	4者名	小	林	深	志	連絡的	ŧ	
			プランに 位置づけ	有	政:	策体	系	政 施 細 施 事務		06 08	第6節 文化財	生の充	涯を通 実								を育む 場の提供	ŧ	
計	予	算	事 業 名			訪家																	08 事業 03
画	事務	务事	業の概要 ゕりゃすく)												化財審 の調査			りなが	r6.	指定し	ていく。	•	
			と 背 景	こ オ 大名	まで 3家墓	大切	に守らついて	れて て、全	きた文 国で国	(化財報 史跡打	し、生活 旨定が行	舌様式 うわれ	や世代	弋が変わ √、本件	ると価値も諏訪す	直観が 市と一	尊れ、 体にな	失われ	にてし 生める	まう。 。			
(目	対	受 益 者 (誰のために)					関心		市民。													
P		象	対象 (直接働きかける)							-						_							
	的	(どん	意図な状態にしたいか)												を育て	5.							
L A			・ 方 法 やって)	指为	2文化 5文化	財候	補につ	で調査	調査を	将のに	文化規	才審課 調査	委員会 報告1	会に諮る 事を作成	。 する。								
			行政活動の約	洁果:	からつ	つくり	けだす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出力	法・言	计算式	さ・目柱 かんしゅうかん かんしゅう かんしゅう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう しゅうしゅう しゅう	票値設	定のを	きえ方な	ځ	最終目標値
N	評	動	文化財審議	委員	会の	開催				開催回	数			<u> </u>	審議委	員会開	催回	数					2
	価	指標	事業委託							件数				会	地形測	量とそ	塔調	査					2
J	標の		調査報告書作	作成						報告書	作成			部	報告書	作成							1
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出力	5法・言	计算式	さ・目柱	票値設	定のを	きえ方な	ځ	最終目標値
	成	果指	文化財審議	委員	会の	開催の	開催			開催回	数				審議委	員会開	催回	数					2
		100	委託成果品							成果品	h			件	委託成	果品解	入						2

		Į	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
			(a)	円	260, 590	85, 000	1, 369, 252	706, 579	52, 000
	財	国庫支出	金	円			675, 000	350, 000	
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	田					
	訳	一 般 財	源	円	260, 590	85, 000	694, 252	356, 579	52, 000
施	職	正 規 職	員	人			0. 10	0. 40	0. 40
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
al be	数	合	計	人			0. 10	0. 40	0. 40
状	7		数						
	3		(b)						
	į		(b)	円	_	_	_	_	_
況	5	受益者 負担	額	円					
,,,		市民一人当たりのコス		円	5. 00	2. 00	25. 00	13. 00	55. 00
			目標		2	2	2	2	2
		開催回数	実績		2	2	1	1	1
$\widehat{}$	活		達成率	%	100.00	100.00	50.00	50. 00	50.00
	和新		目標	_			2		
	動指	件数	実績	会					
	扫		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	÷n.				1	1
		報告書作成	実績	部				1	1
			達成率	%	_	_	_	100.00	100.00
0			目標				2	2	2
	成	開催回数	実績				1	1	2
	果		達成率	%	_	_	50, 00	50, 00	100, 00
	果指		目標	fal.			2	1	1
	標	成果品	実績	件			2	1	1
	INC		達成率	%	_	_	100.00	100.00	100, 00
	-	A COLOR A A A A A COLOR A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	. m. 1 24		A 49 # 00 000 # A 4.				
	/±±	10-5-8-1一般経費の文化	. 財 番 渉	全月9	密詮賞03,000を含む				
	備考	10-5-8-1一般経費の文化	「財番調	技 委員 9	会社賞63,000を含む				

担当		業名	收育委	員会 :		学務学者				文化	上財係				期間 ¹ 担当者:			<u>~</u>	年 后 深志		0702	20104
	期				目 桴	三					9	実 絹	E						課	題		
四	第 1 期	国史		に向け		典申作原					国史跡意見 屋の建物	具申	に向							を作成するよ	う指導	を受
	第 2 期		跡指定 書作成		具申提	出				が指定(●作成:	の意見具 業務。	申提出	1.			新し	い時代	たの知	識がなく	く、苦労した。		
	第 3 期	報告	書作成	業務。					11/18 た。	国史跡	が指定の答	申を	受け	、記者会	·見を行·	石造	物の』	支果の	補備測	量に時間を動	もやした	=。
بر	第 4 期	報告る。。	■作成 報告書	業務を 計刊行。	終わらt	せ、印刷	所を決	定す		す字矢! .た。	言定の告示 史料館と共 。				学会を							
၈										事		ā	Ŧ	価								
						圣過し、 とになり、					環境の変化	今	成	拡	充			2		5	7	レ
管	144	■座(り)	建物区	rでTFAX	.y	ニーばり、	. 安託	大利で常	市市ロング			後	果の	現状	維持			3		6	9	
												の	方	縮	小			4		8	10	
2288			f年度	の実施	計画・	予算要	長求事:	項(改	革・改	Z善策)	方	向性	休月	毫 止	1						
理	なし	•										向				皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
												性		/				۱ ا	・ 投 ブ			性
													_									
		評価生		177	当年度		사		+	ب	-L	L		ᄮ	-	-	ьн		6//	<u> </u>	र्गम	_
		児 点 西の観		妥 1 2	当 3	4	性制質	2 1	有 2		劫 性	± 判定		<u></u> 効	2 3		性	定	総	合評価	判	定
評		エック			+ •	+ -	4	_	+-	╁	+ +	4	+	<u> </u>	- 0	+ -		4		Α		
		土地	の所有	権につ	いて、	問題がる	ある。												記 A:	計画どおり事とが適当	業を進	めるこ
価	課																		号 B:	事業の進め方		
_	H/K																		定	事業規模・内 の見直しが必	要	
^	題																		義 D:	事業の統合、 討が必要	休・廃	止の様
С	Į																	H		総合評価判定		Α
					施	策		評	価		前			細	施		策		前年度評	価シート整理番	号 後	
	411		- 全田								89						來		酐	71111		
E	総	高島	細 審諏訪		の史跡	指定に.	ついて	、文化	庁、長	野県参		₹ 、 3	化	材の指定	行為は		保護の	ル基本				を行し
		1-0-0	善事 諏訪	家廟所	の史跡 と連携	指定にてをとりな	ついてながら	、文化 進めて	庁、長 いく。	:野県教	教育委員会	₹. 3 3	て化! て化!	けの指定 けの価値	!行為は の基本	文化財	保護の 把握し	D基本 してお	となる	<u></u> ので、基本的 がある。		を行し
	総合	1-0-0	善事 諏訪	家廟所	の史跡 と連携	指定に [・] をとり [;]	ついて ながら	、文化 進めて	庁、長 いく。	野県教		₹ . 3	(化) (化)	けの指定 けの価値	!行為は [の基本	文化財	保護の 把握し	7基本 してお	となる	<u></u> ので、基本的		を行い
С		1-0-0	善事 諏訪	家廟所	の史跡と連携	相定に [、] をとり [;]	ついて ながら	、文化 進めて	庁、長 いく。	:野県都		ž. 3	t化l t化l	財の指定 財の価値	!行為は !の基本	文化財	保護の 把握し	D基本 してお	となる	<u></u> ので、基本的		を行い
c K	合	1-0-0	善事 諏訪	家廟所	の史跡と連携	指定に [、] をとり;	ついて ながら	、文化	庁、長 いく。	:野県都		₹ 、 3	て化! て化!	材の指定 材の価値	行為は の基本	文化財	保護の	D基本 してお	となる	<u></u> ので、基本的		を行し
c K	合評	諏訪	落諏訪 市教育	家廟所	と連携	指定にで をとりが 基 第	ながら	進めて	いく。			3	(化)	材の価値	(の基本	文化財 情報を	把握し	ンてお	となる く 必 要	<u></u> ので、基本的		を行い
C K 改	合評	諏訪	落諏訪 市教育	家廟 所 委員会	と連携	をとり	ながら 東 の	進めて	いく。	!	教育委員会 前 :	3	(化)	材の価値	(の基本	文化財情報を	把握し	ンてお	となる く 必 要	 ので、基本的 がある。		を行い
C K) 改革	合評価	前成	審	家廟 所 委員会	と連携	をとりが 善 第	をがら の	進めて実施	状況	!	牧育委員会	1	前年成	材の価値 ■ 度 細力	を策評	文化財情報を	おけ	ンてお	となる く必要 後 の :	ので、基本的 がある。 方 向 性 <u></u>	的調査	を行し
C K) 改革·改	合評価	前	審市教 年 度 細	家廟 所 委員会	と連携	をとりが 善 第	ながら 東 の	進めて実施	状況	!	教育委員会 前 :	j	が年の成果の	けの価値を接触が	を策評権	文化財情報を	おけ	ンてお	となる く必要 後 の :	ので、基本的 がある。 方 向 性 <u></u>	的調査	を行し <u></u>
C K) 改革·改善	合評価今後の	前成果の方	審市教 年 度 細	家廟 所会 改革 充 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	と連携	をとりが 善 第	をがら 変がら ②	進めて実施	状況	!	前	Ī	(化) 前 成果の方	けの価値を接触が	を策評を	文化財情報を	おけ	ンてお	となる く必要 後 の :	方向性	的調査	を行い
C K) 改革・改善の方	合 評 価 今後の方	前成果の	事 有 年 細 拡 現 縮	家廟 所会 改革 充 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	と連携施	をとりが 善 第	ながら 策 の ② ③	進めて実施	状況 価 ⑤	!	前 ③ 	j	が年の成果の	けの価値を担ける。	の 基本 ・ 策 評 施 ・ 充 … 維持	文化財情報を	おけ	ンてお	となる く必要 後 の :	方向性	的調査	を行し
C K) 改革・改善の方向は	合 評 価 今後の方向	前成果の方向	事 有 年 細 拡 現 縮	家廟 交 改 本 本 本 大 本 十 小	と連携施	をとり ⁷ 文 善 第	ながら 策 の ② ③	進めて実施	状況 価 ⑤ ⑥ ⑧	! 	前 ② ③	j	(化) 前 成果の方向	けの価値を担ける。	を策 評 施充 維持 小	文化財情報を	おけ	スマお る 今	後のごか	で、 基本的がある。 方 向 性 レ 現状維持	分調査	
CK) 改革・改善の方向性(・	合 評 価 今後の方向性	前成果の方向性	事市 年 細 拡 現 縮 休	家廟員 改	<u>た。</u> 施	を 女 善 策 減 ス	ながら (2) (3) (4) (4)	実施アンサ	状 況 価 ⑤ ⑥ ⑧	(上) は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	前 ⑦ ③ 加 拡 性	1 1	化 前 成果の方向性 /	はの価値を 無力 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	をををががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががががが	文化財を価に	おけ策	てお る今 縮ト	となる。 後の 沖 小 投	方向性し	後 拡 性	
C K) 改革・改善の方向性(A	合 評 価 今後の方向性 改	前成果の方向性	(事市) 年 細 拡 現 縮 休 未	家廟員 改	と連携 施 ① 皆	を 女 善 策 減 ス	ながら (2) (3) (4) (4)	実施アンサ	状 況 価 ⑤ ⑥ ⑧	(上) は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	前 ⑦ ③ 加	大 E 的 3	化 前 成果の方向性 化	けの価値 無理 無理 無理 無理 無理 は 現解 体 に で の で の に に に に に に に に に に に に に	(の基本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)	文化財を価に置いる。	把握 け	る今におおります。	となめ 後評 小投資料	で、 基本的がある。 方 向 性 レ 現状維持	後 拡 性	
C K) 改革・改善の方向性(ACT	合 評 価 今後の方向性	前成果の方向性	(事市) 年 細 拡 現 縮 休 未	家	と連携 施 ① 皆	を 女 善 策 減 ス	ながら (2) (3) (4) (4)	実施アンサ	状 況 価 ⑤ ⑥ ⑧	(上) は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	前 ⑦ ③ 加 拡 性	大 E 的 3	化 前 成果の方向性 化	けの価値 無理 無理 無理 無理 は 現解 体 に で の で の に に る に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	(の基本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)	文化財を価に置いる。	把握 け	る今におおります。	となめ 後評 小投資料	がある。 方 <u>価</u> 現 状 維 方 大 に 基本 的	後 拡 性	
C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	合評価 今後の方向性 改革・改	前成果の方向性	(事市) 年 細 拡 現 縮 休 未	家	と連携 施 ① 皆	を 女 善 策 減 ス	ながら (2) (3) (4) (4)	実施アンサ	状 況 価 ⑤ ⑥ ⑧	(上) は が は が は が は が は が は が は が は が は が は	前 ⑦ ③ 加 拡 性	大 E 的 3	化 前 成果の方向性 化	けの価値 無理 無理 無理 無理 は 現解 体 に で の で の に に る に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	(の基本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)	文化財を価に置いる。	把握 け	る今におおります。	となめ 後評 小投資料	がある。 方 <u>価</u> 現 状 維 方 大 に 基本 的	後 拡 性	
C K) 改革・改善の方向性(ACTION	合評価 今後の方向性 改革・改善	前成果の方向性	(事市) 年 細 拡 現 縮 休 未	家	と連携 施 ① 皆	を 女 善 策 減 ス	ながら (2) (3) (4) (4)	実施アンサ	状 況 価 ⑤ ⑥ ⑧	と レ 維持方	前 ⑦ ③ 加 拡 性	大 E 的 3	化 前 成果の方向性 化	けの価値 無理 無理 無理 無理 は 現解 体 に で の で の に に る に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	(の基本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)	文化財を価に置いる。	把握 け	る今におおります。	となめ 後評 小投資料	がある。 方 <u>価</u> 現 状 維 方 大 に 基本 的	後 拡 性	
C K) 改革・改善の方向性(ACTION	合評価 今後の方向性 改革・改	前成果の方向性	(事市) 年 細 拡 現 縮 休 未	家	と連携 施 ① 皆	を 女 善 策 減 ス	ながら (2) (3) (4) (4)	実施アンサ	状 況 価 ⑤ ⑥ ⑧	と レ 維持方	前 ⑦ ③ 加 拡 性	大 E M 3	化 前 成果の方向性 化	けの価値 無理 無理 無理 無理 は 現解 体 に で の で の に に る に 。 に 。 に 。 に に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	(の基本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)(本本)	文化財を価に置いる。	把握 け	る今におおります。	となめ 後評 小投資料	がある。 方 <u>価</u> 現 状 維 方 大 に 基本 的	後 拡 性	

事剂	务事第	美名	文化財保護	団体	の育成	戊と助	成事	業							事業期間	平成	ţ	~		年度	整理	番号	07020105
担	当 部	署	教育委員会			文	化財	課			文化則	才係			作成担当	者名	小	林	深	志	連絡	先	76-2386
	市おり	民 ナる	プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系		策策策	03 06 08	第6節	すの充	涯を通 実	じ学び	しく学び 売けるこ	とので						供	
計	予	算	事 業 名					戊支援	事業	-	ı				が成事務 補助金を	会討	コート	÷ 00	1 款	10	項 05	目	08 事業 02
画	事	務事	· 業 の 概 要 ^{わかりゃすく)}												1111-93 111 2	~ 17	, u .						
			と背景うして)	指定	⋛文化	財保	菱・ {	呆全等	の管理	≜の一 Ⅰ	助とし [、]	て交付	寸する。										
^	田	対	受 益 者 (誰のために)	指定同上		財所	有者	• 管理	者														
P		象	対象(直接働きかける)			B+ 6663	33 /	在188 	** 太久	-1 \ =	/ */ //	计太人	云えてに	1/									
	的	(どん	意図な状態にしたいか)																				
L	王	邸	・方法	指定	⋛文化	財保	有者	または	:管理団	体の	舌動に	対し、	補助的	金を交付	する。								
A			やって)																				
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・詞	计算式	• 目	票値設	定のを	きえ方を	など	最終目標値
N	評	活動指	補助対象件	数						補助対	対象件 数	数		件	対象件	数							102
	指標	標																					
	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・詞	计算式	· 目	票値設	定の参	考え方	など	最終目標値
	成	果 指	保護・保全	の状	態					文化則	オ保護ጃ	E		%	保護件	数/指	定文化	比財件	数				100
		標																					

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	lini.	事業費等	(a)	円	441, 420	1, 167, 000	166, 110	166, 110	281, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金債	円					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	441, 420	1, 167, 000	166, 110	166, 110	281, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 05	0. 05	0. 05	0. 25	0. 25
		嘱 託 職	員	人					
	員	臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 05	0. 05	0. 05	0. 25	0. 25
衣	7	対象 (者)	数						
	3	延利用(者)数	(b)						
	È	単 位 コ ス ト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	1	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	8. 00	21. 00	3. 00	3.00	39.00
			目標 実績	件	4	4	3	3	3
		補助対象件数	実績		4	4	3	3	3
$\widehat{}$	活		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	-	-	_	_
	尓		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	_15.		目標	%	104	104	102	102	102
	灰	文化財保護率	実績		4	4	3	3	3
	成果指		達成率	%	3. 85	3. 85	2. 94	2. 94	2. 94
)	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	-
		H24県宝白岩観音修理事	栗						
		H25権現の森修理事業	elle.		はなれる社は古巻 の	マニジャル			
	考	H26田沢稲荷神社修理事	₹.	4 平度	は新規の補助事業の	ア疋かない。			

	当部	署 教育委		い月以		と字系 と財課		文化財	伾				● 表 期 回 「成 担 当	_	小	林	深	志	登理 金 方		-2386
JE		7 1 1 1 1 1				U#1 FA		~ IUM					7% J.E. =	10.0	- 1	441				- 70	2000
	期			目標					実	積	į							課	題		
四	第 1 期	各団体への	補助金ダ	を付事務	5		柏原遺	跡保存会	きへの補	助金	:交付	₫.			団体の出して	の役員 もらう	が変わ 時期が	るなど 遅くな・	、補助金ダ った。	[付申]	請を提
半	第 2 期	新しい補助	金交付団	体の情	報収算	.															
期ご	第 3 期	新しい補助	金交付団	体の情	報収算	ι.															
٤	第 4 期						大文字 協同組	亀 石カタ 合への補	クリ保存 助金交	亨会と E付。	高部	B林 野	利用品	農業					からの申 i ることが必		いとき
Ø								事	中	ř	F	価									
~			、約6ヶ	月が経	過し、	新たに生	じた問題点	や環境	の変化	今	成	拡	3	仓		(2	(5	7	
	特に	なし								後	果の	現	!状維排	··········· 寺		(3	(6)	9	
管										の の	方	縮		<u> </u>			<u> </u>	(B)	10	
		新年度	の実施	計画・-	予算要	求事項	(改革・改	善策)		方	向性		廃」		D						
理	例年	通り					1311 31	<u> </u>		向	Ιエ		196 1			2 mlt	を 亡	小 :	旧小伙牛	+++	+
										性		/	/		皆コ	減 ス			現状維持 の 方	拡向	大 性
	Ī	評価年度		当年度		1															
	裶	見点	妥	当		性	有	効	性				効	率	,	性	糸	会 合	· 評 征	判	定
評	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1 2	3	4	判定	!	1	2	3	4	判员	Ē		Α		
	チ	ェック				4				4	1					4		. =		- ** + ·	# 11 7 =
価(c	課題	文化財所を	有の買出 線の補耳	日観制で	持して	ぱら考え、 ていかなく	補助金を 括 くては、現れ	は元 9 る 犬が維持	ことに できな	よりな	、よ る。	. 9 .	い又 10	斯保	漫か凶	れる。	の定義	B:事の B:事の B:事の B:事の	画	ちに改き 内容・第 必要 休・原	善が必要 実施主体 廃止の検 A
		<u>/em</u>		_	Anto		Per		_			/vm		44-		Arte			シート整理社		3040101
Н	総	補助個所の		も t等のT	策まは	評 次要である	価 るが、定額で	10世紀		行推	守て	細ケ化量		施く伝え		策かれ	に大切!		である。	後	
E		うことで、	適切な智	理・係	護が	図られてい	いる。		110-95 C	"]"	,,,,	~ 10,0		\ A/C		. ,	->(-),	- NO -			
С	合																				
ĸ	評																				
J	価	* * *	: =1+ +	- 7L	* **	± 0 =	## ## 2D	1				· # *	m +/- //	노 등示 <i>1</i> 7	≖ <i>1</i> – ±	\ I_L 7	Δ.44	<u>π</u> +	古 W T		
		前年度					施状況			B	リ平						今後				
改革	今	細		包	策	評		Ħ				細		施		策	評	•	価	後	
•	後	成				2	5	7			成 果	拉	5 3	Ť							
改善	の	の ⁵	!状維持			3	6	レ 9)		の	瑪	状維持	ŧ					レ		
O	方	方 向	小			4	8	10)		方 向	縮	3 /	١							
の方向	向		廃 止	1							性	休	廃」	Ł							
性	性			皆	減		小 現状約			₹					皆	減			現状維持		
Â	改	現状を最低	限維持!	八事業	コ ス の推		けたい。	方向	性	1	常の	力補品	カ事業!	こ脚!		ス 状を	ト 打 維持し 7		の方	回 ′	性
CTION	革・改善																				
	策																				
		価年月日	₩ clt 20	年3月3	1 🗆	是 级 ≣	平価責任	1 老				÷	化財影	LE.				-	一 矢	昌	文

事務	事業	美名	史跡整備、	舌用:	のため	りの間	查事	務							事業期	間	平成	23	~		年度	き 整	理番号	070	20106
担	当部	署	教育委員会			Ż	て化財	課			文化則	才係			作成担	当者	名	塩	澤	恭	輔	ì	連絡先	76	-2386
			プランに 位置づけ	有	政分	策体	系		策 策 策 策 事業	03 06 08 06	第3章第6節文化則	ち 生 オのチ	E涯をi E実	通じて楽 通じ学 ひ のための	続ける	ځ	のでき								
計	予	算	事 業 名						ı	1						1	会計=	コード	00	款	10	項	05 目	09	事業 04
画			· 業 の 概 要 _{わかりやすく)}	跡、 史跡	上之に指	段遺	跡、 れてI	<mark>駒形道</mark> いる。	跡は茅	野市3遺跡	を代表 を連関	する! させ	縄文時	背景に 代の集 精・活用	客遺跡で	ある	が、	学術的	的にも	極め	て重	要で	あると	の点か	ら国の
			と 背 景うして)	る。	これ	に対	U	上之段	遺跡と	駒形	意跡は	史跡	内の本	細に把 技 格的な 関させた	在認調 1	が作	すわれ	てい	ないた	:め、	遺跡(の内	跡整備 容に不	が終了 明な点	してい iが多
(目	対象	受益者 (誰のために) 対象					味があ 味があ																	
P	的		(直接働きかける)	深め	ても	らう	0							史跡の											
L			・ 方 法 やって)	民)	ととこれ	もにら遺	計画的	的に行 情報を	う。こ地域住	の成! 民と	果と史 共有し	跡範	囲周辺 民協働	の広がり で行われ で 整備 上げの2	れた過去 ・活用力	の う 法を	i掘成 立案	果を	まとる	を地	域住 跡の	民() 実態·	遺跡が や特徴	ある地を明ら	3区住 かにす
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	けだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出	方法	• 計:	算式	· 目标	票値部	定の	考え	方なと	最終	目標値
N	評	動し	体験発掘の	実施						遺跡に	対する	る関心	心度		児童 者	、地	域住民	晃、地	元の	文化	材に具	味が	がある		4
	価指	指標	現地説明会	か開 ^ん	催					現地記	说明会	開催	数		市民	、考	古学	こ興味	があ	る者					2
)	標の																								
	作成	成	成果	•		果	は	何	?	指		名	称	単位					・目标	票値設	定の	考え	.方なと	: 最終	目標値
	八	指	体験発掘の	参加:	者数					市民総	8学芸	員化		人	当日	の参	加者	枚							60
		標	現場見学会	の参:	加者数	y				現地記	说明会(の参加	加者数	人	当日	の参	加者數	枚							150

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-	717 74 7	(a)	H	21, 640	2, 041, 417	375, 192	294, 300	23, 585, 000
	財	国庫支出	金	円		1, 020, 000			18, 866, 000
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
debr-		一般財	源	H	21, 640	1, 021, 417	375, 192	294, 300	4, 719, 000
施	職	正規職	員	人	0. 40	0. 35	0. 01	0. 20	0. 20
	員	嘱 託 職	員	<u> </u>					
	数	臨 時 職	員	人	0.40	0.05	0.04	0.00	0.00
状		合	計	人	0. 40	0. 35	0. 01	0. 20	0. 20
	7		数						
			(b)						
	È		(b)	3 🗷	_	-	_	-	-
況	5		額	円	^ ^^	26.00	7.00	E 00	450.00
		5民一人当たりのコス		円	0.00	36.00	7. 00	5.00	453. 00
		遺跡に対する関心度	目標 実績		4 0	2	2	0	1
		退跡に対する関心及	<u>夫</u> 根	%	0, 00	_	0, 00	0.00	100, 00
	活		目標	90	2		0.00	0.00	100.00
	動指	現地説明会開催数	実績		0	1	0	0	<u> </u>
	指	火心武功女用性效	達成率	%	0, 00	100, 00	0.00	0, 00	100, 00
D	標		目標	70	0.00	100.00	0.00	0.00	100.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		60	60	60	60	30
	成	市民総学芸員化	実績	人	0	0	0	0	30
	果	11-24012210	達成率	%	0.00	0.00	0, 00	0.00	100, 00
	指		目標		60	60	60	60	60
<u> </u>	標	現地説明会の参加者数	実績	人	0	60	0	0	60
	IN		達成率	%	0, 00	100.00	0, 00	0, 00	100.00
	/±								
	備								
	考								

事務	事業	集名 5	と跡書	備、	活用	のため	の調査	事務							事	業期	間 平	成 <mark>2</mark>	3 ~	~	年	度	理番号	07020106
担当	当部	署 👯	教育委	会員			文化	比財課			文化	財係			作	成担	当者名	塩	. 澤	*	輔	ì	連絡先	76-2386
	期				E	標							€ 絹	Ė							課	題		
四四	第 1 期	縄文	プロジ	ェクト			の開催	Ě				クト「守る 跡整備・>	部会」	の		の検討	1					縄文ス		ル「守る部
	第 2 期	縄文	プロジ	ェクト	「守る	部会」	の開催	Ĕ				クト「守る 跡整備・ >				の検討	4				かず、 少ない。		プロジェク	가「守る部
	3		遺跡)				の開作	土地購	入説			クト「守る 跡整備・۶				の検討	4				かず、 少ない。		プロジェク	가「守る部
٤	4		遺跡)				の開催 (100 :	i 上地購	入説			クト「守る 跡整備・ >				の検討	寸・干 リ							
o l											事		ř	Ŧ	価									
												境の変化	今	成			充			2		⑤		7
	縄文	くプロシ	ノエク	トフロ	シェク	トーサー	会帯合	」の開作	催奴が	少ない。			後	果の		状維	持			3		6	V	9
管													o o	方	,		小			4		8		10
			5年日	± n ±	地科	- idoi i	文 笛 田	(北重)	百 / 小	び革・改	美华)		-	向]			~		•		•		W .
理	国史									算化する			方	性	E 111	廃		D				<u> </u>		
													向					皆	減	縮				拡大
													性	_	/			_	ス	۲	投 .	入(の方	向 性
	-	評価年	E度		<u>11</u>	年度		1																
	衫			3	_	<u>当</u>		<u></u> 性		有	交	b 性	=			効	率		性		総	合	評価	判定
		面の観		1	2	3	4	判定	2 1	2	3	4	- 判定	?	1	2	3	4	判	定	4,0	_		17 70
評	チ	エック	ל					4					4						4	ļ.			Α	
個 (C	課題					<i>.</i>		K HIT!	より行											 -	の 定 義 D: 前年度	: 事業 の見 : 事業が : 計が合	規模・内 直しが必 の統合、 必要 評価判定	休・廃止の
н			細		施	i	策		評	価		前			細		施		策	!	評		<u> </u>	後
E C K		行う。	こ鑑 え の内容	と評価 タと方	iを行	い、	い上に	ずの説	明会を	開催し		者と交渉	ます 里	t、 萨市	の整備 地域の 特有の	歴史 施策	用事業 資産を である	まち 。遺	かなり	J・人 Eの観	市民総づくり	学芸 にい も、	員化を目 かすこと 早期に確	指す当事: のできる: 認調査 を
J		前	年 度	き 改	革	· 改	善角	もの	実 施	状 況			Ī	前右	年度系	田施兌	策 評 任	西にも	おけ	る今	後の	方向	性	
改革	今		細		施		策		評	価		前			細		施		策		評	ſ	西	後
4	後	成	扨	4	充			2		⑤		7		成	拉		充							レ
改	の	果の	現	秋維	持			3		6	レ	9		果の	瑪	状維	持							
三日		方	紑	首	小			4		8		10		方	縮	i ,	小							
方	方	向 性		- k 廃		①		_						向性		·····································								
向	向	'	- 1	· 17ť	_	皆	減	縮	小	現状紀	维挂	拡	大	_		· 17ť •		皆	減	縮	小	Ŧ目 v	大維持	拡大
性(性						コス		-	人の		加 /	``	_					<i>ル</i> ス		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1		加りたの
CTIO	改革・改善								きた 縄 でいく		史跡整	備基本権											ことで あ な取組で	り、史跡: :ある。
	策	压左	月日	317.	成29:	年3月3	H B	最 終	· 評	価責	壬者				文	化財	課長					च	矢	昌文

				史跡整備・	會理	事務										事業期間	平成		~			整理	番号	07020107
ŧ	旦当	部署		教育委員会				文化則	課			文化則	才係			作成担当	者名	小	林	深	志	連絡	先	76-2386
				プランに 位置づけ	有	政	策体	本系		策策	06 08	第6章 文化員	市 生 オの充	涯を通 実	じ学び	しく学び 売けるこ								
	tt =									事業	07	史跡雪	を備・	管理事	務事業		A =1		* 00	4 +4	- 1 40 1	-T AF		00 - 44 05
•	110	予 ∄	#	事業名			_		務事業		LD+07	000-3		6 D4 L	L. en. valu n.L.	00 501		<u>コート</u>			10			09 事業 05
Ī	事 (務語	事	業 の 概要 ゕりゃすく)	残がまた	ト。 すされ こ、す	た中 iで管	ッ原 理す	縄文公 る王経	園の消 塚古墳	情掃管理 と永明	■を行 月寺山	うほだ 古墳、	か、老 ロッル	朽化した 原縄文公	施設の保 園の草刈	:守を作 りを作	īう。 īう。	未で:	天 爬、	更新0.	が、	- 97 0.)、後世に
				と 背 景												悪 影響 を 点からも			•					
	` 	文	ţ.		公	利用	者	民の	ため かける)														
	P	象	Ż	対象 (直接働きかける)							E 1 4 1													
	台	5	Ľ٨	意 図な状態にしたいか)	常に	整備	i、 省	理さ	れたき	で維持れいな	史跡	公園を		t.										
				・ 方 法 やって)	史路	小公園	内σ	管理	、植栽	を行い。 管理を マ 修 理	行う。		-											
				行政活動の網	洁果:	から	つく	りだす	- ものเ	ま何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目	標値言	没定のす	考え方	など	最終目標値
	N ii	活動	ħ L	草刈り実施	面積						草刈り	実施	面積	•	mî	草刈り	委託面	積						50, 551
	伯 指	五 指 1 標		公園清掃日	枚						清掃日	数			B	9ケ月×	4週×	2日						72
	模 ク の	Ę																						
	1			成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目	漂値訁	役定の	考え方	など	最終目標値
	月	指	í.	草刈り管理:	され	てい	る面	Ť			管理率	<u> </u>			%	草刈り	委託面	積/排	官定地	面積				100
		楞	Ē	公園清掃割							管理率	<u> </u>			%	清掃実力	施日数	/清排	请委 制	日数				100

大										
対		I		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
禁事 東東 東東 東京 東京 東京 東京 東京 東		lini				2, 567, 800	2, 257, 000	2, 077, 376	3, 770, 221	2, 510, 000
大		財		金	円					
大	実			金						
記				債						
旅										
大 1 1 1 1 1 1 1 1 1	44	訳			円					
数	肔	職	正規 職	員		0. 30	0. 20	0. 20	0. 30	0. 30
## 大				員						
対象 (者)数 (b)				員						
双	状				人	0. 30	0. 20	0. 20	0. 30	0. 30
単 位 コスト (a)/(b) 円										
元										
市民一人当たりのコスト 円 46.00 40.00 37.00 68.00 86.00 86.00			1 = 1 1 (=)			_	-	_	_	_
中の	況					40.00	40.00	07.00	CO 00	00.00
専刈り実施面積 実績 50,551		_	カ民一人当たりのコス							
Tag			共加八中长三锋	日標	mî					
Tangle					0/					
方子		活			90					
D 標 100.00 <t< th=""><th></th><th>動</th><th>海恒口粉</th><th>生结</th><th>日</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></t<>		動	海恒口粉	生结	日					
The image of th		指	NH 1Ht □ 3X		0/6					
大 実績 達成率 % 一 100 <	D	標			70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
達成率 % -			_	宝績	_					
成果指標 日標度理率 100 100 100 100 100 1指標度 100 100 100 100 100 100 1指標度 1日標度度 100 100 100 100 100 100 100 16 100 100 100 100 100 100 100 100 16 100 100 100 100 100 100 100 100 16 100					%	_	_	_	_	_
成果 実績 学6 100 100 100 100 100 達成率 % 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 指標 目標 実績 年 100 100 100 100 100 達成率 % 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 100 2 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00	0					100	100	100	100	100
果		成	管理率	実績	%					100
指標 自標 % 100 100 100 100 100 構 実績 % 100 100 100 100 100 備		果			%					100, 00
標 管理率 実績 70 100		指		目標	0/				100	100
達成率 % 100.00 100.00 100.00 100.00			管理率	実績	96	100	100	100	100	100
		12.2			%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00
		准								
■ 考										
		考								

日 様	担当	- ~	F 12 X	跡整備・管理	2字 76								手	₹期	間 平月	火	~		平ほ	₹ 整理番号	07020107
日本 会議の第列作業。		部	署教	育委員会		文化	比財課			文化財	係		竹	成担	当者名	小	林	深	志	連絡先	76-2386
日本 会議の第列作業。	Ħ	相			日標						宔	績							課	語	
日本語の事別作集。					<u>п</u> тж						^	454							II.	NZS	
2 全通路の東別作業。 中の編集文分割が存業。 中の編集文分割が存業。 - 全通路の東別作業。 中の編集文公園トイレ清掃管理の変託業務の支 を発酵事業の支払い業務。 - 全通路の東別作業。 - 中の編集文公園トイレ清掃管理の変託業務の支 ない。 - 中の編集文公園トイレ清掃管理の変託業務の支 ない。 - 中の編集文公園トイレ清掃管理の変託業務の支 ない。 - 中の編集文公園トイレ清掃管理の変託業務の支 ない。 - 中の一部の変形を表し、対方に生じた問題を中間の変形。 - 日本の変形を含まるのでは、観光百姓との変形。 - 日本の変形を含まるのでは、観光百姓との変形。 - 日本の変形を通知の変形。 - 日本の変形を通知の変形を表し、対方、同性 - 日本の変形を通知の変形を表した。 - 日本の変形を通知の管理することは必要である。 - 日本の変形を表別のでは、表別を表別の変形を表別のでは、表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表別を表	四 1	1						:	各種委託 各遺跡の	E契約の 算別化	D締結。 作業。										
### ### ### ### ### #################	2 其	2	各遺跡	の草刈作業。								の惨	繕工事。	•							
# 1	3	3										務。									託業務の支
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題とや環境の変化 都市計画版で行っている鑑賞道の整備に伴い、種沢古墳と周辺公園の事項 管理が増える可能性がある。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 「「「「「「「「「「「」」」」」 「「「」」」」 「「「」」」 「「」」 「「」 「「」」 「「」 「「」」 「「」 「「」」 「「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	4 ع	4								文公园	トイレ清	掃管	理の委託	七業務	の支						
当年度開始後、約6ヶ月が結過し、新たに生じた問題の受演の変化 会										事	中	評	価								
### 1	の当	当年	丰度開始	台後、約6ヶ	月が経	過し、	新たに	生じた	問題点	や環境	の変化	슬	成が	<u>.</u>	充		1	2		(5)	7)
新年度の実施計画・予算要求事項 (改革・改善策) 方向性 休 廃止 ①						の整備	iに伴い	、樋沢ī	ち墳と周	辺公園	の草刈	,,	果								
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 特性 大 大 大 大 大 大 大 大 大	管管	理	が増え	る可能性があ	ර්ත්								٠,	水稚	持			<i>ತ್ರ</i>		(b) (c)	ଞ
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)														Ē .	小			4		8	10
保年通りであるが、自前で遺跡を管理するのには服界がある。			新	年度の実施	計画·	予算要	求事項	[(改革	車・改善	等策)					ıt C	D					
性 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	理例	¶年											<u>т</u> М	. 156 .						TO 15 4" 1 "	14
評価年度 当年度 現底 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評価の観点 1 2 3 4 判定 4 4 4 4 4 4 4 4 4														/		皆			- 1		
現点												性	/			⊐	ス	٢	投入	、の 方	向 性
現点							1														
デェック 4		_		_																	
女						'									•	1			総	<u> 評</u> 価	判定
3	評評	F 征	の観点	1 2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判员	Ē		Α.	
新しく整備した永明寺山古墳の草刈り等の事業が増えている。	HT -	チ:	ェック				4					4					4			A	
細 施 策 評 価 前 細 施 策 評 価 後 2 2 3 3 4 4 4 5 5 5 5 5 5 5	<u> </u>																	0 京 章	D C :	事業規模・内 の見直しが必 事業の統合、 <u>討が必要</u> 総合評価判算	容・実施主体 ・要 休・廃止の検
現状を維持し、今後も継続していくことが必要。		4		Am J	_	_		-					A-m				_				
お公園を目指すために大切な施策である。	H #	公	TELLE #							R)IJ	4					7.14				
成 拡 充 ② ⑤ ⑦ 成 拡 充 및 現状維持 ② ⑥ レ ③ 現状維持 レ	E 合 C	A	現仏で	軽付し、予1	交 心 神丕称	r C C U	,,,,,,	- Av y2-3	₹0			文跡	断地で登公園を目	E 旅 ⊂ 目指す	ために	大切な	を施策	である	- 空隔 、 る。	. 官座され	こされいいみま
成 拡 充 ② ⑤ ⑦ 成 拡 充 및 現状維持 ② ⑥ レ ③ 現状維持 レ	K)	5	前年	: 度 改 革	• 改	善策	きの多	実 施	状 況			前] 年度 組	细施货	策 評 値	面にま	いける	5 今 7	後の力	方向性	
後 の	改る		前年					-		ŧ	Ĭ	前									後
の 方向 編 小 ② ⑧ ⑪ か 方向性 休廃止 ① 増 休廃止 ① 増 休廃止 ① 増 休廃止 ② 切 が できる。	改革	?		細			į	抨	価			Ì	細		施						後
方向 縮 小 ① ⑧ ① 竹 位 休廃止 ① 竹 位 休廃止 位 付 <	改革・後	?	成	組 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加			2	Ŧ	価	7)	J.	細	<u> </u>	施						後
作 休 廃 止 ①	改革·改	今	成 果	組 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加 加			2	Ŧ	価	7)	j	細	<u> </u>	施						後
世性 皆 減 縮 小 現状維持 拡 大	改革・改善の	今後の	成果の方	細 加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加加			② ③	抨	価 ⑤	7)	j.	和	太 :	施 充 持						後
性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 現状維持で基本とするが、さらに草刈回数の増加等検討が必要。 現状維持を基本とし、草刈りの実施時期を検討することで適正な管理を図ることができる。 なき 策	の 本の の の の の の の の の の の の の の の の の の	今後の方	成果の方向	細 力 拡 充 現状維持 你	色		② ③	抨	価 ⑤	7)	j	が	太 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	施 充 持						後
は 現状維持で基本とするが、さらに草刈回数の増加等検討が必要。 現状維持を基本とし、草刈りの実施時期を検討することで適正な管理を図ることができる。	の 改革・改善の方向 一 一 今 後 の 方 向	今後の方	成果の方向	細 力 拡 充 現状維持 你	1	策	2 3 4		価 ⑤ ⑥ L ⑧	7 • 9 • 10))	F	が	太 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	施 充 持		策		評	価レ	
を図ることができる。 ・ 改善 策	の革・改善の方向は	今後の方向	成果の方向	細 力 拡 充 現状維持 你	1	策	② ③ ④ a	评	価 ⑤ L ⑧	⑦ 9 ⑪		F	が	太 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	施 充 持	皆	策	縮	評	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	拡大
中 · 改 善 策	の 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	今後の方向生	成果の方向性	細 加 加	他	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ L ⑧ 現状維 の フ	7 9 如 持 方 向)) 加 太 性	F ()	が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	法 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	施 充 持 小	皆コ	策 減 ス	縮卜	評 小 ひ	価レ り 現状維持 の 方	拡大向性
· 改 善 策	(の) 改革・改善の方向性(A) で、後の、方、向、性 (3)	今後の方向生女	成果の方向性	細 加 加	他	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ L ⑧ 現状維 の フ	7 9 如 持 方 向)) 加 太 性		が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	表	施充持小止とし、	皆コ	策 減 ス	縮卜	評 小 ひ	価レ り 現状維持 の 方	拡大向性
改 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・) 改革・改善の方向性(ACT価) 今 後 の 方 向 性 改革	今後の方句生改革	成果の方向性	細 加 加	他	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ L ⑧ 現状維 の 7	7 9 如 持 方 向)) 加 太 性		が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	表	施充持小止とし、	皆コ	策 減 ス	縮卜	評 小 ひ	価レ り 現状維持 の 方	拡大向性
策) 改革・改善の方向性(ACTT価 合、後 の 方、向 性 改革・	今後の方句生と	成果の方向性	細 加 加	他	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ L ⑧ 現状維 の 7	7 9 如 持 方 向)) 加 太 性		が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	表	施充持小止とし、	皆コ	策 減 ス	縮卜	評 小 ひ	価レ り 現状維持 の 方	拡大向性
) 改革・改善の方向性(ACTIO) 会 後 の 方 向 性 改革・改	今後の方句生改革・牧	成果の方向性	細 加 加	他	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ L ⑧ 現状維 の 7	7 9 如 持 方 向)) 加 太 性		が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	表	施充持小止とし、	皆コ	策 減 ス	縮卜	評 小 ひ	価レ り 現状維持 の 方	拡大向性
) 改革・改善の方向性(ACTION) 一 一 名 後 の 方 向 性 改革・改善	今後の方句生とないの	成果の方向性	細 加 加	他	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ L ⑧ 現状維 の 7	7 9 如 持 方 向)) 加 太 性		が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	表	施充持小止とし、	皆コ	策 減 ス	縮卜	評 小 ひ	価レ り 現状維持 の 方	拡大向性
) 改革・改善の方向性(ACTION) 一 一 名 後 の 方 向 性 改革・改善	今後の方句生とないの	成果の方向性	細 加 加	他	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮	評	価 ⑤ ⑥ L ⑧ 現状維 の 7	7 9 如 持 方 向)) 加 太 性		が が が が が が が が が が が が が が が が が が が	表	施充持小止とし、	皆コ	策 減 ス	縮卜	評 小 ひ	価レ り 現状維持 の 方	拡大向性

事務	事第	美名	埋蔵文·							莱					를	事業期間] 平		~		年	度	整理番·	号	07020110
担	当部	署	教育委	会	生涯	学習	常	化則	課			文化則	係		1	作成担当	者名	塩	澤	恭	輔		連絡先	;	76-2386
			プラン 位置:		有	政策	策 体	系	政 施 細 旅 事務		06 08	第 3 章 第 6 節 文化財 埋蔵文	う 生 か充	涯を通 実	じて楽し じ学び 級 る周知、	けるこ	との	できる							
計	予	算	事 業	名	里蔵	文化	財保	存活	刊整備	事業							会	十コー	<mark>ار 00</mark>)1 款	欠 10	項	05	m	09 事業 06
画	事績	务 事 潔にす	: 業の 根 りかりゃす	既要 →	讨象	の体	験学	習会	を開催	し、埋	蔵文化	比財に	関する	8啓発を	と図ると	ともに、	「市	民総学	芸員	化」を	生進め	かる 。	活用し	た	小・中学校
			と 背 うして	(京))整理:	が十分	うでなし	いため、	公開・記	角に	支障を	きた	してし	いる。				
	目	女	受益(誰のたど	めに)	市民		蔵文	化財	こ興味	がある	者														
Р		象	(直接働きか	j	甲蔵	文化	財に	直に、	ふれる	機会を	とおし	/、地 均	載の歴	を史を失	11り、学/	んでいた	-だく	ととも	رات. ا	埋蔵文	七化量	オをブ	さりにす	-る,	心を養って
	的	(どん	意 図な状態にした	こいか)	ハた	だく	•																		土器を手本
L			・ 方 やって	法					会会を		44 MB 11	F# C1	Erezi I	- y ~ 0 /.	2001 143		1 100 10	, 在 庭0,	<i>,</i> 60°°	МС		-	E 193 V) 1		上師で丁平
			行政活	動の結	果力	16:	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・	計算式	・目	標値詞	没定(の考	え方な	ď	晨終目標値
N	評	活動	埋蔵文	化財の	再氢	裡					再整理				箱										100
	価指	指標	体験学	習会の	実施	ħ.					埋蔵文 心度	化財	こ対す	- る関	0										6
J	標の		-	H .		÷r		14	/=T	0	Hr.	1m	ħ	14-	ж <i>т</i>	ケルナ	. >+	=1 /4 -4		+番 /士 =	-n. —	~ ≠	= ++-	12 F	3 4 0 1 1 1 1 1 1
	作成	成		>/<	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	昇出万	法·	計算式	. • 目	棕値	汉疋() 考	え万な	İ	是終目標値
	,~	果 指	埋蔵文	化財の	適均	りなり	又納と	台帳	化		資料の)台帳(ե		%										100
		標	体験学	習会の	参加	1者数	女				市民総	学芸員	化		人	参加者	数								120

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	luli.	事業費等	(a)	円	2, 900, 000	2, 000, 000	1, 993, 232	1, 713, 455	2, 050, 000
	財	国庫支出	金	円	1, 450, 000	1, 000, 000	996, 000	856, 000	1, 000, 000
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円					
444	訳	一 般 財	源	円	1, 450, 000	1, 000, 000	997, 232	857, 455	1, 050, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 40	0. 20	0. 20	0. 45	0. 45
	員	嘱託職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 40	0. 20	0. 20	0. 45	0. 45
		对 象 (者 <u>)</u>	数						
			(b)						
			(b)		_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円	FA 00	00.00	00.00	04.00	00.00
		市民一人当たりのコス	_	円	52. 00	36.00	36.00	31.00	98.00
			目標	箱	70	110	110	100	100
		再整理した箱数	実績		70	96	100	100	100
	活		達成率	%	100.00	87. 27	90. 91	100.00	100.00
	動	埋蔵文化財に対する関	目標		6	<u>6</u>	6	6	6
	指	心度	実績達成率	%	100, 00	100, 00	100.00	100, 00	100.00
D	標			9/0	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		_	目標 実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	70	100	100	100	100	100
O	成	資料の台帳化	実績	%	100	100	100	100	100
	果	具件の自転し	達成率	%	100, 00	100.00	100, 00	100, 00	100, 00
	指		目標		120	120	120	120	120
	標	市民総学芸員化	実績	人	58	110	51	22	120
	175	TO TAKE	達成率	%	48. 33	91. 67	42, 50	18. 33	100, 00
	1-44-		,,,	, 0	10.00	01.01	12.00	10.00	100.00
	備								
	考								
	•								

		人名						# T A						_	美期間 3			_			理番号		
担	当部	署教	育委員:	会 生活	涯学習	那 文化	比財課			文化	比財係			作成	过当者:	名	澤	- 1	輔	連	絡先	76-2	2386
	期			F	目 標							実績	青						課	題			
					, 1/K							Z - 48							HVK	~=			
	第	22. alla 144.							es alle							個人	住宅な	σ مع	調査の	今間に	行って	おり、ま	+画が
四		作業準	備						作業								こくい。		Mai Trans		-1,, - C	00 7	
	期																						
Alle	44																						
半	第 2	作業実	tác:						作業							個人	住宅な	20	調査の	合間に	行って	おり、言	十画が
	期	TF未天	<i>in</i> e						TF#							立て	こくい。						
期	797																						
州	第																						
		作業実	施						作業							個人	住宅な	<i>Έ</i> σ.	調査の	合間に	行って	おり、青	十画が
2	期															77.51	こくい。						
									+							-							
	第															個人	仕空だ	ש ש	調査の	シ間 /-	行って	높다 #	十両が
۲		作業実	施						作業								こくい。				-11 J C	00 7 C B	1回7.
	期																						
										1	中	1 1	平	価									
0	44.4	F 使 問 #	44 4	56 to 1	日が終	温工	シェナー 1・	一生!	北 問題	_	ァ 環境の変∙	11.	T				:		:				
											深い内容		成 果	拡	充			2		⑤		7	
管		えたい		, 101 / /	, ,,,) / H /	,	19.9 C) JEWN	W0.634	後	カ	現状	犬維持			3		6	レ	9	
.E.													方	4元	ds			<u> </u>		<u></u>		400	
							- 12	_				の	向	縮	小			4		8		10	
理			年度の	実施計	一画・	予算要	求事項	貞(改	び・単	Z善策)	方	性	休」	廃 止	1							
_	例年	通り。										向	-			皆	減	縮	/ <u> </u> \	担仆	維持	拡	大
												性	_			⊐	ス	۲	投り	(0)	方	向作	王
		a hr / -					1																
		评価年	夏		4年度		<u> </u>									_							
	裑	•		妥	当	1	性		有	Ź	効	性		效) <u>s</u>		性		総	合言	平価	判	定
評	評価	5の観点	ī 1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判员	Ē	1	2 3	4	判》	Ē			Α		
яT	チ	ェック					4					4					4				Α		
		埋蔵文	化財の	再整理	と、埋	蔵文化	上財を	活用し	た体験	学習到	会は、お	おむね	計画	直りに	進める	ことがで	きた。		_ A:		おり事	業を進む	めるこ
		なお、	体験学	習会の	実施に	あたり	す。小	中学校	の主要	な行事	事である	運動会	・音	条会な	どとの	凋整に書	慮し		記 号 R·	とが適	^{通当})進め方	1-3-羊。	よう 亜
価	課	<i>T</i> = 。																	-		関模・内		
																			定	の見直	エしが必	要	
^	명공																			事業の 討が必)統合、 公要	怀・廃」	止の検
С	題																		前年度			?	Α
C																		ŀ	前年度評価	西シー	ト整理番	号	
н			細	施		策		評	価								Arte		評		<u> </u>	後	
	総										BII			細	摘	i	**			補			
Ε		小山学	校の年	間計画	表を入	平 手L	あら;	/ \ 1°.λ/	主要な	行車人	前 ト <mark>き</mark> から	ないせ	■載文	細 化財(かき用を	。 通して	策地域	の 雨	中を直	一個	:- <u>}</u>)できる	5 大切
		円州 〜	校の年 体験学	間計画 習会を	表を入行う旨	、手し、 を伝え	あらっ えれば、	、さり	主要な	行事と	上重なら	ない # 上に #	里蔵文 よ施策	化財の	の活用を	通して、	地域	の歴	史を直	こ学る	ことの)できる)再整理	る大切 里と台
		円州 〜	校の年	間計画 習会を	表を入行う旨	、手し、 を伝え	あらっ えれば、	、さり	主要な	行事と	- III と重なら え、今以	-EI 4	よ肥束	化財の である	の活用を	通 して、 、これ	地域を実現	の歴	史を直	こ学る	ことの)できる)再整理	5大切 里と台
С	合	円州 〜	校の年 体験学	間計画 習会を	表を入行う旨	、手し、 を伝え	あらっ えれば、	、さり	主要な	行事と	上重なら	-EI 4	よ肥束	化財の である	D活用を る。また	通 して、 、これ	地域を実現	の歴	史を直	こ学る	ことの)できる)再整理	5大切 里と台
		円州 〜	校の年 体験学	間計画 習会を	表を入行う旨	手し、	あらっ えれば、	、さり	主要な	行事と	上重なら	-EI 4	よ肥束	化財の である	D活用を る。また	通 して、 、これ	地域を実現	の歴する	史を直	こ学る	ことの)できる)再整理	る大切 里と台
c K	合評	円州 〜	校の年 体験学	間計画 習会を	表を入行う旨	手し、	あらっ えれば、	、さり	主要な	行事と	上重なら	-EI 4	よ肥束	化財の である	D活用を る。また	通 して、 、これ	地域を実現	の歴	史を直	こ学る	ことの	できる)再整理	る大切 里と台
	合	埋蔵文	校の年 体験学 化財を	間計画 習会を 有効に	表を入 行う旨 活用す	手し、	. あら; えれば、 とがで	きる。	主要ならに回数	:行事と	上重なら	,EI ~ 4	よ 心 束	化財の	の活用を る。また ける必要	通して、 、これ。 がある。	・地域を実現	96	を を を を を を を の は た め の は た め の は る た る り る り る り る り る り る り る り る り る り	定学る	にとの (化財の)できる)再整理	大切と台
к _	合評	埋蔵文	校の年 体験学 化財を	間計画 習会を 有効に	表を入った。行う旨	手伝える	. あられば、 えれば、 とがで:	、 きる。 実施	大沢	行事となが増え	と <u>重</u> なら え、 今 以	,EI ~ 4	よ 心 束	化財のである 継続する	の活用を る。また ける必要 施策評	通して、 これ。 がある。	地域を実現	96	史を直 らための:	で学る文理蔵文	だことの (化財の	丹登马	大切と台
K)	合評価	埋蔵文	校の年 体験学 化財を	間計画 習会を 有効に	表を入った。行う旨	手し、	. あられば、 えれば、 とがで:	きる。	主要ならに回数	行事となが増え	上重なら	,EI ~ 4	よ 心 束	化財の	の活用を る。また ける必要	通して、 これ。 がある。	・地域を実現	96	を を を を を を を の は た め の は た め の は る た る り る り る り る り る り る り る り る り る り	定学る	だことの (化財の)できる)再整理 後	S 大切 里 と 台
к _	合評価	前年	校の年 体験学 化財を	間計画 習会を 有効に	表を入った。行う旨	手伝える	. あられば、 えれば、 とがで:	、 きる。 実施	大沢	行事となが増え	と <u>重</u> なら え、 今 以	,EI ~ 4	よ 心 束	化財のである 継続する	の活用を る。また ける必要 施策評	通して、 これ。 がある。	地域を実現	96	史を直 らための:	で学る文理蔵文	だことの (化財の	丹登马	大切と台
K) 改革·	合評価	時埋 前 成果	校体化 度細 拡	間 習有	表を入った。行う旨	手伝える	あらっ えれば、 とができ	、 きる。 実施	大の記念を表しています。	行事とが増え	と重なら以 前	,EI ~ 4	前 成果 中	化財ので を続う 度細 拡	D活用を あるする 施 策 充	通して、 これ。 がある。	地域を実現	96	史を直 らための:	で学る文理蔵文	だことの (化財の	丹登马	大切理と台
K) 改革·	合評価	時埋 前 成果の 文 年	校体は財産を無います。	間 習有	表を入った。行う旨	手伝える	あられば、 たができ をのこ ②	、 きる。 実施	主要な数 状 価 ⑤ ⑥	行事となが増え	と重なら以	,EI ~ 4	は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	化財ので を続う 度細 拡	か 活用をおる。 必要 施策 無	通して、 これ。 がある。	地域を実現	96	史を直 らための:	で学る文理蔵文	だことの (化財の	丹登马	5大切型と台
K) 改革・改善	合評価今後の	時埋 前 成果の方に文 4	校体化 度細 拡	間 習有	表を入った。行う旨	手伝える	あらっ えれば、 とができ	、 きる。 実施	大の記念を表しています。	行事とが増え	と重なら以 前	,EI ~ 4	は 前 成果の方 年 一 成果の方	化財ので を続う 度細 拡	D活用を あるする 施 策 充	通して、 これ。 がある。	地域を実現	96	史を直 らための:	で学る文理蔵文	だことの (化財の	丹登马	5大切型と台
K) 改革・改善	合評価今後の方	時埋 前 成果の 文 年	校体化 度細 拡 現 縮	間習有 タ	表を入与す・改	手伝える	あられば、 たができ をのこ ②	、 きる。 実施	主要な数 状 価 ⑤ ⑥	行事とが増え	・重なら え、今以 前 ⑦ ⑨	,EI ~ 4	は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	度細 拡 現り	D活用を ある。 施 策 評 施	通して、 これ。 がある。	地域を実現	96	史を直 らための:	で学る文理蔵文	だことの (化財の	丹登马	5大切里と台
K) 改革・改善の方向	合評価今後の	時埋 前 成果の方向に文 4	校体化 度細 拡現状	間習有 タ	表を入行方用す ・ 改	手を伝える	あられば、 とがで の 3 4	実施評	大 価 (5) (6) (8)	行事となが増え	・重なら え、今以 前 ⑦ ⑨		が 一 成果の方向	度細 拡 現り	D活用を ある。 施 策 充 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	通して、がある。	地域を実現なり、	9 G	を使を直がためのは、後のファー	では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	だことの (化財の 生 <u></u>	後	EC 11
K) 改革・改善の方向性	合評価今後の方	時埋 前 成果の方向に文 4	校体化 度細 拡 現 縮	間習有 タ	表を入 行 活用す ・ 改 ・ 改 「 」 皆	手を伝える	あられば、 たがでする。 ② ③ ④	実施評	大 価 (5) (6) (8)	行事とかが増え が増え と	・重なら以 前 ⑦ ⑨ 10 拡	,EI ~ 4	が 一 成果の方向	度細 拡 現り	D活用を ある。 施 策 評 施	通してれる。	地域実現	3 今	後のファー	こ 単蔵 方向 個	なことので、化財の	後	大
K) 改革・改善の方向性(合評価今後の方向性	時埋 前 成果の方向性 /	校体化度細拡現縮休	間 習有	・改り	手を伝える善策	あらば、 の 3 縮 ト	と 実施 か 投	大 価 (5) (6) (8) ス	行事 はが増え が増え かん 単	・重なら以 前 ⑦ ⑨ 加	大	が 成果の方向性 成果の方向性	化で継続細細拡切が高くなっては、現場がある。	Distantiantiantiantiantiantiantiantiantiant	通していたがある。	地域を実現 (2) 策 減ス	6 今	を 後の ファー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で学成文 学成文 ラー 個 現状の	はことのでは、	後	大
K) 改革・改善の方向性(A	合評価今後の方向性改	時埋 前 成果の方向性 蔵	校体化 個 現 (日本) (日本)	間習有 女 一 在 大 持 小 止 整 理	表を入旨す ・ 改 ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は	手を () () () () () () () () () (あらばで の 3 縮ト 文化!	はる。	大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)	行事されが増える 単一 上 維方・開に必	- 重な今	大業で	は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	化で継続。 毎 細 拡 現 網 休 化財 の 格 で	施 株 廃 た 充 持 小 上 内	通してれる。	・ 地域現 (2) 策 減ス域	8 今 縮トの の 間	を できません できません できません できません できません できません できません できません かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	三里蔵 与 何 何 現状の 申 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	は との と	後	大要
K) 改革・改善の方向性(AC	合評価今後の方向性改革	時埋 前 成果の方向性 機高 一	校体化 個 現 (日本) (日本)	間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か	表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。	手を伝える善策	あらばで の 3 縮ト 文化!	はる。	大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)	行事されが増える 単一 上 維方・開に必	・重なら以 前 ⑦ ⑨ 加	大 業で 325年 7	は長 前 成果の方向性 関惑ある	化で継続 度 細 拡 現 縮 休 化ので、	Distance	通してれる。	地域現 (a) 策 減、ス域る。	9 る 今 縮ト 西浦	を 後の ファー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	で埋蔵 ちゅう の	は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b	後 拡 性 合 ない は ない	大學文
K) 改革・改善の方向性(ACT	合評価今後の方向性改革・	時埋 前 成果の方向性 機高 一	校体化 (a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) </th <th>間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か</th> <th>表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。</th> <th>手を伝える善策</th> <th>あらばで の 3 縮ト 文化!</th> <th>はる。</th> <th>大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)</th> <th>行事されが増える 単一 上 維方・開に必</th> <th>- 重な今</th> <th>大 変 す 1</th> <th>は長 前 成果の方向性 関惑ある</th> <th>化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用</th> <th>Distance</th> <th>通してれる。</th> <th>地域現 (a) 策 減、ス域る。</th> <th>9 る 今 縮ト 西浦</th> <th>を を を</th> <th>で埋蔵 ちゅう の</th> <th>は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b</th> <th>後 拡 性 お ない は ない</th> <th>大學文</th>	間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か	表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。	手を伝える善策	あらばで の 3 縮ト 文化!	はる。	大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)	行事されが増える 単一 上 維方・開に必	- 重な今	大 変 す 1	は長 前 成果の方向性 関惑ある	化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用	Distance	通してれる。	地域現 (a) 策 減、ス域る。	9 る 今 縮ト 西浦	を を を	で埋蔵 ちゅう の	は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b	後 拡 性 お ない は ない	大學文
K) 改革・改善の方向性(AC	合評価今後の方向性改革・改	時埋 前 成果の方向性 機高 一	校体化 (a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) </th <th>間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か</th> <th>表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。</th> <th>手を伝える善策</th> <th>あらばで の 3 縮ト 文化!</th> <th>はる。</th> <th>大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)</th> <th>行事されが増える 単一 上 維方・開に必</th> <th>- 重な今</th> <th>大 変 す 1</th> <th>は長 前 成果の方向性 蔵あ財産</th> <th>化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用</th> <th>Distance</th> <th>通してれる。</th> <th>地域現 (a) 策 減、ス域る。</th> <th>9 る 今 縮ト 西浦</th> <th>を を を</th> <th>で埋蔵 ちゅう の</th> <th>は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b</th> <th>後 拡 性 お ない は ない</th> <th>大學文</th>	間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か	表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。	手を伝える善策	あらばで の 3 縮ト 文化!	はる。	大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)	行事されが増える 単一 上 維方・開に必	- 重な今	大 変 す 1	は長 前 成果の方向性 蔵あ財産	化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用	Distance	通してれる。	地域現 (a) 策 減、ス域る。	9 る 今 縮ト 西浦	を を を	で埋蔵 ちゅう の	は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b	後 拡 性 お ない は ない	大學文
K) 改革・改善の方向性(ACTIO	合評価今後の方向性改革・改善	時埋 前 成果の方向性 機高 一	校体化 (a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) </th <th>間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か</th> <th>表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。</th> <th>手を伝える善策</th> <th>あらばで の 3 縮ト 文化!</th> <th>はる。</th> <th>大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)</th> <th>行事されが増える 単一 上 維方・開に必</th> <th>- 重な今 前 ⑦ ⑨ 加 拡 性事</th> <th>大 変 す 1</th> <th>は長 前 成果の方向性 蔵あ財産</th> <th>化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用</th> <th>Distance</th> <th>通してれる。</th> <th>地域現 (a) 策 減、ス域る。</th> <th>9 る 今 縮ト 西浦</th> <th>を を を</th> <th>で埋蔵 ちゅう の</th> <th>は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b</th> <th>後 拡 性 お ない は ない</th> <th>大學文</th>	間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か	表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。	手を伝える善策	あらばで の 3 縮ト 文化!	はる。	大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)	行事されが増える 単一 上 維方・開に必	- 重な今 前 ⑦ ⑨ 加 拡 性事	大 変 す 1	は長 前 成果の方向性 蔵あ財産	化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用	Distance	通してれる。	地域現 (a) 策 減、ス域る。	9 る 今 縮ト 西浦	を を を	で埋蔵 ちゅう の	は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b	後 拡 性 お ない は ない	大學文
K) 改革・改善の方向性(ACTI	合評価今後の方向性改革・改	時埋 前 成果の方向性 機高 一	校体化 (a) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) </th <th>間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か</th> <th>表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。</th> <th>手を伝える善策</th> <th>あらばで の 3 縮ト 文化!</th> <th>はる。</th> <th>大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)</th> <th>行事されが増える 単一 上 維方・開に必</th> <th>- 重な今 前 ⑦ ⑨ 加 拡 性事</th> <th>大 変 す 1</th> <th>は長 前 成果の方向性 蔵あ財産</th> <th>化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用</th> <th>Distance</th> <th>通してれる。</th> <th>地域現 (a) 策 減、ス域る。</th> <th>9 る 今 縮ト 西浦</th> <th>を を を</th> <th>で埋蔵 ちゅう の</th> <th>は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b</th> <th>後 拡 性 お ない は ない</th> <th>大學文</th>	間習有 女 維 派 再き続 画をに 施 変 有き か	表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。	手を伝える善策	あらばで の 3 縮ト 文化!	はる。	大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)	行事されが増える 単一 上 維方・開に必	- 重な今 前 ⑦ ⑨ 加 拡 性事	大 変 す 1	は長 前 成果の方向性 蔵あ財産	化で継続 度 細 拡 現 縮 休 小の活用	Distance	通してれる。	地域現 (a) 策 減、ス域る。	9 る 今 縮ト 西浦	を を を	で埋蔵 ちゅう の	は (化) サービス (化) 大 (本) 大 (a) 大 (b) 大 (b	後 拡 性 お ない は ない	大學文
K) 改革・改善の方向性(ACTION)	合 評 価 今後の方向性 改革・改善策	時埋 前 成果の方向性 機高 一	校体化 細数 銀 化で実 年学を 1 状態 の引す	間習有 女 維 派 再きる	表 を 入 旨 ・ ・ は の は の は の は の は の は の は の の は の に の は の に る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の に る る に る る 。 る に る 。 。	手をる善策	あらばで の ② ③ 4 縮ト化進	、き 実際 投助めたい 小 汚れ	大 (5) (6) (8) (7) (7) (8) (7) (8) (8) (7) (7) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (8) (9) (8) (10) (10)	(計画を) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語) (本語	一直 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	大 変 す 1	は長 前 成果の方向性 蔵あ財産	化で継続 毎 細 拡 現 縮 体 財で、	Distance	通してれる。	地域現 (a) 策 減、ス域る。	9 る 今 縮ト 西浦	を を を を を を を で を を で で を を で で で で で で で で の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に の の に る に の に に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 る 。 る 。 る 。 る 。	こ 理厳	は との 性 レ は	後	大學文

事系	务事業	美名	市内遺跡緊	急発	掘調査	事務									事業期間	平成		~		年度	整理都	号	07020111
担	当部	署	教育委員会	生	厓学習	部文	比財	課			文化則	才係			作成担当	者名	塩	澤	恭	輔	連絡	先	76-2386
計	おり	ナる	プランに 位置づけ 事 業 名		政 3	策 体 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	系 —	政施細族事務	事業	06 08	第 3 章 第 6 〕 文 化 埋 蔵 文	1 生	涯を通 実	じ学び	しく学び(続けるこ _の 記録公開 ³	とので <u>事務事</u>	きる学	2習機	会のが	実と			09 事業 02
画			· 業 の 概 要 っかりゃすく)	世に	ニ伝え [・]	ていく	٠. ಹ	わせ	て、地	域の歴	史に	直にる	ふれてし	いただく	ために現	地説明	う。 l会をl	調査原 開催す	は果 は 「る。	発掘調	查報告	**	まとめ、後
	現 (状ど	と背景							が失れ	かれる:	ため、	記録化	栄存を <mark>図</mark>	る必要が	ある 。							
^	目	対	受益者		是、遺		心の	ある	者														
P		象	対象(直接働きかける)			_	1 111	John J	-dds - r			ee 1.1. 2	¥ пп. А		4.1.	9 Mg 74		M	-1 -			-	
	的	(どん	意図な状態にしたいか)							活用し				を開催し	、矢われ	る遺跡	で見 '	子して	. もら	つ。 🤻	わせて	、発	掘調査報告
L				発排	現場(の公開	٤,	発掘	報告書	を作成	する。	•											
A			・ 方 法 やって)																				
			行政活動の	結果	からつ	くりか	どす =	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	票値設	定のネ	きえ方な	ょど	最終目標値
N	評	活動指	開発事業者	との	遺跡の	保護	热議			開催回	数				保護協	護回数							10
	価指標の	標																					
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	• 目标	票値設	定の着	きえ方な	ょど	最終目標値
	成	果指	保護協議の	割合						開催率				%									100
		標																					

	J	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	1		(a)	円	1, 939, 000	954, 650	238, 140	918, 250	2, 002, 000
	財	国庫支出	金	田					
実	源	県 支 出	金	田					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円	1, 939, 000	954, 650	238, 140	918, 250	2, 002, 000
	訳	一 般 財	源	田					
施	職	正 規 職	員	人				0. 30	0. 30
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人				0. 30	0. 30
7	7		数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	35. 00	17. 00	4. 00	17. 00	77. 00
			目標		10	10	10	10	10
		開催回数	実績		2	2	2	2	10
	活		達成率	%	20. 00	20. 00	20. 00	20. 00	100. 00
	動指		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	-	_		_	-
	1275		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	-	_	_	_	_
0	成		目標	%	100	100	100	100	100
	八田	開催率	実績	0/	100	100	100	100	100
	果北		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
)	指標		目標実績	_					
	慓		達成率	%	_	_		_	_
			廷戍平	70		_		_	
	備								
	考								
	.,								

	8事第 当 部	業名 市内 3 署 教育	遺跡 委員:		掘調査 涯学習		比財課		文化財	才係				類間 平 担当者名		~ 澤	恭		整理番号 連絡先		20111 2386
	期			E	目標					身	E	責						課題	1		
四	第 1 期	開発事業	養者と	の保護	協議			発掘調	査を行う	開発な	L.										
半期	第 2 期	開発事業	養者と	の保護	協議			発掘調	査を行う	開発な	L。										
ů,	第 3 期	開発事業	権者と	の保護	協議				アパート き掘調査				ため受託! する。	契約を締	あり、	変更に	糞しい。		いが、業		
٤	第 4 期	開発事業	養者と	の保護	協議			アパー		ための			発掘調査	と、報告	あり、	変更に	難しい。		いが、業く、刊行か		
_O	112.4		,,,,,,	· -	5 184 5	\= I	±~ 1 , _ ,	12 / 0007 1	事	中	_	泙	価							1	
		‡度開始 なし	後、清	約6ヶ.	月が経	過し、	新たに生	じた問題点	れや境境	の変化	今	月月	龙 拡 型	充		(2	5		7	
管	141										後		り 現状	維持		(3	6	レ	9	
											の	7	ち 縮	小		(4)	8		10	
理		新年	度の	実施計	┼画・-	予算要	求事項	(改革・改	善策)		方			廃 止	1						
											向				皆	減	縮り	小 現	状維持	拡	大
											性		/		⊐	ス	ト 投	入	の方	向	性
		评価年度	F .	<u>د</u>	当年度		1														
	_		4	妥	当		性	 有	効	性	•		対		ξ ,	性	総	合	評価	判	定
評		の観点	1	2	3	4	判定	1 2	3	4	- 判5	Ē		2 3	4	判別					
AT	チ	ェック					4				4					4			Α		
価	課	開発は	気に	も左右	iされる	ため、	、発掘件数	牧や経費は ³	予測が糞	しい。							記 号 の	とが 3:事業 C:事業	でおり事 適当 の進め方 規模・内	に改善 容・実	が必要
(0	題																72): 事業 討が	直しが必 の統合、 	休・廃	止の検 A
								_											ート整理番		
Н	総		細	か営利		策	評る問念に必	価 半う発掘調3		前車業	± 4	H /	細位空間を	施しの登制		策・する	評価の		価調本事用	後	主 举 主
E		が負担す	トるこ	とにな	ってい	るが、	,補正予算	F プモ掘嗣」 車成立まで記			状力	が負	負担するこ	ことにな・	っている	が、	補正予算				
С	_	況をなく	, <i>9 T</i> =	めにす	异馆道	ال	, ' 0 ,				ľ	兀さ	となくすだ	このにす	早打直し	. C (1)	ବ .				
K	評																				
\smile	価	前年	度。	改 革	• 改	善善	まの 実	施状況			+	前	年度細	施策評	価にま	s け ゑ	5 今後 0	り方向]性		
改	今		細	施		策	評		1	前	i		細	施		策	評		価	後	
革・	ラ後	成	拡	充			2	5	Œ	0		成		充							
改		果	現状	維持			3	6	レ()		果の		は 維持					V		
善の	の方	方	縮	小	······		4	8	1	D		方	縮	小							
方向		向 性	休月	€ 止	1							向性		廃 止							
向性	向	_		_	皆	減	縮	小 現状糸	住持 :	拡っ	t				皆	減	縮 小	、 現	,状維持	拡	大
~	性	M 1 44	2000	A 44		= 7		入の		性		_		ا د مثلاد م راد ه		ス		入(の方	向 性	
∢ ∪ ⊢ − 0 Z)	+	が負担で 況をなり 消費税1	トるこ くすた 0%の	とにな めに予 導入前	:ってい 算措置 の駆け	るが、 して 込み	、補正予算 いる。 開発が予想	半う発掘調3 車成立まで記 見され、特に 品議や情報。	調査がて こ宅地分	きさい ・譲等の	状に	=4	F度、開発 る景気回 るため、3	復に伴	う開発や	5、消					
		JT				-	B 45 =-	平 価 青 4	r +v					· 計理長			ı		4-	_	

事務	务事等	Ě名	市内遺跡範	囲確	認調3	上事業	Ę								事業期間	平成		~		年度	整理	号	07020112
担:	当 部	署	教育委員会	生	厓学晋	部文	て化財	課			文化則	才係		•	作成担当	者名	塩	澤	恭	輔	連絡	先	76-2386
	市おり	民 ナる	プランに 位置づけ	有	政策	策体	系		策策策策	06 08	第6節 文化則	ち 生 オの充	涯を通 実	じ学び	. く学び 売けるこ。 . 2録公開 :	とので	きる与					共	
計	予	算	事 業 名	市内	1遺跡	発掘	等調	主事業								会計:		00	1 款	10	項 05	目	09 事業 03
画	事為	外事	業の概要 _{わかりやすく)}												度・深度 内に建築								。そのため する。
	現 (状ど	と背景うして)	開多	事業	によ	ってi	貴跡の	破壊が	《進んで	いる。	•											
)	目	対	受 益 者 (誰のために)		è事業 è事業		遺跡(こ関心	のある	市民													
P		象	対象 (直接働きかける)																				
	的	(どん	意図												現状のま								
L A			方法やって)	よう個人	設計	変更建築	などの	の協力	を求め	る。							_					•	ていただく
			行政活動の	結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目	票値設	定の	考え方な	ょど	最終目標値
N	評	活動	開発事業者	との	遺跡の	の保護	協議			開催回	数				保護協	護回数							3
	価指	指標	保護する対	象面	積					保護対	象面和	Ť		m	開発事	業面積							1,000
	標の																						
	作	成	成 果	٠	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目	票値設	定の	考え方な	ょど	最終目標値
	成	果指	保護協議の	割合						開催率				%									100
		標	保護された	遺跡	面積					保護率				%									100

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	1, 900, 000	1, 303, 326	2, 092, 881	2, 459, 405	3, 046, 000
財	国庫支出	金	円	950, 000	651, 000	1, 046, 000	1, 229, 000	1, 504, 000
実 源	県 支 出	金	円					
内	地方	債	円					
訳	その他特定財	源	円	050 000	050 000	4 040 004	4 000 405	4 540 000
	一般財	源	円	950, 000	652, 3 <u>26</u>	1, 046, 881	1, 230, 405	1, 542, 000
雕職	正規職	員	ᄉ	0. 40	0. 35	0. 35	0. 55	0. 55
員	属 託 職 職 職	員	ᄉ					
数	<u>臨</u> 時職 合	員計	ᄉ	0. 40	0. 35	0. 35	0. 55	0, 55
#	<u> □</u> 対 象 (者)	数		0.40	0. 30	0. 30	0. 55	0. 55
	<u>对 </u>	致 (b)						
		(b)	円	_	_		_	
	受益者負担	額	円					
	市民一人当たりのコス		円	34. 00	23. 00	38, 00	44. 00	130. 00
		目標		3	15	7	7	7
	開催回数	実績		10	10	7	7	7
活		達成率	%	333. 33	66. 67	100.00	100.00	100.00
動		目標	ų,	4, 721	5, 000	1, 000	1, 000	1, 000
動指	保護対象面積	実績		584	535	300	381	300
D 標		達成率	%	12. 37	10. 70	30.00	38. 10	30. 00
ीक		目標	_					
	_	実績						
		達成率	%			100	100	100
O 成	開催率	目標 実績	%	100	100	100	90	100
果	刑性卒	達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	90, 00	100, 00
指		目標		100.00	100.00	100.00	100	100.00
が標	保護率	実績	%	100	100	100	100	100
1示	PINIOS T	達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100.00	100.00
備	市内遺跡範囲確認調査費							

		業名 市内道										事業期	_		~		年度	整理番号	
担	当部	署 教育	員会 生	涯学習部	邦 文化	:財課		文	化財係			作成担	当者名	塩	澤	恭	輔	連絡先	76-238
	期		F	目 標					9	定 絹	Ē						課	題	
四	第	事業者との						業者との 業立会い	保護協議	<u>دا ب</u>	•			年の前	か半は3	<u></u> 造成コ		数が多い	•
半期	第 2 期	事業者との)保護協議					業者との 業立会い	保護協議										
₩ :	第 3 期	事業者との	保護協議					業者との 業立会い	保護協議					4月に 掘調者	入居を Eを行れ	行うた つなけ	≥め、冬 わばな	場施行が らない。	らく、冬場に
٤	第 4 期	事業者との	保護協議					業者との 業立会い	保護協議										
Ø								1	事中	ř	Ŧ	価							
0,		丰度開始後							環境の変化	今	成	拡	充		(2	2)	(5	7
	年の	前半は造	成工事に伴	ドラ発掘	調査が	「多く、面	積も広し	N _o			果	現状維	F+±.		······j····		······································		· <u></u>
管										後	<u>の</u>	現仏神	E 才守		(<u>رح</u>	Ų	り	9
										の	方向	縮	小		(4	Ð	(3	10
THE		新年原	度の実施計	十画・予	予算要	求事項	(改革	・改善策	()	方	性	休廃	止	1					
理		通りを考え					事業に作	半う発掘割	骨査が予定	向	'				a nt 4	ሎ	ds :	阳北继井	+++ -
	टग	ており、人	的な其担の	で増える	と思わ	れる。								皆		縮・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 1	現状維持	拡力
										性				⊐	ス	<u>ا</u>	茂 人	の方	向 性
		评価年度	3	当年度						•									
						.eL		_	-	L					4		<i>ω</i> . Λ	=a; /m	
		息点	妥 1 I 2	当	•	生	1 1		効 性 3 4			効	率 3		生 //// 二		総合	評価	判定
評		面観点	1 2	3	4	判定	+ ' +	2 3	9 4	判定	╌	1 2	3	4	判定	-		Α	
		ェック	No. 1881 - 48-11. N	m 7 ±	14 I= I-	4	en. okt i – A		+ 4- 5 - 1	4	<u>.</u>	. 70	4 4 1-	10 Dec /100	4	_	ΙΛ . = J	あじむりす	業を進める
		遺跡を開 開発事業(尼争来から カ早期押据	寸るた	のには	ょ、 計画 川は清跡	段階には	*護協議 の把握が	を打フして 求められる	か業	まし	い。その	ために	退跡保	受削は	āC	ح ا!	当とのり∌	未で進める
価	課	1000						,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								号の	J . T		に改善が必 容・実施主
																定	e o	見直しが必	要
$\widehat{}$	日石															義		業の統合、 が必要	休・廃止の
С	題															前		合評価判別	È A
Ö																前	年度評価	シート整理番	号
н		細	1 旅	<u>F</u>	策	部	F	価	前			細	施		策		Ŧ	価	後
	総	これまで	どおり、開	発事業	者との	密な連	絡体制の	の構築、	『遺跡分布										丿を進める
E	۵	図』の整備遺跡の保護	甫と周知禰 崔位謙を朝	【底に労	める。 行う	その上	で催認	調査の結:	果を踏まれ	LT= W	の歴	史旳財産	きとして	で後世に	伝えて	ていく	大切な	施策である	5.
С		ARE INDICATE OF I	更加 際 C 和		11 7 0														
Ŭ	評																		
K																			
J	価	* -	± 76 #	7L	* **		1 +/- 11	,n			+ /-	ᆂᅋᆇ	<i>h</i> ∤- =::	ITC 1	11 7	<u> </u>	«		
		前年月				の実		況		E	川千	度細施							
改革	今	細	折	ħ.	策	評		価	前			細	施		策	ā	平	価	後
Ŧ.	後	//0	広 充			2	5)	7		成	拡	充						
改		果	見状維持			3	6) レ	9		果 […] の	現状維	持					レ	
善	の	÷		·		4	8		10		方	姶	ds						
の方	方	向	宿 小			••	Ø	, 	UV		向	縮	小						
方向性	向	性 (木 廃 止	1							性	休 廃	止						
性	性		_	皆	減	縮		見状維持		大						縮		現状維持	拡・オ
~			m.to 14 - 1		コス			の方	向 性	بإ		/						の方	向 性
A	J.	・直接の節	田規模の批	確は、	教育多				らない業務 者等と保護										きるだけ早 車業者と位
С	改	で、計量	個杏を行う	ことけ	· *** 94	ᄦᄱᇞ												_ as / n	
T	革				得る作	手業とな	るため、	遺跡内	で開発を行	すう を	行う							に劣め、	
TI	革 •		祭の重要な	情報を	得る作	手業とな	るため、	遺跡内		すうしき	行う								
I 0	革 • 改	謙を行う	祭の重要な	情報を	得る作	手業とな	るため、	遺跡内		すう を	行う								
Ι	革 ・改善	謙を行う	祭の重要な	情報を	得る作	手業とな	るため、	遺跡内		すう を	行う								
I 0	革 • 改	謙を行う	祭の重要な	情報を	得る作	手業とな	るため、	遺跡内		70 8	行う		をとなる						

事務	事第	(名	守矢史料館	會理:	運営事	務									事業期間	平成		~		年度	整	理番号	0702	0307
担	当部	署	生涯学習部			7	て化財	課			博物館	係			作成担当	者名	柳	Л	英	司	į	車絡先	73-0)300
	市 おり	民 : ナる	プランに 位置づけ	有	政分	策体	系	政 施 細 が 事務		06 09		5 生 【守矢	涯を通	重じ学び 官の充実	しく学び 続 けるこ									
計	予	算	事 業 名													会計	コート	² 00	款	10	項	05 目	06 事	業 02
画			業の概要 ^{っかりゃすく)}	管	門に関	わる	事業。								2の借地3,									
			と 背 景うして)												こ、収蔵庫 パ 避 けられ		【蒸を	行うこ	とで	古文	* * •	虫害から	守る。	史料
(目	対	受益者		利用		* h -	r1\Z	盗料大	51- 6	無理	12. €1. =	と1一 <i>間</i> は	きかける										
P		象	対象 (直接働きかける)																					
	的	(どん	意図な状態にしたいか)												た状態で									
L			・ 方 法 やって)	< <i>x</i>	蒸作	葉を	行い、	古文	₹ とそ	の周辺	型の殺ら	虫、 和	投力 ビミ	を行う。	周辺の植	「栽管 理	担は、	業者に	委託	i し、 ₽	呆全 (していく	•	
			行政活動の約	洁果:	からこ	こくら	けだす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	・目标	票値設	定の	考え	方など	最終目	標値
N	評	動	燻蒸面積							燻蒸面	積			m²	年間薫	蒸面積								70
	価指	指標	整備実施面積	Ħ						整備実	施面和	ŧ		m²	借地面	演							3	, 900
)	標の作		成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	注.到	省学	. P+	要値 記	マウィ	去っ	古か ど	是级厅	一種店
	作成	成果	実施された		XVJ	木	IΦ	l _n j		煙蒸面		10	ተሳ	平 15 %	年間薫					-		ハなこ	取水	100
		指標	実施された							周辺整				%	当年度						-			100

	項		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	事		(a)	円	2, 469, 280	2, 442, 591	3, 551, 375	2, 563, 226	2, 651, 000
	財	国庫支出	金	円					
_	源上	県 支 出	金	円					
	内 -	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	2, 469, 280	2, 442, 591	3, 551, 375	2, 563, 226	2, 651, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 25	0. 25
	員 -	嘱 託 職	員	人	0. 06	0. 06	0. 06	0. 06	0. 06
		臨 時 職	員	人	0. 06	0. 06	0. 06	0. 06	0. 06
状	数	合	計	人	0. 15	0. 15	0. 15	0. 37	0. 37
1	対		数						
	延		(b)						
	単		(b)	円	•	-	-	_	_
況	受		額	円					
	市	「民一人当たりのコス		円	44. 00	44. 00	64. 00	46. 00	87. 00
			目標	ų	70	70	70	70	70
	*	燻蒸面積	実績	- ""	38	38	38	38	38
	活 _		達成率	%	54. 29	54. 29	54. 29	54. 29	54. 29
	番h		目標	ų,	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900
	指指	整備実施面積	実績	- ""	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900	3, 900
	標-		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
٦ I	悰		目標						
	-	_	実績						
			達成率	%	•	-	•	_	_
0			目標	%	100	100	100	100	100
	成 🖠	燻蒸面積率	実績	70	54	54	54	54	54
	果		達成率	%	54. 00	54. 00	54. 00	54. 00	54. 00
	指		目標	%	100	100	100	100	100
		問辺整備率	実績	70	100	100	100	100	100
			達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		平成27年度から、守矢平成27年度から、平成	史料館 26年度	管理域の守分	■営費(10-5-4-7)の目 矢史料館管理運営費	が、総合博物館費(1 (10-5-4-7) から守矢	0-5-4)から神長官守 :史料館施設管理費(矢史料館費(10-5-6) 10-5-6-2)に変更され	に分離された。 nた。。

担				連営事	_	. n. i. am		1-8-6	LL Add Per			業期間			~		度 整理番号					
	当部	『 署 <mark>生涯学</mark>	智部		又1	比財課		∏ ;	物館係		11	成担当都	首名	柳	Ш	英司	連絡先	73-0300				
	期			目標					5	実 績						課	題					
四	第 1 期	早期に燻剤業者と契約	業者·庭	木手入	れ及び	周辺養生 トかる。	Eの 茅! 6月 •5.	野広域シ に1回草 月10日に	月28日に ルパー人 刈を行う。 燻蒸業務 パら29日ま	早刈り3 材センタ をナルコ	一契約	を締結す 契約を締	る。			草が繁き	をするスピー! 難しかった。	∜が遅く、草				
半	第 2 期	・庭木手入 結し、作業 ・草刈を行	こ取り掛か		の業者	と契約を	· 7. 生	月1日に(の契約を	有)カネコ 締結した。 に1回行っ	園と庭オ							きするスピー 難しかった。	ざが遅く、草				
期ご	第 3 期	草刈を行う	•				草	刈を10月	に1回行っ	<i>t</i> -。							をするスピー 難しかった。	∜が遅く、草				
٤	第 4 期	雪掻きを行	う				館	職員で数	回草刈を行	行う 。						■が少なぐ しかった。	く、博物館か	ら応援に行く				
O								Į	事 中	評	価											
()		年度開始後									成 拡	充			2		⑤	7				
		Fに比べて	が繁茂す	るスピ	ードが	遅く、草メ	明りが入っ	るタイミン	グ遅くなっ	7 .	果				j							
管	てし	<i>、</i> まった。									- رن	状維持			3		⑥ レ	9				
										100	方縮	小			4		8	10				
		新年度	の実施語	†画 • -	予算要	求事項	(改革	改善策		向	廃 止	1	·············									
理	頻繁	をに守矢史料									<u>— М</u>	· 15c IL			4.1			1.5				
										向		/	봅	減	統	i 小	現状維持	拡大				
										性				コス	\	・投ブ	への 方	向 性				
						1																
	_	評価年度		当年度		<u> </u>																
		見点	妥	当	1	性	7	有	効 性	生		効	率	性		総	合評 価	判定				
評	評值	西の観点	1 2	3	4	判定	1	2 3	3 4	判定	1	2	3	4 =	判定		Α					
м.	チ	ェック				4				4					4		^					
		- 草刈りの)タイミン	/グが糞	しく、	かなり	伸びてし	、まって ז	うこと	が多かっ	た。			記 A:	計画どおり事 とが適当	業を進めるこ						
/acc																号 B:	事業の進め方	に改善が必要				
価	課															の C:	事業規模・内]容・実施王体				
																定 義 D:	の見直しが必事業の統合、) 发 休・廃止の検				
	題														討が必要							
С	. —													前年度		_						
														10.0 1 10.0	総合評価判別							
					**	=-	-	-	細 施 策 評 価 前													
н											細		施	策		前年度評	価シート整理番	号 06040110 後				
	総	・守矢史料	館に収慮	してい	る古が	て書は、	重要なる	と化財では			くん蒸化				とこ	前年度評	価シート整理番	号 06040110				
H		・守矢史料害から守る・守矢史料	館に収慮ない。	- してい ん蒸を 辺の守	いる古が 行わな	文書は、 なければ の家屋、	重要ながならない	<u>に</u> な化財でで い。	あるため、	し。 【と	くん蒸化 い。 草刈は遅	「業を行っ 「単れ気味」	った。 だった	現在のとが、草		前年度評価を表現します。	価シート整理番 価 品に虫害や:	号 06040110 後				
	総合	・守矢史料書から守る	館に収慮ない。	- してい ん蒸を 辺の守	いる古が 行わな	文書は、 なければ の家屋、	重要ながならない	<u>に</u> な化財でで い。	あるため、	し。 【と	くん蒸化 い。 草刈は遅	業を行	った。 だった	現在のとが、草		前年度評価を表現します。	価シート整理番 価 品に虫害や:	号 06040110 後 かピは見られ				
EC	総	・守矢史料害から守る・守矢史料	館に収慮ない。	- してい ん蒸を 辺の守	いる古が 行わな	文書は、 なければ の家屋、	重要ながならない	<u>に</u> な化財でで い。	あるため、	し。 【と	くん蒸化 い。 草刈は遅	「業を行っ 「単れ気味」	った。 だった	現在のとが、草		前年度評価を表現します。	価シート整理番 価 品に虫害や:	号 06040110 後 かピは見られ				
Е	総合評	・守矢史料害から守る・守矢史料	館に収慮ない。	- してい ん蒸を 辺の守	いる古が 行わな	文書は、 なければ の家屋、	重要ながならない	<u>に</u> な化財でで い。	あるため、	し。 【と	くん蒸化 い。 草刈は遅	「業を行っ 「単れ気味」	った。 だった	現在のとが、草		前年度評価を表現します。	価シート整理番 価 品に虫害や:	号 06040110 後 かピは見られ				
EC	総合	・守矢史料書から矢史料なっており	館に収蔵 ため、く 館は、居 り、保全し	してい ん蒸を 辺の守 なけれ	いる古 行わな 子 矢家 の はなら	を きければ D家屋、 らない。	重要なが ならない 庭園と	で 化財で い。 c もに、[あるため、	なし 現と・3 な・	くん蒸化 い。 草刈は遅 く、景観	ド業を行 遅れ気味: 見は保た:	った。 だった れてし	現在のたが、草いる。	刈を	前年度評 評 ろ、収蔵 行い、ま	価シート整理者 価 品に虫害や: た、腐朽し	号 06040110 後 かピは見られ				
E C K)	総合評価	・守ケ・守・守・守・守・守・守・守・守・守・なっており	館に収蔵 うため、く 対館は、居 リ、保全し	してい ん 蒸を 辺の守 なけれ	される 行わな で 大家 ればな 善 第	を 書は、 はければ の家屋、 らない。	重要なりには、	次 化財で ない。 : もに、L	あるため、 歴史的景智	なし 現と・3 な・	くん蒸作い。 草刈は遅く、景観	に業を行 遅れ気味 見は保た。 田 施 策	った。 だった れてし 評価	現在のこれである。	刈を	前年度評価を表現である。収蔵でいます。	価シート整理者 価 品に虫害や た、腐朽し	^接 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K	総合評	・守矢史や書からテ史やまで・守矢史やなっており	料館に収載 うため、居 り館は保全 し 、 改革	してい ん 蒸を 辺の守 なけれ	いる古 行わな 子 矢家 の はなら	文書は、はければの家屋、らない。	重要なりに庭園とと	次化財でおい。 こもに、E 況	あるため、歴史的景観	親と ・1 ・な 前	くん蒸作	ド業を行 遅れ気味。 見は保た。 田 施 策	った。 だった れてし	現在のたが、草いる。	刈を	前年度評 評 ろ、収蔵 行い、ま	価シート整理者 価 品に虫害や: た、腐朽し	号 06040110 後 かピは見られ				
E C K) 改革·	総合評価	・守か矢史やはいたので、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中では、中で	料館に収載 うため、居 り館は保全 し 、 改革	してい ん 蒸を 辺の守 なけれ	される 行わな で 大家 ればな 善 第	を 書は、 はければ の家屋、 らない。	重要なりには、	次化財でおい。 こもに、E 況	あるため、 歴史的景智	親と 前	くん蒸化 道名 は 選条 日本	ド業を行 遅れ気味。 見は保た。 田 施 策	った。 だった れてし 評価	現在のこれである。	刈を	前年度評価を表現である。収蔵でいます。	価シート整理者 価 品に虫害や た、腐朽し	^接 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・	総合評価今後	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	料館に収載 うため、居 り館は保全 し 、 改革	してい ん 蒸を 辺の守 なけれ	される 行わな で 大家 ればな 善 第	文書は、はければの家屋、らない。	重要なりに庭園とと	文化財で い。 こもに、 記 価	あるため、歴史的景観	親と ・1 ・な 前	くん素(人) 本人 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	ド業を行 遅れ気味。 見は保た。 田 施 策	った。 だった れてし 評価	現在のこれである。	刈を	前年度評価を表現である。収蔵でいます。	価シート整理者 価 品に虫害や た、腐朽し	^接 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善	総合評価今後の	・書・な 前 成果の方	A館に収入 A的は保 A的は保 A A A A A A A A A A A A A	してい ん 蒸を 辺の守 なけれ	される 行わな で 大家 ればな 善 第	文書は、ば か か ま い う な い え い う な い 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	重要な ならない ならない 庭園と (であるない) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (**) (*	文化財でで い。 こもに、L 況 価	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③	な・な 前 が 前 の 方	くい草へ 年 世	F業を行 遅れ気味 見は保た。 田 施 策	った。 だった れてし 評価	現在のこれである。	刈を	前年度評価を表現である。収蔵でいます。	価シート整理者 価 品に虫害や た、腐朽し	^接 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善	総合評価今後	- 書・な 前 成果の方向: ・ 書・な 前	韓に収入している。 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中	してい ん 蒸 を は 辺 の す なけれ	される 行わな で 大家 ればな 善 第	文書は、ば、 はけれ屋、 の 実 割	重要ななにとります。	文化財でで い。 こもに、L 況 価	あるため、歴史的景観	な・な・ 前 前 の 方向	くい草く 年 世	下業を行 遅れ気味た。 現は保た。 田施策 充充 記状維持	った。 だった れてし 評価	現在のこれである。	刈を	前年度評価を表現である。収蔵でいます。	価シート整理者 価 品に虫害や た、腐朽し	^接 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向	総合評価今後の	- 書・な 前 成果の方向: ・ 書・な 前	A館に収入 A的は保 A的は保 A A A A A A A A A A A A A	してい ん <u>蒸</u> を 辺の守 なけれ	で また	文書は、ばければの か家屋、 の 実 記 ② 3	重要なが ならない を 施	文化財で () 。 : もに、	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ⑪	な・な 前	くい草く 年 世	F業を行 遅れ気味 見は保た。 田 施 策	たった。だれては一番	現在のかる。	ける。	前年度評価のおいます。 中国 はいい はい	価シート整理者 価 品に虫害や た、腐朽し、 方向性	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善	総合評価 今後の方向	- 書・な 前 成果の方向: ・ 書・な 前	韓に収入している。 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中の 中	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば、Doc ない。 ではければ、	重要なない ならない。 を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ①	な・な・ 前 前 の 方向	くい草く 年 世	下業を行 遅れ気味た。 現は保た。 田施策 充充 記状維持	った。 だった れてし 評価	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	価シート整理番 価 品に虫害や た、腐 作 し カ カ カ 大 大 の の の の の の の の の の の の の	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向性(総合評価 今後の方向性	・書・な 前 成果の方向性	発館に収入しています。 本語に対しています。 本語には、 本語には	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば Drange (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	重要なが ならない を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ⑪	な・な・前の見の方向性	くい草く 年	「業を行いない。」 「はないない。」 「はないないない。」 「はないないない。」 「はないないないないない。」 「はないないないないないないない。」 「はないないないないないないないないない。」 「はないないないないないないないないないないないないないないない。」 「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	だれていた。	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	価シート整理者 価 品に虫害や た、腐朽し、 方向性	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向性(A	総合評価 今後の方向性改	- 書・な 前 成果の方向: ・ 書・な 前	発館に収入しています。 本語に対しています。 本語には、 本語には	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば、Doc ない。 ではければ、	重要なない ならない。 を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ①	な・な・前の見の方向性	くい草く 年	下業を行 遅れ気味た。 現は保た。 田施策 充充 記状維持	だれていた。	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	価シート整理番 価 品に虫害や た、腐 作 し カ カ カ 大 大 の の の の の の の の の の の の の	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向性(総合評価 今後の方向性	・書・な 前 成果の方向性	発館に収入しています。 本語に対しています。 本語には、 本語には	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば、Doc ない。 ではければ、	重要なない ならない。 を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ①	な・な・前の見の方向性	くい草く 年	「業を行いない。」 「はないない。」 「はないないない。」 「はないないない。」 「はないないないないない。」 「はないないないないないないない。」 「はないないないないないないないないない。」 「はないないないないないないないないないないないないないないない。」 「はないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	だれていた。	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	価シート整理番 価 品に虫害や た、腐 作 し カ カ カ 大 大 の の の の の の の の の の の の の	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価今後の方向性改革・	・書・な 前 成果の方向性	発館に収入しています。 本語に対しています。 本語には、 本語には	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば、Doc ない。 ではければ、	重要なない ならない。 を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ①	な・な・前の見の方向性	くい草く 年	「業を行いない。」 理れ気味たが 細胞 策 元 記状維持 小 止	だれていた。	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	価シート整理番 価 品に虫害や た、腐 作 し カ カ カ 大 大 の の の の の の の の の の の の の	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	総合評価 今後の方向性 改革・改	・書・な 前 成果の方向性	発館に収入しています。 本語に対しています。 本語には、 本語には	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば、Doc ない。 ではければ、	重要なない ならない。 を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ①	な・な・前の見の方向性	くい草く 年	「業を行いない。」 理れ気味たが 細胞 策 元 記状維持 小 止	だれていた。	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、」では、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」」では、「一般のでは、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	価シート整理番 価 品に虫害や た、腐 作 し カ カ カ 大 大 の の の の の の の の の の の の の	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革・改善	・書・な 前 成果の方向性	発館に収入しています。 本語に対しています。 本語には、 本語には	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば、Doc ない。 ではければ、	重要なない ならない。 を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ①	な・な・前の見の方向性	くい草く 年	「業を行いない。」 理れ気味たが 細胞 策 元 記状維持 小 止	だれていた。	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」では、「一般では、」」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」」では、「一般では、」」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「一般では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「一般では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「」は、「」」では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「」」では、「」は、「」」では、「」は、「」」では、「」」では、「」は、「」は、「」」は、「」	価シート整理番 価 品に虫害や た、腐 作 し カ カ カ 大 大 の の の の の の の の の の の の の	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				
E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	総合評価 今後の方向性 改革・改	・書・な 前 成果の方向性	発館に収入しています。 本語に対しています。 本語には、 本語には	している の	る古わなで大家のは 善策	文書は、ば、Doc ない。 ではければ、	重要なない ならない。 を 施	文化 財 でることに、上	あるため、 歴史的景智 前 ⑦ ③ ⑪	な・な・前の見の方向性	くい草く 年	「業を行いない。」 理れ気味たが 細胞 策 元 記状維持 小 止	だれていた。	現在の さが、 ^章 に お · · · * * * * * * * * * * * * * * * *	* ***	前年度評価が、東西のでは、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」では、「一般では、」」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」」では、「一般では、」」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、」」では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「一般では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「一般では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「」は、「」」では、「一般では、「」」では、「一般では、「」」では、「」」では、「」は、「」」では、「」は、「」」では、「」」では、「」は、「」は、「」」は、「」	価シート整理番 価 品に虫害や た、腐 作 し カ カ カ 大 大 の の の の の の の の の の の の の	等 06040110 後 かぜは見られ ている樹木も				

事務	务事等	美名	守矢史料館	展示:	事業										事業期間	平成		~		年度	整理番	号(07020308
担:	当 部	署	生涯学習部			3	て化財	課			博物館	官係			作成担当	者名	柳	Л	英	司	連絡先	;	73-0300
	市おり	民 ナる	プランに 6 位置づけ	有	政:	策体	系	施細が	策策	06	第3章 第6章 神長官	生	涯を通		しく学び! 続けるこ								
計	予	算	事業名				示事							催事業 人に守矢	文書を周		⊐ — F	00	1 款	10	項 05	■ 0	6 事業 03
画	事	務 事	3 業 の 概 要 わかりやすく)																				
			と背景うして)	を開	催し	は通、守	常、f 矢文1	呆存の ●の重	観点か 要性を	・認識し	えした しても	まま、 らう。	現品の	の写真用	示となっ	ている	。そ 	こです	テーマ	を設け	てそれに	二沿:	た企画展
(目	対	受益者	来旬史料		蔵資	料																
P		象	対象(直接働きかける)	多卷	ነ መ አ	能者	を得か	- I.V.															
	的	(どん	意図 のな状態にしたいか)							===		-10			+ /L -B :					1 de 10.	- 4- 4 1	•	
L A			・方 法						いて告					ナフン	を作成し、	、また	. 12	<i>,</i>	不ツ	トなと	で告知し	, 1E	画展なら
		活	行政活動の組				けだす	ものに		指	標	名	称	単位			算式	・目标	票値部	定の	考え方な	ど最	と終目標値
N	評	動	企画展を何	回開	催した	とか				企画用	包数				開催回	数							2
	指標	指標	企画展来館	者数						企画展	来館	者数		,	企画展	中の来	館者数	<u> </u>					7, 883
)	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位									と終目標値
	成	果指標	企画展来館	者数	前年月	度比				企画展	来館	香数害	合	%	今年度: 中の来		中の著	能者	数/	前年度	の企画展		100
		175																					

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	를	事業費等	(a)	円	152, 720	243, 258	134, 152	171, 095	166, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
		地 方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	152, 720	243, 258	134, 152	171, 095	166, 000
施	職	正規職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
7	Ż		数						
		延 利 用 (者) 数	(b)						
		単 位 コ ス ト (a)/	/ (b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	3. 00	4. 00	2. 00	3. 00	30. 00
			目標		2	2	2	2	2
		企画展回数	実績		3	3	3	3	2
	活		達成率	%	150. 00	150. 00	150. 00	150. 00	100. 00
	動		目標	人	E 004	0.010	4 705	7.000	
	動指	企画展来館者数	実績		5, 001	3, 916	4, 765	7, 883	
D	標		達成率	%	_	-		-	
	IN		目標	_					
		-	実績	0.4					
			達成率	%	-	-	-	-	-
0	成	人可用力的主教和人	目標	%	100 113	100 75	100	100 165	100 100
	ル田	企画展来館者数割合	実績	07			122		
	果指		達成率	%	113. 00	75. 00	122. 00	165. 00	100.00
$\overline{}$	扫		目標実績	_					
	標		<u></u> 美領	%	_	_		_	_
		- 女母の7年度から 一つか					0.5.4)から抽戸中立		
	備老	・平成27年度から、守夕 ・平成27年度から、平成	文字科则 第26年月	の守ち	E責(10-5-4-6)の目 F史料館一般経費(10 	か、総百博物館賞()-5-4-6) から守矢史	0-0-4/から仲長官寸 料館展示事業費(10	・矢史料館費(10−5−6))−5−6−3)を分離し、≸	に対離された。 新設した。

			守矢史 生涯学	料館展示 習部	事業	文化	比財課			博物	物館係					業期間 成担当				- 	年 英 司	度	整理番号 連絡先	0702 73-0	
	期				目 標							実	綅	Ī	•						計	# 5			
四	第 1 期	•企画	展「御	柱祭」を			図る。				ら6月1 fが期	9日ま	で1	画		柱祭」を	·開	の入・企画	館者が国展に	が少さ関す	がかった るイベン	のと シトか	きよりも、 ^የ 少なかっ	た。	
	第 2 期		i展「真 と客を図	,田と諏訪 図る。	信濃	の武将	たち」	を開催	信濃の)武将		・開催	L.			田と諏		乱」を	ハケ 止まっ	岳総った。	合博物	館で9 御柱	昌幸のラ 月4日に が影響し った。	行ったか	K , 40
期ご	第 3 期	し、集 ・イベ	客を図	田と諏訪 する。 上原を歩く ひ方々に	(」を開作	進し、上	_		入館者	がは、3	3,357人	だった	٥.			ら」の期		るが	、これ	まで	天候不	順です	企画してか すべてが! 希望人数:	中止とな	って
٤	第 4 期	•企画 る。	展「戌	年の古戈	文書」を	開催し、	集客	を図	・企画 名だっ		年のさ	文書	ן סר	朝間	中入的	馆者は、	、 516	合わ影響	せて9 してい	人と	非常に生	少なが	したが、 かった。こ 、集客方法	れは寒	さが
O												中	ř	F	価										
				約6ヶ 入 <mark>館者が</mark>									今	成		夯	č			2		(5))	7	
管	なか	へったの	りで、ブ	(館者が	増加した	よかった	こか。ま	た、本					後	果の		状維持	ŧ			3		6	レ	9	
	区力	が少な	かった	のも影響	してい	ると思え	つれる。	•					の	方		/]	١			4		8)	10	
理							• • •		革・改	大善策)		方			廃业	E (1						ļ	
埋	·企	画展其	間中の	のイベン	トを増せ	してい	きたい	۰,					向					뱜	減	縮	小	玗		拡	大
													性						ス						
		画展期間中のイベントを増やしていきたい。 向性 評価年度 当年度																							
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) ・企画展期間中のイベントを増やしていきたい。															_									
								2 1					生工	+	1 [1 4		完	総	台	部 他	刊	疋
評			_	<u> </u>		7	4	<u> </u>		-	, 		4	1	'		-	<u> </u>	_				Α		
		視点 妥当性 有効性 効率性 平価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 チェック 4 4 4 4 4 4 ・企画展に関連するイベントを行い、より来館者を増加させたい。															ı		_{≣P} A			業を進	めるこ		
価(視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定															施主体									
С	起																			前年度			Ê	Α	
		細施策評価前																	-			平価シ	一ト整理番		40111
Н	総	. 📥	<u></u>	細生中	de (− de	施	TIV	策	<u>- + 1</u>	評	F 812 =	価 fだけでl	後 +な/	■ rb											
E		にお	いても	非常に数据 非常に動 知するだ	量なが	て化財で	である	。貴重	な文化	財を住	呆全し	、まれ	= 15	ぉ	いても	非常に	貴重	な文	化財で	である	る。貴重	Eなざ	たいでいていていている。 たん財を付ける。 でも必要が	呆全し、	また
С	≘π																								
ĸ	評																								
	価												1												
74-		刖		改革			え ()		状 況		実施	済	F.	IJΣ		地 東				ත <u>~</u>	き後の	カド			
改革	今		細		包	策		評	価		前		-	_	細		施		策		評	:	価	後	
	後	成果	拡				2		⑤		7			成果	拡										
改善	の	の	現	状維持			3		6	レ	9			の	現	状維持	F						レ		
6	方	方向	縮	小			4		8		10			方 向	縮	小	`							ļ	
方向	向	性	休	廃止	1								_	性	休	廃止									
性	性				皆	減って	縮	小ഹ			拡向	+ 大						皆	減って					拡向燃	大
A	改	企画	長やイ	ペントを	を行う。	コス	\ \ \	1又 ,	入 の	Л	IHJ 13	I.	1		展やイ	ペント	- を作		コス	. 1	坟	八	の方	川竹	
С	革															•		•							
TI	٠																								
0	改善																								
<u>N</u>	善策																								
= 0		压欠		ΩZ =₩∩.	1年2日4	01 🗖	旦 4	≱ ≘ ਜ਼ਾ	エ 主	ル カ	-					ᄯ						, -	<i>/</i>	= .	-
最終	€評	価年.	月日	平成29	9年3月3	51 日	東	ミ 評 1	西 責	仕					又	化財課	技					守	矢	昌 :	文

事務	事第	美名	神長官守	矢史料	¥館図	事販売	ē								事業期間	平成	1	~		年度	整理番号	3 07020307
担当	当部	署	生涯学習	部		3	て化財	課			神長	官守久	史料館		作成担当	者名	柳	Л	英	司	連絡先	73-0300
			プラン 位置づ		政	策体	系		策策策		- - -											
計	予	算	事業名	名守	矢史料	館運	営費									会計:	1 -1	00	款	10	項 <mark>05</mark> 目	06 事業 0
画	事	务事 深にす	業の概 ゕ゚゚゚ゕ゚゚゚ゕ゚゚゙ゕゕ゚゚゙゙゙゙ゕ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	要	矢文書	や諏	訪地	方の歴	史への	の理解	を深め	る上 [・]	で、守夕	天史料館	から刊作	物を角	行し	、地デ	住民	や来館	さい さいかい さいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	助とする。
			と背景	京	矢文 <mark>書</mark> の資料				るため	かには .	. 守矢	家の	歴史やや	于矢文	の解説、	周辺σ	遺跡	・史旨	・天	然記念	物などの	文化財につい
(目	対	受益のために	(E)	館者 料館収	蔵資	料と	周辺の	遺跡・	- 史跡	・天然	記念	物などの	の文化財	t.							
Р	-	象	対象	(も)	矢史料																	
	的	(どん	意 図	か)												5						
L A			・ 方 ½ やって	去	行物をで販売			『神長	官守夕	天史料	雇のし	おり	を 1冊	200円で	・販売し、	『神長	语守	矢史料	非館	辺ガイ	、ドフック	』を1冊800
			行政活動	の結り	具から つ	つくり	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	• 目标	票値部	定のを	きえ方なる	ご 最終目標値
N	評		『神長官したか。				_			しおり	を で と で で で で で で で で で で で で で で で で で	売冊数	女	m	販売冊	数						175
	価指標	指標	『神長官 何冊販売	したな	C 杯 略 / い。	可从/	· / r	· フッ:	/ 』 で		を マ マ ドブ			m	販売冊	数						500
)	の作	成	成り		,,,	果		何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目札	票値割	定のす	きえ方なる	ご 最終目標値
	成	果指	『神長官 数前年度		2料館(かしま	\$ 9]	刊行	物販売	『神 』 しお	夏官守 リ』刊	矢史料 行物則	料館の 反売数	%	今年度	の販売	数/前	介年度	の販	売数		100
		標	『神長官 行物販売	守矢5	と料館/ Emmdp	司辺/ 恵	いンド	ブック	り』刊		を 官守 イドブ			%	今年度	の販売	数/育		の販	売数		100

		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		(a)	円		249, 000	233, 280	416, 000	280, 000
		金	円					
	_酒	金	円					
	地 万	債	円					
	内その他特定財	源	円		249	234		
	訳 一般財	源	円		248, 751	233, 046	416, 000	280, 000
施	職正規職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 25	0. 20
	異│ 嘱 託 職	員	人					
	品 時 職	員	人					
状		計	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 25	0. 20
1		数						
	延利用(者)数((b)						
	単位コスト(a)/((b)	円	_	_	_	_	_
況	受益者負担	額	円					
	市民一人当たりのコス	7	円	_	4. 00	4. 00	7. 00	32. 00
	『神馬中中を中が始め	目標		391	331	425	175	175
	『神長官守矢史料館の しおり』販売冊数	実績	₩	391	309	356	789	175
$\widehat{}$	活	達成率	%	100.00	93. 35	83. 76	450. 86	100.00
	_新 神長官守矢史料館局	目標					500	306
	+ヒ 22 ルイ トノック』 駅元	実績	₩				443	306
D	指 冊数	達成率	%	_	_	_	88. 60	100.00
ויי	標	目標						
	_	実績	_					
		達成率	%	_	_	_	_	_
0	『神長官守矢史料館の	目標	%	100	100	100	100	100
	成 しおり』刊行物販売数	実績	70	79	94	84	451	100
	果割合	達成率	%	79. 03	93. 95	83. 76	450. 86	100.00
	指『神長官守矢史料館周	目標	0/				100	100
	標 辺ガイドブック』刊行	実績	%				89	100
		達成率	%	-	_	_	88. 60	100.00
	備 大史料館周辺ガイドブッ	おり』 ク』は	は平月 、平月	は26年10月に売り切れ は25年10月に売り切れ	た。そのため、平成 た。	27年度の前年度実績	は平成25年度のものと	とした。『神長官守

事務担 追			申長官 生涯学	'守矢史 '習部	料館	図 書		比財課			神	長官を	产失史	料館	1			間 平 当者名	_	1 柳	~ //	英	年度	整理番号		
	期				目	標								三 絹	Ė								課	題		
四	第 1 期	り』)(の販売 別に『守	『矢史料 を行う。 『矢史料 ク』)を『	館居	り辺ガ	「イドブ	ッ ク』 (以下、				イドブ ff、『ガ						·契	約がり	できる	る時期 柱祭	明の関係の里曳	系もあり、『 に間に合	ガイドブッわなかった	ック』 た。
	第 2 期	·[La	おり』と	:『ガイド	ブッ!	ク』の	販売を	行う。		・『しね た。	39] [3	‡261 ₩	ゖ゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙	イドフ	ブック	7』を1	58冊貝	販売し		館者 : いった		かった	た割に	は、刊行物	の販売か	く伸び
期ご	第 3 期	•『La	おり』と	:『ガイド	ブッ!	ク』の	販売を	行う。		・『しまた。	ร り ไเ	‡118 ∏	ゖ゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゙ヺ	イドフ	ブック	7』を9:	5冊販	売し		館者に		かった	た割に	ま、刊行物	の販売が	(伸び
٤	第 4 期	·『しa	おり』と	:『ガイド	ブッ!	ク』の	販売を	行う。		『しお	り』は	73∰、					₩売	した。		館者: Nった		かった	た割に	は、刊行物	の販売か	く伸び
Ø	111		311.77	41.5		18/17	NB 1	±- 1	- 1 18	, ,,		事	中	ā	_	価					_				•	
				、約6 ている						た問題	点や	環境0)変化	今	成果			充			2)	(5	7	
管	ш	, H) (MA JEC	, CV	1913	180.04	., .	11/0	EOU -8					後	あの の		状維	持			3)	(6 レ	9	
_														の	方		i	小			4)	(8	10	
188						-								方	向性		廃	止	1							
4	刊作	物の	在庫0	の管理を	チェ	ックし	、在庫	「がなく	なる期	間を失	くして	いきた	い。	向				$\overline{}$	뱜	減	新	亩	小	現状維持	拡	大
														性												
	刊行物の在庫の管理をチェックし、在庫がなくなる期間を失くしていきたい。 向性 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 <td総合評価判定< td=""> 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定</td総合評価判定<>															<u> </u>										
					2 T			.—	2 1						,	1 1		•			削完		総合	î 計 11	田刊	疋
評				<u>' '</u>							-		_	4	+	'		1			4	1		Α		
	視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判算 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 5 3 4 判定 4 A チェック 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4															かるこ										
価	視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																									
ТШ	評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 日本ので、多くの購入者があるが、『ガイドブック』は比較的高価なので、購入者が少ない。 は とが適当 日本の進め方に改善が必定 に、事業規模・内容・実施主の見直しが必要 カルコード である で、関入者が必要 カルコード では、															拖主体										
~	チェック 4 4 4 4 『しおり』は安価なので、多くの購入者があるが、『ガイドブック』は比較的高価なので、購入者が少ない。 記記号 A:計画どおり事業を進めるとが適当日とが適当日とが適当日にが必要ののに、事業規模・内容・実施主の見直しが必要を表し、事業の統合、休・廃止の見を															Lの検										
С	題																	合評価判		A						
		細施策評価前																44-		Arte				シート整理		20316
н	総	油長	444		他	▽蔵只	東	示を補	計せる			の展え	まわ開	初号	F 年	細中料象	唐初	を歩く	〈 本目	策	Ble	帯の	平)促進に	価 努めた。	後	
E		の史	跡・道	跡を扱	くつた	二 事業	の販う	では重	要であ	る。こ	のた	め、	反売を	促		~174	2 / I-U ACE	٠٠٠	· E D) IE O		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	PC.ZEI	-5305728		
С	台	進す	る ため	た、イ	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ノトな	F 2 21	サウル	安かめ	0 00																
_	評																									
K	価																									
)	Щ	前	年 度	E 改 i	į.	改	善第	きの	実 施	状態	7	実力	も 済	ī	前年	F度糸	田施:	策 評	価に	おけ	ける	今 後	後の方	向性		_
改	今		細		施		策		評	佰	5	前		Ī		細		施		策		ā	Ŧ	価	後	
革	後	成	拉	元	5			2		⑤		7			成	拉	7	充								
改		果の	瑪	状維持	 F			3		6	レ	9			果の		状維	持						レ		
善の	の	方	縮	引				4		8		10			方	綵	š	小								
方	方	向性		、廃业				•		•		•••			向 性		· · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
向	向	1_	<u> </u>	· 廃 业		① 皆	減	縮	小	184	・ 維持	拡			11		、)発	ш	皆	減	ź	宿	ds	現状維持	拡	大
性(性				ı	_	ルスコス		投					`	_	_	_	l	В					現仏維持 の 方	2	^
A	改	書籍	の販売	を行う										1	籍	の販売	を行	う。								
C	革																									
I	· 改																									
0 2	改善																									
Z)	策																									
最終	冬証	価年	月日	ᅏᆑ	29年	3月3	1 F	最 絲	冬評	価 書	任 #	者		- 1		₩	化財	誰作					5	于矢	昌フ	文
4人 小	≺ pT′	,m T	,, 1	17/4		-/10		ᄱᄉ ᆙ	, pr	声 只	1 1	-				^	1077	m 14						. ^		•

事系	务事為	業名	総合博物館	施設	管理:	事業									事業期間	平成	元	~		年度	整理番	号	07020301
担	当部	署	生涯学習部			文	化財	課			博物館	官係		1	作成担当	者名	小	林	健	治	連絡兒	ŧ	73-0300
			プランに 位置づけ	有	政	策体	系	政 施 細 施 事務		06 10		6 生 岳総合	涯を通 博物館		レく学び 売けるこ e								
計	予	算	事 業 名	総合	博物	館施	设管理		7- 21		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			~		会計:	コード	001	款	10	項 05	目(94 事業 03
画	事	務事	業の概要 hかりやすく)		物館施		維持領	理を	すると	共に根	養材等	のメン	ンテナン	ノスを行	い、内外	の美骸	保持	こも百	記慮し)まれる運
	現 (状ど	と背景うして)	耐用	月年数	を超	えた	機械類	などの	修繕及	ひ取	替えり	や、管理	里上美観	を損なう	草木の	手入;	れを行	ju, :	施設の	維持を	実施し	していく。
•	目	対	受益者			らの		5。 里委託	業者														
Р		象	対象(直接働きかける)							++44 *	をおは	田で 書	と Z 128 4	春太继 性	していく								
	的	(どん	意図 はな状態にしたいか)	来飢	諸に	気持	ち良く	(施設:	を利用	はしても	ららう	•			CCIT	•							
L A			・ 方 法 やって)	Ož	き管理	委託		¥務委∣ ■の実				〇展オ		業務委託 守点検委									
			行政活動の	結果	から	つくり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	• 目標	票値設	定の	考え方な	ど晶	長終目標値
N	評	活動指	前庭の芝刈	り込	み回	数				実施回	数				年間目標	票実施	回数						3
	価指	指標																					
<u> </u>	標 の		成果		効	果	は	何	0	指	標	名	称	単位	告山士	2+ _=1	省 十		≖/大 ₹!!	. - Λ =	× = + +	L° ≡	最終目標値
	作成	成果	使いやすく	· 、清					?	指 非 苦情			孙	學 位 %	J						デスカな <mark>館日数</mark>)	三 取	100
		指標	劣化による	機械	トラ	ブルの	発生	回数		トラフ	ブル発:	生回数	¥		年間発	生回数							0

								T+ 00 + + 17 M	
	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円	19, 337, 656	16, 498, 014	15, 043, 272	14, 030, 425	14, 931, 000
	財	国 庫 支 出	金	田					
実	源	県 支 出	金	田					
	内	地方	債	田					
		その他特定財	源	丑					
	訳	一 般 財	源	円	19, 337, 656	16, 498, 014	15, 043, 272	14, 030, 425	14, 931, 000
施	職	正規職	員	人	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
- 100		対象 (者)	数						
			(b)	人	10, 162	11, 001	12, 150		
			(b)	円	1, 903	1, 500	1, 238	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	344. 00	295. 00	270.00	253. 00	310.00
			目標		3	3	3	3	3
		実施回数	実績		3	3	3	3	3
	活		達成率	%	100. 00	100.00	100. 00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	指	_	実績	0/					
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
			目標	_					
			中结						
		_	実績	0.4	_				
		_	達成率	%	_ 100	_ 100	_ 100	_ 100	_ 100
0	成	 非 并接 發生比率	達成率	% %	100	100		100	100
0	成果	非苦情発生比率	達成率 目標 実績	%	100 100	100 100	100	100 100	100 100
0	成果指	非苦情発生比率	達成率 目標 実績 達成率	<mark>%</mark>	100 100 100. 00	100 100 100. 00	100 100. 00	100 100 100. 00	100 100 100.00
0)	果 指		達成率 目標 実績 達成率 目標	%	100 100	100 100	100	100 100	100 100
0)	成果指標	非苦情発生比率	達成率 目標 実績 達成率	% □	100 100 100. 00	100 100 100.00 0	100 100. 00	100 100 100. 00	100 100 100.00
0)	果指標	トラブル発生回数	達成標績率目実成標績率	% % •	100 100 100.00 0	100 100 100.00 0 1 #DIV/0!	100 100.00 0	100 100 100.00 0	100 100 100.00 0
0)	果 指		達成標績率目実成標績率	% % •	100 100 100.00 0	100 100 100.00 0 1 #DIV/0!	100 100.00 0	100 100 100.00 0	100 100 100.00 0

	多事 美 当 部	集名 総合	博物館学習		管理事				事業期 に出わり							整理番号 連絡先		020301 3-0300						
担	_	3 者 生涯	子首				比財課			係		1	F成担	自有名	小	林	1	建治		建 給尤	/3	-0300		
	期			E	標						実	1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100	į							語	果点	題		
四	1	設備管理 警備委託 草刈り委	£業務(の年間	計画研	記と多	注	注	管理上がいて、適を実施し	切な時							委託第	後務σ.	内署	容見直し	•			
半期	2	委託業務 照明器 適切な飢	Į·誘導	灯なと	の点	食と交	9		委託業務 誘導灯を 温度管理	上点検し	、必要	こより	速	やかに	交換し	た。	経費削	削減の	方法	去検討				
£ 1	3	委託業務 照明器 適切な飢	L·誘導	灯なと	₹の点	食と交	9		委託業務 誘導灯を 温度管理	を点検し	、必要	により	速	やかに	交換し	た。	老朽化	比対策	<u></u> တ	下断の相	食討			
٤	第 4 期	展示ジオ 照明器 適切な飢	Į·誘導	灯なと	での点				展示ジオの維持に			トンス	を写	実施し	、展示	環境	経費削	削減の	方法	去検討				
Ø										事	中	ñ	Ŧ	価										
									た問題点	や環境	の変化	今	成		5	充			2		(5)	7	
	照明	設備の	色朽化	に伴う	更新計	画の相	質討が必	必要。				後	果の		状維	持			3		6) レ	9	
管													方	<u> </u>										
		∜ r <i>F</i> r	- -		1 -	マ 公 田	- 	生 /コ	 	¥ //r \	方	向]		小			4		8) 	10		
理	<u></u>				「圃。		*水争	貝(以	女革・改善	苦朿)	性	<u> 1</u> 7	廃.	止 (<u> </u>				<u> </u>		<u> </u>			
		7117411		•									皆	減	縮	小	瑪	秋維持	拡	大				
											_ ا	/			⊐	ス	۲	投	入	の方	向	性		
		評価年度	-	뵐																				
	衬		<u> </u>		効	率	4	生		総	合	評 佃	i 半!	定										
		の観点	1	妥 2	2 1	2	1	2	3	1 4	半判:	ŧ	形态		a十 1 加	l †!	上							
評		ェック			3	4	-	1 2	-			_		T'J.	Ų			Α						
		経年劣化	とによ	る設備	る。	,		l	1			A		画どおり事	業を:	進めるこ								
										記 号 B		が適当 業の進め力	- 1 - Pb :	盖が必要										
価	課									の c	:事	業規模・内	容・											
~										定 義 D	:事	見直しが必 業の統合、		廃止の検										
	題									前年度		が必要 合評価判別	ŧ	Α										
С																	一卜整理都							
н			細	施	ī	策		評	価	Ī	ij			細		施		策		評		価	後	
_	総	施設が	朽化	してい	るため	、メ:	ンテナ	ンスに	気を配り	、早め	に修繕	すぇ	館	者に	礼持ち	良く旅	設を利	用し	ても	らうた	eb.	老朽化	してし	いる施設
E	合	ることに	こより	出費を	押える	0.						O.	メ	ンテ	トンス	こ気を	配り、	早め	の情	碁繕を 行	エ フ。			
С																								
	評																							
K	価																							
)	Щ	前年	度改	7 革	• 改	善角	きの!	実 施	: 状 況			Ī	前右	年度:	細施負	ŧ 評 ſ	西にお	; t .	3 9	後の	方「	句性	_	
改	今		細	施	<u>.</u>	策		評	価	Ī	前			細		施		策		評		価	後	
革		成	拡	充			2		5	7)		成	ŧ	<u>t</u>	充					Ī			
改	後	果 *****	現状網	# 生	ļ		3			<u>و</u> ر			果	∓	見状維持	 ±						レ		
改善	の	の 方					ļ			·····i			の方								-			
のナ	方	向	縮	小			4		8	Œ	V		向	*	百	<u>ا</u>							ļ	
の方向	向	性 	休廃	止	1								性		木 廃 .									
性	性				皆	減	縮	小 +元	現状維			₹						減っ	縮	小 +元		見状維持	拡	
Â	改	施設が	· 村化	してお	り、金	コ ス 額の			入 の : <mark>ハらないよ</mark>		性 ·テナン	スが	設	が老	万化に	よる多		経料				の 方 <mark>ように注</mark> :	向 まする	
С	革	に気を配	己りたり	い。施	設管理	[を委	モして	いる業	権と緊密			あ	理	業者	上連携	し、僧	経費の	縮小	にす	みめる。	博物	勿館改修	計画と	連動さ
T		い、修和	責の	帽小に	ンぼカ	·ወፚ՝	ノ労の・	0 .				ľ	来	思性	- 必要	ı±ζ,	付术訂		/d :	ンに中で	ごが色音	役の管理(~穷6	つる。
0	改	<u>x</u>																						
Z)	善																							
	策																							
			[年月日 平成29年3月31日 最終評価責任者												化財	8 =					守	矢	昌	文

			資料収集・	果管:	事業										事業期	間平	成	21	~		年月	度 整	建理番号	07020302
担:	当 部	署	生涯学習部			文	化財	課			博物館	官係			作成担	当者名	i i	卯	Л	英	司	ì	連絡先	73-0300
	市おり	民 : ナる	プランに 位置づけ	有	政贸	6 体	系 -	政 施 細 施 事務		06 10	第6 貫	5 生 5総合	涯を通	じて楽 じ学び の充実										
計	求	笛	事業名					争伤:	尹禾	US	具科V	八以牙	* ' 体	争未		<u></u>	計コ-	_ K	00	生	10	項	05 🗏	05 事業 0
画	事者	<u>··</u> 務 事	ず 来 石 : 業 の 概 要 _{わかりやす} ()	自然	型や影	史・月	合俗な	\$どの:	資料を	収集	保管	し活	用する。	•			п		1 00	TSA	(10	快	<u>оо ра</u>	00 T * 0
			と 背 景うして)			然やな	化力	が自然	環境の	変化や	や開発	、生	舌の習情	貫の変化	により	失われ	れてい	١ < .						
^	目	対	(誰のために)		を中	ひとし	った目	然や	歴史な	どの3	文化財													
Р		象	対象 (直接働きかける)						き継ぐ															
	的	(どん	意図な状態にしたいか)																					
L A			・ 方 法 やって)	- 12	物館	ていまい できない できない はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	Ν, E	常業	務とし	て行う	ō.													
			行政活動の紀	結果:	からつ	くり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出	方法·	計算	式	・目	票値割	殳定の	考え	方など	最終目標的
N	評価	活動指	どのくらい	資料	を収集	した	か			所有資	料数			点	年度	末にお	ける	所有	資料	の総	数			120, 000
)	指標の	標																						
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出	方法·	計算	式	・目	票値討	殳定の	考え	方など	最終目標的
	成	果指標	収蔵資料の	台帳	化					台帳化	二本			%	所有	資料数	(÷台	帳化	数×	100				100
		徖																						

								平成28年度(予算	平成29年度
	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	又は決算額)	事業計画 (予算)
	=		(a)	円	13, 617, 067	140, 616	161, 462	2, 903, 258	264, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円	13, 440, 000				
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	177, 067	140, 616	161, 462	2, 903, 258	264, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 15
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	I	人	0. 05	0. 05	0. 05	0. 05	0. 15
状	数	合	計	人	0. 15	0. 15	0. 15	0. 15	0. 30
1/	Ż		数						
			(b)						
	È	単位 コ ス ト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	5	受益者負担	額	円					
	Ī	5民一人当たりのコス	, ,	円	243. 00	3. 00	3. 00	52. 00	30. 00
			目標	点	120, 000	120, 000	120, 000	120, 000	120, 000
		所有資料数	実績	ж	33, 246	2, 908	3, 711	7, 800	7, 000
\frown	活		達成率	%	27. 71	2. 42	3. 09	6. 50	5. 83
	動		目標						
	指	_	実績						
D	招標		達成率	%	-	_	-	_	_
	慓		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	,		目標 実績	%	18, 000	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000
	成	台帳化率			33, 246	2, 940	3, 711	7, 800	3, 000
	果		達成率	%	184. 70	98. 00	123. 70	260. 00	100.00
J	指		目標	_					
	標	_	実績		·		·		
			達成率	%	_	-	-	_	_
	備	平成20年から台帳化率に	変更す	-る。					
	ν m	市民プランの細施策にお	いて植	断的な	『事務事業である。対	象細施策の政策体系	番号 03050103		

事務	事	業名	資料	収集	・保管	事業									事	業期	間平	成	21 -	~	年	度	整理番号	07020302
担:	当 剖	『署	生涯	学習	邹		文化	比財課			博物	馆係			作	成担	当者名	i †	jp Ji	1 3	支 司		連絡先	73-0300
	期				E] 標						5	実	績							=	果是	頁	
四	第 1 期				古文書	類の書	を理を行		う。			の整理を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	行う	が、	100点分	 ₹り。		企画	展等、	様々	作業を	行うi	旦当者が	ー人のため、 になかなか
半期	第 2 期	•館	こ送作	始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 今 は理は、解読することのできる担当が1人のため、他の業務と並行しくので、進捗が遅くなる。 後 「在度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方向性 空いている時間に業務を行っていく。 向性 要 当年度 点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 点 1 2 3 4 判定 1 4 4 り														企画	ī展等、	様々		で、		一人のため、 になかなか
נו א	第 3 期	·館	こ送付	tされ	た図書	類の彗	と理作	業を行		·寄贈区	4	理点数	44点		理点数	は18	0点。	企画手が	展等、付け	様々られな	な業務	で、: 。	文書整理	一人のため、になかなか
٤	第 4 期								う。				61点					作業・他(場が	確保で	きさない	١,		がなく、整理
Ø											事	•		評	価									
													_ =				充			2		(5)		7
Ade								担当の	い人の	ため、他	の業物	と业打				.状維	持			3		6	レ	9
管															·		小			4		8		10
			斩年	使の	宇体計	- 画	予 質理	百(水	苗。內:	F	ī]			<u> </u>		4		•		100				
理	-小									平 以	王 111	廃	т_	1										
															皆	減	縮				拡大			
												ا!	/			⊐	ス	۲	投	入	の方	向 性		
	性 コスト投入の方向性 評価年度 当年度 様 有 効 性 効 率 性 総合評価判定																							
	評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																							
				1				2 1		1 1		•			宁	心		計加	刊					
評				<u>'</u>		-			'		"		'		-	12-7	-				Α			
億 (0	視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定																							
н			á	8	施	ī	策		評	価		前			細		施		策		評		価	後
ш с к)	総合評価	貴重	な資	料を	る資料	·は、茅 、展 ^元	野市I など	ことっ をし、	ていず 活用で			料である る。		とり情報	¢に遺さ ってのa	本的な報告	いる な業績 されが 、緊	答であ たりし 急に対	り、 d ている 応する	今後も るため る必要	■・保管 ・継続し ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ンでし 曽・岩 る。	見示する。 いく。なお 引託による	ことは博物館 お、世代替材 る資料収集は
7h		נים											<u>- </u>	נים		ш //65		<u>ш</u> 1С		0 /	-	73 1-		
改革	今		ŕ		施	1	策	1	評	価	:	前			細		施		策	:	評	-	価	後
	後	成果		拡	充			2		⑤		7		成果			充							
改善	の	の		現状網	維持			3		6	レ(9		のの		状維	持						レ	
曹の	方	方向	i	縮	小			4		8	(10		方向		i	小							
方		向性		休 廃	上	1								向性			止							
向性	向		_		_	皆	減	縮	小	現状約	持	拡	大					皆	減	縮	小	ŦE		拡大
性(性		_	_		. "				入の] 性	``						コルス				の方	
ACTIOZ)	改革・改善策	資料	整理	を進	める。									資米	整理と	寄贈	・寄	托業務	を進め	かる。				
最終	冬評	価年	月日	3	平成29	年3月3	B1 B	最 終	評(西責任	[者				文	化財	課長				T	守	矢	昌文
	≺ ¤T	ш +	ЛЦ	_	1-19623	TVA	· H	以 小	; pT l		- Н					(Kul	环区					*1		

事務	事第	名	特別展等	事業											事業期間	間 平原	t 1	~		年度	整理番号	0702	0306
担:	当部	署	生涯学習	部			文化	財課			博物館	官係			作成担	当者名	小	林	健	治	連絡先	73-0	300
計画	市おり予事情	民ナる	プランでである。	にける 名 教本 ①	(育普) (領望	及· 事業 設展 会事	体展は・業	政施細事がははは、	に分か 崔事業.	れてし 」②「	第3章 第6章 神長 常 常 で 記 た た た た た た た た た た た た た た た た た た	年 生生矢 かいまた ままま ままま かんしゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	注 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	通じて楽 通じ学び。 官の充実 閉催事業 に多くの 美評価会開	教育機施合した	が続ける ことので 会記 会を提 こもので 」 ③ 「	さった。	気で心学習機	 1 款 的な D フラフ	な市民 充実と (10 長示会を	を育む場の提供	04 事 いく。 支援事業	* 10 * 5
(ф ј	自的手	対象 ほん	とし 受能 対策働 図 図 方 て で で で で で で で で で で で で で で で で で で	京の者にはから	は活に民全	体及	び来加	者。													を開催9		
A Z	評価指標	活	行政活動 計画した していく	-事業								名	称	単位 %		損なさ					考え方なる 業数÷計	最終目	100
)	停の作成	成果指標	成 入館者 數	果 · 牧を増	交 け さ II		見 は	: 何	?	指 入館:	標 者数増 加	名 加率	称	単位%		方法・ 建入館 者					考え方なる	最終目	105

	-			単位	亚式0.5 左连	亚戊瓦东东东	亚代 0.7 左连	平成28年度(予算	平成29年度
	Į		目	甲世	平成25年度	平成26年度	平成27年度	又は決算額)	事業計画 (予算)
	=	, ,, ,,	(a)	円		1, 098, 968	922, 961	1, 077, 538	1, 147, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
		その他特定財	源	円		416, 000	377, 700	437, 000	431, 000
	訳	一 般 財	源	円		682, 968	545, 261	640, 538	716, 000
施	職	正 規 職	員	人		0. 30	0. 30	0. 60	0. 60
	員	嘱 託 職	員	人		0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
		臨 時 職	員	人		0. 25	0. 30	0. 20	0. 20
状	数	合	計	人		0. 65	0. 70	0. 90	0. 90
1/	Ż		数						
	3		(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況	Š		額	円					
		5民一人当たりのコス		円	_	20.00	17. 00	19.00	114.00
			目標	96		100	100	100	100
		事業実施率	実績			100	100	100	100
	活		達成率	%	_	100.00	100.00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	動指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	_		_
	175		目標	_					
		_	実績						
_			達成率	%	_	-	-	-	-
0	-1:	The state of the s	目標	96		105	105	105	105
	成	入館者数増加率	実績			108	110	111	105
	果		達成率	%	_	102. 86	104. 76	105. 71	100. 00
$\overline{}$	指		目標						
	標	_	実績達成率	%					
			连队平	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	7								

期 事業 要要権・各種議立の上に任職権	事務	事業	業名	寺別用	等事	業										事	業期	間平	戓	1 -	~	年	度	೬理番号	07020	0306
### 中央 ・	担	当部	『署 💆	生涯学	普雷部			文化	比財課			博物	館係			作	成担	当者名	/	丶 材	人	治		連絡先	73-0	300
1 日 調楽書・電池報告・企業報金・古文書解析		期				E	標						9	実 績	Ę							調	果 題	į		
19	四	第 1	講演	会・自	東														握を	心掛け	けたい	。科学				
第一会	半期	2	開催講演	会・自	・自然観察会・星空観察会・古文書関係 ・自然観察会・星空観察会・古文書関係 関係事業・裂き 連講座の開催 『研究創意工夫展』の開催 会・星空観察会・古文書関係事業・裂き 連講座の開催 『博物館活動発表展』の開催 ・自然観察会・星空観察会・古文書関係 ・自然観察会・星空観察会・古文書関係 とき織・各種講座の開催 事中 音後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 事中 音後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・自然の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 配念事業 第1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 4 4														テーと、業	マ設定	≧を心: 市民=	掛けた ニーズの	い。定 D把握	劉の事 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	業の見 <mark>正</mark> ナたい。	直し
2		3	然観響	察会·	星空	見察会												人	直し、学教	。新た 育の	な市民	ミニー: 繋がる	くの把 事業	握を心を充実さ	掛けたい せたい。	、科
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化	٤	4	講演	会・自	然観察	?会 •	星空観	察会		関係	企画展 計画し	『博物 た事業	を全て実	施する	るこ	とがで	数87 きた。	7人	見直特に	し。新 科学	たなず	「民二-	ーズの)把握を	心掛けた	とい。
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	Ø	.1. 4	-	311.20	41		7 1869	\B.I	±~ 1 .	- 1 18	, 00 or	-	•		_						•					
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) カ		当年	年度開	始後	、約6	うケト	月が経	過し、	新たり	に生じ	た問題点	たや環	境の変化	今				充			2		5		7	
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 開館30周年配金事業	答														状維:	持			3		6	レ	9			
新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 内 性 休 廃 止																	小 小			4	••••••	8	••••••	10		
開館30周年配急事業	****		亲	折年度	きの実	施計	画•	予算要	求事	項(改	革・改	善策))			廃	ıŁ (<u>1</u>)								
性	理	開館	官30周:	年記念	念事業														減	縮	ıl\	現:	火維持	拡		
PF価年度 当年度 現 点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判定 子																					-					
視点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総合評価判定				年記念事業 向 性 手度 当年度																	'	12		,, ,,	ורים ו-	_
Part		ı	「向																							
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##			性														判	定								
企画展の内容を充実させるためには、早期計画が必要である。 記	評				1	2	3	4	1	Ē 1	2	3	2	1	2	3	4					A				
語					- 京本	女虫	+ ± 2	+ 10			画表為	15 -7: ±						4	+	ΙΔ	· 計画		業を准々	カス. -		
## 終	垣 (0		視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判算 平価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定														も主体 上の検									
#																					ī					10603
Description	Н	緃		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					L 14.1-			7	前				महार्थ <i>च</i> ए		Ari o	7.14						. 7 4
# ・	E C K)	合評										•		ď	oi:	必要で	ある	•							<u>"</u>	015
後 の 方向 性 体廃止 ①	改	۵		細		施		策		評	価		前			細		施		策		評	1	価	後	
現状維持 ③ ⑥ レ ⑨ 現状維持 レ □ □ □ □ □ □ □ □ □	革		成	拉	4				2						成.	拡										
の 方向 縮 小 ④ ⑧ ⑪ 方向 性 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 む は 体 廃 止 む は 休 廃 止 む は か 現状維持 拡 大 は か カ 向 性 か カ カ 向 性 か カ カ の 方 向 性 か カ カ の 方 向 性 か 単 の 専門性をより高めるようのJTにて研修を深める。	改		果						.j			レ			果									レ		
方 向 他 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ① 性 休 廃 止 ② は は 休 廃 止 ② は は 休 廃 止 ② は は 休 廃 止 ② は は 休 廃 止 ② は は 休 廃 止 ② は は 休 廃 止 ② は は は な は は な な が ま は な な さ さ な き 策	善								.j		ļ <u>.</u>	-												-		
では では では では では では では では	の方	方	向		-		•		••		•		UV		向											
性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 カスト投入の方向性 な 職員の専門性をより高めるようOJTにて研修を深める。	向	向	Ί±	17) 発 .	E .	_	ظيره	64	.1	TEL IN A	# ++	<u>+</u> -		Ι±	1不	発 」	r r	t:		¢r±	.1.	70	11:04:1-	**	
A 改 職員の専門性をより高めるようOJTにて研修を深める。 革 · 改 善 数 善 策員の専門性をより高めるようOJTにて研修を深める。	性	性			_		百							^			_									
C	Â	否	職員の	の専門	門性を	より	高める						11	聯	損	の専門	性を	より清							. , 11	
I · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	C				_											-	_	-								
o 改 N 善 策	T																									
策	ò																									
		_	ı																							
最終評価年月日 平成29年3月31日 最終評価責任者 文化 財課長 守 矢 昌 文) Z)																									
	X)	策																								

事	務事	業名	八ヶ	·嶽岳i	建文芸	館事	集									事業期間	平成	12	~		年度	整理番号	07020303
担	当日	部署	生涯	学習	邯		Ž	て化財	課			博物館	條			作成担当	者名	柳	Л	英	司	連絡先	73-0300
				ンに置づけ		政	策体	系	政 施 細 旅 事務:		06 10	第6節 八ヶ岳	生	涯を通 博物館								を育む 場の提供	
Ħ		予 算	事	業名	i					1	- L						会計:	コード	00	1 款	10	項 <mark>05</mark> 目	05 事業 05
運	(1	·務 雪	事 業(わかり	の 概 <u>}</u> ゃすく	要郷	土の文	芸を	紹介	してい	る。							:人、俳	人、	文人	達の文	化資料		
	Į	見状	うし	背 景. て)	ŧ		• • •			•	ながる	館と	して平	₹成12	2年10	月に設置	された	•					
	目	対		益 者	.)		及び	博物	館来館	者													
P		象		象 働きかける	5)															a de			A
	的	(۲.	意んな状態	図 にしたいか	n)																の調査	・研究を	行う。
L	∃ (方 法 って)	ま	会計コード 001 款 10 項 05 目 05 日 05 日																	
			行政	活動の	の結果	からつ	つくり	りだす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目 [‡]	標値割	足定の表	きえ方なと	最終目標値
N		活動	文芸	館の	展示者	えを	うう				展示替	え実	施回数	l		年間展	示替え	数					5
	価 指 標	標																					
_	へ 作		Ŀ	大 果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	• 目	標値割	定のを	きえ方など	最終目標値
	成	果指	年間	入館	者数を	増加	させる	5			年間入	館者	数		人	文芸館	を含む	総合博	物質	年間	総入館	者数	15, 000
		標																					

		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
帽		(a)	円	1, 204, 343	750, 875	282, 273	141, 748	174, 000
財		金	円					
	県 支 出	金						
	地方		円					
	その他特定財	源						
訳	一 般 財	源	円	1, 204, 343	750, 875	282, 273	141, 748	174, 000
膱	正規職	員	人	0. 06	0. 06	0. 10	0. 10	0. 10
	嘱 託 職	員	人					
	臨 時 職	員	人	0. 52	0. 52	0. 10	0. 10	0. 10
数	合	計	人	0. 58	0. 58	0. 20	0. 20	0. 20
		数						
		(b)						
肖			円	-	_	-	-	-
		額	円					
ī	市民一人当たりのコス		円	21.00	13. 00	5. 00	3. 00	20. 00
		目標	3	5	5	5	5	5
	展示替え実施回数		-	_	•		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5
汪			%	40. 00	60. 00	100.00	100. 00	100.00
新		目標						
指	_							
ты								
1 ==		達成率	%	_	_	_	_	_
標		目標	%	-	_	-	_	_
標	_	目標実績	% _	_	_		_	_
標	_	目標 実績 達成率	% - %	_	_		_	_
標	_	目標 実績 達成率	- %			 15, 000	— 15, 000	
標成	年間入館者数	目標 実績 達成率 目標 実績	- % 人	- 15, 000 10, 162	- 15, 000 11, 001		- 15, 000 12, 150	- 15, 000 10, 000
標成果	年間入館者数	目標 実成率 目標 達成率 達成率	- %			 15, 000	— 15, 000	
標成果指	年間入館者数		- % 人	- 15, 000 10, 162	- 15, 000 11, 001		- 15, 000 12, 150	- 15, 000 10, 000
標成果	年間入館者数	目集 実成標 実成標 実成標標 実成標標	- % 人 % -	- 15, 000 10, 162	- 15, 000 11, 001		- 15, 000 12, 150	- 15, 000 10, 000
標成果指標	_	目 実成標 達成標 養成標 養成標 養成標 養成標 養成本	- % 人 % - %	- 15, 000 10, 162 67, 75	- 15,000 11,001 73.34	15, 000 8, 649 57. 66	- 15, 000 12, 150	- 15, 000 10, 000
標成果指標	ー 年間入館者数 ー 市民プランの細施策にお	目 実成標 達成標 養成標 養成標 養成標 養成標 養成本	- % 人 % - %	- 15, 000 10, 162 67, 75	- 15,000 11,001 73.34	15, 000 8, 649 57. 66	15, 000 12, 150 81. 00	15, 000 10, 000 66. 67
	財源内訳 職員数 一 活動	財 国 庫 支 出 出 県 支 出 出 県 東 支 出 出 県 東 支 出 出 明 東 支 出 出 中 そ の 他 般 財 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 職 本	事 業 費 等 (a) 財源	事業費等(a) 円 財源 内訳 庫支出金 円 県支出金 円 県支 出金 円 根地 方 債 円 その他特定財源 円 一般 財源 円 正規 職員 人人 監 時職員 人人 監 時職員 人人 が 象 (者)数(b) 単位 スト(a)/(b) 円 要 者 負 担 額 円 下展一人当たりのコスト 円 展示替え実施回数 達成率 %	事業費等(a)円 1,204,343 財源内 東支出金円 県支出金円 地方債円 その他特定財源円 一般財源円 1,204,343 正規職員人 0.06 嘱託職員人 0.52 合計人 0.52 方象(者)数 1 延利用(者)数(b) 0.58 対象(者) 1 運利用(者)数(b) 0.58 対象(力) 0.58 大線(力) 0.	事業費等(a)円 1,204,343 750,875 財源内 東支出金円 地方債円 円 その他特定財源円 1,204,343 750,875 正規職員人 0.06 0.06 嘱託職員人 0.052 0.52 合計人 0.58 0.58 対象(者)数 40.00 13.00 運が替え実施回数 1月標度 1月標度 展示替え実施回数 1月標度 1月標度 日標度 1月標度 1月度 日標度 1月度 1月度 1月度 1月度 1月度 1月度	事業費等(a) 円 1,204,343 750,875 282,273 財源内内設計 東支出金円 中央 中央 セカケー 日標支出金円 中央 中央 セの他特定財源円 1,204,343 750,875 282,273 職員人のの6 0.06 0.06 0.10 場所を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	事業費等(a) 円 1,204,343 750,875 282,273 141,748 財源内別

事務	8事	業名	八ヶ棚	k 岳 麓	文芸	館事	ŧ							Ę	集期	間平	或 1 <mark>2</mark>	~		年度	整理番号	07020303
担:	当	8署	生涯的	台图书	3		文化	比財課			博物	館係		1	F成担 :	当者名	柳	Л	英	司	連絡先	73-0300
	期					目 標	5					5	尾 績							課	題	
凹	第 1 期	企画	展「御	柱祭	」を開	催する	5.					祭」を3月 ,042人の				で開催		見に関いる		イベント	は、1回のギ	・ヤラリートー
半期	第 2 期	常設	展を行	ī う。						月28日	まで開	茂 蝶コl 催するか 彦を中/	、展示	ケース	で仕切	IJ.	文芸館かった		方で	あったた	−め、入り口	がわかりづら
Ľ, ≝	第 3 期	企画	展「矢	-崎虎	夫と原	原天明	」を開催	置する。				虎夫と原 し、期間									プリートーク きだったか。	ウの他に、第3 ・
٢	第 4 期		と展を 可展「†			会画」を	開催す	る。		後、岩	波其残 日から	、企画展 と小平雪 5月31日 開催した。	人の常 までの 。	設展に 予定で1	する。 企画展			町」の見	星示块			画展「博物館 展の入り口が
Ø			B 1 1. 22	41		- 1840	7.70.1	±- 1	- 1 18	, 00 or	事	中	評									
	の 方 縮 小 ④ ® ⑩ 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方 性 休 廃 止 ①														Ø							
管	企画展御柱祭」展のイベントはギャラリートークは1回だけだったので、集客が伸び悩んだ。 (4) (5) レ (9) 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 大性、休廃止 (1)															9						
		新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 大きに関連しない展示も積極的に文芸館の展示ケースを活用して行ってい																(4		8	10
THE												・ 廃	止 (1)								
理	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方 病 小 (4) (8) ① 文芸に関連しない展示も積極的に文芸館の展示ケースを活用して行っていきたいが、その間の常設展の方法を考えていく。 市 皆 減 縮 小 現状維持 折															拡 大						
	<i>C1</i> .	_0./3-	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 関連しない展示も積極的に文芸館の展示ケースを活用して行ってい が、その間の常設展の方法を考えていく。 西年度 当年度																			
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 文芸に関連しない展示も積極的に文芸館の展示ケースを活用して行っていきたいが、その間の常設展の方法を考えていく。														1-7							
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方性 休廃止 ① 文芸に関連しない展示も積極的に文芸館の展示ケースを活用して行っていきたいが、その間の常設展の方法を考えていく。 皆減縮小現状維持拡大コスト投入の方向性 評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定																					
	文芸に関連しない展示も積極的に文芸館の展示ケースを活用して行っていきたいが、その間の常設展の方法を考えていく。 向性 皆減縮小規状維持拡大コスト投入の方向性 評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																					
評				1	2	3	4		Ē 1	2	3	4		1	2	3	4				Δ	
	きたいが、その間の常設展の方法を考えていく。 回性 当年度 では、点のでは、ままりを表現します。 当年度 では、点のでは、ままりを表現します。 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 5 4 1 2 3 4 1														『業た准める『							
価 (文芸に関連しない展示も積極的に文芸館の展示ケースを活用して行っていきたいが、その間の常設展の方法を考えていく。 向性 皆減縮小規状維持拡大コスト投入の方向性 評価年度 当年度 視点 妥 当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																					
С	<i>1</i> 23																		<u> </u>		総合評価判	
			A =	_		_	-					**		Am	•	-44						舒 06010607
Н	総	抽動	細値の		加		策 (大量元:	でおる	評ので	上山企	面屋を	前 充実させ	ナマヤ	単館でん		施		策 オス:		評してきた	価	後
ш о к)	合評価	いき	たい。	•						状況				「年度;								
改			細	1	ħ		策		評	価		前		細		施		策		評	価	後
改革	今	-1:		<u>.</u> 広	充	<u>ت</u>	ж	2	Пſ	<u>тш</u>		7				充		~		a i	ιμι	EX.
改	後	成果						.j		-	j.		زِ	Į								
善	တ	の方		見状維				3		6	·····i	9		·······	見状維持						ν	
の +	方	向	新	宿 	小			4		8		10		与 "		小						
方向	向	性	t	木 廃	止	1							1	生 (t (t	木廃.	止						
性	性		_	_	_	皆	減	縮・	小				大		_			減_	縮	小		拡大
^			展を	月 /半!	71	17	コ フ	\	投	入の	方「	可性		き続き1	े कि 🖃	た 即 A		ス	١	投入	、の方	问 性
C	改革	正阊	皮で	が正し	<i>-</i> (ادا	C 収(で)	上凹版	で開作	<u>.</u> U (l	. ` ` o				
Ţ	#																					
I 0	改																					
N	善																					
J	策																					
最終	冬評	価年	月日	21/	成29	9年3月	31日	最 終	> 評	価 責 化	壬 者			₹	化財	課長					守 矢	昌文
	- 41	-	–			/1		~~ ·	- н1	, , ,	- 1				~/71	-1-2					<u>. ^ </u>	_ ^

事系	務事 簿		市民研究員	養成	事業										事業期間		τ <mark>20</mark>	~		年度	整理番	号	07020304
担	当部	署	生涯学習部			艾	化則	課			博物館	官係			作成担当	者名	渡	辺 🃜	由	子	連絡	先	73-0300
			プランに 位置づけ	有	政	策体	系	政 施 細 が 事務		06 10	第6 0 八ヶ日	5 生 5総合	涯を通 博物館		しく学び 続けるこ 集							其	
計	予	算	事 業 名	市月	研究	員養	求事	集費		l.						会計	トコート	001	款	10	項 05	目	05 事業 06
画	事意	務事	· 業の概要 ph がりゃすく)												促したい								
			と背景	また	=、博	物館	舌動:	を一層	活発に	格資料 したし		書がる	59、 1	その有効	活用が求	めら	れてい	る 。					
	目	対	受益者 (誰のために)	博物	加館を	利用	する-	一般市	民。														
Р		象	対象 (直接働きかける)	博物	館の	テー	マで	ある茅	野市の	自然、				集、民俗	に関心の	ある	一般市	民。					
	的	(どん	意図な状態にしたいか)																				
L A			・ 方 法 やって)		研究	員を	菱 成 [。]	する講	座を開	催し、	譚演	会への	の出席、	調査実	習活動に	参加	し、諜	程を修	ा ज	ると、	市民研	究員	認定証を交
			行政活動の約	結果:	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・	計算式	・目標	植設	定の	考え方な	ょど	最終目標値
N	評	活動指	市民研究員	養成	講座					参加者	数			人									30
<u> </u>	価指標の	標																					
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・	計算式	• 目標	傾設	定の	考え方な	ょど	最終目標値
	成	果 指	研究目標							研究テ	- -ਵ			個									10
		標																					

								1	
	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-	事業費等	(a)	円	509, 862	535, 219	1, 141, 156	509, 862	625, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財		円					
	訳	一 般 財	源	円	509, 862	535, 219	1, 141, 156	509, 862	625, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30	0. 30
	員	嘱 託 職	員	人	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40
		臨 時 職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20
状	数	合	計	人	0. 90	0. 90	0. 90	0. 90	0. 90
-		対象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円	0.00	40.00		0.00	70.00
		市民一人当たりのコス		円	9. 00	10.00	20. 00	9. 00	78. 00
			目標	人	30	30	30	30	30
		参加者数	実績		41	41	41	41	30
	活		達成率	%	136. 67	136. 67	136. 67	136. 67	100.00
	動指		目標	_					
	指	-	実績達成率	0.4					
D	標			%	-	_	_	_	_
	10.24		目標 実績	_					
		_	達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		10	10	10	10	10
O	成	研究テーマ	実績	個	5	5	5	5	5
	鱼	WI 36 7 X	達成率	%	50, 00	50.00	50, 00	50, 00	50, 00
	果指		目標	70	00.00	50.00	55.00	50.00	00.00
)	標	_	実績	_					
	尓		達成率	%	_	_	_	_	_
		市民プランの細施策にお							
	備	- I C - C - C - C - C - C - C - C - C			~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	SOLUTION DESIGNATION OF THE STATE PARTY OF THE STATE OF T	. _{EE} - J		
	考								
	.,								

						事業	文化	上財課			博	物館係									~ ! 真	由	年度	整理番号 連絡先		
	期				E	目 標							実	績	į								課	題		
四	第 1 期	著 生涯学習部 文化財課 博物館係 作成担当者名 渡 辺 真 由																偿・調査・	·研							
半	第 2 期	実施の他	性理学習部 文化財課 博物館係 作成担当者名 渡 5 日 標 実 積																			管∙調査∙	· 研			
期ご	第 3 期	実施の他	レープ月1回程度の定期的な活動を計画・ 、都度、市民研究員通信を発行する。そ の学習機会(自然科学館見学会・自然観 演会・天文講演会)を企画・実施する。 レープ月1回程度の定期的な活動を計画・ 、都度、市民研究員通信を発行する。その学習機会(自然科学館見学会・自然観 演会・天文講演会)を企画・実施する。 事中 評価 対後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 対後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・実験工作G9回活動発表展3/20 ・事中 ・評価 対後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 ・ 表 の方向性 ・ なき・みの使命である、収集・保管・調査・研究活動に即した活動が望ま ・ 大・廃・向性 ・ 大・廃・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・														天文	G 3							・調査・	· or
۲	第 4 期	実施の他	し、都 の学習	度、it g機会	で で で で し に し に し に し に し に り に り に り に り に り に	「究員) 然科学	通信を 館見学	発行す 会・自	る。そ 然観	回、美	建験工	作G 9回		1, 5	グG	i 40,	天文	G 5	分野館の	予を拡)活性	大し、	さら 目指	に多く す。	の認定者	を目指し、	博物
_O												•	•	Ē	F											
	当	年度開	始後	、約	6ヶ)	月が経	過し、	新た	に生じ	た問題	点や球	環境の	変化	今		拡	3	仓			2			⑤	7	
管			後 の 現状維持の 方 縮 小 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方 性 休 廃 止															寺			3			⑥ レ	9	
			新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 「内」 「大」 「大」 「大」 「内」 「大」 「内」 「大」 「内」 「大」 「大」 「性」 「大」 「性」 「大」															J,			4			8	10	
理			新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 方 は本来の使命である、収集・保管・調査・研究活動に即した活動が望ま 向															L (D							
			新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大																皆	減	統	ì	小	現状維持	拡	大
			下来の使命である、収集・保管・調査・研究活動に即した活動が望ま 向 性																	ı z	-	・	と入	、の方	向 性	ŧ
		博物館本来の使命である、収集・保管・調査・研究活動に即した活動が望まれる。 向性 コスト投入の方向性 評価年度 当年度																								
		Th is															_									
	性 コスト投入の方向性 評価年度 当年度 視点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定															疋										
評				•		Ť									+	•	_		Ė			1		Α		
	視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判算 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定															るこ										
価	課																					号	B : 3	事業の進め		
į,	100																						(事業規模・ の見直しが	必要	_
^	題																					義		事業の統合 討が必要	、休・廃止	上の検
С	1																							総合評価判		
ш			€ m	1	14	7	Arte		= ∓	130	-	**				фm		He		Δtc		前年		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	番号 0702	0304
	総	1期目	444		通して	<u>て35名</u>	が市民	研究	一直に認			ŊIJ		ı	民の		館活		援し	~	動を			l beed	100	
E	合	博物	耳本系	その使	命で	ある、	収集	• 保管	・調査	・研究	2活動·	への市	民参加	O												
С		- M	0/20																							
12	評																									
K	価																									
<u> </u>		前	年 度	き 改	革	· 改	善角	きの	実 施	状 汐	7	その	他	À	1 年	度細	11 施 第	き評値	西に	おけ	ける・	今 後	の方	可向性		
政革	今		細		施	į	策		評	佃	i i	前				細		施		策		評	i	価	後	
平	後	成	扨		充			2		⑤		7			成	拡	3	5								
改善	の	果の	玛	見状維	持			3		6	V	9			果 の	現	状維持	寺						レ		
香の	方	方向	絎	官	小			4		8		10			方向	縮	1	ļ\								
方		性	4	★ 廃	止	1									in 性	休	廃⊥	Ł .								
向性	向				_	皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大						皆	減	縮	ŝ	小	現状維持	拡	大
$\widehat{}$	性						コス			入の		向性		1	_					⊐				. の 方		
A C	改革	動へ	移行し	してき	たが	、それ	いぞれの	の団体	と博物	より自 婚の 関	係が	希薄に	なって	ר <u>י</u>	果 •	保管	•調1	企・位	1光活	動に	・も関	わる.	一層0	の市民参加	を促した	ر ،
Т	中	しま	った。		は、	収集				活動を																
I 0	改	が 即、	ベジ ル	iii C W	U /C	. v ' o																				
N	善																									
0	策																									
- 4	夕 雪市	価年	月日	平	成29	年5月	19日	最終	冬 評	価 責	任者	Í				文	化財制	長					5	守 矢	昌文	ζ

事務	事業	名	展示替え・	科学	教育 排	長興事	業								事業期間	引 平月	戈 2 1	~		年度	整理番号	07020305
担	当部	署	生涯学習部			3	化則	課			博物館	係			作成担当	4者名	小	林	健	治	連絡先	73-0300
計画	市おり予事を	民うの事業にお	プランづけ 事業 名 業ののままり と背景	平つをネをハケ	25年」さウす	年 ・ 9がせムる合	系教「館長、で館」	政施細事振野議事示る昭の	i八ヶ根 から智 計画の 説動画	03 06 10 07 5総合は 5策定でを 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	第第八展物館の三体が明れて、実施の三体が明れて、	生生合・一気智力と	涯を通館 博物学 で、いまでは、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	にじず充の で学来版 で育及業計を平 のようでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	しく学び 関事業 野市には 変別を表現した。 では、129年度」	にはいる。 会話をある。 ないである。 ないである。 ないできる。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	るで 一科現年実 科学で度施	気でが 学習 が 育のたれけ 一 究の	機会の)1 振め学に 進展 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	な一年と 大 10 で 平工作を 大 10 で 平工作を から発生できる。	を育む 場の提供 項 05 目 この基本計 6年度置で、 を配置で定	05 事業 07 画の策定に 企画運営会議 Eパイルプラ し、実施計画 比により、現
(<u> </u>		対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける) 意図 な状態にしたいか)	検討市市民	i i	、平	成254	₹9月	日に名	各申がな	されて	いる	る。こ ^材	れが平成	25年12	月17日	の政策	き調整	会議	こて審誦	養されたが 。	か3年に亘り 、更なる検 できるような
L			・ 方 法 やって)	• 博	物館	専門	委員(こよる	企画道	E営会議	観にて検	討、	検証、	協議を	進める。							
			行政活動の	結果7	からこ	o ()	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出力	法・	計算式	t·目	標値	設定の	考え方など	最終目標値
N	評価指	活動指標	検討の機会						会議回数											4		
	標																					
<u> </u>	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出力	法・	計算式	・目	標値	設定の	考え方など	最終目標値
	成	B	運用計画							運用計	·画書			₩								1

			単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		(a)	円	96, 851	184, 457	90, 176	2, 877, 863	1, 427, 000
		(a) 金	円	90, 001	104, 407	90, 170	2, 011, 003	1, 427, 000
美		金	円					
	原 <u> </u>	債	円					
	内 その他特定財	源	円					
7	訳 一般財	源	円	96, 851	184, 457	90, 176	2, 877, 863	1, 427, 000
44-	川久 六]	員	人	0.13	0. 25	0. 25	0, 55	1, 427, 000
1	屋 紅 融	員	Ĵ	0. 03	0.50	0.50	0.50	
	した これ 	員	Ĵ	0.00	0.00	0.40	0.30	
110	数 合	計	入	0. 16	0. 75	1. 15	1. 35	
状	対象(者)	数						
		(b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
況	受 益 者 負 担	額	円					
	市民一人当たりのコス	1	円	2. 00	3. 00	2. 00	52. 00	26. 00
		目標		5	6	15	4	6
	会議回数	実績	-	4	7	<u> </u>	3	3
	舌	達成率	%	80. 00	116. 67	73. 33	75. 00	50.00
Ī	動	目標						
	動 _ 指	実績						
D	票	達成率	%	_	-	_	_	
ľ	7K	目標						
	_	実績	0.4					
		達成率	%	-	-		-	
0	或 <mark>運用計画書</mark>	目標 実績	m		1			<u></u>
- '		夫 根 達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100.00	100.00
	木 <u> </u>	目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
\sim	百 漂 <mark>一</mark>	実績	-					
1	示	達成率	%	_	_		_	
		~-/~-	70					
	備							
	考							

事務担 当		業名 <mark>展</mark> 3 署 生	示替え 涯学習		教育振		t 比財課			博物館	婠係				事業期 作成担			21 小	~ 林	健 治	F度	整理番号 連絡先	0702 73-0	
	期				目 標				実績									課題						
四	第 1 期	①科学 ②モバ 運用計	イルプ	ラネタリ	ノウムの	導入と	運用	準備。	①科学実験工作室の設置完了。必要な備品の購入及び搬入設置を5月に完了し、運用を開始した。 ②モバイルブラネタリウムのソフト・ハード2件のリース契約を4月に締結。公開スケジュールと運用規定の作成。 ①モハイルフラネタリウム・・・フレス公開・内寛会								(しい	①科学実験工作室②モバイルプラネタリウムについて、校長会で3回説明したが、各学校での行事計画に採用されるに至っていない。						
	第 2 期	①モバ ②施設			リウムの 貴算。	運用開	開始。		等のスケジュールを経て、7/23より一般公開を開始した。 ②企画運営会議等の検証を経て、施設改修計画 を確定し、必要経費を積算した。							校 を	校利用推進のため、実物見学する博物館説明会 を開催したが、参加は低調であった。							
期ご	第 3 期	展示替 計画の			振興事	業に係	る施設	改修	画の実 ①リニ ②自然	展示替え・科学教育振興事業に係る施設改修計画の実施計画として次の2点を提出した。 ①リニアモーターカージオラマ撤去 ②自然系資料収蔵庫設置							中はおおって	①リニアモーターカージオラマ撤去については、今年度中に公売実施の上、不成立の場合は撤去の指示が出された。②自然系資料収蔵庫設置については当面凍結となった。収蔵庫と収蔵棚の使用方法が検討課題とされた。						
٤	■ 1 12/1度水降就到回り1616人グート 1.1.1.2													示解説動画の配信は、年度 [4月1日からのスタートと おいて開館30周年事業の 施計画提出を確認した。 の順次拡大④開館30周年事業の策定が挙げる。								験メンツ		
の 当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 _今 成 拡 充 ②															Æ	\ I.	(A)							
		, ,,,,,,,,,	- IV.		,,,o ht	01	7717-1		. = 1 PJ RZS /	1 245		今後	月	₹					····i		(5		7	
管	管												1		見状維				3		6		9	
		**		. 		7 Mr 3	>-±-	- T /¬L	++ ¬ـ	*		o	Ę	ī]"		小			4		8)	10	
理		新	年度の)美施語	計画・		· 不事	(革・改	(善策)		一方	1	± _ /z	ト廃	止	1								
										白性		/	/		皆 :	海 コ ブ	越 縮 ス ト			見状維持の 方	拡向作	性		
ſ	評価年度 当年度																							
		見点		妥	当		性		有	効		性			効	玤		性		総	合	評価	i判	定
評		iの観点 ェック	₹ 1	2	3	4	判员	E 1	2	3	4	判別	Ē	1	2	3	- '	4	判定			Α		
価(C	課題	ルでき タリウ	るか、 ムの導 幹事業	平成2 入、和 として	6年度。 ≱学実験	^{はり企i} 食工作	画運営 室の設	会議で 置、収	ト 検 献 備 を よ	進めて 設置、	きた。 大型テ	この新 レビの	果	、平成 入が事	28年	度は ^っ れた。	Eバイ 科学	`ルブ ・教育	ラネ を今	記号の定義 前年	と事事の事討総	画が業業見業が合います。 大学 のでは、大学のいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	が必要 施主体 止の検
н	40		細	挤	苞	策		評	価		前			糾		施		策		評		価	後	
E C K		に 画 検 根 棚 の	で案し、設としてるという。	いるも に は 中 ル ル 、 展 の	i の 多 を す プラネク 解 説 動 国 を 野 の の の の の は の に の に の に の の の の の の の の	限定的 [・] 関の費! 実現させ 取の配	である が が 新 連 情	。 要 と な 、 ど も く く く く く く く く く く く く く く く く く く	さ運れ法学今状のでは、	護では、 でドの? 証 工 作 に 具 体	、建きの ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	期どその収。	え <i>る</i> 求め	ら。今 行)られ・	後、一 る。	-層の	利用	拡大、	メニ	、本年 ューの 今後の	充実	うやく開発	始されたンツのチ	きとい
改	_	133	細	<u> </u>		策	· •/	評	価		前		1313	組		施		第		評	/ / 3	価	後	
革	今	成	拡拡		<u> </u>	ж	2	AI	5	(יי וו ל		成		*	充		ж		Яſ		ᄣ	EX.	
改	後	果		維持			3		6	j	<i>)</i> 9		果		出 見状維									
善	の	の方					.j		ļ				の方											
の方	方	向	縮	小			4		8	(10		向			小								
向	向	性 -	休月	発止	(1)	4. h	سلسرار		+G ! !:	6.14. ±	1.4	\Box	性		木 廃	止	-1-		L 4	<u>,</u>		10 J. D. 644 1-1-	1.4	
性	性				皆	減 コ ス	縮くト	小 投	現状 入 の		拡] 性	大		_	_		皆	洞口				現状維持 の 方	拡向性	大
T I O	改革·改善		してい	く。 4	₹成29年	科学(F度実	本験メ 施計画	ニュー に、開	の周知 館30周	を計り、	、稼働		力を	る博 。 こ	物館に の結果	リニ	ュー 成28	でき アルマ 年度に	きるこ けるか こ結実	とから、 、企画: した。	、い 運営: 専物:	かに費用会議によ館が科学が期待され	をかける り検討る 教育振 り	げに魅 されて
)	策 §評	価年月	日	平成29	9年3月3	31日	最 終	※ 評(西 責 '	任者				7	て化財	課長					守	矢	= :	文

事務														平成	12	~		年度	整理番号	07020201
担当	当部	署	教育委員会	務	局	尖石	電文考	古館		考古館	係		作成担当	i者名	小	池	岳	史	連絡先	76-2270
							政	策	03	第3章	生涯を	通じて楽	しく学び	続ける	、元纬	れで心	豊かね	な市民	を育む	
			プランに	有	政策	休 系	施	策	06	第6節		通じ学び				学習機	会の	充実と	場の提供	
	おけ	ける	位置づけ	-	W *	PT 21		施策	11			・青少年	自然の森	の充実						
計		**	- alle 5				事	務事業	01	維持管	理運営事	莱		A =1		* 00	4 +6	1401	- = 0 0	07 - 44 00
A!	Ť	算	事業名			+ AA 188	4h	セス級	iei 🛆 ilu :	Mar . Her State	· 細木 ·	TII oʻr 🖼	- 44-4		コート 2 Kの				項 05 目	07 事業 03
																				!「土偶」の こわたり保
	事務	多事	業の概要	存・	管理す	るとと	もに、	その	舌用を	担う施設	として構	能するよ	う維持・	管理し	なが	ら運	雪する	•		
画																				
-		.i.b	- 45 0	尖石	編文者	古館は	2つの	国宝	土偶」	をはじ	め茅野市	が世界に	きる歴史	的文化	遺産の)収蔵	• 展;	示、特.	別史跡「尖	石石器時代
			と 背 景うして)	遺跡	が」の保	存・管	理・決	舌用を	担う施	投である	。また、	縄文を意	識したま	きちづく	いと	人づ	(4)	縄文を	活かした	閲光と地域活
_												oの核とな ₩愛好者。		<u>:ある。</u>						
	目	対	受益者	矛玉	ずけの神風。	XXIL	~ ME 3	丈 〜 剣/	വഗത	ைக்க	。 よい一 あ	逐灯伯。	說兀谷。							
			対象	同上	上と業者															
Р		象	刈 涿 (直接働きかける)																	
				安全	マ全に、かつ安心して利用できる考古館および史跡公園となるよう維持管理する。															
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	縄文	縄文文化の価値や魅力を感じてもらえる環境を整え、入館者の増加を図る。															
-				1840 E	31- FZ1	Martin .	cb 9& /	<u> </u>	=	ly # P #	人占检目后	山太安地	オス州	(1) Zab 44		46 ; 133	<u> </u>	李徐 / L		₩ 舊Ⅲ ④ →
L			職員による施設・史跡公園、原 ロローグゾーン展示替えの各類							攻威 叩り 業者へ委	が 託する。	リッで夫爪	19 01E.		加政期	昌埋	⊘ ₩.	見剛工	言理 ②連	当官理 ゆノ
			73 14	考古	考古館および史跡公園で開催されるさまざまなイベントを報道を通じて広く情報発信する。															
	ع)	゛う	やって)																	
Α																				
			行政活動の紀	吉果:	からつく	りだる	† ‡ , の	は何?	指	標	名 称	単位	算出方	法・討	上質式	• 日;	潭値 評	定のる	きえ方など	最終目標値
		<u>,_</u>						1017 7									ж III II	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	37273 0- 2	
N	埀	動	施設内外の気	と 全・	状况催認				施設	7.外点模	実施回数		週1回	× 5 2	周					52
	価	指	報道関係者等	手への	の情報発	信			情報	情報発信件数			月3件	× 1 2	月					36
	指標	標																		
	標 の																			
	作	成	成果	•	効 界	しは	何	?	指	標	名 称	単位	算出方	法・討	算式	· 目	票値設	定のを	考え方など	最終目標値
	成	果指	事故・クレ-	クレーム件数の削減				事故・クレーム抑制率 %			%	% 1 一事故・クレーム件数/来館者数							100	
		100	入館者数の増					入館者数の増 %			%	H28年	度/H2	7年度					103	
									1											

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	3	事業費等	(a)	円	45, 119, 063	54, 044, 876	41, 269, 418	41, 225, 208	43, 923, 000
	財	国庫支出	金	円	10,110,000	0.1, 0.1, 0.10	,	11,000,000	10,120,100
実	源	県 支 出	金	円					
^		地方	債	円					
	内	その他特定財		円	8, 969, 692	8, 474, 000	9, 872, 000	14, 275, 028	14, 784, 000
	訳	一 般 財	源	円	36, 149, 371	45, 570, 876	31, 397, 418	26, 950, 180	29, 139, 000
施	職	正 規 職	員	人	1. 38	2. 45	2. 45	0. 80	0. 80
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 53	0. 53	0. 53		
状	数	合	計	人	1. 91	2. 98	2. 98	0.80	0. 80
1	2	対象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)						
			(b)	円	-	-	-	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	804. 00	965. 00	740. 00	743. 00	902. 00
			目標	o o	52	52	52	52	52
		施設内外点検実施回数	実績	,	52	52	52	52	52
	活		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	100.00
	動		目標	件	70	80	36	36	36
	指	情報発信件数	実績		60	70	36	47	36
	標		達成率	%	85. 71	87. 50	100.00	130. 56	100.00
	尔		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
0	-		目標	%	100	100	100	100	100
	成	事故・クレーム抑制率	実績		100	100	100	100	100
	果		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
$\overline{}$	指	7 Artistation III	目標	%	103	103	104	103	100
	標	入館者数の増	実績	0.4	112	135	83	96. 81	90
			達成率	%	108. 74	131. 07	79. 81	93. 99	90.00
	備								
	考								
	有								

		業名 考古								1					事業期間		或 1 <mark>2</mark>	~	年				
担:	当 部	署教育	委員:	会事務	局	尖石	5縄文考	古館		考古館	係			竹	F成担当	者名	小	池	岳史	連絡先	76–2270		
	期			E	標						美	ミ 糸	責						課				
四	第 1 期	史跡公園館内設備 館内設備 換)の計 施設内タ	 修繕	(煙感4	11 器 3	大業教育	§開始 バッテリ-	-交 1	史跡公園館内設備 館内設備換)の計 施設内タ	告條繕(煙感知	器、				交	委託業務の契約を4月下旬に締結した。草の成長が早く、5月に刈りたいところであったが、第1回目の草刈が6月に予定されており、約1ヶ月そのまま放置せざるを得なかった。5月に草刈りができるよう回数を見直す必要がある。						
半期	第 2 期	史跡公園 施設内タ				行 管 理	里	j	史跡公園管理委託業務の進行管理 施設内外の安全状況確認							与助尾根台地の西端、与助尾根台地と尖石台地 の間の谷が草刈範囲から外れ、維持管理及び景 観上好ましくない状態である。							
E 1J	第 3 期	史跡公園 施設内タ					里		史跡公園管理委託業務の進行管理 施設内外の安全状況の確認							目の行き届かない箇所の安全確認方法が課題である。							
٤	第 4 期	施設内外	トの安	全状況	確認の	強化		1	施設内外の安全状況の確認						館内の消防設備機器が耐用年数を経過してお り、計画的な修繕が必要である。								
Ø										事	中		平	価									
	当年	丰度開始	後、約	約6ヶ)	月が経	過し、	新たに	生じた	:問題点	や環境	の変化	今	月		3	Ť		2		⑤	7		
管												後	, 果 後 の		現状維持		3			⑥ レ	9		
												の	7	NOF	i /	١		4		8	10		
理							求事項					方	伯性	-	、廃 」	E (D						
-	史跋回目	公園管理の草刈り	里に関	わる草 施でき	の生育 るよう、	期間の 仕様を	ひ長期化 −見直した	に対処	Lするた。 あわせて	め、5月 、与助』	に第1 【根台	向					皆	減縮	- 小	現状維持	拡大		
	地の	西端、与	助尾	根台地	と尖石	台地の	間の谷の	の草刈	を追加し	たい。		性					⊐	スト	· 投 .	人の方	向 性		
							1																
		評価年度	Ē		当年度		heL.		—		Jet				- -L	-	.l.e	L	645	A == /=	· Mar 📥		
	逐症	見 記の観点	1	妥 2	当 3	4	性 判定	1	有 2	効 3	4	判定	-	1	効 2	<u>率</u>	性 4	E 判定	総	合評価	判定		
評		エック	-		- 0		4	† '		3		4		-		-	電子化等	4		Α			
し (0		考古館は 大雨時な 史跡公園 と仕様の	こどは B・考	設備異 古館周	常によ 辺・青	る警	したり、 吸が出た	り、言	冒雨時は	:、頻繁	に停電	にな	る。	•			れる。		記号の定義 前年度	とが適当 事業の進めた 事業規模・内 の見直しが必 事業の統合、 討が必要 総合評価判別	休・廃止の検 と A		
н			細	旃	i	策	1	F	価	i	前			細		施	9		評	評価シート整理番号 07020201 価 後			
	総	文化財保	建造法	による	٤, 🗷	宝「	上偶」(縄文の	カピーナ	ス・仮	面の女	. 3	声野	市の	宝」で	である	縄文時	代の遺	跡や遺物	を適切な環境	東下で保存		
E	合	れらを	「管理	しなけ	ればな	:らなし	ハ」とさ	れてし	いる。今	後も、	その価	値に	づく	りやり	しづくり	りとも	: もに、 !光や地	縄又の 域活性	価値や魅 化に活か	刀を広く発信していくた。	言して、まち りの重要な施		
С		が損なれ物や縄プ	つれな	いよう	適切な	管理	を行うこ	とはも	もちろん	である	が、出	版	きで	ある。									
ĸ	評	ない、E	常生	活の中	で「縄	文」	が感じら	れる	環境づく	りを推	進する	必											
	価	要がある		, ,	_,				115 1				14		<u></u>	_ == -		=	A /// -				
							5 の 実					ļi	前:						今後の:				
改革	今		細	施	3	策	F		価		竹			細		施	9		評	価	後		
•	後	成 果	拡	充			2		⑤	7			成果	打打									
改善	の	の	現状	維持			3			9			の	玛	見状維持	Ŧ				V			
	方	方 向	縮	小			4		8	10)		方向	新	音 力	١							
の方向	向	性	休房	€ 止	1								性		ト 廃 山	=							
性	性		_		皆	減	縮	小儿	現状維			大				\neg		咸 糸			拡大		
A	改	国宝のか	又蔵・	展示。		コ ス 跡の (、 の : 5上でふ		性 い環境	を日	女華	しつつ	つある	表示理				入 の 方 りよい <mark>環境</mark> つ	向 性 で収 <mark>蔵・展示</mark>		
CTIO	革・改	整え、確	隹実に	次世代	に伝え	るたと		内の過	巡視や環	境デー	ターの	把具	ナる F立	ため、 てを	展示	ァース また、	内の調	湿剤の	調整や照	明のLED1	となど有効な こふさわしい		
N	善策																						
		価 年 日 F												_	縄文老					中 4	旦 ▽		

事務	事業	名	考古館運営	事務											事業期間	平成	12	~		年度	整理番号	07020202
担当	台部	署	教育委員会	事務	局	劣	石縄	文考	古館		考古館	係			作成担当	者名	小	池	岳	史	連絡先	76-2270
	市」おけ	えこ よる	プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系	政 施	策策	03 06 11	第3章第6節	生	涯を通	じ学び	しく学び 売けるこ 自然の森	とので	きる				を育む 場の提供	
計			事業名						事業	01	維持管				→ 8607 #		コート	÷ 00	1 款	10	項 05 目	07 事業 02
曲	事務	事業にす	業 の 概要 >かりやすく)	蔵・	展示	する	وعظ	もに、	子供#	いら大	人まで薬	ELX.	る縄	文体験学		受けり	しれる					計古資料を収 域の歴史資産
			と背景	代道 活性	跡」 E化、	の保縄文	存・1 文化(き理・ 価値や	活用 を魅力を	を担う	施設であ 外へ発信	5る。 【する	また、	、縄文を の核とな	意識した る施設で	まちつ						「尖石石器時 た観光と地域
^		対	受益者 (誰のために) 対象		市の - と業		文化人	や歴史	に関心	ひのあ-	る市民お	3よひ	一般	愛好者。	観光客。							
P	_	象	(直接働きかける)			の価値	直や無	魅力を	感じて	てもら	える環境	を整	きえ、)	入館者の	増加を図	19、#	文を	いか	したま	ちづく	り、人づ	くりにつなげ
L	的	(どん	意図な状態にしたいか)		いく。 <mark>i館お</mark>	よび!	史跡へ	公園で	開催る	される	さまざま	まなイ	′ペン	トを報道	を通じて	広く竹	青報発	信する	3 .			
A			・ 方 法 やって)																			
			行政活動の	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	· 目	標値割	足定の表	きえ方なと	最終目標値
N		活動指	報道関係者	等へ	の情報	段発信				情報多	発信件数	t		件	月3件	× 1 2	月					36
	指標	標.																				
	の 作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	• 目	標値部	定のす	きえ方なと	最終目標値
	成	及 果 指 標	入館者数の	*						入館	皆数の増	1		%	H 2 8	年度/	127	年度				103
		环																				

項										
対 国 車 支 出 金 円 円 円 円 円 円 円 円 円		Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
探 支 出 金 円 円 円 円 円 円 円 円 円		-						14, 549, 652	16, 017, 492	16, 753, 000
東 支 出 金 円		財		金						
大				金						
記										
版 正 規 職 員 人			その他特定財	源				728, 000	1, 388, 000	1, 117, 000
「		沉	一 般 財		円					
数 1.40	肔	職	正規職					2. 45		
数		昌		員						
対象 (者)数 (b)			臨 時 職	員						
近 利 用 (者) 数 (b)	状		台	計	人			2. 98	2. 75	2. 75
沢 単位コスト(a)/(b) 円 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー										
記 受益者負担額 円										
市民一人当たりのコスト 円						_	_	_	_	_
情報発信件数	況							004 00	000.00	174 00
情報発信件数 実績 千 36 47 30 36 37 30 36 37 30 30 30 30 30 30 30		Ī	下民一人当たりのコス		円	-	_			
Tan			John ders des 1220 Jul. 1840.	日標	件					
D 目標									• •	
Table Ta		活			%	_	_	100.00	130. 50	63. 33
D 標 日標 日標 写稿 104 103 100 達成率 % 104 103 100 東積 完成率 % 83 96.81 90 指標 一 実積 漂 104 103 100 連成率 % - - 79.81 93.99 90.00 情 連成率 % - - - - - - -		動		日信	_					
D 標 日標 日標 写稿 104 103 100 達成率 % 104 103 100 東積 完成率 % 83 96.81 90 指標 一 実積 漂 104 103 100 連成率 % - - 79.81 93.99 90.00 情 連成率 % - - - - - - -		指	_		0/					
O 成果 大館者数の増 目標 96	D	標			90		_		_	
O 達成率 %			_	生结	_					
ス館者数の増 目標 実績 % ま積 % ま積 % ま積 ※ ※ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					0/6	_	_		_	_
成果 実績 % 83 96.81 90 果 達成率 % - - 79.81 93.99 90.00 指標 - 実績 達成率 % - - - - - - - 備										
果 達成率 % - - 79.81 93.99 90.00 指標 目標 -		成.	入館者数の増	宝績	%					
標 一 実績		果	NAME OF STREET		%	_	_			
標 一 実績		指						, , , ,	33.00	55.00
達成率 % - - - - - - - 備		煙	_	実績	_					
		17K			%	_	_	_	_	_
		1#								
■										
		考								

当 新世 内で 日 日 日 日 日 日 日 日 日	事務事業	業名 🕏	考古館 道	工営事務										事	業期間	平成	12	~		年度	整理番号	∃ 070 2	20202
### (1997年) 19 (1997					局	尖	Б縄文 考	古館		考古飢	條						小	池	岳	史			-2270
	期			E	目 標	Į					3	尾 糸	ŧ							課	題		
2 機大文化月間ボスターの日期準備	五 1	『仮面: 『尖石』 「縄文(土偶 発振 『増し刷り のビーナ	間の記録』は ス」ピンパ・	曽し刷り ソチの発	註、作類	Ų		仮面土(の) 尖石』増 縄文のと	4 発掘の し刷り 【一ナス」	記録』増ピンパッ	し刷り チの発		製		道 し	「契約 いので、	で製作	してい 厚さを	いる。1 落とす	部当たりの	り単価が	くなくな
第 1 展示回機連増し期り無確、原稿・部改訂	2 期						i							t						り、縄:	文文化月	間ポスタ	- ത
### 1	第 3	『展示	図録』	増し刷り	準備、 「	原稿一	部改訂		【展示区	録』増し	ン刷り準	備、「	京稿-	一部改	訂			[録]	曽し刷り	りの原	稿一部改	訂に時間	間を要
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化 と面管電視により電気の選加が入品となっている。 京田	4 ط	約 『展示	· 図録』	増し刷り					展示区	録』増	し刷り					な	納期	が確保	売機り	ース ぎ げ、納.	集者が決党 入が年度:	ミしたが. 末となっ	、十分 てし
当年度開始後、約6ヶ月が経過し、動たに生じた問題にや競技の変化 (展示問鍵)の欠品が経わている。 (展示問鍵)の欠品が経わている。 (展示問鍵)の欠品が経わている。 (展示問鍵)の欠品が経わている。 (展示問題)の次品が経わている。 (展示問題)の一フレット』、実名売題記、『尖石の増加刷リにかかる印刷製木 1	D												Ŧ	価									
展示回縁 の欠品が使いている。	当年									や環境	の変化	今		拡	充			2)	(5	7	
田田	展表	示図針	剥の欠	品が続い	ている	5.				<u> </u>	~ 54 44	後	の	現物	犬維持			3)	(6 レ	9	
# 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)	・ 神电ン					けた事	上于類(質	830類)	か増え	、簡標的	意録の	の		縮	小			4	D	(8	110	
野価年度		亲	新年度(の実施計	一画・	• • •	<u> </u>							休	廃止	1							
性				ット』、『劣	石発	掘記』、	『尖石』	の増し届	削りにか	かる印	刷製本	向				皆)	咸 糸	 宿	小	現状維持	拡	大
現 点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総 合 評 価 判 定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 4 4	「縄」	文のピ	ニーナス	」の名称	で第30	0類の配	阿標登録	を出願	する。			性		/			_	ス	ト 投	入	の方	向	性
評価の観点 1 2 3 4 判定 A A 解内及び縮外(史跡公園の竪穴住房等)展示を理解する上で補助的役割を果たす「展示図録」が、地東務 との調整不足により長らく欠品となった。在庫管理も十分とは言えず、月1回は確認することとしたい。 記記 A<					11/		h#-		+	÷L	iki	L		+	4		1.44		4	Λ Δ	. =π <i>t</i> :	E 401	
##			·					1		.,,			-	<u> </u>		•				æ 7=	ì 評 1	田 刊	疋
2	*				Ť	1	+	+-			7		_				7		+		Α		
**	証 課	との	調整不	足により	長らく	〈欠品	となった	≿。在属	で管理も	・十分と	: は言 <i>え</i>	さず、	月10	回は確	認する	ことと	: した	lv.	号の定義前	B:哥 C:哥 D:哥 年度総	事業の進め 事業規模・ り見直しが 事業の統合 けが必要 合評価判	内容・実 必要 、休・廃 定	施主体 企のを A
神) 国特別史跡「尖石石器時代遺跡」の所有者である茅野市は、こし、後世に伝えるとともに、縄文の価値や魅力を広く発信して、ますれらを「管理しなければならない」とされている。今後も、その価値が関である。が損なわれないよう遺切な管理を行うことはもちろんであるが、出版である。 物や縄文関連商品の販売、報道関係者ヘイベント等の情報提供をおこな要がある。 前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性 で要がある。 前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性 で要がある。 前年度改革・改善策の実施状況 前年度細施策評価における今後の方向性 で要がある。 前年度 一個	Н		細	挽	ī	策								•••									
大	E 合 C 評 K	神れが物な要	、国特! をわれ な は い な は は は は る る る る る る る る う る う る う る う る	別史跡「 理しよう 連話の 生活の中	尖れ道り、で	日 器時には 管理: 報道 電文 電文	代遺跡」 い う い 行 る う る う る く う る く ら く ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら ら	の所有にされる。	者である。今 ちちゃん トラブ	る 茅里 ・後 も も ・ で 春 扱	市は、 その個 が、出 提供をま	こ値版こ必	うくり	後世に りや人・ ある。	伝える づくり	ととも 、観光	に、信や地域	超文 <i>0</i> 或活性	と他に	や魅力	iを広く発 ていくた	信して	、まち
では では では では では では では では	妆	נימ									àtr		די נינ									144	
世	革一学	Ll:			5	収							ᆄ			#B	Я	Κ.	af	1	Щ	改	
の 方向 縮 小 ④ ⑧ ⑪ 忡性 休 廃 止 ①		果					·			i			果										
方向性 休廃止 (1) (2) (2) (2) (2) (3) (3) (4) (2) (3) (4) <td< td=""><td>* の</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>į</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>ν</td><td></td><td></td></td<>	* の						į														ν		
情報 情報 情報 情報 情報 情報 情報 情報	方方	向					4)	(©	q	ע		向										
性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト投入の方向性 カスト 投入の方向性 カスト は、多様にある。これらの商品を販売するとともに、縄文講座・教室などの信する重要な手立てであり、増刷し拡充を図っていく。 カスト 投入の方向性 カスト は、大きないのであり、増刷し拡充を図っていく。 カスト は、カスト 投入の方向性 カスト は、大きないの商品を販売するとともに、縄文講座・教室などのは、または、カスト は、カスト は、	句 向	性	- 休	廃止	_	4 h	۸.		TE 15.71	L Lab			1生	休	廃止				· -		TO 15 6" 1"	1.1	
は 出版物や縄文関連商品の在庫管理を毎月おこない、必要に応じて追加 『尖石』、『尖石発掘記』などの出版物は、茅野市の縄文を識り、9 発注する。これらの商品を販売するとともに、縄文講座・教室などの 信する重要な手立てであり、増刷し拡充を図っていく。 イベント情報を定期的に発信して、「縄文」を意識したまちづくりや 人づくり、観光や地域活性化につなげていく。 改善 策	性性				旨							T				皆							. •
発注する。これらの商品を販売するとともに、縄文講座・教室などの信する重要な手立てであり、増刷し拡充を図っていく。	A 改	出版!			品の石	王庫管:	里を毎月	おこな	ru. 🜶	要に応	じて追						』な	どの出	版物	ま、 茅	野市の縄		
· 人づくり、観光や地域活性化につなげていく。 o 改 善 策	C 😛												まする	重要	な手立	てであ	9.1	増刷し	が 放充 こ	を図っ	ていく。		
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·																							
策		• • -																					
	o 改 *																						
	改 N 善																						

事系	务事為	Ě名	特別展事務	§										Juli.	事業期間	平成	12	~	年月	度 整理	番号	07020203
担	当 部	署	教育委員会	事務	局	劣	石縄	文考古	館	4	与古館	係		1	F成担当 者	5名	山	科	哲	連絡	先	76-2270
計	おり	する	プランに位置づけ事業名	常記		策体では	-	政施細施事務事	事業	06 § 11 5 03 ‡	常設展	「 生 文考 ・特	涯を通 古館・ 別展・	じ学び制 青少年自 講演会・	けること 然の森の 研究会・	ので 充実 講習 会計	きる学 会開催 コード	審業○ 001	豊かな市長 会の充実と 款 10 深く縄文	と場の提 項 04	供 目	05 事業 05 てもらう。
画 (現	状	^{っかりやす〈)} と 背 景 う	茅里の多	も掘な	どが	早くだ	いら注	目され	て行わ	れ、#	建文文	化研究		きな足跡を					である。	また	、尖石遺跡
P	目的	対 象 (どん	文 価 名 (離のために) 対 象 (直接働きかける) 意 図 な状態にしたいか	多く	E	々に	参加し									い縄文	文化。	や遺跡	の大切さ	について	て理解	していただ
L A			・ 方 法 やって)	茅里	予市内	の縄	文文化	比をより	りよく	理解し	てもら	らうた	:め、主	三に市内(の遺跡を対	対象と	: して	深く掘	り下げた	特別展を	を開催	する。
			行政活動σ	結果	からこ	こくり	だす	ものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出方法	ま・計	算式	・目標	値設定の	考え方を	など	最終目標値
N	評	活動	特別展の開	催					Į.	開催数					開催数							1
	価指	41-	ロピーミニ	展示	を含む)企画	展の	開催		開催数				0	開催数							3
)	標の作成	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	J				値設定の	考え方7	など	最終目標値
	灰	果指	特別展の開	催						開催数				%	H 2 6年	[度/⊦	125	年度				100
		標	ロピーミニ	展示	を含む	企画	ī展の	開催		開催数				%								

_									
	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	lini		(a)	円	304, 172	392, 000	1, 368, 740	34, 776	93, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	304, 172	392, 000	1, 368, 740	34, 776	93, 000
施	職	正規職	員	人	1.00	0. 20	0. 20	0. 30	0. 30
	員	嘱託職	員	人					
		臨 時 職	員	人	2. 00	1. 00	1. 00		
状	数	合	計	人	3. 00	1. 20	1. 20	0. 30	0. 30
1/4		対象 (者)	数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	5. 00	7. 00	25. 00	1. 00	42. 00
			目標		1	1	1	1	1
		開催数	実績		2	2	4	100.00	100.00
	活		達成率	%	200. 00	200. 00	400. 00	100.00	100.00
	動	mm has size.	目標					3	2
	動指	開催数	実績					2	2
D	標		達成率	%	_	-	_	66. 67	100.00
	IXX		目標	_					
		_	実績	0/	_	_	-	_	_
			達成率	%				_	
0	成	開催数	目標 実績	%	2	2	4		
	果	刑惟致	夫 根 達成率	%	200.00	200, 00	400.00	100, 00	100, 00
	指		目標	70	200.00	200.00	400.00	3	2
)		開催数	実績	%			3	2	2
	尓	所住政	達成率	%	_	_	100, 00	66, 67	100.00
			是水牛	/0			100.00	00.07	100.00
	備								
	考								
	.,								

	名 特別展	事務						事業	其期間 平	成 12	~	年度	整理番号	07020203
	教育委!		局 尖	石縄文考古	谊	考古館係			达担当者名 过担当者名		科	哲	連絡先	76-2270
期		E	標			<u> </u>	実 績					課	題	
	月中旬まで 月下旬に展		それの決定 D燻蒸			までに展示資 に展示資料の		È		広報活動	が不一	ト分だった	=•	
2 7月期	月初旬まで 月中旬に展 ビー展の開	という とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	ペネルの印刷 D開始	By .		までに展示パ に展示作業が の開催		P刷		関連イベ	ントを	開催すべ	きだった。	
	示終了後 ビー展の		·収		展示終了ロビー展	「後の資料撤り の開催	収(部分)		展示資料かった。	が散り	又作業が苦	部分的にしか	*終わらな
第 4 期	(年度特別	展•企画原	その企画立:	秦	次年度特	∳別展∙企画展	の企画	立案		企画立家	きもう	少し細部	まで計画すべ	べきだった。
						事 中	評	価						_
当年度						や環境の変化 ら多数の来館			充		2	1	5	Ø
				となった。夏			11.	R D 現れ			3		⑥ レ	9
1							0 2		小		4		8	10
				要求事項(到 生 休	廃止	D				
	な広報活 展を開催		する。また、	特別展以外	に特別展示	室を会場とす	向	¯ <u>—</u>		<u>)</u> 皆 減	縮	小	現状維持	拡 オ
OIL E	IAX C INI IE	7 00					性			コス			の方	
	正年度	71	9年度											
視		妥	当	性	有	効 性	#	交		性		総合	計 価	判定
証価の	****	2	3 4	.—	1 2	3 4	判定	1	2 3		判定	ilar: F		13 7
チェ	ック			4			4				4		A	
						な業績である の方に理解し						号の C: D: 前年度終	と を 事事 事業見 東 が の で で で で で で で で で で で で で	容・実施主要 ・要体・廃止の
1	細	施	· 策	評	価	前		細	施	策		評	価	後
Ξ	くの来館	者にめぐ	まれ、好割	を博した。			ため)、世界(ェクト構想 こ誇る茅里	予市の縄文	文化の	\る「市E)すばらし	民総学芸員(I)さを市民の	
合							9.	理解して	ていただく	くための大	事な旅	重策である	5.	
評														
評 く 価														
(価	前年度	改革	・改善	策の実態	も 状 況		前	年度細	施策評	価におけ	ける今	後の方	i 向性	
位 点	前年度	改 革 施		評	価	前	前	年度細	施策評.	価におり 策	ける今	後の方	i 向性 <u></u>	後
文 今 <u></u>	細 成 拡					前⑦	成	細拡			ける今			後
女	細 成 拡 果	施		評	価			拡振	施		ける今			後
な	成が、現の方が紹	施 充		₽	価 ⑤	Ø	成果の方	細 拡 現物	施		ける今			後
() 女童・女童の方	成果の方向に	施 充 状維持		評 2 3	価 ⑤ レ	7 9	成果の	細 拡 現物 縮	充 充 大維持		する 今			後
一	成果の方向に	施 充 状維持 小	5 策	2 3 4	価 5 ⑥ レ ⑧	⑦ • 9 • 10	成果の方向	細 拡 現物 縮	施 充 尤維持 小				価 レ 現状維持	拡大
() 女は・女きり方向生 () 女は・女きり方向生 () の方向性	成果の方向性 体	施 充 状維持 小 廃止	第第1111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111111<l< td=""><td>評 ② ③ ④ 4 ぶ に 縮 い スト投</td><td>価 ⑤ L ⑥ L ⑧</td><td>⑦ (9) (10) 持 拡 : 方 向 性</td><td>成果の方向性</td><td>拡現物</td><td>施 充 大維持 小 廃止</td><td>皆減口</td><td>縮ト</td><td>評 小 投入</td><td>価 レ 現状維持の方</td><td>拡大向性</td></l<>	評 ② ③ ④ 4 ぶ に 縮 い スト投	価 ⑤ L ⑥ L ⑧	⑦ (9) (10) 持 拡 : 方 向 性	成果の方向性	拡現物	施 充 大維持 小 廃止	皆減口	縮ト	評 小 投入	価 レ 現状維持の方	拡大向性
一	成果の方向性を含めて、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では	施 充 状維持 小 廃止	①	評 ② ③ ④ 4 が、 な り 、 特別展に	価 ⑤ L ⑥ L ⑧	⑦ / ⑨ ⑪ 排 拡 :	成果の方向性	細 拡 現 線 体 体 一 看を増	施 充 大維持 小 廃止	策 谐 減	縮 ス て魅 力	評 小 投入	価 レ 現状維持の方	拡大向性
一	おおおります。 おおおり は は は は は は は は は は は は は は は は は	施 充 状維持 小 廃止 増加に結ち	i 策 ① ⑤ で	評 ② ③ ④ 4 ※ 縮 小スト投	価 ⑤ レ ⑧ ⑧ 現状維 入 の フ	⑦ (9) (10) 持 拡 : 方 向 性	成果の方向性 人参考	細 拡 現 線 体 体 一 看を増	施 充 大維持 小 廃止	皆減コン企画をし	縮 ス て魅 力	評 小 投入	価 レ 現状維持の方	拡大向性
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	おおおります。 おおおり は は は は は は は は は は は は は は は は は	施 充 状維持 小 廃止 増加に結ち	i 策 ① ⑤ で	評 ② ③ ④ 4 ※ 縮 小スト投	価 ⑤ レ ⑧ ⑧ 現状維 入 の フ	⑦	成果の方向性 人参考	細 拡 現 線 体 体 一 看を増	施 充 大維持 小 廃止	皆減コン企画をし	縮 ス て魅 力	評 小 投入	価 レ 現状維持の方	拡大
価 今後の方向性 改革・改善値 今後の方向性 改革・改善	おおおります。 おおおり は は は は は は は は は は は は は は は は は	施 充 状維持 小 廃止 増加に結ち	i 策 ① ⑤ で	評 ② ③ ④ 4 ※ 縮 小スト投	価 ⑤ レ ⑧ ⑧ 現状維 入 の フ	⑦	成果の方向性 人参考	細 拡 現 線 体 体 一 看を増	施 充 大維持 小 廃止	皆減コン企画をし	縮 ス て魅 力	評 小 投入	価 レ 現状維持の方	拡大向性
() 女主 女者) 777 E () () () () () () () () () (おおおります。 おおおり は は は は は は は は は は は は は は は は は	施 充 状維持 小 廃止 増加に結ち	i 策 ① ⑤ で	評 ② ③ ④ 4 ※ 縮 小スト投	価 ⑤ レ ⑧ ⑧ 現状維 入 の フ	⑦	成果の方向性 人参考	細 拡 現 線 体 体 一 看を増	施 充 大維持 小 廃止	皆減コン企画をし	縮 ス て魅 力	評 小 投入	価 レ 現状維持の方	拡大向性

事務	事第	纟名	縄文教室事	务											事業期	胴	平成	. 12	. ^	•	年	度	整理番	号	07020204
担:	当部	署	教育委員会	事務	局	4	石縄	文考さ	館		考古飢	官係			作成技	当さ	皆名	山		A	哲		連絡统	先	76-2270
計画	おり	第	プランに 位置づけ 事業名 ***********************************	小当	て教室 生か	事業	世 人まで		事業際に出	06 11 03	常設原	た生単文考・特どを制	涯を追 古館・ 別展・ 別作す	通じ学で ・青少年 ・講演会	としく学 が続ける 手自然の 会・研究 学習や記	こと 森の 会・	で 売 講 会計	きる! ! !会開! コー	半事ドの	機会 業 01	の充実 款 10	と境	の提供	目	07 事業 05 跡の大切さ
)			と 背 景 う し て)	の争	を掘な	どが	早くだ	いら注	目され	る数の いて行わ いのある	oれ、i	縄文プ	と化研!	究にも	それらる 大きなり	を出。足跡	土した	た縄文してき	.時代 た地	遺跡	の宝庫 る。	です	5 5 . i	また	、尖石遺跡
P	目	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	同山		吧人.	~16 ⁻ 1	一座文	に関化	. V 0) 6	אוויע,	ж. Ст —	权变:	*I'TE o											
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	ける	人を	増や	す。												や遺	跡の	大切で	きにつ	ついて	理解	していただ
L	手 (,	段 ビ う	・ 方 法 やって)												よる教園 大学教員				を開	催す	⁻ る。				
			行政活動の	結果:	からこ	くり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単(立 算出	方法	去・言	+算式	· E	標値	直設定(の考	え方な	: ځ	最終目標値
N	評価指	活動指標	縄文教室・	縄文	ゼミナ	––л	等の	講座開	開催数	開催数	it			0	開催	数									13
)	1標の作成	成果指	成 果 縄文教室・1 の増	縄文	,,,	果ール			? 》加者	指	標加者(名の増	称	単 1 %				十算式 H 2 7		標値	直設定(の考	え方な	: ك :	最終目標(i
		標																							

	Į	Į	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Ξ	事業費等	(a)	円	536, 000	423, 794	303, 804	465, 568	481, 000
	財	国庫支出	金	円	224,222	120/101		,,,,,,,,,	,
		県 支 出	金	円					
	源	地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円				72, 800	80, 000
	訳	一 般 財	源	円	536, 000	423, 794	303, 804	392, 768	401, 000
施	職	正 規 職	員	人	0. 20	0. 20	0. 20	0. 30	0. 30
	員	嘱 託 職	員	人				0. 20	0. 20
		臨 時 職	員	人	1. 25	1. 25	1. 25	0. 40	0. 40
状	数	合	計	人	1. 45	1. 45	1. 45	0. 90	0. 90
11.	Ż		数						
	3		(b)						
	È		(b)	円	_	_	_	_	_
況	5		額	円					
	Ī	5民一人当たりのコス		円	10.00	8. 00	5. 00	8.00	72.00
		men hate der	目標		13	13	13	13	13
		開催数	実績		13	14	17	18	13
	活		達成率	%	100. 00	107. 69	130. 77	138. 46	100. 00
	動		目標	_					
	動指	_	実績	0.4					
D	標		達成率	%	_	_	_	_	_
	1534	_	目標実績	_					
		_	達成率	%	_	_		_	_
0			目標		400	400	400	400	400
	成	講座参加者の増	実績	%	398	688	632	499	400
	果	時圧多加名の名	達成率	%	99, 50	172, 00	158, 00	124, 75	100, 00
	指		目標	70	00.00	172.00	100.00	124.70	100.00
\sim	標	_	実績	_					
	175		達成率	%	_	_	_	_	_
	/++-		,,	, 0					
	備								

事務	事美	業名 🗍	文教	室事系	务										事	業期間	引 平/	龙 12	2 ~		年月	整理:	番号	07020204
担旨	当部	『署	汝育委	員会事	務局	5	尖	Б縄文	考古館	1	考古	館係			作	成担ӭ	当者名	Ц	1 #	4	哲	連絡	先	76-2270
	期				目	標							€ 穏	į							課	題		
四	第 1 期	縄文物	z*ミナー 数室第	ル第1回・9	1							ル第1回 回・第2回	•第3	•				第3回た方が					J、参	加を断念し
•	第 2 期	縄文	を楽し ビミナ	ール第 む教室 ール特 、ナイ	第1	回・第	2回-第	第3回・1	第4回	縄文を 縄文ゼ パスツ	楽しむ者 ミナール アー、糸	レ第2回・第 対室第1回・ レ特別編 ・取り講座、 生日(出土	第2回 ナイト	· E :	ュージア			知した	ため、 ・楽し	参加	ロを断念	する方が	けいた	る予定で告 :。 Iのため中」
期ご	3	縄文排	收室第	ール第 4回・9 む教室	第5回					縄文教	室第5	ル第4回 回 教室第5[<u> </u>					縄文材た。	数室第	4回:	が、申辺	<u>₹</u> ゼロの;	ためら	中止になっ
ے	第 4 期	次年月	度の計	一画立刻	作と記	静師交	渉			次年度	の計画	重立案と誰	師交	渉				計画で	な案も	講師	交渉もも	らっと早く	する	o
စ											事	中	î	Ŧ	価									
												境の変化	今	月	拉拡		充		-	2		⑤		7
	受課	者に の額:	は好評 を重ね	Fを博し 計すく	ノてい ベキノ	\るが、 −思わ	、材料:	費が以	し前より	も高騰し	ており	、受益者	後	果の		状維持	÷			3		6	ا	9
E.	また	:、申辽	ゼロ	の回が	初め	て発	生した。	。より鬼	表力的 7	な講座を	新たに	考える必	の) カ										
	要か	がある。		- A - H-1	\ ::		マ 公 田	5 -12 -15	TE / 7/	<u>- ++ ¬</u>	* \mathcal{m} \tag{\psi}		-	卢]		j\			4		8		10
理	上山									文革・改 で謝礼を		<i>t</i> -w.	方	性	E 休 ——	廃」	E (D						
					,								向			/		皆	減	縮	小	現状絲	持	拡大
													性	را	/			⊐	ス	۲	投ノ	の	方	向 性
		证压力	- d=		MZ	æ		1																
	-	評価年	_	77		年度		<u> </u>		+	*	1 性	_			**	क्र		性		4//	Δ = π	価	和1 中
	被	見 点 画の観		妥 1 T	: 2	当	4	1生	5	有 1 2	· 交	13	判定	,	1 1	効 2	· 率	4	半判別	5	総	合 評	1	判定
評		エック		<u>'</u>		J	4	+11 A	٤	1 Z	3	+	十リル 4	-	'	Z	J	4	+11.A	E			4	
				の縄 つ	女数 9	幸や誰	油スタ	•	の縄立	ロザミナ	<u> </u> 一ル警	を行い参	•	<u> </u>	は好評	を値し	てい	る。初	•	7	_ A :	計画どお	り事	業を進める
		も短	時間で	体験	できる	る「組	マケ!	楽しむ	教室」	も、ナ	イトミ	ュージア	゚ムも	2:	年目と	なり、	好評	である	ء کے آ	a I I		とが適当		ニル羊おぶ
価	課	時に。	より鬼 まで后	力的7 横、	は講児	坐内容 プロジ	い検え シェク	討も不 ト権類	可避て	きあるこ -われて	とが明 いる「	 らかにな 市 民総 学	つた	。 化:	日指	Lτ.	± ሀ	「縄文	文化』		の C:	事業規模	• 内	に改善が必 容・実施主
										いく必				_		• • •						の見直し 事業の絣		要 休・廃止の [;]
	題																			L	找	討が必要		
С																				_ <u> </u>		総合評価		: A 号 0702020
н			細		施		策		評	価		前			細		施		策		評	価	EZH	後
	総	多くの		1者にも				を博し			込ぜ口				プロジ		ト構想		:われ		る「市	民総学芸		」を目指:
E		て発生	生した	・講習	室内 和	容の再	吟味	が必要	であり) : た幅広	八年製	層が参加	1.75 t	: 8D	、世界理解	に誇ってい	る茅野	市の制	文文	化の	すばら	しさをす	ī民の	皆様が知
С	合			容にで					J. a	に順広	U 14- MT	度が多が		`	理解し		EIE	<i>1</i> Ξ α <i>)</i> 0	/人 争	4 元	東でめ	0 .		
	評																							
K	/ ==																							
)	価	前	年 度	改	革 .	· 改	善 領	€ Ø	実施	状 況			į	ifi :	年度組	用施台	6 評 信	fi に ま	ミける	5 今	後のフ	与向性	1 _	
改			細		施		策		評	価		前			細		施		策		評	価		後
革	今						沢	<u></u>	ar		1	7		دلے					ж		AI.	Щ		区
-	後	成果	拉					2		5				成果	拡		₹ 							
改善	の	の	瑪	状維持	Ŧ			3		6	レ	9		の	現	.状維打	手					レ		
の	方	方向	縮	i /	`			4		8		10		方向	縮	1	ļv .							
方	向	性	休	廃 」	Ł	1								性	休	廃」	Ł							
向性						皆	減	縮	小	現状	維持	拡	_					皆	減	縮	小	現状維	掛	拡大
<u>H</u>	性						ے" ت			入の			Ì	_			1		<i>"</i> ス			(O		
A	改									てる。														一貫した
C	革			コ者を ^は 講座の					を企画	īする。											、郷土の		(1615	理解と関
I	٠		ه. رب د	- MT	- ~_ 1		. May	. ••					۱		- 110 200			- \ [0		_ / 0/	•		
0	改																							
N _O	善																							
	策																							
最終	答評	価年丿	月日	平原	【29年	₹3月3	1日	最終	冬 評	価 責	任者				尖石網	【文考	古館县	ŧ				守		昌 文
												_	_	_	_									

事務	事業	名	尖石史跡公	型整·	備事業	ŧ								4	事業期間	平成	10	~		年度	整理番号	
担当	当部	署	教育委員会	事務.	局	尖	石縄	文考古	館		考古館	系		1	作成担当:	者名	小	池	岳	史	連絡先	76-2270
計	おけ	ナる	プランに 位置づけ 事業名	平点	史跡 27年	度に登	を備す	た特別	事業	06 11 04	尖石遺	生涯? 文考古的	を通し館・青事業	・学び制 少年自 存管理	然の森の 計画に基	とので の 充実 会計: づき、	きる学	●習機	会の 1 款 かに	充実と:	場の提供 項 05 E	代に継承する
曲	(簡:	絮にオ	業の概要っかりやすく)	自然	指定	地は急	本計画 全体の	1地と-	ー体 と の公本	: なった	÷運営を √終了し	行う。 た。平	成2年	F度から	国庫補助	助事業 (こよる	シ史跡	整備	事業を	<mark>開始し、™</mark>	古館と青少年 4成20年度に
			と 背 景 うして) 					いい	崩につ	いては	は、保存	管理計	画に	基づき、	市民参	加によ	る史	跡整値	蒂 事業	を実施	していく	予定である。
P		対 象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	市月	Rと観 R。	光答。	•															
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	市月市月	や観に特	光客/ 別史	が、st	います。 要性を	安心・ を理解	安全に	-利用で ららう。	きるよ	う管	理する。								
L			方法やって)		体の保 体公園						F業(特 引伐を行		生物	の駆除	等)を市	民参加	iic &	り実施	他する	0 0		
			行政活動の紀	洁果:	からこ	つくり	だす	ものは	何?	指	標	名 称	Ţ.	単 位	算出方	法・計	算式	· 目	標値討	段定の参	きえ方なと	最終目標値
N	評	虭	木橋の改修。	と支	障木 の	間伐				進捗度				%	完成率							100
	価	指標	市民参加に。	よる .	史跡の)整備	作業			市民参	加率			%	整備作業	集への	市民	▶加回	数/3	備作業	包数	100
	標の		史跡公園の記	<u>« 🗖</u>	点検					実施回]数			%	実施回	数/12ヶ	-月					100
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名 称	Ţ	単 位	算出方法	法・計	算式	・目標	標値認	段定の参	きえ方なと	最終目標値
		果指標	利用者数の均	曾加						使用者	数增加	率		%	使用者	数/前:	年度和	制用者	数			100
															ı							ı

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	=	事業費等	(a)	円	5, 588, 625	883, 900	2, 942, 500	2, 800, 520	1, 612, 000
	財	国庫支出	金	円	2, 589, 000	58, 000	788, 000	1, 177, 000	
	源	県 支 出	金	円	155, 000				
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円	2, 435, 125				
	訳	一 般 財	源	円	409, 500	825, 900	2, 154, 500	1, 623, 520	1, 612, 000
施	職	正規職	員	人	0. 74	0. 74	0. 78	0. 70	0. 70
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
状	数	白	計	人	0. 74	0. 74	0. 78	0. 70	0. 70
11	7		数						
		延利用(者)数	(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	100.00	16. 00	53. 00	50.00	124. 00
			目標	%	100	100	100	100	100
		進捗度	実績		30	10	100	100	100
	活		達成率	%	30. 00	10. 00	100.00	100.00	100.00
	動		目標	%	100	100	100	100	100
	動指	市民参加率	実績		100	100	100	100	100
D	標		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	尓		目標	%	100	100	100	100	100
		実施回数	実績		50	10	100	100	100
			達成率	%	50.00	10.00	100.00	100.00	100.00
0	-		目標	%	100	100	100	100	100
	成	使用者数增加率	実績		100	100	100	100	100
	果		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	100.00
$\overline{}$	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_		_	-
	備	H23年度活動指標の変更	Į.						
	===								
	考								

			史跡公園			- 48 - - 3 2 -	+ 40	1-22-1-	Arch 175				期間 3				度 整理番号	
担	当部	3 者 教育	委員会事務	分同	天1	通文考	白鬼	考古				作风	担当者	名	池	岳史	連絡先	76–2270
	期			目 標					ᢖ	₹ 績						課	: 題	
四	第 1 期	・市民参加の の周辺の ・史跡公	多の入札準 加による史 環境整備、 関の巡回点	跡の整(, 外来特 i検	定生物	の駆除)	:そ ·市民 ·危限 ·史録	大伐採 小公園の	よる史跡(巡回点検					•改作 •危险	加尾根遺跡 した木橋 木の増加 1場用地の	10	面の崩落)流入と 園路 (の崩壊
半	第 2 期	スト ・園路改作 ・駐車場	表遺跡南側 多見積り準 用地の検討 の伐採・史旨	備			始 · 國 ·駐車	格改修見 基場用地	研用側斜 漬り依頼 の検討 ・中跡公開				マスト開	·駐車 ·木棉	尾根遺 場用地の いの砂 は枝の増加	の流入	面の崩落	
期ご	第 3 期	・課題に ・木橋に ・復元住	対する実施 流入した砂 舌のメンテラ	計画及での撤去			・課題 ・復 <i>ラ</i>	に対する 定住居の	る実施計 メンテナン 巡回点検	画及U /ス					iに対する さへの砂く		画及び予算要	求
٤	第 4 期	·史跡公	書のメンテ: 園の巡回点 長者懇談会 品議	検			・史録 ・地テ		メンテナン 巡回点検 懇談会					- 園出			F劣化への手 II	当て
_O								事	中	副	i	価						
0)			後、約6ヶ							今	成	拡	充		2	l	5	⑦ レ
管	カス」	トスト・本ム・カル	づき、史跡の(いる。木橋を改作を取ります。木橋を改作を取ります。) 大しないよう、) スの運行に支	体した折に	大畑の:	坐心の 直田	レーア 間吹から	の砂の帯で	太均増され		果のナ	現状	維持		3		6	9
	枝が		えの <mark>運行に支</mark> 度の実施						である。		方向性	縮	小	•	4		8	10
理			画進行のた							_ 方 向	性_	休彦	<u> </u>	皆	減縮	- 小	現状維持	拡大
		H-120012	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							性		/			スト			向性
	Ī	評価年度		当年度]												
	裑	見点	妥	当	ı	性	有	效	1 性	Ē		効	2	枢	性	総	合評価	判定
評		面の観点 ェック	1 2	3	4	判定 4	1 :	2 3	4	判定 4		1 2	! 3	4	判定 4		Α	
価(C	課題	回収した ・与助尾 ・甲1号	前後の「紅がりの」。根遺跡の在遺跡の下線沿いのは、	木橋に悪 复元家園 南側斜面 樹木の村	E <mark>影響</mark> を Eのうち Eが崩落 もが、フ	を与えて ち 2 棟が 客し、縄 大型バス	いる。 、日当た「 文時代のi の運行にi	りや風通 き構 が失 を障をき	しが悪い われつつ	·環境 ある。	- 本 .					記号の定義 B:D: 前年度	とが適当 事業の進め方 事業規模・内 の見直しが必	休・廃止の検 と A
н	40	į	細	施	策	評	i (i	6	前			細	施	į	策	評	価	後
E C K	総合評	た。 ・公 <mark>団</mark> 内 ようにな ・市民参	の危険木の	の伐採を	を行い、 環境整備	より安	全に公演	を利用し	てもらえ	.る・	る立	場でも	あり、	史跡の	直切な管	理は必要	切なことで、 なことである 常的に必要す	
J	価	前年	使 改 苗	• Pb	盖領	まの 宝	施状	- -	部実力	新 亩	1 在	度細な	新第 誣	価に	おける	今後のこ	方向性	
改				施	策	評			前	<u> </u>	, T	細	施		策	評	価	
革	今		拡充	7E	ж	2	5	-	7)		t	拡	充	,	ж	ЯT	Щ	12K
改	後	果	現状維持			3	6		9		或 果 の	現状						
善の	の	方	縮小			4	8	i.	<u> </u>		方	縮	小 					
方	方向	向 性	休廃止	1		Ü	~		3		句 生	休身						
向性	白性	_		皆	減	縮		大維持		t	-		_	皆	減解		現状維持	拡大
ACT	改革・		会議を開作協議や実施			黄(メン	役 入 <i>の</i> テナンス) <mark>の獲得を</mark> I	の方向	可 性 性を示す	.	てい	る現状	を踏ま	ら17年 え、第2		、老朽化 亦整備(2	入 の 方 や修理個所が メンテナンス ら着実に行っ)の方向性
(Z O I	·改善策																	
	<i>th</i> =⊤	価年月日		9年3月3	14 ==	П 37	評価責	/T +v			-1	と石縄文					守 矢	昌文

事務	事業	名	尖石縄文文	比賞事務				事業期間	平成	12	~	年度	整理番号	07020206
担旨	台部	署	教育委員会	生涯学習部 文化財課		尖石縄文考古	5館	作成担当	者名	山	科	哲	連絡先	76-2270
	市」 おけ	民 : ナる	プランに 位置づけ	有 政策体系 一級 施策 一級 無額 一級 事務事業	03 06 11 05	第6節 生涯	重を通じて楽 重を通じ学び 5館・青少年	売けること	- のでき					
計	子	笛	事業名		00	阿人人儿员	下术		会計コ	ード	001	款 10	項 05 目	07 事業 06
-	事務	多事	業の概要 >かりやすく)	国指定特別史跡尖石遺跡の発掘 発展を願って茅野市が制定し <i>†</i>					坂英弌	の業制				このさらなる
			と 背 景	名誉市民故宮坂英弌の尖石遺跡 と言われる国の特別史跡である る。こうした経歴を持つ尖石線	る。また 職文者i	た、考古館で	は、我が国最	初の縄文	時代の	国宝で	きある	「縄文のと	ヹーナス」を	史跡の国宝 ∃展示してい
	目	対	受益者 (誰のために)	全国の縄文時代研究者、及びE 同上										
P		象	対象 (直接働きかける)											
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	縄文王国茅野、及び尖石縄文表示されたまちづくりの基礎を動	eき、i	市民に周知す	る。					:、「縄又	てフロジェク	7ト構想」に
L A			・ 方 法 やって)	縄文まつりに授賞式を行う。 a 全国の大学、博物館、埋蔵文化								うへの推薦	ちゅう ちゅうかい ちゅうかい ちゅうかい かいかい ちゅうかい ちゅうかい ちゅうかい ちゅう かいかい ちゅう かいかい ちゅう かいかい ちゅう かいかい しゅう しゅう かいかい しゅう かいかい しゅう かいかい しゅう かいかい しゅう かいかい しゅう) .
			行政活動の約	吉果からつくりだすものは何?	指	標名	称 単位	算出方法	法・計算	算式·	目標値	直設定の	考え方など	最終目標値
Ν	評	活動	募集要項を	関係機関へ配布する	募集到	要項の配布件	数 件	大学165 物館168		文化則	オセンタ	≠ —101,	歴史系博	433
	価	指標	推薦依頼を	ī う	推薦的	太頼者数	人	各県、名	外域 σ	研究	者数			33
	担標の 一		受賞者による	6市民向け講座を開催する	講座	開催回数	%	前年度多	受賞者数	大/講座	医開催回	動数	-	100
	作	成	成果	・ 効 果 は 何 ?	指	標名	称 単位	算出方法	法・計算	算式·	目標值	直設定の	考え方など	最終目標値
	成	果指	応募者数の均	曽加を目指す	応募作	牛数	件	平成27年	痩と	数以	Ł			2
		130	推薦依頼者	いら被推薦者を受ける	被推薦	嵩者数	件	平成27年	手度と 同	数以	Ł			3

	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	luli.	71. 70. 7	(a)	円	1, 847, 000	1, 424, 966	1, 311, 136	1, 283, 520	1, 750, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円				100.000	400
	訳	その他特定財	源	円	4 04 7 000	4 404 000	4 044 400	100, 000	100, 000
tide		一般財	源	· 田	1, 847, 000	1, 424, 966	1, 311, 136	1, 183, 520	1, 650, 000
施	職	正規職	員	ᄉ	0. 40	0. 40	0. 40	0. 50	0. 50
	員	嘱託職	員	ᄉ					
	数	臨 時 職	員	-	0.40	0.40	0.40	0.50	0.50
状		合 	計	人	0. 40	0. 40	0. 40	0. 50	0. 50
	Ž		数						
	3		(b)	т					
	Ė		(b)	円田	_	_	_	_	_
況		受 益 者 負 担 5民一人当たりのコス	額	円円	33, 00	25, 00	24, 00	23, 00	100, 00
		「氏一人ョたりのコス			433	433	433	433	433
		募集要項の配布件数	目標 実績	件	433	433	433	433	433
		券来女人の配刊作数	達成率	%	100, 00	100.00	100.00	100.00	100, 00
	活		目標	70	34	34	33	33	33
	動	推薦依頼者数	実績	人	34	33	33	33	33
	뒴	TEMPONING BY	達成率	%	100.00	97. 06	100, 00	100.00	100.00
D	標		目標		1 1 1	1	100.00	1	1
		講座開催回数	実績	%	1	i	1	i	1
			達成率	%	100.00	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00
0			目標		4	1	1	2	2
	成	応募件数	実績	件	1	1	2	1	2
	果		達成率	%	25. 00	100.00	200. 00	50.00	100.00
	指		目標	件	11	2	6	3	3
	標	被推薦者数	実績	111	2	6	3	11	3
			達成率	%	18. 18	300.00	50.00	366. 67	100.00
	備		-						
	考								

事務	8事	業名	縄文文化	賞事務										事業其	期間平	ӣ	12	~	年	度整	理番号	07020206
			委員会 4		部文	比財課			尖石	縄文考	古飢	Ì			313		Щ	科	哲		連絡先	76-2270
	期			目 標	[実	績							部	題		
四	第 1 期	頼、	間、後援依頼 ニージ上での	頃、広告	掲載依	頼、推加				後援依頼 ジ上での	i、広	告掲	載依頼	質、推薦	篤 依頼.	、ホ-	-ムペ	ージ」			台、推薦 ⁽	依頼を早くす
半	第 2 期	式開催F	別催、市団の確定及 パンフレッ	び通知的	・送、ト		-及び	開催日	の確認	崔、市長 定及び通 パットの作	知						賞式開	催通:	知発送を	を早くす	⁻ රි	
期ご	第 3 期	授賞式のレット郵流)開催、実施 送、助成金	拖報告、 請求	関係者	へのパ	ンフ	授賞式 卜郵送、	の開作 助成	崔、実施 金請求	報告	示、 関	係者	〜のパ	ンフレ:	実施	色報告	、関係	係者への	パンフ	レット雪	送を早くす
٤	第 4 期	委員委嘱	の内諾、原	太告掲載	依頼、	助成金	申請	委員委	嘱のF						申請	勃!	製的な	広告	集体を新	たに核	計する	
o o									事			評	1	5								
			後、約6点							境の変	化			拡	充			2		⑤		7
管	扠身	1、用作)	1年 1日	こうい	C, ILI	らかった。	タルーお	こなつ。					*	現状絲	推持			3		6	レ	9
E													÷	縮	/J\			4		8		10
		新年	度の実施	計画・	予算要	求事項	頁(改)	革・改	善策))			向	休廃		1)						•
理	賞 0		は高まってし									向	Ή_	שכו יון			ानी	於	ds	181	Ŀ % # +±	+÷ +
														/		皆 -	減って	1		· 現1 入 σ	犬維持	拡大
												性	_				ュス	 	投	人 0.) /3	向 性
	i	評価年度		当年度																		
	礻.	見点	妥	当		性		有	交	为	性			効	玤	<u> </u>	性		総	合	評 価	判定
評	評值	画の観点	1 2	3	4	判定	1	2	3	4	#	钊定	1	2	3	4	. ¥	引定			Α	
	チ	ェック				4					<u> </u>	4	14.1%		• • • •			4		- 1 - 1 - 1		********
			f数は大幅 う努める。	に増加	したが、	. 応募	首は前	年度より	り低下	いた。	心罗	者、	被推	鷹者が	いともに	二前年	度以」	EIC	記	とがi	商当	業を進めるこ
価	課																					に改善が必要 容・実施主体
																			定差の		直しが必 の統合	要 休・廃止の検
	題																		72	討が必	必要	
С																					平価判定	号 A 号 07020206
н			細	施	策		評	価		前				細	施		策		評		<u> </u>	後
	総	より効果	的な推薦	を得るだ	こめ、こ	さらによ	七較的:	若手の研		作推薦			文の里	茅野、	及び	尖石制	文考		を全国に	知らし	しめ、#	文文化研究
E	슫	頼してに 的な広告	ヾく。また テ媒体を検	、賞のi 討する。	忍知度?	が一層で	高まっ'	ているな	なかて	き、より	効果	l の	発展に 基礎を	寄与なす	するこ を策と	とで して	「縄文 i 要で	プロ: ある。	ジェクト	▶構想」	による	らまちづくり
С		H J 'G /AL		u, , o								"										
	評																					
K	価																					
)		前年	度 改 革	. • 改	善	きの 3	実 施	状 況				前	了年 度	細施	策評	価に	おけ	. る ≤	き後の	方向	性	
改	今		細	施	策		評	価		前			i	細	施		策		評	ſï	ħ	後
革	後	成	拡 充			2		⑤		7				拡	充							
改		果	現状維持			3		6	レ	9			果 の	現状約	 佳持						レ	
善	の	方	縮小			4		8		10		" ;	方	縮	/\							
の方	方	向 性		<u> </u>		•		•		13 9			句 生									
向	向		休廃止	貨	減	縮	ds	現状約	佐 + ±	拡	_		_	休廃	т_	皆	減	縮	,1,	TEL	L &# ++</th><th>拡大</th></tr><tr><th>性(</th><th>性</th><th></th><th></th><th>百百</th><th>ル スプログス</th><th></th><th>小 投<i>り</i></th><th>現状制</th><th></th><th></th><th>大</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>É</th><th>減コ ス</th><th></th><th>· 投</th><th></th><th></th><th>加 人 向 性</th></tr><tr><th>Ā</th><th>改</th><th>現状のも</th><th>状況で、有</th><th>効に運</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>- '-</th><th></th><th>現</th><th>状の状</th><th>況で、</th><th>有効</th><th>に運営</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>·</th></tr><tr><th>C</th><th>革</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>T</th><th>•</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>0</th><th>改業</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>Z)</th><th>善策</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>T</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>_</th></tr><tr><th>最終</th><th>冬評</th><th>価年月日</th><th>平成2</th><th>29年3月</th><th>31日</th><th>最 終</th><th>評句</th><th>黃</th><th>£ 者</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>文化則</th><th>才課長</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>守</th><th>矢</th><th>昌文</th></tr></tbody></table>	

事務	事事	[名	青少年自然の	の森	管理道	E営事	務								事業期間	引 平原	丸 4	~		年度	整理番号	07020207
担当	当 部	署	教育委員会	事務	局	尖	石縄	文考さ	館		考古的	官係			作成担当	省名	小	池	岳	史	連絡先	76-2270
라	おり	ナる	プランに位置づけ	有		策体	-	政施細済	事業	03 06 11 06		市 生 単文考	涯を通 古館・	じ学び	自然の森	との充	できる! 実	学習機	会の	充実と	場の提供	
計	予	算	事業名					里運営		h 1	4 hb -		Fall de s	7 L 15 Au			 					09 事業 01
画	事為	务事	: 業の 概要 っかりゃすく)	維持	特管理	してに	ハくナ	さめの	事務事	業で	ある。											,この施設を
			と背景	青少	〉年が	豊かれ	な自然	8の中	で「生	≘きる :	力や知	惠」を	を育むが	とめの原	体験施記	改とし	て極め	て重	要な抗	設です	5	
	目	対	受益者 (誰のために)	利用同山																		
P		象	対象 (直接働きかける)																			
	的	(どん	意図な状態にしたいか)										里を行う									
L			・ 方 法 やって)		 		かつる	会全に	施設を	₹利用↓	してい	ただく	くため、	施設の	修繕を記	計画的	に進め	、 あ ;	りせて	で備品や	○電気保安 :	などの定期点
			行政活動の約	結果:	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・	計算式	· 目:	摽値訁	没定の:	考え方など	最終目標値
N	評	活動北	施設内外の	安全	状況研	主認				施設物	犬況点	検率		%	施設内	部とタ	外部の:	犬況硝	認実	施回数	/開館日	100
)	価指標の	指標																				
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・	計算式	• 目	摽値訁	没定の:	考え方など	最終目標値
	成	果指標	事故・クレ-	- <u>L</u>	件数0	り削減				事故	クレ	一人打	制率	%	1-4	故•	レー.	ム件数	大/来食	官者数		100
		175																				

	ij		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Infl.		(a)	円	4, 720, 206	3, 491, 560	3, 275, 422	3, 692, 719	5, 131, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円	3, 250, 400	2, 673, 100	2, 430, 104	2, 576, 116	3, 742, 000
- Auto-		一般財	源	円	1, 469, 806	818, 460	845, 318	1, 116, 603	1, 389, 000
施	職	正規職	員	ᄉ	0.00	1.00	1 00	0. 20	0. 20
	員	嘱託職	員	-	0. 80	1. 00	1.00	1. 00	1.00
	数	臨 時 職	員	ᄉ	0. 31	0. 50	0. 50	0.50	0.50
状		合 + 各 (*)	計	人	1.11	1. 50	1. 50	1. 70	1. 70
	у Z		数 (b)						
	直		(b)	円	_	_	_	_	_
200	<u>-</u>		額	円	_	_		_	_
況		ヹ <u>無 年 貝 担</u> 市民一人当たりのコス		円	84. 00	62, 00	59, 00	67. 00	184. 00
H	_	氏一人目にりのコス	目標		100	100	100	100	100
		施設状況点検率	実績	%	100	100	100	100	100
$\overline{}$		NED VOCANIE	達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00
	活		目標					100.00	100100
	動	_	実績	_				-	
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標	%	100	100	100	100	100
	成	事故・クレーム抑制率	実績	70	100	100	100	100	100
	果		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	100.00
	果指		目標	_	·	·	<u> </u>		
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

事務担 :		業名 青少		然の森 会事務				考古館		老古	館係				業期間 成担当:		龙 <u>/</u>	•	~ ! [年	~	隆番号 格先	07020 76-22	
	期	10 100			1 標			7			ALI IN	実	績	111		нн				課		1470		
四四	第 1	宿泊棟「 支障木等 貸出備。 経年劣化	等の確 品の補	*ッキ(4 認・伐抗 修・点	4棟)解 深 険	体工事		_	支障木 貸出備	等の配品の神	確認・伐 補修・点	4棟) 採 検	解体	工事の 写			た樹木	がある	る。複数 水管に	化している	るが、それ を認する必 時等) が生	>要があ	る。	
	第 2 期	支障木等 各施設(等の確 D現状	認・伐抗 把握の	采、樹っ)実施	木の枝	払い		支障木 各施設	等の配 tの現れ	推認・伐 犬把握σ	採、 シ実施	樹木 <i>0</i> 柩)枝払い	1		所が		された		、早期に 東の結構			
	נע	敷地内 宿泊棟 施設の	量根の	洗浄作	業	伐採及	とび処理	#	宿泊棋	屋根の	トの確認 の洗浄作 は検の実	業					樹木	の管理	里が誤	見題であ	ం			
۲	第 4 期	敷地内	支障木	の伐採	及び処	L理			敷地内	支障ス	ドの伐扨	と 及び しょうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃり しゃく	ゾ処理	l			樹木	の 管 3	里が誤	題であ	る。			
ص م										事			評	価										
		年度開始											今 [充				2		5		7	
dete:	おこ	棟(特に な必要が	がある。										, 後 0		状維持				3		6	レ	9	
B	お風	I呂の配 するか	水管に	不具合			じ、修理	里に多額	の費用	がかが	いるため	,	のオ		/\·				4		8		10	
ŀ	LIX 19						求事	項(改	革・改	善策)) 方 性	i]	廃止		D		•					
理		棟天井	長の結	露を防	止する	5ため、					修に必	更	向		ж н			2 clt	《 亡	ds	田小下(6# +±	+r÷	
	なエ	事費を新	打年度	予算に	計上し	<i>.T</i> =1\\.							性			ī	古 コ	減 ス	縮ト	小 投 <i>,</i>		. –	拡 向 性	大 E
	Ī	評価年度	ŧ	<u> </u>	当年度		1																	
	裑	見点		妥	当		性		有	交	h	性		3	边	率		性		総	合 評	価	判	定
評	評価	面の観点	1	2	3	4	判员	₹ 1	2	3	4	#	钊定	1	2	3	4	判	定			^		
яT		ェック																				Α		
		宿泊棟のある	や研修 き配を	棟等の	各施設	とを適け	別に維	持管理 悪であ	すると	ともに	長寿命	化を	はかい毎所	るには、 の不見。	現状を	を把握	屋してまたっ	不具		記丨	計画どるとが適		業を進め	るこ
価	鲤	業者に	よる定	期的な	点検を	を含め	課題で	ある。											•	号 B:	事業の	進め方		
		また、たんである	包設利	用者の	減少を	を食い」	止める	ことも											-	定	事業規 の見直	しが必	要	
		きてい					13/4- 🖺	性是否	て元旦	U. 7	以上に	Mis J.	1 00 · 00 .	加思教之 。	<u>ቀ</u> ወ ው	J 1946	פי לנו	ישנ די יו ע		義 D:	事業の組計が必要		休・廃止	:の検
С	起																			前年度	総合評		. ^	١
																					価シート	整理番		0206
Н	総	Mr OF A	細	施		策		評	価	74.00	前	5 1.		細		施		策	# 4	評	価	m	後	
Е	小心	築25年 が つ安全	い経過 こ施設	してお が利用	り、á できる	èる所! るよう、	こ个具 計画	台かみ 的に改	られる 修工事	。 村 を して	古か安	心が要か	施設	(の長寿) 大切な	命化を 施策で	凶るある	عع •	もに、	安心	かつ安	全に利	用して	いただ	< Te
	合	ある。																						
С	評																							
ĸ	計																							
	価																							
		前年	度。	文 革	· 改	善第	も の	実 施	状 況				前	年度細	施策	評価	fiに a	おけ	る今	後の	方 向 性	-		
改革	今		細	施	<u>i</u>	策		評	価		前			細		施		策		評	価		後	
	後	成	拡	充			2		⑤		7		成	拡	充									
改	の	果の	現状	維持			3		6	レ	9		果の	現	状維持						L	,		
善の	-	方	縮	小			4		8		10		方	縮	小									
方	方	向 性	休房		1				~		-		向 性		廃止									
向	向	, <u> </u>	小角	<u>н</u>	(1) 皆	減	縮	,1,	現状	6任 +±	拡	大	'*	111	完 止	_	皆	減	縮	,1,	現状紀	k# +±	拡	大
性(性					ルスコス		小 投 🧦	現状が		加 句 性	^					_	- 減 コース		小 投 .	現状: 入の			^
A		利用者				を設を	利用で	きるよ	う、改	修工事	を計画			者の安	全性を	保持								す
_	本	行い環境	竟を整																					
T	-	بح د د																						
0	改																							
N	善策																							
	173	1																						
		価年月		平成29:					西責						文考古						守			

事	務事 簿	美名	関係団体支持	漫等	事務										事業期間] 平成		~		年度	整理番	号	07020209
担	当部	署	教育委員会	事務	局	ゞ	て化則	課			文化則	才係			作成担当	者名	小	池	岳	史	連絡的	ŧ	76-2270
計	おり	ける	プランに位置づけ	有		策体	.,.	事務	策 策 施 策 事業	03 06 11 09	第6篇	5 生	涯を通	し学び	しく学び 続けるこ 自然の森	とので の 充実	きる	学習機	会の	充実と	場の提供		07 + ** 00
AT	予	算	事業名	関係	[団体	支援	等事:	栗實								会計	コート	00	1 款	10	項 05	目	07 事業 09
画	事	務事	· 業の概要 _{わかりやすく)}	もにやが	こ、縄 記むを	文文 東ね	化の る関	価値や 係団体	魅力を	市民に関	及び全 わる費	国の <i>。</i> 用の-	人々に 一部を:	広く発信 負担する	して、								護するとと め、市町村
			と 背 景うして)					に縄文	文化0)価値	や魅力	が十分	分浸透	していな	iv.								
	目	対	受益者 (誰のために)		e、全 e、全																		
P		象	対象(直接働きかける)					味力を	細って	*	い. 広	く業化	量1.で	もらう。									
	的	(どん	意図な状態にしたいか)													L 							
L			・ 方 法 やって)	関係	条団体	王惟	の会	護やイ	الام	で通	じ、離	XX1	比の値1	値や魅力	を発信す	ົ ∕•••							
			行政活動の組	結果	からこ	つくり	りだす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	· 目	標値言	设定のを	考え方な	<u>ا</u> ځ	最終目標値
N	評	活動	会議出席回	数						出席	回数				会議へ	の出席	数						3
	価指	指標																					
_	標の							<i>i</i> —		11-	1=	-	T.L.	324 / 1	Mr. IIt		Arte _1		I= /+ -	n — — -	+vL +:	18 5	
	作 成	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	1771	名	称	単位						受定の る	考え万な	ا ک	最終目標値
	150	果 指	考古館入館	者数	の増					入館	首数			%	H 2 8	年度/	127	年度					103
		標																					

	Į		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	=		(a)	円			3, 081, 000	81, 000	81, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
444		一般財	源	円			3, 081, 000	81, 000	81, 000
me I	職	正規職	員	人			0. 10	0. 05	0. 05
	員	嘱 託 職	員	-					
	数	臨 時 職	員	<u> </u>			0.10	0.05	0.05
状		合 · 条 / * \	計	人			0. 10	0. 05	0. 05
	X		数						
	Ž È		(b)	ш	_	_	_	_	_
 -	5		(D) 額	円円	_	_	_	_	
況		ヹ <u>無 年 貝 担</u> 5民一人当たりのコス		円	_	_	55, 00	1, 00	8, 00
_	_	氏一人目にりのコス	目標				15	3	3
		出席回数	実績				10	3	3
<u> </u>		山州四大	達成率	%	_	_	66, 67	100, 00	100.00
2	活		目標	70			00. 07	100.00	100.00
-	動指	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D ;	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	-	_	_
0			目標	04			104	103	102
J	成	入館者数	実績	%			83	97	102
-	果		達成率	%	_	_	79. 81	93. 99	100.00
	果指		目標	_					
7	標	_	実績	_					
			達成率	%	_	_	-	_	_
1	備								
	考								
	Ċ								

	多事 美 当 部	業名 関係 署 教育	団体支			文化	上財課			文化財	·係				業期間 成担当		水	~ 池	年 史		整理番号 連絡先	07020 76-2	
,_	期	L 2711			標							: 緩	Ė										
四	第 1 期	負担金の 日本博物加				館の日	」の事	業参	負担金の 日本博物					日」の	事業者	多加			日を無料	開館	としたが、できれば。		ri=
半期	第 2 期	全国史 会総会に	*整備7 出席	声町村	協議会	北信	越地区	協議	全国史 総会に出		方町村協	議会	北信	言越地	区協調	養会							
ŭ	第 3 期	全国史跡諏訪郡市	下整備 T T 博物館	5町村 官等連	協議会絡協議	強に	大会には出席	出席	全国史跡諏訪郡市							ī							
٤	第 4 期	諏訪郡市諏訪郡市での縄文	博物館	官等連	絡協議	会に。	よる銀 個	に参加 E長野	諏訪郡市 の縄文関	連イベ	シト(編	布体	験)	実施			考古館	事業と	重なり学	習会に	こ参加でき	きなかっ	た
Ø	坐 名	E度開始	後 約	6 4	ヨが経.	温 1 .	新たに	生比力	た問題点	事 や瑨堷	の変化	1	_	価		-						<u> </u>	
			IX \	0 , ,	175 中土.		4717~IV	<u>- </u>		1 24 31	00支10	今	成果	拡	状維打	仓 土		2 3		⑤	1.	⑦ ⑨	
管												後の	の方	宛縮		ار ب		4		8	V	(1)	
		新年	度の国	実施計	一画 • -	予算要	求事項	頁(改	革・改善	善(策)		方	向性		廃」		D	4		•		W	
理												向	1	- 14	<i>7</i> .	`		減 縮	· 小	現	状維持	<u></u> 拡	大
												性	_ ا			,		スト			の方	向!	
	1	评価年度		ग	4年度		1																
	初			妥	当		性		有	効	性			:	効	率	性	Ė	総	合	評価	判	定
評		の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		1	2	3	4	判定			Α		
	チ	ェック <mark>考古館</mark>	路との	きね	合いか	b.	4 関係団(の会議や	イベン	ト等へ	4 積極	的に	参加:	するこ	とが	誰しい。	4	A :	計画	どおり事	業を進め	かるこ
価	課			· »															の c :	事業 事業	適当 の進め方 規模・内	容・実施	
^	題																		124	事業 討が		休・廃⊥ <u></u>	
С																			10.0		評価判定 - ト整理番・		A 20209
н	415	1	細	施	į	策		評	価	Ī	ij			細		施			評		価	後	
E		広域に組 集、共有	■織され ▼、及で	ιた関 β発信	係団体の場と	に加	盟しては	いる利 利活用	点をいか する必要	し、情がある	i報の収 。	文图									る関係機 策である		機を
С	合																						
	評																						
K	価																						
-		前年									v	Ē	前年		田施 第				今後の				
改革	今		細 拡	施	3	策	2	評	価 ⑤	7	道 `		ct:	細 拡	3	施	9	使	評	1	価	後	
改	後	成 果 ·····	現状約				3		⑤ L				成果の		状維持						<u>با</u>		
善の	の +	の 方	縮	小			4		8	((の方	縮							-		
方向	方向	向 性	休廃	止	1				_				向 性		廃」	 Ł							
性	性			_	皆	減	縮	小	現状維		広り	=			_			咸 統				拡	大
Â	改	関係団体	と連絡	各を取	り合い	コ <i>フ</i>	養やイ	ベント	の開催日	及び内	性 <mark>容の早</mark>	期限	係	団体と	の情報	最交換					の方(<mark>体と連携</mark>		
C	革	把握に多	か、	計古館	業務と	日程	を調整	して、	積極的に	参加す	る 。	Į.	J.	うにす	る。					_			-
I	· 改																						
0 Z)	善																						
<u> </u>	策	価 左 口 「	- T	7 = } 0.0 -	佐り口 つ	10	見 40	;	まま に	李					/レ B-L SE	8 5			ı	<u></u>	<i>b</i> =	= -	
取和	冷評	価年月日	- '	-DX,29:	年3月3	1 🗖	取終	: a '' 10	五 責 任	白				又	化財制	大文				守	矢		文

事務	事業	名	縄文を識る	佳進:	事業									III.	事業期間	平成	28	~		年月	隻 整	೬理番号	070	20210
担当	部	署	教育委員会	事務	局	尖石和	文考	古館		考古	館係			1	作成担当	者名	小	池	岳	史		連絡先	76-	-2270
			プランに 位置づけ	有	政策	体 系		策 策 策 第 第 第	06	第 6 尖石	節 <u>4</u> 縄文3	生涯をi	通じ学 ・青少	び制	,く学び 使けるこ 然の森	とので	きる							
Ħ	予	算	事 業 名	縄戈	てを識る	推進事										会計		÷ 00	1 影	10	項	05 目	07	事業 10
画	事務	事業にお	業の概要 ゕりゃすく)	る音	マプロジ 『会の方』 『と魅力』	針に基	づきタ	尾施す	る。実	行市月	会議	の委員	の生き	方 (を識り、 と共にお	現代 社 3こな・	t会の うさま	課題ざま	解決に な取組	こつな	げるり、	」とする 茅野市の	る 、縄 の 「縄	文を識文」の
			と 背 景	め、	が市には、 世界に るまち	誇る縄	文時作	₹の「	「宝」が	あるか	く、そ	の存在	や価値	[がī	国宝級の 市民に十)価値が -分浸む	がある をして	特別. いな	史跡 い。 そ	「尖石」	石器めに	時代遺蹟 、縄文で	ゕ゙」を といか	はじ した特
(目	対	受益者	市月																				
P		象	対 象 (直接働きかける)	市月	c																			
	的	(どん	意図な状態にしたいか)		予市の縄:											員 化 7	とはか	る。						
L A			・ 方 法 やって)	小当	は学児か 学校高学: ▼風小屋・	年以上	を対象	えとす	る『茅															
			行政活動の紀	吉果:	からつく	りだす	もの	は何	? 指	標	名	称	単	位	算出方	法・言	算式	• 目	標値記	没定の	きょう きょうしょう きょうしょう おいま しょう おいま しょう おいま しょう おいま しょう おいま しょう	方など	最終	目標値
N		活動	縄文かるたの	の作	成				進捗」	度			9	6	完成率									100
	価	+E	ガイドブッ	סל	作成				進捗	隻			9	6	完成率									100
	標の一		縄文風小屋	すく	り体験会				実施	回数			E	1	2回									100
	作	成	成果	•	効 昇	見 は	何	?	指	標	名	称	単	位	算出方	法・言	算式	・目	標値記	没定の	考え	方など	最終	目標値
	成	果指	考古館来館	旨数	の増加	_		_	来館	者数增	加率		9	6	来館者	数/前	年度:	來館者	数		_			103
		100	縄文検定受	食者	数の増加	1			受験	者数增	加率		9	6	受験者	数/前	年度:	受験者	数					105

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
			(a)	円				2, 649, 862	922, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	田					350, 000
Ade		一般財	源	· 田				2, 649, 862	572, 000
施	職	正規職	員	ᄉ				0. 20	0. 20
	員	嘱 託 職	員	-					
	数	臨 時 職	員	ᄉ				0.00	0.00
状		合 - * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	計 数	人				0. 20	0. 20
-		对	<u>致</u> (b)						
-			(b)	円	_	_	_	_	_
況		<u> </u>	額	円					
<i>15</i> 6		大 <u>田 日 日 日</u> 市民一人当たりのコス		円	_	_	_	48, 00	44. 00
-		7327017	目標					100	100
		進捗度	実績	%				100	100
$\widehat{}$	活		達成率	%			_	100.00	100.00
	油		目標	%				100	100
	動指	進捗度	実績	70				100	100
D	招標		達成率	%			_	100.00	100.00
	慓		目標					2	2
		実施回数	実績					2	2
			達成率	%			_	100.00	100.00
0			目標	%				103	102
	戍	来館者数増加率	実績					97	102
	果		達成率	%			_	93. 99	100.00
	指	70) EA de #LIM La de	目標	%				105	100
	標	受験者数増加率	実績	0/				53	50
_			達成率	%	_	_	_	50. 48	50. 00
	備								
	考								
	7								

	労争 ジ	系名 純又 2 3 署 数音 3	は戦の推攻		尘不	縄文考古	館	古館係			·耒期间 · :成担当者			岳史	連絡先	76-2270
12		B WH3	T				1 ₄₃		/ =	117	.~.===	- "	75			
	期			目 標				美	績					課	題	
四	第 1 期	『縄文かるた 『縄文ガイド』 縄文風小屋	ブック』 第2	(尖石)・3	章(土偶		『縄文ガイドフ	読み札の完 「ック』 第3章(ざくり体験会の!	土偶)の	完成	Ė	『縄文だのペー: 編文風	「イドブック』 スを3回にす	るなど、回数を 験会 職人・音	に手が付けられ 増やす必要があ 8会員と日程調査	る。
半期	第 2 期	『縄文かるた』 『縄文ガイドブ 縄文風小屋づ	ック』第2(尖	石)・4章(ji	1異と暮ら	し)の完成	『縄文ガイドフ	解説文、イラ 「ック』第2章(ź ばくりの予行演	€石)の	完成	の実施(2回)	とられ、 『縄文力 スを上げ が遅れ	未完成となり 「イドブック』 『たが、部会 気味。	った。 第4章(道具と 注員に作成のポ	:暮らし)が未完に イントを上手く伝	の作成に時間が 成。月3回にペー えられず、作成
州	第 3 期	『縄文かるた 『縄文ガイド』 し)・第5章(』 縄文風小屋*	ブック』 第1 上近な遺跡)	章(導入語 の完成、	形)・第4	(道具と暮ら 発注	へのかるた難	入札、業者決 星式及びお披 「ック』 第1章・	露目会の	の開催		保 「縄文ストも多	ゲイドブック も注できな:	7』第5章に	、活用を検討 Fを付けることだけることを に本文を完成さ	
٤	第 4 期	『縄文かるた』 『縄文ガイドブ	大会の開催 ック』原稿・イ	i ラストの作	成、入札、	集者決定、発	P48	』3月26日に大 「ック』 原稿・⊲ こ発行			札、業者決	心に約 小学生 『縄文》	30人が参 の参加を(げイドブック	加した。未就 足す方策を考		ーゲットとした
Ø								事中	評	価						
()							じた問題点や			或 拡	充		2	レ	5	⑦
管	門的	文ガイドブッ りになりつつ	<i>י</i> ク」 市民 ある。 多	主導の) くの市民	原案作! に見て	成が、事務 もらえる構	局主導となり、 成と内容を再り	内容が専 変確認した	ا ا ا	果 の 現	状維持		3		6	9
Ħ	い。									方 縮	小		4		8	10
理	- C						改革・改善領				廃止	1				
		「物を活用し 長員化を図る		るたズ	会や遺	跡めぐり寺	を開催し、さら	なる市氏総	向			皆	減 縮	小	現状維持	拡大
									性	/		⊐	スト	· 投入	の方	向 性
	ı	評価年度		当年度												
	裑		妥	当	†	生	有	効 性			効	率	性	総合	計 価	判定
評	評価	面の観点	1 2	3	4	判定	1 2	3 4	判定	1	2 3	4	判定		Α	
	_	エック	E 見 か る・	<u>لاه</u> +	2 章 Bit M	とい答の	<u> </u>	田士工が	化雅爾	. 原套	■ でのご	# 45 db	学校の	IΔ·ī		業を進めるこ
価	課	「縄文科」	、考古	官来館者	の観覧	植助資料	イペンドに活 として日常的 や発行物の活	な場面でお	おいに	活用し	国での活力でいく。	መ 、 ጥጥ	子权の	記 号 B: 章 の C: 章	とが適当 事業の進め方	に改善が必要 容・実施主体
C	題													義 D:		休・廃止の検
														前年度評価	iシート整理番	号
Н	総	新 主民公中。		を作品し	策	評	価 発行物で払い	前	# 24.5	細 = than 0.4	放きなって		策	評 で ま 見か	価 (中心をた)	後し歩いてまた
E	.,	員化を推済	生するた	の効果	的な	「道具」と	発行物であり して、考古館	、中氏総子 事業以外の	本事	事業は、	市民総学	芸員化る	と推進す	る上で効果	門中心となり	きある。
С	合	まざまなり	\市民を	取り込む	ために	こ、気軽に	参加してもら	えるイベン	F							
	評	やさまざま いく。	まな活用(の機会を	設け、	さらなる	市民総学芸員	化につなげ	て							
K	価															
\		前年日	ま 改 革	• 改	善策	の実力	拖 状 況									
改		ט דינום דינו			п ,											
革	今	細細		拖	策	評	価	前		細	抗	ī	策	評	価	後
	今 後	成却		拖		評	価 ⑤	前⑦	成	- 1- t		į	策	評 レ	価	後
改	今後の	成果の野		施					果 の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		į	策	- :	価	後
改善	後	成 規 果 ***********************************	太 充 記状維持	施 		2	5	Ø	果	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 !状維持	i	策	- :	価	後
改善	後の	成果の方向	太 充 記状維持	1	策	② ③ ④	(5) (6) \(\nu\)	9 10	 果の 方向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 !状維持			- :		
・改善の方向性	後の方	成果の方向	太 充 記状維持 計 小		策	② ③ ④ 縮 小	⑤⑥<i>レ</i>⑧現状維持	⑦ ⑨ ⑪ 拡 ガ	 果の 方向 性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	大維持 小	皆	減縮	レー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	現状維持	拡大
・改善の方向	後の方向	成果の方向性が変える。	太充規状維持の水を発生を表している。	1 皆	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮 小 ト 投 と共に、	⑤	⑦ ⑨ 加 拡 対 向性 推敲を昨年	果の方向性	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	充 ・	皆	減に経り、減には、減には、減には、減には、減には、減には、減には、減には、減には、減には	レ	現状維持の方	拡 大向性
・改善の方向性(後の方向性	成果の方向性が変える。	大 充 記状維持 小 座 止 シェル原	1 皆	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮 小 ト 投 と共に、	⑤ レ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 方	⑦ ⑨ 加 拡 対 向性 推敲を昨年	果の方向性	対	充 ・	皆 二 市民総会	減に経り、減に対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、	レ	現状維持の方	拡 大向性
・改善の方向性(ACTI	後の方向性 改革・	成果の方向性 対別 が 対 の が 対 の が が が が が が が が が が が が が が	大 充 記状維持 小 座 止 シェル原	1 皆	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮 小 ト 投 と共に、	⑤	⑦ ⑨ 加 拡 対 向性 推敲を昨年	果の方向性	対	充 ・ ・ ・ ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆 二 市民総会	減に経り、減に対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、	レ	現状維持の方	拡大
・改善の方向性(ACT	後の方向性 改革・改善	成果の方向性 対別 が 対 の が 対 の が が が が が が が が が が が が が が	大 充 記状維持 小 座 止 シェル原	1 皆	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮 小 ト 投 と共に、	⑤	⑦ ⑨ 加 拡 対 向性 推敲を昨年	果の方向性	対	充 ・ ・ ・ ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆 二 市民総会	減に経り、減に対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、	レ	現状維持の方	拡 大 向 性
・改善の方向性(ACTIO	後の方向性 改革・改	成果の方向性 対別 が 対 の が 対 の が が が が が が が が が が が が が が	大 充 記状維持 小 座 止 シェル原	1 皆	策 減 コ ス	② ③ ④ 縮 小 ト 投 と共に、	⑤	⑦ ⑨ 加 拡 対 向性 推敲を昨年	果の方向性	対	充 ・ ・ ・ ・ を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	皆 二 市民総会	減に経り、減に対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、	レ	現状維持の方	拡 大 向 性

事務事業名 尖石ボランティア事務	事業期間 平成	24	~		年度	整理番号	07020208
担 当 部 署 教育委員会生涯学習部 文化財課尖石縄文考古館 考古館係	作成担当者名	小	池	岳	史	連絡先	76-2270

1브 :	יום ד	有	秋月安貝云 :	工作工		<u>" ^</u>	, IUW	杯木	11 MB/	ים די	4	7 H A	1 175			1	F风担ヨ	111	411	池	#	工	,	里 裕元	70	-2210
								政	策	03	3	第3章	t <u>4</u>	涯を	通じて	楽し	く学び	売ける	、元	えで心	豊か	な市員	見を育	t		
	市	民	プランに	444	TAT 会	策体	玄	施	策	06	9	有6餌	i <u>4</u>	涯を記	通じ学	ひ続	けること	とので	きる	学習機	会の	充実と	- 場の	提供		
	おし	ナる	位置づけ	m	<u>цх</u>	* *	गर		施策								然の森の	の充実	•							
-1								•	務事業	80	ś	と石ボ	・ラン	ナティ	ア事業	<u> </u>										
計	予	算	事 業 名			ンティ	•										de alla .i.		<u> </u>		.,,,		項	05 目		事業 07
																	事業。尖 ルの2種类									
	事	务 事	業の概要														めている									
画	(188	潔にす	っかりやすく) -	動し	てい	る。す	サー・	クル	会員も	、尖石	5縄	文考i	与館の	の講座	講師	を無信	貫で務め	ている	る。考	古館職	食員と	ボラ	シテ	ィア会	員、サ	ークル
																	没けてい		· + 0	L L d			7.0	*	4n	4 5 5
			と背景	大力ため		考白	唱の:	連書	一中氏	松見 7	יטי	ו פינג	= 60 ,	· 尹野	ינטנחי	り圧り	である文	16,901	老巾氏	<i>CC</i> 1) – च	. n.	ての	四胆で	知って	もらつ
	(٠ ع	うして)																							
			受 益 者	市民	、考	古館	閲覧:	者、	公園利	用者																
	目	対	(誰のために)	同上																						
		象	対象 (直接働きかける)	1-1-																						
Р			(直接網さかける)		***																					
	的		意 図														弥公園、 進し、博									
	-,	(どん	な状態にしたいか)						るよう			AB - 3		A (25)	\\ 9	C 1E1	EU, III	TO DE V	7座台	() L	т Д 🗷	121	7 2	** # 1111	<i>,,</i>	219
L																	楽しみな									
	_					ンティ を育り			り部の	会(约	€石	縄文材	食定1	合格者	を含	D) 1	会員を	対象	こ、解	説のた	:めの	学習	会を	開催し	、活動	の充実
			・ 方 法 やって)	C 100	和工日	Z H <i>B</i>	4. 9	ข.																		
	((_ /	() ()																							
Α																										
			行政活動の組	洁果か	いらこ	こくり	だす	ŧσ.)は何′	? ;	旨	標	名	称	単	位	算出方法	法・言	+算式	・目标	票値部	定の	考え	方なと	最終	目標値
		活	ボランティ	ア車は	上 門 仏	<u></u>	⊕	t tin st	<u> </u>		ン・	ティフ	7事	美参加		%	ボラン	F / T	活動。	e tn 去	/##=	· · · -	17			100
N	評	動	ホ フンティ。	/ T 7	C 1911 TE		V) B	7/JU 4		率						70		• • •					•			100
	価	指標	尖石サロン	開催業	女ごと	: の会	員参	加革	K	サロ	ン	参加科	K			%	ポランラ 数	T 1 7	. 7	ークル	云貝	山麻る	19以/	総云貝		100
	指標	175																								
\smile	の										_															
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?		旨	標	名	称		. 位	算出方法	法・言	†算式	・目标	票値部	定定の	/考え	方なと	最終	目標値
	成	果指	ボランティ	ア会員	数の	り増加	1			ボラ	ン	ティフ	一会	増加	' ·	%	今年度金	会員数	7/前年	度会	数	33	/56			120
		130	4_50年	H. Ø=	F#+ //					- ' ' - '	. <i>I</i> n	ル会員	3 444 +	n ste	+	%	今年度+	ナーク	ル会	員数/f	介年	[サー	クル	会員数	1	120
		17.1	サークル活	ולכטנש	5 1±10	٠				7	7	ル云り	・増り	u r		70										120

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	luli.	714 24 7	(a)	円	36, 862	41, 398	24, 098	43, 954	22, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	田					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	36, 862	41, 398	24, 098	43, 954	22, 000
施	職	正規職	員	人	0. 07	0. 20	0. 10	0. 20	0. 20
	員	嘱託職	員	人		0. 15	0. 15		
		臨 時 職	員	人		0. 15	0. 15		
状	数	合	計	人	0. 07	0. 50	0. 40	0. 20	0. 20
- 100	7		数						
			(b)						
	È	1 - 1 1 (=,7,7	(b)	円	_	_		_	_
況		受益者負担	額	円					
		市民一人当たりのコス		円	1, 00	1.00	0.00	1.00	28. 00
		ボランティア事業参加	目標	%	100	100	100	100	100
		率	実績	1.7	90	90	90	45	50
	活		達成率	%	90.00	90.00	90.00	45. 00	50.00
	動		目標	%	100	100	100	100	100
	動指	サロン参加率	実績	1.7	40	50	50	26	20
D	標		達成率	%	40. 00	50.00	50.00	26. 00	20. 00
	ीर्गः		目標	_					
		_	実績						
-			達成率	%	_	_	-	-	-
0	-	ボランティア会員増加	目標	%	120	120	120	120	120
	ᇟ	率	実績		105	110	110	59	60
	成果指		達成率	%	87. 50	91.67	91. 67	49. 17	50.00
\cup	指	11. A 11 A B 1844	目標	%	120	120	120	120	120
	標	サークル会員増加率	実績	1.7	120	120	110	98	120
			達成率	%	100.00	100.00	91. 67	81. 67	100.00
	備								
	考								

	多事 多	業名 尖石オ	マンティ 員会生涯				T 48 ++ =	** + ** **	. 	F				業期間						整理番号		020208 5-2270
担	当 部	者教育等	?貝云生涯	子百司	X1	C財 誅 天 1	口縄又	考古館 考	白期份	Ř .			11	成担当	自有名	小	池	듄	史	連絡先	/() - 2270
	期			目 標						実	緝	į							課	題		
四	1	史跡公園と 蒔き・苗移 解説の実施	植特定	外来生	物の職		示しき	・ ・・ 苗移植 ・ 実施 縄	特定	外来	生物			達備・ 展示						iが十分お られている		かてい
半期	第 2 期	エゴマの支 施						ゴマの支						解説の	実施					説の充実 相催する。	と後継	者の育
æ ∵	第 3 期	エゴマの収 の実施 : 役) 学習	(穫・おはき 縄文まつり 習会の実施	各イベ	ントへ	展示解 の協力(記 ンの実施	講師 実	:ゴマの収 軽施 縄: ミ石サロン	文まつ	り各イ				展示解 力(講師						説の充実 開催する。	と後継	者の育
٢	第 4 期	展示解説の)実施尖	石サロ	ンの実	施	歷	₹ 示解説 の)実施	尖石	サロ	ンの	実施							している。 ・取り込む!		
Ø									事	中	ä	Ŧ	価									
•		丰度開始後									今	成		5 3	充		C	2	(5	7	
管		iをけん引し る。スムース							期に来	そてい	後	果の		! 状維!	寺		Ç	3	(6 V	9	•••••
=											の	力		· /	J\		(4)	(8	10	
理			きの実施:								方	向 性		· 廃」	Ŀ (D						
_		「は 減額 する もたせて事			度を雑	持し、考	古館の	イベント()	講座)と	上関連	向					皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
											性	_	/			⊐	ス	ト 持	殳 入	の方	向	性
	1	评価年度		当年度		1																
	裑	見点	妥	当	ı	性		有	効	性				効	率	1	生		総合	评 佰	西 判	定
評		の観点	1 2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	?	1	2	3	4	判定	2		Α		
価(C	課	エック / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	いかかい かいまい かいまい かいまい かいまい かいしょう かいしょう かいしょ しゅう かいしょ しゅう かいしょ しゅう かいしょ しゅう しゅう かいしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	fが多く (実施 す	、地	元市民の 業務内容	を、職	員が行っ	ている 跡公 <mark>園</mark>	部分	 があ に で	るだ	ってい	るか伝	える	態度が	<u>4</u> 必要で	定義	B:事 C:事 D:事	世界 1 1 1 1 1 1 1 1 1	方に改わる。	善が必要 実施主体
н		細	i k	<u>F</u>	策	評	Ē	価	前				細		施		策	ā	Ŧ	価	後	
E C K)	総合評価	には、ボラ 会員相互の るような材	ng の安美 パ理想とし ランティア D <mark>交流を</mark> 活	か に で い が 発 に 動 け る 必 要 る	博物館にある	が、安当で活動を記している。	性は 説明 必 を 進め	い。 、共感し ある。 、仲間意	てもら	うた	が れ		· トナー	-ンツ 、	<i>7</i> 1~ 4	: る「絹 : るま ち		91213	<i>เ</i> สมาธ	争果とし	と人で重要	づくり、 要であ
改		ny 十 2			策	評		価	前		<u> </u>	ינים	細		施		策	7 15		価	後	
革	今	. 4	•	<u> </u>	來	2		<u>тш</u> 5)	(7)		+	成	扣扣	<u>' </u>	色		ж	ā	r	Щ	1交	
改	後	果	3	·		3		シ シ レ	9			果		はない。						ل		
善	の	の が		<u> </u>		4		3)	10			の 方	新		, \							
の方向	方	回	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	①		•		<i>-</i>				向性		ト廃」	······							
向性	向			皆	減	縮	小	現状維持	拡	大	_		-			皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
ACTI	性改革・	解説ボラン的におこな職員の役割確にし、会	削を検討し	、ボラ	実と	ィア会員	育成す が担っ	るための ていただ		を定	L							テラと		の 方 :、参加者		
0 z)	善策	野外活動に 日を設ける 価年月日	ま天候に左 ち。		るのつ	で、計画	通りに)、予· ——		文化	 :財課:	 尖石縄	文考言	5館長			-	严 矢		文

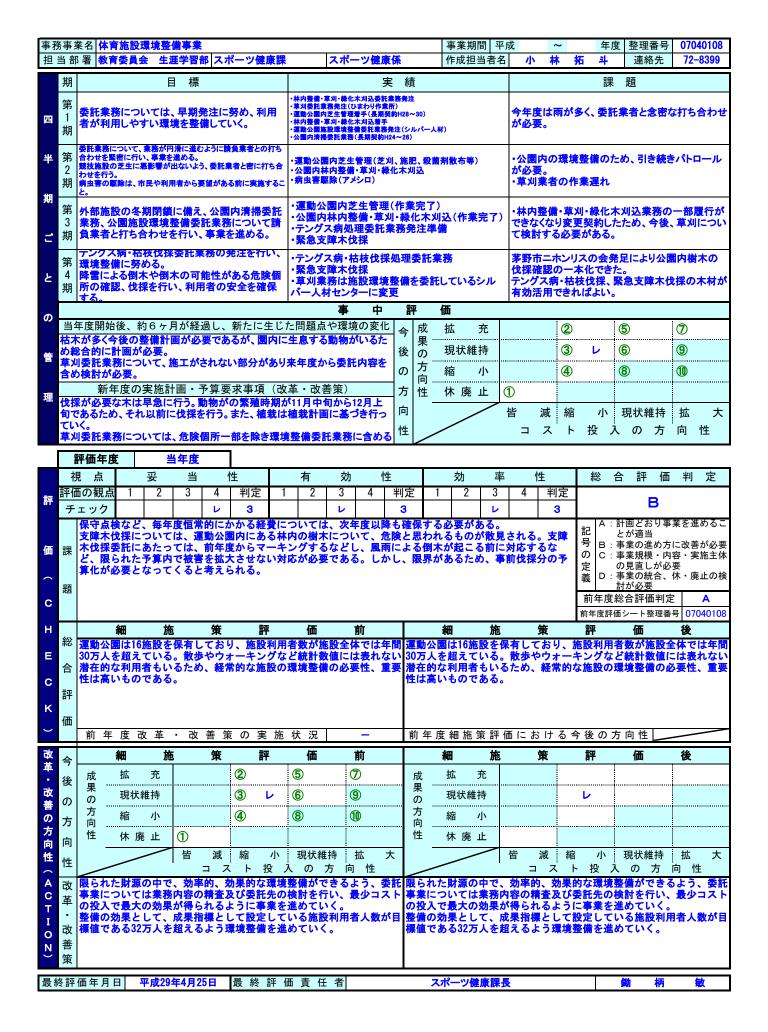
事務	事業	名	体育施設維持	寺管:	理事業	ţ									事業期間	間 平原	t 1	5	~		年度	整	理番号	0704	0107
担旨	当部	署	教育委員会	事務	局	ス	ポー	ツ健康	課		スポー	-ツ健	康係		作成担当	当者名	上	条	!	直	之	ì	連絡先	72-	8399
	市 . お !	民 ī	プランに 位置づけ	有	政策	传体	系	政 施 細 施 事務事		06 12		う 生 育館	涯を通	通じて楽 通じ学び 助公園の 営事業	続けるこ										
計	予	算	事 業 名	体育	施設領	管理事	t									会計		・ド	001	款	10	項	06 目	02 事	業 01
画	事務	多事	業の概要 ^{>かりゃすく)}	スポ・務・	ペーツ! 防設(公園)	施設の 備点を 内トへ	D改修 食・電 イレ清	工事等 気工作 掃業教	等を行 乍物保 多・公	う。 守点検 園内浦	・夜 情帯業績	間照り 傍・糸	月設備(全合体)	内スポー 保守点検 育館受付 料、消耗	・競技 業務の	器具保 委託事	守・ 業。	グラ また	ンド! 、老	巧化し	戦務・ した旅	を設く	の小規		
			と 背 景うして)	老权	5化し7	た設備	の保	守点相	贪、清	掃活動	事のが	施設道	営に	必要な管	理業務	を行い	、体育	育施	設の	機能和	推持を	・図	る 。		
•	目	対	受益者	運動		を利用	まする	全て 0	の市民																
P		象	対 象 (直接働きかける)								• • •														
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	心:	安全)	なれ	火態に	したし	١,٠					、それそ											
L 4			・ 方 法 やって)	市長もに	設成び 維持	スポー 管 理に	- ツ団 - 必要	体から な補情	うの要 多 、改	望受付修工事	けおよで なぞ行い	び施計	设設備(设機能(の保守点の保全を	i検を委 ∵図る。	託で実	施し、	、 不.	良個	新·日	牧善 必	必要 的	箇所を持	四握する	3 2 E
			行政活動の紀	洁果:	からつ	くり	だす:	ものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出ス	ち法・	計算記	式・	目標	値設:	定の	考え	方など	最終目	目標値
N		活動	施設維持の語	周査:	実施				1	調査数	Į.			0	未対応	部分()把握	Ē							52
	福	指標	施設維持の	委託	実施					委託数	Į.			件	委託内	容の3	支支	とびり	9零€	確認	ļ				18
	標の																								
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出7	方法・	計算記	式・	目標	値設:	定の	考え	方など	最終目	目標値
		果指	苦情を減らす	†						苦情非	発生日	率		%	(36	6 5 − ‡	情発	生日	数/	36	5日)	×	100		100
		標																							

								_ 5	
	IJ		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	Iuli.	71 20 3	(a)	円	78, 933, 123	84, 160, 000	76, 085, 898	79, 705, 303	85, 743, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円	18, 755, 000	19, 673, 000	18, 438, 000	21, 915, 000	21, 471, 000
	訳	一 般 財	源	円	60, 178, 123	64, 487, 000	57, 647, 898	57, 790, 303	64, 272, 000
施	職	正規職	員	人	1. 36	1. 36	1. 36	1. 36	1. 36
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	1. 36	1. 36	1. 36	1. 36	1. 36
	Ż		数						
-	3		(b)						
	Ė	1 1 1 1 1 1 1	(b)	円	_	_	_	_	_
況	5		額	円	1 400 00	1 500 00	1 004 00	1 400 00	1 700 00
	П	市民一人当たりのコス		円	1, 406. 00 52	1, 503. 00 52	1, 364. 00 52	1, 436. 00 52	1, 733. 00 52
		調査数	目標実績		45	45	45	45	45
$\overline{}$		訓生数	達成率	%	86. 54	86, 54	86, 54	86, 54	86, 54
	活			70		OU. J4	00. J 4	00. J4	00. J 4
	. —						21	21	20
	動	未 红数	目標	件	21	22	21	21	20
	動指	委託数	目標実績		21 19	22 22	21	21	20
D	動指標	委託数	目標 実績 達成率	件 %	21	22			
D	動指	委託数	目標 実績 達成率 目標		21 19	22 22	21	21	20
D	動指	委託数	目標 実績 達成率 目標 実績	% _	21 19	22 22	21	21	20
D	動指	委託数 一	目標 実績 軍標	% - %	21 19 90. 48	22 22 100. 00	21 100. 00	100.00	100.00
0	動指標成	_	目標 実成率 目標 達成率 目標	% _	21 19 90. 48	22 22 100.00	21 100.00	21 100.00	100.00
0	動指標成果	委託教 一 苦情非発生日率	目標 実績 軍標	% - %	21 19 90. 48 — — 100	22 22 100.00 — — 100	21 100.00 — 100	21 100.00 — — 100	20 100.00 — — 100
0	動指標成果	_	目実成標 達目実成標 養成標 養成標 養成標 養成標 養成本標 養成本	% - %	21 19 90. 48 — — 100 63	22 22 100.00 — — 100 65	21 100.00 — 100 69	21 100.00 - 100 66	20 100.00 — — 100 70
0)	動指標成果指	_	目実成 標 実成 標 実成 標 実成 標 実積	% - %	21 19 90. 48 — — 100 63	22 22 100.00 — — 100 65	21 100.00 — 100 69	21 100.00 - 100 66	20 100.00 — — 100 70
0)	動指標成果	_	目 実 成 標 績 率 標 績 率 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標 標	% - %	21 19 90. 48 — — 100 63	22 22 100.00 — — 100 65	21 100.00 — 100 69	21 100.00 - 100 66	20 100.00 — — 100 70
D 0)	動指標成果指標	_	目実達目実達目実達日実	% 	21 19 90. 48 ————————————————————————————————————	22 22 100.00 ————————————————————————————————	21 100.00 — 100 69 69.00	21 100.00 ———————————————————————————————	20 100.00 100 70 70.00
D 0)	動指標成果指	_	目実達目実達目実達日実	% 	21 19 90. 48 ————————————————————————————————————	22 22 100.00 ————————————————————————————————	21 100.00 — 100 69 69.00	21 100.00 ———————————————————————————————	20 100.00 100 70 70.00

事務	事	業名	本育放	設維	寺管:	理事業	ŧ								3	事業期	間平	 1	5 ~	~	年	度整	理番号	0704	10107
担:	当部	图署	教育 委	員会	事務	局	ス7	ポーツ	健康課		スポー	-ツ健	康係		1	乍成担	当者名	上	条		直之	j	連絡先	72-	8399
	期				E	標							実	績							ii.	果題			
四	第 1 期	確保	すると	ともに	、予:	定して	施設の いる補 全を確	修·改	修工事	自由広天により情が終を設ける	了した。	で たい たい では できない できない できない できない できない できない こうしょ こうしゅう かいしょう かいしょう かいしょう はい	たかり 見技	とが場内	、使用 の芝生	別始ま	でに整	え、天	候回	復後	もコン・	ディショ	ンが回	い期間 復しない 製造中」	い状況
*	第 2 期	等に	支障の 計画)ない の作成	色田 * と	で養生			、大会	公共施·芝生0	を設等終設日常。 設日常。 登生は を進テニ	点検の	実施のな	恒い戦	囲で実	-	調査、	点検# 園内# 内に=	結果に 對木の キノコ	と基づり計画 大発	く実施 的な相 生。	計画の 直栽管)作成• 理。陸_	》共施部 予算要: 上競技場	求。公 】芝生
期ご	第 3 期						計画、 間の確何			9/16	技場芝生 実施計画 129予算	1提出			・消毒	実施		より、 水銀! プの2 換	発注: こ関す 020年	方法 する水 Fまで	等の検 : 侯条約 の製造	討 り締結! 生停止!	に伴う、 こよる照	水銀灯	等ラン !の交
٤	第 4 期	今後	10年間	大業務 間の体 レ洋式	育施	設の改	女 修 計i 成	画作成	:		受付業を 年間の トイレ洋	体育施	設す	女修 作成	計画作		<u>ŧ</u>	予算	要求に	こ反射	させて	いく。		安定的	
Ø	N/ A	h- d- 86	311.74	<i>h</i> L <i>c</i>		7 1847	· · · · · ·	#r L	1- IL 18	, 00 8 T 1	事	中		評											
										た問題点 ト的な対					成		充			2		5		7	レ
管	夜間	開明	用ラン	プの	製造・	中止に	伴う照	明設値	前の更新	新(LED化 等の計画	;)			後	の ^ま	見状維	持			3		6		9	
		る必	要あり	。子供	用/	<u> </u>	レの規	各変更	, PCB	敝去等。			<u> </u>	·	方 向	宿	小			4		8		10	
理	久世									【革・改 ル購入			_ :	方	性	木 廃	止(D							
	·総	合体育	館サ	ブ外間	段	方水塗	装、庭	球場∙	広場野	球場照り		5年		向				皆	減	縮	小	現物	犬維持	拡	大
	間).	、弓道	場・コ	ルフ報	間均	計イし	ノ洋式1	七改修	, PCB	心分等				性	/			⊐	ス	۲	投	入の	方	向'	性
	•	評価年	E度		<u>11.</u>	年度		1																	
	衬			<u> </u>		当		<u> </u>		有	効		性			効	率		性		総	合	評価	5 判	定
評		断の観		1	2	3	4	判別	定 1	2	3	4	-	定	1	2	3	4	判	定	4.5	_			,-
ar		エツ?						4						4					4	ŀ			Α		
		限ら	れたる	質の	中で	. 季!	£業務(の内容	糖杏と	設ともる	の検討。	改修	ΤÆ	on H	・ 現場	重要	度のさ	らなる	検討	ZIV I	記	:計画で		業を進	めるこ
価	課	必要。	。また	:、運	助公	園は新	集林緑	化エリ	アも広	大であり等で	り樹木が	が大き	くな	:07	こいるだ	め近	媾住居	に支障	が出	て				うに改善: 7容・実	
		体育	協会が	《次年	度以	隆の体	*音館	受付業	務を辞	退した。	ことにも	こり、・	発注	方法	の変更	等を	予算要	求後に	行う		定		直しが必 の統合、	必要 休・廃	止の検
	題	見る	なった 必要か	こ。ま く生じ	た。	受付す	7=1	アルヤ	動物体	制まで	省み込ん	ルだ見	■ U	· 준1	すった だ	: Ø、∤	火牛度	以降の	虭冋	존	1 %	討が』			A
С																				ŀ				E 070	
н			細		施	į	策		評	価		前			斜	8	施		策	-	評	ſi	T	後	
E	総									け工事な														食を行っ なもので	
_	合	9.	突発的	りな故	章や	事故な	パある			応し、				IJ	突発	的な故	障や事	故がは	あるた						
С	評	l~ €.	里安化	施策	とな	ってし	\ \&.							-	も重要	よ 他東	(245	ている	5.						
K																									
)	価	盐	年 唯	E 改	甘	• 7h	- 第 4	Ε Λ	宇施	状 況	1			台	年度	细体	生 証 4	# 1- ±	s 1+	ᇫᄼ	後の	古向	性		
改		נים	- 細		施		策	R 07	評	価	<u> </u>	前		ימ .	十尺		施		策	ا ک	評		<u>'- </u>	後	
革	今		拉		充	,	来	2	aT .	<u>тш</u> (5)			<u> </u>	+			充		來		AT	<u>"</u>	Щ		<u> </u>
改	後	成果		、 【状維】				. j		ļ	(È	Ř	业 見状維									
善	の	の方						3		6					······										
の方	方	向	絲		\			4		8	(1	ש		Ī	j		小								
向	向	性		、廃 」	Ė,	1	. B	La-L		TO 15.	4.1 +			[†]	±	木廃		L L	طيو	<i></i>			D &# 11</th><th>13</th><th>,</th></tr><tr><th>性</th><th>性</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>皆</th><th>減 コ<i>フ</i></th><th>縮 くト</th><th>小 投</th><th>現状終 入の</th><th></th><th>拡 性</th><th>大</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>皆 =</th><th>減 I ス</th><th>縮ト</th><th>小 投</th><th></th><th>大維持) 方</th><th>拡向性</th><th>大</th></tr><tr><th>A</th><th>改</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>りな雑</th><th>寺管理</th><th>ができ</th><th>るよう、</th><th>委託事</th><th>業に</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>果的な</th><th>よ維持</th><th>管理</th><th>ができ</th><th>きるよ</th><th>う、委</th><th>托事業!</th><th>こつい</th></tr><tr><th>C</th><th>革</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>工事に がらスI</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>ては優が ド化を</th><th></th></tr><tr><th>i</th><th>• -</th><th></th><th></th><th>事業</th><th></th><th></th><th></th><th>- 111</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>により</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>- 11</th><th></th><th></th><th>_</th><th>.= -</th><th></th></tr><tr><th>0</th><th>改善</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>Z)</th><th>策</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><th>最終</th><th>冬評</th><th>価年.</th><th>月日</th><th>並</th><th>₹294</th><th>年4月2</th><th>25 F</th><th>最 絲</th><th>冬 評 ・</th><th>価 責 信</th><th>千 者</th><th></th><th></th><th>_</th><th>スポ</th><th>―ツ個</th><th>康課長</th><th>ļ</th><th></th><th></th><th>1</th><th>鋤</th><th>柄</th><th>每</th><th>*7</th></tr><tr><th>4× 小</th><th>< pT′</th><th>,ш Т.</th><th>,, 1</th><th>т,</th><th>~~~</th><th>гтЛ</th><th>-v H</th><th>4人 小</th><th>, pr</th><th>, P. I.</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>25/1</th><th>→ </th><th></th><th>•</th><th></th><th></th><th></th><th>>77</th><th>1173</th><th></th><th>*</th></tr></tbody></table>		

事務事簿	業名	体育施設環境	竟整·	浦事 第	Ė										ļ	事業期	間 :	平成		~		ź	F度	整:	理番号	07	040108
担当部	署	教育委員会	生涯	王学習	部ノ	くポー	・ツ個	康課	ļ.		スポー	ーツ作	建康係		ſ	作成担:	当者	名	小	林	拓	3	-	連	極先	7:	2-8399
お	ける	プランに 位置づけ	有体育	政分	策体	•	事	施爾爾	ŧ ŧ	06 1 12 i	第 6 無 総合体	市 生 本育食		通じ 動公	学び制	、く学で 続けるこ た実	٤-	ので		学習機	会0	の充実	₹ と ‡	場の		02	事業 02
		業の 概要 chytoto	利託等 希	者がった動物	安全いが生	ーかっ る。 病 え	を託及びる貴	適に和している。 は枝化重なな	いる第 戈採、 公園で	業務と 支障 である	して i木伐 ので	は、 採、 、そ	林内整 伐採木 れにマ	を備・ マウッチ	草刈 ドチ した:	・緑化 ップ化 環境整	利木事備	環境となった。実施	整備	を行 生 管 る。	事業	業。病虫	芝生	管理除	里など (アメ	各種語シロジ	業務の委 肖毒
		と 背 景	芝生内の	が枯 整備	れる を実	など) 施し	てい	放置す く必要	ナれに	ま、安																	や倒木、 内に公園
P	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)		業務			てのī	市民																			
的	(どん	意図な状態にしたいか)														きる環											
		・ 方 法 やって)	れじ	外の	整備	につ	ハて	は、利	利用者	いら	の要	望を	精査し	、優	先度:		ŧσ	から	予算	化し	てい	く 。	陸上	競技	支場の	公認	テう。そ 牧修工事
		行政活動の約	吉果:	からこ	つくり	りだす	もの	は何	?	指	標	名	称	单	位	算出	方法	· 計	算式	• 目	標値	設定	の考	きえこ	方なと	最終	冬目標値
N 評 価	活動指標	委託業務件	女						75	託件	数				件	委託第	業務	の発	注及7	び内容	序検 3	•					15
指標の作		成果	•	効	果	は	何	?		指	標	名	称	単	丘位	算出	方法	• 計	·算式	· 目:	標値	設定	の孝	きえこ	方なと	最終	冬目標値
成		利用者が利用用人数を増加		やすし			iを行	iv.	利選数	動公		施設	利用人		<u>ا</u>	近隣公利用。	公園										20, 000

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	lull.		(a)	円	13, 217, 525	15, 565, 170	15, 365, 715	14, 216, 022	14, 540, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
44	訳	一 般 財	源	円	13, 217, 525	15, 565, 170	15, 365, 715	14, 216, 022	14, 540, 000
施	職	正規職	員	人	0. 69	0. 69	0. 69	0. 69	0. 69
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 69	0. 69	0. 69	0. 69	0. 69
	18		数						
			(b)		297, 945	289, 975	313, 145	280, 644	285, 000
			(b)		44	54	49	51	69
況		受益者負担	額	円	005.00	070.00	075.00	050.00	050.00
	_	市民一人当たりのコス		円	235. 00	278. 00	275. 00	256. 00	356. 00
		men der tot skil	目標	件	15	15	15	15	15
		委託件数	実績		17	16	13	18	15
	活		達成率	%	113. 33	106. 67	86. 67	120. 00	100.00
	動		目標	_					
	指	_	実績達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	9/0	_	_	_	_	
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_		_	_
0				70	320, 000	320, 000	320, 000	320, 000	320, 000
U	ьţ	運動公園内施設利用人	目標 実績	人	297, 945	289, 975	313, 145	280, 644	285, 000
	単	数	達成率	%	93, 11	90, 62	97. 86	87. 70	89.06
	成果指		目標	/0	VO. 11	VV. UZ	07.00	07.70	00.00
	標	_	実績	_					
	ीरार		達成率	%	_	_	_	_	_
	1++			, 0					
	備								
	考								



事務	事事	Ě名	バッティン	ブセ:	ンター	-管理	運営	事業							事業期間	引 平成	;	~		年度	整理番号	07040109
担:	当部	署	教育委員会	生涯	E学習	部フ	ペポー	ツ健原	表課		スポー	ツ僧	康係		作成担当	省名	小	林	拓	斗	連絡先	72-8399
計画	予事情	算	プランに位置づけ事業名	パツ和だれ事いる	56て修と。	ング 年に 理して	セング 関管の の 部は に の の の の の の の の の の の の の の の の の の	た選選を	事業理学は、複数のでは、	06 12 01 登 イング・ ンルバー さの調整	施設維 2ンター 一人材も 整、条の	生育情はン内消	涯を通い。 理運営 屋内型業 ターに掃き の清品費、	じ一学びる で学びる 事業 と一番を登り である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	しく学び 売失 を通しては の修繕料	続ける とので 会用で 会用で なる業子、	きる。コートの意味の	学習 00 20 20	会の意味を表示し、	た実と: 10 : 3 くしいっぱい	場の提供 項 06 目 の利用者(、ピッチ)	02 事業 0 こ利用して() グマシン(ビを計上して)
(をしる 受益者 (誰のため 対象 (直接働きかける)	う必パッ	要が	ある。 ング	・管理センタ	運営	利用す	さってに	は、職員	が	常駐でき		め、業績						110 E C G	での産品で
P L	的	(どん	意図	部品		など	を素与					_			きるよう を少して					、利用	者に不便で	をかけない。
A		どう	・ 方 法 やって)	利用	者に	対し	、不 t						がけるよ	う指導	1							
Ν	評価指標	活動指	行政活動の紀 利用者からし、利便性の を託業者か を行う	の要認	望に対	対応で	きる	ものに	は対応	修理、	調整內		称 3数	単位回	修理、	ī法・言 調整対 (四半	応回	数		党定の参	きえ方など	最終目標 (100 4
)	の作成	成果指標	成 果 バッティン: 加	グセ:		果 一の <mark>型</mark>	は ベ利		? <mark>数の増</mark>	指 利用[名	称	単位	打席の		ター	数 (3	月~	11月	考え方など <mark>は 1/2、</mark>	最終目標(60,000

	IJ	Ą	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	틕		(a)	円	6, 694, 000	7, 150, 189	6, 517, 773	6, 250, 700	6, 792, 000
	財	国 庫 支 出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円		11, 716, 300	6, 517, 773	6, 250, 700	6, 792, 000
44	訳	一 般 財	源	円	6, 694, 000	−4, 566, 111			
施	職	正規職	員	人	0. 11	0.11	0. 11	0.11	0.11
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 11	0.11	0.11	0.11	0. 11
	Ż		数						
	3		(b)		64, 302	64, 494	68, 398	64, 584	65, 000
	È		(b)	円	104	111	95	97	117
況	5		額	円	11, 877, 600	12, 000, 000	447.00	440.00	400.00
	Г	5民一人当たりのコス		円	119.00	128. 00	117.00	113.00	138. 00
			目標		100	100	100	100	100
		修理、調整対応回数	実績	0/	105	105	110	105	100
	活		達成率	%	105. 00	105. 00	110.00	105. 00	100.00
	動指	接遇指導回数	目標		4	4 0	4 2	3	<u>4</u> 3
	指	按適相導凹数	実績達成率	%	25, 00	0.00	50.00	75, 00	75, 00
D	標		目標	90	20.00	0.00	30.00	75.00	70.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		60, 000	65, 000	65, 000	65, 000	65, 000
	成	利用回数	実績		64, 302	64, 494	68, 398	64, 584	65, 000
	果	197012180	達成率	%	107. 17	99, 22	105, 23	99. 36	100.00
	指		目標	,,	107.17			33.00	100.00
)	標	_	実績	_					
	INC		達成率	%	_	_	_	_	_
	/ ± ±			-					
	備								
	考								

		業名 バッ・						- 10			業期間 円		~	年度		07040109
担	当 部	署 教育	長員会 生	涯学習	部 スァ	ポーツ健康	課	スポーツ健康	操	作		1 小	林	拓斗	連絡先	72-8399
	期			目標				9	実 績					課	題	
		利用者から	の要望(ポ	ール位置	の高さ	調整やマシン	ン・ピッチン	ゲマシンの <mark>値</mark>		8						
		のパネの女	換など)に			するよう、指		青入業者選定								きている。施
四] #8	導、監督を 老朽化して	行っていく。 いるものに	ついては	- 星魚	に整備を進め	いいかティ	ングセンター	管理運営	李託業	務契約事			(修やヒッチ) 厳しい状況		交換が望まし
	州	る。	0 00014	20 010	· (- 100	14 TE MI C 12 V	務					• 10 (10	140,000	ACC PURE		
半	第	ぜールた9	2世の651一時	13 I H	# II.7	の入替を行	ر حدیدها .	グマシンの僧		<u>\$</u>						
+		ハールをがい、利用者				ル八首で1」		ソマンノの D入替作業	严重、嗣王	E						ができない状
	期							グマシンの定	≧期メンテ	ナンス		況であ	る。 更制	ういい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	必要。	
期		An Alman			I 40	1A -t- = 45.	_									
	ᅒ	冬期間の 実施。	降雪に備え	.、陈雪	機の点	検を早期に		シンの修理、調整 シン1台更新の予算]	要求実施							F比以上の減 利用し、バッ
	3	天心。 12月1日か	らの料金	営業院	間の変	変更 。	・ポールの入警			00円に設定)					数の増加につ
ij	期	ピッチング	マシン1台	更新の	予算要	求	-営業時間の養	支更(12月1日~2月2	28日まで午後	9時)		なげたし	N _o			
	∽	· * · · = · · · ·	AP Inc. An	14 VE /	- 44 48	##=## 7.	・ピッチングマナー・降雪時の除	マシンの修理、調	*							
ے	ж 4	ハッティン	ソセンダー	「ひ、理」 除量を行	千呂子.	施設である は来るだけ早	ョー・ホールの人	.替作業					に素早	く営業開始	できるよう勝	きって夫が
~	期	く利用者が	利用でき	る状態	こする。	,	・営業時間の	t定(3月1日〜11月)変更(3月1日〜1	月30日まで 1月30日ま	ゲーム200 で午後10時	円に戻す) :)	必要。				
							・トイレ手洗し			_						
Ø								事中	評	価	1					
								や環境の変化	_ ~ /		充		2	(5	7
		チンクマシ 『求を行う。	一ンの高さ	調整が	いできな	くなってきて	こいるため、ま	実施計画で予	111		犬維持		3	(⑥ レ	9
管	31 3	CW C 11 70								<u> </u>						_
									_ の <i> </i>		小		4	(8	10
理							改革・改善	策)	方 忙		廃 止	1				
_	5番	ピッチング	マシーンの)交換設	置を平	成29年度に	こ行う。		向			皆 ;	減縮	小	現状維持	拡大
										_						
									性			П	スト	投入	の方	向 性
	-	評価年度		当年度		1										
	_					性		차 · ^	<u></u> 生		功 鸢	运 性		4/\\ A		401 亡
	想	• •	妥	当			有			1 1				総合	許価	判定
評		面の観点	1 2	3	4	判定	1 2	3 4	判定	· '	2 3	4	判定	4	В	
	ナ	ェック		レ		3		レ	3		レ		3			******
								故障、降雪間 実施するため							↑画とおり事 とが適当	業を進めるこ
価								いく必要があ		MR 122 C (ンしずりかる	3 个加收入	11,22,10	号 B: 특	事業の進め方	に改善が必要
ijilli.	杯														₿業規模・内 り見直しが必	容・実施主体
~														美 D: ₹	事業の統合、	な 休・廃止の検
	題													Ā	すが必要	
С	处区													- 前左座が	 小型性和点	> A
	咫														会評価判定 シート教理系	
	烬	és	n 4	k.	hts:	8 ar	压	***		4cm	**		f t	前年度評価	シート整理番	号 07040111
Н		和	8 <u>1</u>	包饰部本	策	評	価れぞれの答	前	₩ E + 2 = 6	細	施	佐記去物	もてむ	前年度評価	シート整理番	号 07040111
E	総	運動公園	さ、160 ため、管理	 D施設を 型運営業	抱える	ており、そ	れぞれの施設	設に職員が常 る必要がある	o , I C 2	公園は	、16の め、管理	施設を抱 運営業務	えてお を引き	前年度評価 評り、それぞ 続き外部へ	シート整理番 価 れの施設に 委託する 必	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。
	総	運動公園 できない また、施	は、160 ため、管理 設の建替!		抱えて	ており、そ 引き続き外 しいため、	れぞれの施 部へ委託する 引き続き 修	設に職員が常 る必要がある	る。 じさを換 また	加公園は ないた た 施設	、16の め、管理 の建替は	施設を抱 運営業務 経費的に	えてお を引き 難しい	前年度評価 評 り、それそ 続き外部へ ため、引き	シート整理番 価 れの施設に 委託する必 ・続き修繕す	号 07040111
	総合	運動公園 できない また、施	は、160 ため、管理 設の建替!		抱えて	ており、そ	れぞれの施 部へ委託する 引き続き 修	設に職員が常 る必要がある	る。 じさを換 また	加公園は ないた た 施設	、16の め、管理 の建替は	施設を抱 運営業務 経費的に	えてお を引き 難しい	前年度評価 評り、それぞ 続き外部へ	シート整理番 価 れの施設に 委託する必 ・続き修繕す	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。
E	総	運動公園 できない また、施	は、160 ため、管理 設の建替!		抱えて	ており、そ 引き続き外 しいため、	れぞれの施 部へ委託する 引き続き 修	設に職員が常 る必要がある	る。 じをを換しまた	加公園は ないた た 施設	、16の め、管理 の建替は	施設を抱 運営業務 経費的に	えてお を引き 難しい	前年度評価 評 り、それそ 続き外部へ ため、引き	シート整理番 価 れの施設に 委託する必 ・続き修繕す	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。
E	総合評	運動公園 できない また、施	は、160 ため、管理 設の建替!		抱えて	ており、そ 引き続き外 しいため、	れぞれの施 部へ委託する 引き続き 修	設に職員が常 る必要がある	る。 じをを換しまた	加公園は ないた た 施設	、16の め、管理 の建替は	施設を抱 運営業務 経費的に	えてお を引き 難しい	前年度評価 評 り、それそ 続き外部へ ため、引き	シート整理番 価 れの施設に 委託する必 ・続き修繕す	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。
E	総合	運動公園 できない また、施 等で今あ	は、166 ため、管理 設の建替! る施設を4	- D施設を 理運営業 は経費的 可効活用	· 抱えで き 務の難し 目してし	ており、そ 引き続き外 しいため、 いく必要が	れぞれの施 部へ委託す 引き続き修 ある。	設に職員が常 る必要がある	を換等で	か公園は いないた こ、施設 で今ある	、16の め、管理 の建替は 施設を有	施設を抱充運営業務に対象がある。	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それそ 続き外部へ ため、引き 必要がある	シート整理番価がれの施設に委託するを持続き修繕さ	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。
E C K)	総合評	運動公はいまたで今あ	ま、166 ため、管替 設の建替 る施設を有	一 施設を 理運費 は経費的 可効活用	· 抱えで き う に し て し 善 第	ており、そ: 引き続き外 しいため、 いく必要が	れぞれの施 部へ委託す 引き続き修 ある。 施 状 況	職員が常 る必要がある 繕 や部品の3	を換等で	はたこ、ためる	、1 6 理 め、建替は 施設を有:	施設学院に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それる 続き外引さ ため要がある 今後の方	シート整理番価がれの施設による経済を締合する。	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。 ら部品の交換
E C K)	総合評	運動公園 できない また、施 等で今あ	ま、166 ため、管替 設の建替 る施設を有	- D施設を 理運営業 は経費的 可効活用	· 抱えで き 務の難し 目してし	ており、それ 引き続き外 しいた必要が の 実 が	れぞれの施する おきに おいま おいま おいま おいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま はいま は	設に職員が常る必要がある 籍や部品の3	を換等で	か公園は いないた こ、施設 で今ある	、16の め、管理 の建替は 施設を有	施設学院に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それそ 続き外部へ ため、引き 必要がある	シート整理番価がれの施設に委託するを持続き修繕さ	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。
E C K	総合評価	運動公はいまきできる。 前年 月 成	ま、166 ため、管替 設の建替 る施設を有	一 施設を 理運費 は経費的 可効活用	· 抱えで き う に し て し 善 第	ており、そ: 引き続き外 しいため、 いく必要が	れぞれの施 部へ委託す 引き続き修 ある。 施 状 況	職員が常 る必要がある 繕 や部品の3	。 換 前 成	か公からない施ある年年年細拡	、1 6 理 め、建替は 施設を有:	施設学院に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それる 続き外引さ ため要がある 今後の方	シート整理番価がれの施設による経済を締合する。	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。 P部品の交換
E C K) 改革・改	総合評価今後	運動公ない施等できた。今あ	また、16では、16では、16では、16では、16では、16では、16では、16では	一 施設を 理運費 は経費的 可効活用	· 抱えで き う に し て し 善 第	でおり、それ 引き続き外 しいた必要が を の 実 が で で で で で で で で で で で の で り で の で り で り	れぞれの施する会には、	設に職員が常る必要がある籍や部品の多種であるのである。	。 換 前 成果	はた設る年年和拡張	、16の、め、管理の建替は施設を有	施設学院に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それる 続き外引さ ため要がある 今後の方	シート整理番価がれの施設による経済を締合する。	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。 ら部品の交換
E C K) 改革・改善	総合評価	運動きたでま等 前 成果の左	ま、16 ため、 管野 る 施 設 を を す な な な な な な な な な な な な な な な な な	一 施設を 理運費 は経費的 可効活用	· 抱えで き う に し て し 善 第	ており、そ 引き続き外 しいため要が	れぞれの施i 部へ委託する 引き続き修i ある。 施 状 況	股に職員が常る必要がある 様や部品の3 前 ⑦	o. 換 前 成果の	はたい数る年細拡現	、16の め、管理 の建替有 施設を有 施策 評 施	施設学院に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それる 続き外引る た必要がある 今後の方	シート整理番価がれの施設による経済を締合する。	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。 ら部品の交換
E C K) 改革・改善	総合評価今後	運動きたでま等 前 成果の左	また、16では、16では、16では、16では、16では、16では、16では、16では	一 施設を 理運費 は経費的 可効活用	· 抱えで き う に し て し 善 第	でおり、それ 引き続き外 しいた必要が を の 実 が で で で で で で で で で で で の で り で の で り で り	れぞれの施する会には、	設に職員が常る必要がある籍や部品の多種であるのである。	。 換 前 成果	はたという 年 細 拡 現 総	、16の、め、管理の建替は施設を有	施設学院に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それる 続き外引る た必要がある 今後の方	シート整理番価がれの施設による経済を締合する。	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。 ら部品の交換
E C K) 改革・改善	総合評価 今後の方	選がたでま等 前 成果の方向:	ま、16 ため、 管野 る 施 設 を を す な な な な な な な な な な な な な な な な な	一 施設を 理運費 は経費的 可効活用	· 抱えで き う に し て し 善 第	ており、そ 引き続き外 しいため要が	れぞれの施i 部へ委託する 引き続き修i ある。 施 状 況	股に職員が常る必要がある 様や部品の3 前 ⑦	・ 	はたい ため を を を を を を を を を を を を を を を を を を	、16の め、管理 の建替有 施設を有 施策 評 施	施設学院に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象に対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価 評 り、それる 続き外引る た必要がある 今後の方	シート整理番価がれの施設による経済を締合する。	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。 ら部品の交換
E C K) 改革・改善の方向	総合評価 今後の方向	選がたでま等 前 成果の方向:	ま、166年代の大学を表現の建物を表現します。 とり はい	の施設を開発を ・ 改 ・ 改 ・ 改	· 抱えで き う に し て し 善 第	ており、そ 引き続き外 しいため要が	れぞれの施する 部へ委託する 部 は ・	設に職員が常 る必要がある 籍や部品の3 前 ⑦ ③ ①	・ 	はたい ため を を を を を を を を を を を を を を を を を を	、16の め、管理 の建替は 施設を有 施 た 策 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	施設を抱機を抱機を抱める	えてお を引き 難しい ていく	前年度評価がいます。	シート整理番価がれの施設による経済を締合する。	号 07040111 後 に職員が常駐 必要がある。 ら部品の交換
E C K) 改革・改善の方向性(総合評価 今後の方	選い施あ 公な、今 「 の は、 の 方 向性 「 の は、 の 方 の は、 の 方 の は、 の が に	ま、1 6 では ための建設 を	の施設を対する との でも	を 物にして は 善策	ており、そ外 けいと の 実 ア ② ③ ④ 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	れぞれの施する。 施 (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を)	段に職員が常る必要がある機構や部品の多種をおいます。 ③ ① ① 拡 方 向 性		はたい ためる 年 細 拡 現 縮 休	16の め、 管理は の 建替を有 施 策 施	施設を抱務に関する。	えておき難しいく ける な	前年度評価 リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	シート整理番(れの施設に表記さ修繕)。	号 07040111 後 で職員が常駐 でおるな換
E C K) 改革・改善の方向性(A	総合評価 今後の方向性 改	選でま等 前 成果の方向性 ピッ	ま、めの 全 を を を を を を を を を を を を を	の施運経費活のである。	を 技 を 対 に し 善 策 が に し ま が に し ま が に し ま が に し ま が に し に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 に る に る に る に る に る に 。 に	て お き 続 き い 必 変 ま に 必 の 実 評 ② ② ③ ④ 総 を が と が で が も で も も で も る も で も で も で も る も る も る も る も る も る る る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る も る る る る る る る る る る る る る	れ ぞれの施すれの施する ・	段に職員が常る必要がある籍や部品の3		Table 2 Ta	1 6 管理は有 ・	施運経効 価 皆 つ 細か	えておき難て ける	前年度評価がある。	シート整理番がれる統計を整備される記さを着さい。	号 07040111 後 ご職員が常駐 必要がある。 か部品の交換
E C K) 改革・改善の方向性(AC	総合評価 今後の方向性	選でま等 前 成果の方向性 ピッ	ま、めの 全 を を を を を を を を を を を を を	の施運経費活の改善を	を 技術の 対 が に し 善 策 が に し が に し が が に し が が が に し が が が が が が が が が が が が が	ており、そ外 けいと の 実 ア ② ③ ④ 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	れ ぞれの施すれの施する ・	段に職員が常る必要がある機構や部品の多種をおいます。 ③ ① ① 拡 方 向 性		Table 2 Ta	1 6 管理は有 ・	施運経効 価 皆 つ 細か	えておき難て ける	前年度評価 リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	シート整理番がれる統計を整備される記さを着さい。	号 07040111 後 で職員が常駐 でおるな換
E C K) 改革・改善の方向性(ACT	総合評価 今後の方向性 改革・	選でま等 前 成果の方向性 ピッ	ま、めの 全 を を を を を を を を を を を を を	の施運経費活の改善を	を 技術の 対 が に し 善 策 が に し が に し が が に し が が が に し が が が が が が が が が が が が が	て お き 続 き い 必 変 ま に 必 の 実 評 ② ② ③ ④ 総 を が と が で が も で も も で も る も で も で も で も る も る も る も る も る も る る る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る も る る る る る る る る る る る る る	れ ぞれの施すれの施する ・	段に職員が常る必要がある機構や部品の多種をおいます。 ③ ① ① 拡 方 向 性		Table 2 Ta	1 6 管理は有 ・	施運経効 価 皆 つ 細か	えておき難て ける	前年度評価がある。	シート整理番がれる統計を整備される記さを着さい。	号 07040111 後 で職員が常駐 でおるな換
E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革・改	選でま等 前 成果の方向性 ピッ	ま、めの 全 を を を を を を を を を を を を を	の施運経費活の改善を	を 技術の 対 が に し 善 策 が に し が に し が が に し が が が に し が が が が が が が が が が が が が	て お き 続 き い 必 変 ま に 必 の 実 評 ② ② ③ ④ 総 を が と が で が も で も も で も る も で も で も で も る も る も る も る も る も る る る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る も る る る る る る る る る る る る る	れ ぞれの施すれの施する ・	段に職員が常る必要がある機構や部品の多種をおいます。 ③ ① ① 拡 方 向 性		Table 2 Ta	1 6 管理は有 ・	施運経効 価 皆 つ 細か	えておき難て ける	前年度評価がある。	シート整理番がれる統計を整備される記さを着さい。	号 07040111 後 で職員が常駐 でおるな換
E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	総合評価 今後の方向性 改革・改善	選でま等 前 成果の方向性 ピッ	ま、めの 全 を を を を を を を を を を を を を	の施運経費活の改善を	を 技術の 対 が に し 善 策 が に し が に し が が に し が が が に し が が が が が が が が が が が が が	て お き 続 き い 必 変 ま に 必 の 実 評 ② ② ③ ④ 総 を が と が で が も で も も で も る も で も で も で も る も る も る も る も る も る る る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る も る る る る る る る る る る る る る	れ ぞれの施すれの施する ・	段に職員が常る必要がある機構や部品の多種をおいます。 ③ ① ① 拡 方 向 性		Table 2 Ta	1 6 管理は有 ・	施運経効 価 皆 つ 細か	えておき難て ける	前年度評価がある。	シート整理番がれる統計を整備される記さを着さい。	号 07040111 後 で職員が常駐 でおるな換
E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	総合評価 今後の方向性 改革・改	選でま等 前 成果の方向性 ピッ	ま、めの 全 を を を を を を を を を を を を を	の施運経費活の改善を	を 技術の 対 が に し 善 策 が に し が に し が が に し が が が に し が が が が が が が が が が が が が	て お き 続 き い 必 変 ま に 必 の 実 評 ② ② ③ ④ 総 を が と が で が も で も も で も る も で も で も で も る も る も る も る も る も る る る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る も る る も る る る る る る る る る る る る る	れ ぞれの施すれの施する ・	段に職員が常る必要がある機構や部品の多種をおいます。 ③ ① ① 拡 方 向 性		Table 2 Ta	1 6 管理は有	施運経効 価 皆 つ 細か	えておき難て ける	前年度評価がある。	シート整理番がれる統計を整備される記さを着さい。	号 07040111 後 で職員が常駐 でおるな換
E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	総合評価 今後の方向性 改革・改善策	選でま等 前 成果の方向性 ピッ	t た 投る 度	の施運経費活の改善を	を 抱務 開 大 で は は は の の の の の の の の の の の の の	で引しい を では でな でな でな でな でな でな でな でな でな でな	れ ぞれの施すれの施する ・	股に職員が常る必要がある。 ・ 前 ・ ② ・ ① ・ ③ ・ ① ・ ・ ③ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		Total	1 6 管理は有	施運経効 価 ち9年 おり おり おり おり おり おり かいかい かいかい かいかい おり かいかい かいかい	えておき難て ける	前年	シート整理番がれる統計を整備される記さを着さい。	号 07040111 後 で職員が常駐 でおるな換

事務	事第	Ě名	スケートセ	ンタ・	- • =	ゴルフ	練習:	場・フ	プール	管理運	営事	集			事業期間	間 平原	ţ	~		年度	整	理番号	07040111
担当	当部	署	教育委員会	生》	王学習	部ス	ポー	ツ健原	課		スポ	ーツ値	建康係		作成担当	当者名	小	林	拓	봑	連	終先	72-8399
			プランに 位置づけ	有	政:	策体	系 -	政施 細が 事務		03 06 12 01		節 生体育飢	E涯を 官・運	通じて楽 通じ学び 動公園の 営事業	続けるこ								
計	予	算	事 業 名	スク	ļ	セン	ター・	ゴル	フ練習	習場・				-			<u> </u>					回 100	02 事業 03
画	事	務 事 ^{潔にす}	「 業の概要 _{わかりやすく)}	効管事な	用者と費く	めずしとケ	ルフ級 ㈱パラ て、投 トセン	- ィネ 定 管 /ター	としず理者が	て開設 ャーが への指! レフ練	してい 管理 連 管場・	る。 営を 料と プー	平成 1 請け負 茅野市 ルの管	8年度が つている 減免規定 理運営を	ら、管: 。また、 による 行って	理運営 、平成 減免分いる。	にあた 2 8 年 の補助	り指う 度か 金等	定管理 らはフ を計上	者制度 プールも し、打	を 指定 指定管	学入して を管理に 管理者と	での施設有 おり、指定 追加した。 連携をとり
			と 背 景うして)	化カ	く早い	こと	、競技	をとし	て専門	習場・ 門性、! してい	安全面	を考	慮し、	スケート	上が経 ·場、プ-	過して ールの	いるこ 管理運	と、: 営に:	また、 長けて	屋外がいる打	を設と 旨定管	:いうこ 理者の	とで経年劣 管理運営の
(目	対	受益者							習場・		利用:	者										
P		象	対象(直接働きかける)									<u> ФШ</u>	28. 4×. 44	- 40. dás 1111 12		× 201	00 dk 46	一一人.	h a H	*** 1 - X	31 DO	a 1. 7 18	境を整え
	的	(どん	意図	る。				•											•				
L A			・ 方 法 やって)	てはまた	t、指 :、指	定管	理料の 理者の	中で モニ	対応で タリ:	できる	ものと 行い、	、市	で対応	すべきも	のを精	査し、	優先度	の高い	ハもの	から見	と施し	していく	等にあたっ 。 [·] 理料の適正
			行政活動の網	結果:	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出力	方法・討	計算式	・目	摽値討	没定の	考え	方など	最終目標値
N	評	活動	指定管理料							最終中	又支率			%	指定管	理料	営業	収支					100
	価指		指定管理者。 <u>を把握し、</u>				グを	行い、	状況	<u>=</u>	ティン	グ回	故	0	1 回/	月							12
	標の作		成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	复出プ	5法・1	計算式	• 日;	標値割	定定の	考え、	方など	最終目標値
	作成		利用者が利力	用し [·]					-	スケ-	ートセ	ンタ-	<u>- • ∃</u>		#ш/	J / A	11 21- 20	ш	ᆙ	~ /C 0/	· J / L ,	73 ·6 C	80,000
		1=	数を増加さ ¹ 同上	<u>でる</u>							東晋場 レ利用		自奴	人									20, 000

実	틕		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
実		· / / ·	(a)	円			50, 991, 693	51, 938, 910	51, 992, 000
実	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円			4, 589, 400		
	訳	一 般 財	源	円			46, 402, 293	51, 938, 910	51, 992, 000
施	職	正 規 職	員	人			0. 11	0. 10	0. 10
	員	嘱 託 職	員	人					
	数数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人			0.11	0. 10	0. 10
<u>ر</u>	Ż		数						
	3		(b)						
	È		(b)	円	_	-	_	_	_
況	Š		額	円					
L		「民一人当たりのコス		円	_	-	#DIV/0!	936. 00	952. 00
		- A	目標	%			100	100	100
		最終収支率	実績				82	100	100
$\widehat{}$	活		達成率	%	_	-	82. 00	100.00	100.00
	動		目標				20	12	12
	動指	ミーティング回数	実績	-			10	12	12
D	標		達成率	%	-	-	50. 00	100.00	100.00
	IV.		目標	_					
		_	実績達成率	%	_	_	_	_	_
_				9⁄0	_	_	80, 000	80,000	80,000
0	퍖	スケートセンター・ゴ	目標 実績	人			67, 631	64, 997	66, 000
Ĺ	里	ルフ練習場利用者数	達成率	%	_	_	84, 54	81, 25	82, 50
	成果指		目標			_	20, 000	20, 000	20, 000
\sim	拍 標	プール利用者数	実績	人			16, 638	16, 003	16, 500
ľ	示		達成率	%	_	_	83, 19	80, 02	82, 50
			~=/~+	/0			00.10	UU. UZ	02.00
•	備								
	考								

		と スケー										事業期間	平月	戉	~		年度	整理番号	070401	11
担:	当 部	署 教育委	長人 生	涯学習i	郎 スオ	ペーツ健康	表課	スポ	ペーツ健康	係		作成担当	者名	小	林	拓	#	連絡先	72-83	99
	期			1 標						官 緝	E						課	題		_
									j.	き 村	₹						沫	瓼		
		指定管理							管理運営事	業計画	に基っ	く、料金及び	開場	第1期の)練習:	場入場	者数点	が昨年度よ	り減少。	λ
四	1	からの要望 める。	門に早期に	対応で	きるよう	に事業を			の管理運営					場者を	曾やす			理者と念		
		める。 プールオー	-プシに心	更か手組	事去等 (の準備	・プール	レ営業期	の音座連合 間中の粟沢	地区一	·方通行	規制事務		わせが	必要。					
		練習場は夏																		
半	第	科用者数の						フ練習	場の管理	運営				and consider	84-c= L	+	-167 F	note de te		
	2	7/1~8/310	の営業期間	中、事故	や苦情	がないよ	う運 ・プー	ルのオ	ープン、ク	D —;	ズの準	備・片付け	+	利用有質			にかるト	PR等、集客	力法を使	相
	期	営が円滑に	進むよう、3	長託業者	との運	絡を密にと	=							9 020	£13.00)	.				
期		る 。																		
	第	スケートセ	ンター関係	の進備	た行!	、 利田夫	71		場のクロー									習場のフェ		
	3	快適に利用				· 、 ヤリノコココ	*舞堂					オープン前	r)					一冷凍機	ユニット技	非 気
ij	期						•27	-143	ノターのオ	-):				管系統:	父孾の	埋争	1 金			
	Arte-																			
	第	理事者查定	字準備				・スケ	ートセン	ーズ2	/19			練習場	打席シ	一ト破	れがて	んどくなって	きている	•	
۲	4 期	ゴルフ練習	場開場の	準備と	ナープ:	ン	・ゴル	フ練習	場オープ	J3/30)			人工芝	の早期	購入	準備と	没置工事の)準備	
	州																			
								事	Ē	Ŧ	価									
の	当生	F度開始後	、約6ヶ	月が経	過し.	新たに生	とじた問題	点や環	境の変化	; ,	타	址 2	7		(2)		Æ)	(7)	
										一今		J/A 7			j		Q	ν 	\checkmark	
<u> </u>	各施	設について	ては、建設	から284	軍以上	が経過し	老朽化がり	見られる	ため計画	後	の	現状維持	寺		3)	6)レ	9	
E.	的な	改修が必要	要。									始					6)	100	
		1			-		/=/ **			_	向				4		Q	<i>y</i>	w	
理	A 40						(改革・己	以善策))	方	性	休 廃 」	E C	D						
_	今後	も指定管地	里者制度を	活用し	ていく。				向	-		/ .	毕 泊	北 統	3	/l\	目状維持	坑	大	
									生					Д	` 技	^	O) J	1月 1生		
		亚压左曲	,	1/左击																
	当年度開始後、約6ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化より入場者を増やすため、限りある予算の中できめ細やかな対応が必要。各施設については、建設から28年以上が経過し老朽化が見られるため計画的な改修が必要。 新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策) 今後も指定管理者制度を活用していく。 「大力向性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性性															_				
														総	台	評 価	判为	Ĕ		
評	評価	「の観点	1 2	3	4	判定	1 2	2 3	判定	-	1 2	3	4	判定			۸			
н	チ	ェック				4		レ	3			レ		3			^			
														===			業を進め	るこ		
		Rや自主流	舌動が必要	と考え	<u>る。</u> -	一般の利用	日者増加も	望みた	格の	スケートセ	ンタ・	ーである	<u>ත</u> _		_		に改善が	心亜		
価														元牛						
														つい					~ 1~	
														義		乗の航台、 が必要	14・廃止(ク快		
С	足	各プールが	が古くなて	いるた	:め、1	十画的に	多籍を進め)る。								前年		合評価判定	2 A	
																前年原	き評価 シ	/一ト整理番	号	
н		紐	捕	ħ	策	評	価	ī	前			細	施	舅	ŧ	評		価	後	
	総	スケート1		_				-		門フ	ケー				-		の管:			1門
E		性のある意	競技である	ので、	管理道	■営ノウ/	ハウがあり			る 性	Eの あ	る競技では	あるの	で、管理	里運営	ノウバ	ヽウが			
	合	業者による	る指定管理	は、今	後も必	必要である	5 .			3	者に	よる指定的	理は	、今後:	必要	である				
С																				
	評																			
K	/ ==																			
\rightarrow	価	前年月	ま 改 革	. ⊒h	羊 华	この 実	施状纺	 		-	- 1	度細施策	= =	あたむ	1+ Z ·	公	η ±	白州		_
	H										11) 十						07 73			_
改革	今	細	l A	<u>E</u>	策	評	価	į	前			細	施	第	ŧ .	評		価	後	
-	後	成 扨	太 充			2	⑤		7		成	拡 ź	Ē							
改	1久	果	見状維持	·		3	6	ل	9		果	現状維持	 È							
善	の	0)	九 1八 小肚 1寸					~			のナ	シエ1人が任か	1							
Ø	方	方約	宿 小			4	8		10		方 向	縮 小	`							
方		1.0	木廃 止	1							性	休廃」	_							
方向性	向			皆	2=	縮	/L TE-11	- % # +±	+r÷		-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		皆 派	t o=	-	ds 7	日 小 4 4 + + +	拡	+
	性			. –	減 コ ス		小 現状 と 入 の	維持	拡 <i>.</i> 向 性	大				皆 源		-		現状維持 の 方	孤 向 性	大
	_,	 	3 - 1 ⊔ D /-							144 1	الا 100-	キムチロロ) - +							D-144
A C	改革	加を図って		- で1月代	K (2 194	KU, PI	へり つして	- C. A	が自教の			市公式HI っていく。		旧報です	可載し	, ,,	(y @	ことで、種	当内は対し	ツ増
Т			ランター・	ゴルフ	練習均	・プール	ルを施設−	-体管理	ますること	でフ	くケー	トセンター	-• ₫	ルフ練	8場・	プール	を施	设一体管理	里すること	L 78
		スケート1																		
I	•	スケート1 最大限の原	世界が出せ	るよう	引き	売き市と	業者とで選	大阪	の成果がと	出せる	よう引き	き続き	市と第	者と.	で連携をと	こってい	ζ.			
I 0	改	スケート1 最大限の原	成果が出せ	・ │最大限の成果が出せるよう引き続き市と業者とで運携をとっていく。 │最大限の成果が出せるよう引き続き市と業者とで運携をとっていく。 改													₹.			
0	改善	スケート1 最大限の原	成果が出せ	さよう	引き	売き市と	業者とで選	はみをと	さっていく	• 1	大阪	の成果が比	出せる	よう引	き続き	市と著	t者と [·]	で連携をと	こっていく	₹.
	改	スケート1最大限の原	成果が出せ	るよう	引き	売き市と	業者とで選	<u> </u>	:otu(· o 1	大阪	の成果が比	出せる	よう 引	き続き 	市と署	き者と ・	で連携をと	こってい	₹.
0 Z)	改善策	スケート1 最大限の原	成果が出せ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	るよう	引き	売き市と	業者とで選 			. 0 1		の成果がと			き続き <u></u>	市と署	を		さってい ・	.

事務	事業	名	市民1スポー	ーツ	推進事	業									事業期間	平成		~		年月	支	と理番 ·	号 ()704010 1
担当	当部	署	教育委員会	事務	局	ス	ポー	·ツ健	康課		スポー	ーツ優	康係		作成担当	者名	小	林	亮	介		連絡先	:	<mark>72–8399</mark>
			プランに 位置づけ	有	政策	策 体	系		策 策 施 策 8事業	03 06 12 09	第65	節 生 本育飢	涯を通 ・運動		しく学び 続けるこ 充実									
計	予	質	事業名	市月	 - 1スポ	く ーッ	推准			00	III DA	1 // 1	· /10	2.在于木		会計	 -	<i>*</i> 00	1 款	10	項	06	0	1 事業 ()
			業の概要	市民総合	一人	大会に	りが	豊かな	ょスポ	一ツラ 茅野市	イフと 体育協	健康・会へ(で明る。 の委託 !	く活力 <i>を</i> 事業とし	る生活を 競技スポ	実現す	るた	め、	総合体	育大	会を	開催す	る。	
			と 背 景うして)	ポー	t17年 −ツ競 f民1ス	技規則	則を見	熟知し	してい	ること	市体育から、	協会(の下部	組織には 育大会を	、各種目 ·円滑・対	の3 (物率的に	協会工企画	で組 ・開	載され 崔・週	てい 営で	る。 きる	3 0 協 ため勣	会は 技人	は、各ス 、口の拡
	目	対	受益者 (誰のために)		市体			在学者	*															
P		象	対 象 (直接働きかける)																					
	的	(どん	意図 な状態にしたいか)								を拡大													
L A			・ 方 法 やって)	企画	しも	らい、	各	重目の	080	協会と	の協働	によ		運営への	i・興味・ ●支援を行		体力	• 技	析・技	能レ	ベル	に応じ	た競	技大会
			行政活動の	結果	からつ	くり	だす	もの	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	• 目:	標値記	没定の	考え	方な	ど最	終目標
Ν	評	活動	大会開催実	拖						大会	回数			0	年間の	大会数								30
	価指	指標																						
)	標 の							/	-	11-	· дат	7	T.	22 LL	₩ III -	=	/drt-		L# /± =		+ -		I P	65 T 1= 1
	作成	成	成果	•		果	は	何	?	指	. 1731	名	称	単位	71			• 目	漴 値記	反正の	考え	と万なり	と 最	終目標的
		指	参加人数の	曾加						参加	人数			人	年間参	加人数								5, 000
		標																						

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	lull.	, ,, ,,	(a)	円	3, 565, 625	3, 545, 900	3, 538, 000	3, 546, 440	3, 567, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地 方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
	汃	一 般 財	源	円	3, 565, 625	3, 545, 900	3, 538, 000	3, 546, 440	3, 567, 000
施	職	正規職	員	人	0. 02	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 02	0. 01	0.01	0. 01	0. 01
	Ż		数		55, 775	55, 515	55, 395	55, 666	55, 737
			(b)		3, 605	3, 449	3, 849	3, 534	3, 800
			(b)	円	989	1, 028	919	1, 004	958
況		受益者負担	額	円					
_		市民一人当たりのコス		円	64. 00	63. 00	63.00	64. 00	66. 00
		A	目標		30	30	30	30	30
		大会回数	実績		29	30	30	30	30
	活		達成率	%	96. 67	100. 00	100. 00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	指	_	実績達成率	%	_				
D	標			%	_	-	_	_	_
	12.4		目標実績						
			達成率	%	_	_		_	_
				70	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
0	成	参加人数	目標 実績	人	3, 112	3, 449	3, 849	3, 534	3, 800
	鱼		達成率	%	62, 24	68, 98	76, 98	70. 68	76.00
	果指		目標	70	UZ. Z4	00. 90	10. 90	70.00	70.00
<u> </u>	標	_	実績	_					
	示		達成率	%	_	_	_	_	_
-	,		~.~	, 0					
	備								
	考								
	•								

事務	事業	美名	市民 1	スポー	ツ推進	事業								事業	期間	平成		~	年	度整理	番号 (7040101
担当	部	署	教育委	員会事	務局	7	スポー	ツ健康	果	スポ	一ツ健康	長係		作成	担当者	名	小 🔻	*	亮 介	連絡	先	72-8399
	期				目	標					9	実 績	į						部	題		
四	第 1 期	昨年	以上の	参加者	拡大を	を目標と	さする		6月19 6月26 ソフトホー 人、硬	日空手70 -ル100人 式テニス49	キング69 0人、マレッ 、居合道 9人	はプルフ1 19人、	10人 弓道3	、ゲートボ・ 10人、バト	ミントン49	<u>#</u>	重目の ■の内	問題。容に	点など組ついて杉	かく情報 対を進め	収集で る。	きるよう報
	第 2 期	昨年	以上の)参加者	拡大を	を目標と	:する		レーポー 球81人 7月31	ル130人、 、、7月24	球96人、 、7月10日 日剣道45 ッカー200ノ 人、	少年 5人、7月	ッカー2 30 E	00人、7月 1陸上競	17日卓 支200人	, AH C	旧者の記 日の検			る競技は	、周知(の方法・ <mark>開</mark>
	第 3 期	昨年	以上の	参加者	拡大を	を目標と	≐する		ま・ール!	50人、10	ッカー200. 0月2日会 ルフ28人					月 参加 催日	n者の記 日の検	減少: 討が	が見ら ∤ 必要	る競技は	、周知(の方法・開
ے	第 4 期	昨年	以上の)参加者	拡大を	を目標と	さする				ケットホ [*] ール くケート271	人、少	林寺	拳法48.			旧者の記 日の検			る競技は	、周知(の方法・開
o -	.1. 6			<i>M</i> -						事	•	F	_	価				•				
								たに生し されてい	た問題	点や環	境の変化	今	成果	拡	充			2		⑤	Q)
管	1.0	1 AN 1711	IEI-T	FU . 1	/JU 12 V	19,913	- NEW NEW C	-40 00	~ o			後	木の	現状	維持			3		6	9)
												の	方	縮	小			4		8	C)
177 1		Ŕ	新年度	の実施	計画	予算	要求	事項(i	改革・改	(養養		方	性	休月	·····································	1)						
理												向			$\overline{}$	뱜	減	縮	小	現状維	持却	t 大
												性		/					-			
											'-						•	,, <u>,</u>				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)																					
								ر جا									総	合 評	価	判定		
評			_	1 2		_			1 2	_	4		+	1 2		+				E	3	
-				り競技					、他大会	_		があ	り、値1					IA	: 計画どお	り事業を	を進めるこ	
<u> </u>	Pare Pare																					
С	題																		前年度		i判定	В
																				平価シート整		
Н	終	4 W. A .	細	- / / /	施	第		評	価		前	L 1 - 40		細	施		策	- 7-	評	価		发
E	II/4CV	郑台 開催	体育ス してい	まは、 いるが、	競技ノ 競技ノ	くホード 人口のi	ツに取 載少も	り組ん 進み、i	でいる巾 総合的な	氏の孤	大のたる 必要でも	りに 料								いる市民 合的な改		
	合	る。										3										
С	評																					
K																						
J	価	前	年 度	改革	.	改善	第 σ) 車 ‡	拖 状 沅	1		-	前年	使細 な	15	価 に	おけ	ス 4	~ 後の	方向性		
改		13.3	細	. • .	施	第		評	価		前		173 1	細	施		策		評	価		
革	今			· *		Я			-		7)		<u> </u>			,	來	1	AT	Т	1	<u> </u>
改	後	成 果	拡				2		⑤				成 果	拡	充					ļ		
善	の	の		状維持			3		6		9		の 方	現状						レ		
の士	方	方向	縮	小			4		8		10		向	縮	小			ļ				
方向	向	性	休	廃止)								性	休彦	上							
Ad-	性				뉱		或 統			維持		大			_	皆	減	縮		現状維		
$\widehat{}$	_	阻止	11. t- B	酒のけ	でかり		ス 大会盟		入 の きるよう		り につい	Pic Pic	12.4	た砂糖	ወ ተ ማ	か 里 4	コス			入 の : <mark>るよう、</mark>		
	改 革	は、	財源を	確保し	内容	をよく	青査し					食討 は	t、 J	オ源を確	保し内	容をよ	く精査	査し、		であり、 開催の内容		
T	*	L,	市民 1	スポー	-ツの#	広大を	図る。					ا	٠ 、 أ	民1ス	ボーツ	の拡え	で図る	5 .				
I	改																					
0 Z	善																					
0 N	善策																					
0 N	善策																					

事務	事 業	(名	スポーツ大	会開	催関連	車事業	È								事業期間	平成		~		年度	整理	里番号	07040102
担当	当部	署	教育委員会	事務	局	7	ベポー	・ツ健原	東課		スポー	-ツ僧	康係		作成担当	者名	小	林	亮	介	連	絡先	72-8399
			プランに 位置づけ	有	政分	策体	系		策策策策	03 06 12 06		う 生 育館	涯を通	じ学び 加公園の	しく学び! 続けるこ 充実								
計	予	算	事 業 名	スオ	く ーツ	大会	開催	関連費	}							会計:	J — F	00	款	10	項 0	6 目	01 事業 1
画	事和	多事	業の概要 ^{>かりやすく)}	ス会また	rート (持ち :、地	大会 回り 区大	、茅!)や! 会か!	野市ふ 県内外 ら予選	らば〜 から選 を勝ち	· る大 手・ 抜い	会等)(役員が た選手:	の他、 参加で またに	NP(する大き はチーノ	O法人茅 規模大会 ムが全国	野市体育 を支援す や国際大	協会の る。 会等に	下部:	組織で	きある。 ミしたI	、各協 時に支	接す	誘致し る。	アスピー た定期的:
			と 背 景うして)	技メ	会を	開催	してし	ハるが	、各大	会の	向の人 主管団 を行う	本でに	ま対応で	向の人ま できない	で、年齢 業務、ま	、興味 た大規	模大	心、存 会なと	力、	技術・ 手役員	技能 で1,	レベル 000人	に応じた! を超えるメ
•	目	対	受益者		在住				のスポ	゚゚゚ーツ :	大会参	加者、	大規	模大会は	県内外の	選手役	人						
P		象	対象 (直接働きかける)																				
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	各大	へ会で	の参	加者の	か拡大	、競技	しべ	ルアッ	プを	図り、±	、大会を 全国大会	盛り上げ 等への出	る。 場者を	拡大	する。					
L A			・ 方 法 やって)	大規	提等 E管団	開催:	大会(対応	の各ス	ポーッ :い大会	/規則	会情報(にマッ・ 務の代	チレナ	と必要!	物品の準 方ジュニ	備 ア陸上大	:会、長	野県	中南信	゚ ジュ:	ニアス	¦ピ—	・ドスケ	一卜大会。
			行政活動の紀	洁果:	から:	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定の着	きえた	ちなど	最終目標的
N	評	動し	大会開催							大会[回数			0	年間の	大会数							8
	価指	指標																					
J	標の																						
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値設	定のネ	きえた	ちなど	最終目標
	成	果指	参加人数の	曾加						参加。	人数			人	年間参	加人数							5, 000
		130	激励金交付	牛数	の増加	П				激励的	金交付的	牛数		件	年間交	付件数							80

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		(a)	円	5, 090, 289	3, 640, 056	3, 554, 035	3, 562, 928	3, 834, 000
財	├ 国 庫 支 出	金	円					
実源	; 県 支 出	金	円					
内	, 地 万	債	円					
	ての他特定期	源	円	1, 494, 000	1, 920, 000	1, 920, 000	1, 920, 000	1, 920, 000
訴	//X 7/1	源	円	3, 596, 289	1, 720, 056	1, 634, 035	1, 642, 928	1, 914, 000
施	起	員	人	1. 03	1. 03	1. 03	1. 03	1. 03
員	嘱託職	員	人					
	` 品 時 職	員	人					
数		計	人	1. 03	1. 03	1. 03	1. 03	1. 03
_	対象(者)	数					4 4	
		(b)	人	4, 180	4, 161	3, 883	4, 257	4, 300
		(b)	円	1, 218	875	915	837	2, 695
況	受益者負担	額	円	84 88	AF 00	A	0.1.00	000.00
	市民一人当たりのコス		円	91.00	65. 00	64. 00	64. 00	209. 00
		目標		8	8	8	8	8
~ \	大会回数	実績達成率	0/	110 50	8	100.00	8	100.00
	i		%	112. 50	100.00	100. 00	100.00	100. 00
動		目標実績	_					
動指	i -	夫 根 達成率	%	_	_	_	_	_
D 標		目標	%0				_	
	_	実績	_					
		達成率	%	_	_	_	_	_
o <u> </u>		目標	70	5. 000	5, 000	5. 000	5. 000	5, 000
成	参加人数	実績	人	4, 180	4, 161	3, 883	4, 257	4, 300
里		達成率	%	83, 60	83, 22	77. 66	85, 14	86.00
果上		目標		80	80	77. 00 80	80	80
標	激励金交付件数	実績	件	86	84	74	71	75
1ন	- 13 11 SA	達成率	%	107. 50	105.00	92. 50	88. 75	93. 75
			, 0		100.00	<u> </u>	55.76	55.76
備								
考								

			ーツ大会開	催関連						2	事業期間	平成		~	年度	整理番号	
担	当 部	署教育	委員会事務	局	スホ	『一ツ健康	果 ス7	ポーツ健康に	系	1	作成担当有	名	小木	† 3	克 介	連絡先	72-8399
	期			目標				宝	績						課	題	
				<u> п</u>					小只	L					环	KZS.	
		大会参加	により、選=	手の競技	レベル	アップを図					:35人参加					コの減少。	
四	1	る。 た						位 小学生					2の拡			畑て 4 本体	и.
	期	谷大芸へ	の参加者の) 孤天。			5/22 諏訪シ	/ ユニ /	0867	(参加		Bila	中度より	川順包	の低ト、	選手の高齢	16.
	44		こより、選=	手の競技	レヘル	アッフを図											
半		る。 ***	o 45 de 45 o				9/3 諏訪地	方陸上:351	人名	∌ ha				ed als			
						スポーツへ 高め、大会	9/11 縄文					₹	四者の)	成少			
444	州	を盛り上に		J. 407	A'U'C	间の、八五											
期	笋	昨在 以上,	の参加者扱	+++-		Z							1 注 小 / ·	一/水二	29 年 1 F	つきか	
	3	昨年以上	一ツへの題	∆人で日′ 心を高が	際⊂9	る。 ≹を盛り上け	10/10 市民				l		コペシロフの拡充			コの減少。	
=		る。	,	ه اها ی ی	,,,,,	<u> </u>	10/16 ふら	ぱ~る大会	:90	人参加		70.7	E VI III.	V /// x	5 2 .		
_																	
	第	昨年以上(の参加者扱	大を目	操とす	న 。	4 (4= 10)				_	人	コ減少に	こ伴う	選手人口	コの減少。	
٤	4	生涯スポ-	ーツへの関	心を高め	り、大会	きを盛り上げ	f 1/15 県ジュ 2/11 諏訪±				JII		20拡				
	期	る。					2/11 840/12	B/J/A/7 I	. 20	1 / 1 / Ju							
							3	事 中	a	平 個	1	<u> </u>					
Ø	N/ F	ᆫ	\$ 4h.C.I	□ T\$6Δ;	G. I	かた ナーナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー・ナー	-					1			:		
							た問題点や環		今	成	広 充			2		⑤	7
						□〜塩瓜巾 の参加者が	でぶどうの郷口		後	果一切	見状維持			3		⑥ レ	9
管	-^	_~~ 				IM TO N				¥				ļ		_	
									の	ク 向	宿 小			4		8	10
198							改革・改善策		方		木 廃 止	1					
理	大会	開催日は	事前に近隣	市町村	に大会	開催日の	事前照会を行い	(今回も	向				4-4	ەب د	,I.	T日小下 6/4 ++	+r+ _L
			っていたが 智調整を行		側が	変更して重7	ぶった)、できる	だけ重なら			/	皆	減	縮	小		拡大
	3.0	ふ ハーロ 和	EDMIE C. II) 。					性			=	」ス	۲	投入	、の方	向 性
	_	评価年度		当年度													
	梈	点	妥	当	1	生	有			効	率	性		総	今評価	判定	
評	評価	5の観点	1 2	3	4	判定	1 2 3	判定	! 1	2	3 4	判	定				
AT	チ	ェック		レ		3	L	,	3			レ	;	3		Α	
		各スポー	ツ競技の規	則の変	更に伴	い、大会	開催の際に必要	きている	6.		ı				業を進めるこ		
		全ての競	技について	主管団	体が大	会運営がつ	できるようにす							とが適当 恵業の進め去	に改善が必要		
価	課												· D .		容・実施主体		
														の見直しが必			
	題													事業の統合、 討が必要	休・廃止の検		
С	化品												l	_	総合評価判定	≧ A	
														l	前年度評価	エシート整理番	号 06030102
н		紐	a k	包	策	評	価	前		船	H	施	策		評	価	後
	総						ー 市町村の小中等		D 1					t. 1			
E		実力を競	う機会がた	いため	、継制	が必要でる	ある。		実	力を競	う機会が	ないたと	り、継続	売が必	グ要である	3 。	
	合						こついては、月	民対象のビ								ついては、E	は対象のビッ
С	=-	クイベン	トに発展で	せるよ	つ推進	していく。			12	イベン	トに発展	させる。	トつ 雅力	≝して	cus.		
	評																
K																	
\cup	/ ∓																
	価	前年「	金 心 革	• 7 <i>b</i>	盖 学	の事は	₩ 治 l		台	前 年 帝	細体等	立 価 に	おけ	スム	後のせ	5 向 性	
	価					の 実 が 	•		育		細施策			る今			
改革	価今	前年』		· 改	善策	評	近 状 況 価	前	自	前年度 斜		評価に	: おけ 策	る今	き後の力 評	方向性 <u></u>	後
改革・	今	級 成 [‡]					•	前⑦		斜				る 今			後
革・	今.	成 果 ************************************	由 方 広 充			評 ②	価 ⑤	7		利 成 ¹ 果	広 充			る 今			後
改革・改善	今	成 果 の	H #			# 2 3	価 ⑤ ⑥ レ	7 9		利 成 果 の	1 :			る 今			後
革・改善の	今後の	親 成果 の 方 指	由 方 広 充			評 ②	価 ⑤	7		成 見 の 方	広 充			る 今			後
革・改善の	今後の方	成果の方向	H 方 広 充 現状維持 宿 小	te .		# 2 3	価 ⑤ ⑥ レ	7 9		成果の方向	H 広 充 現状維持 宿 小			る 今			後
革・改善の	今後の	成果の方向	H 方 広 充 見状維持	1	策	評 ② ③ ④	価 ⑤ ⑥ レ ⑧	9 (1)		成果の方向	报 広 充 見状維持	拖	策		評	価レ	
革・改善の方向性	今後の方	成果の方向	H 方 広 充 現状維持 宿 小	近	策	評 ② ③ ④	価 ⑤ ⑥ レ ⑧ 現状維持	⑦ ⑨ ⑩ 拡 大		成果の方向	H 広 充 現状維持 宿 小		策	縮	評	価 レ 現状維持	拡大
革・改善の方向性(今後の方向性	成果の方向性	日 方 広 充 見状維持 宿 小 木 廃 止	① 皆	策 減 ス	評 ② ③ ④ 縮 小 ト 投	価 ⑤ レ ⑧ 現状維持 入 の 方	⑦ ⑨ ⑩ 拡 大 向 性		成果の方向性	就 充 現状維持 縮 小 木 廃 止	施	策 減 コ <i>ス</i>	縮ト	評 小	現状維持、の 方	拡大向性
革・改善の方向性(A	今後の方向性改	成果の方向性 競技ス	現 方	り意識や	策 減 ス 生涯ス	評 ② ③ ④ 縮 小 ト 投	価 ⑤ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 方 関心を高める	⑦ ⑨ ⑩ 拡 大 向 性	 	成果の方向性が技ス	出	を	策 減 コス	縮トスポー	評 小 投 フ	価レン現状維持、の方心を高めるも	拡大
革・改善の方向性(AC	今後の方向性改革	成果の方向性 競易なた名	現状維持 京 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1 と	策派を大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大きな大	評 ② ③ ④ 縮 小 ト 投 ポーツのほ はいことが! 競技レベノ	価 ⑤ レ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 高めるな 重要。 レアップを図る	⑦ ⑨ 伽 拡 大 向 性 動として必引		成果の方向性が競あたた各	・ 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京 京	施生の意識ないのである。	策 コ 生 ら	縮トペな競技	評 小	価 り 現状維持 、 の あ る は で 。 アップを図る	拡大向性 して必要
革・改善の方向性(A	今後の方向性改革・	(成果の方向性 (競あた数) (大た各) (大た名) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き	H 方 広 充 現状維持 木 廃 止 ペー、大へので 大へので下	を できます できます できます できます できます できます できます できます	策 減 運さ大 こ	評 ② ③ ④ 縮 小 投 ボーことが 競技してい を数値目標	価 ⑤ レ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 高めるな 単 アップを図るは ととし、主管団	⑦ ⑨ 加 拡 大 向 性 動として必引 るため、参別 体、各協会	- WAでま者	成果の方向性 競あた数 対なる、は5 ,	財	施 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	策	縮トーに勃数	評 小 万 関連・ことを値目標と	価 現状維持 、 を 高め る は アップ を 曾団	拡 大向性 として必要 なんめ、各協会
革・改善の方向性(ACT	今後の方向性改革・改	税果の方向性 一	H 方 広 充 見状維持 木 廃 止 ペー、大へをす 大へのも 大のも 大として	也 ① ① ① ② 数 加 ら の に 継続減の に に に に に に に に に に	策 湿ら拡いて スプないとく	評 ② ③ ④ 縮 ト 投 ポーツの! は競技レベル を数値目標 。。参加人!	価 ⑤ レ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 高めるな 重要。 レアップを図る	⑦ ⑨ 加 拡 大 向 性 動として必引 るため、参別 体、各協会	WAでま者と	成果の方向性 競あた数の共	五	施 「意数加ら続き」 「意数を着なる。	策 は ない は ない	縮トーこ打数を	評外の関連では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	価 り 現状維持 、 の あ る は で 。 アップを図る	拡 大向性 として必要 なんめ、各協会
革・改善の方向性(ACTIO	今後の方向性改革・改善	税果の方向性 一	H 方 広 充 現状維持 木 廃 止 ペー、大へので 大へので下	也 ① ① ① ② 数 加 ら の に 継続減の に に に に に に に に に に	策 湿ら拡いて スプないとく	評 ② ③ ④ 縮 ト 投 ポーツの! は競技レベル を数値目標 。。参加人!	価 ⑤ レ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 高めるな 単 アップを図るは ととし、主管団	⑦ ⑨ 加 拡 大 向 性 動として必引 るため、参別 体、各協会	WAでま者と	成果の方向性 競あた数の共	財	施 「意数加ら続き」 「意数を着なる。	策 は ない は ない	縮トーこ打数を	評外の関連では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	価 現状維持 、 を 高め る は アップ を 曾団	拡 大向性 として必要 なんめ、各協会
革・改善の方向性(ACTI	今後の方向性改革・改	税果の方向性 一	H 方 広 充 見状維持 木 廃 止 ペー、大へをす 大へのも 大のも 大として	也 ① ① ① ② 数 加 ら の に 継続減の に に に に に に に に に に	策 湿ら拡いて スプないとく	評 ② ③ ④ 縮 ト 投 ポーツの! は競技レベル を数値目標 。。参加人!	価 ⑤ レ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 高めるな 単 アップを図るは ととし、主管団	⑦ ⑨ 加 拡 大 向 性 動として必引 るため、参別 体、各協会	WAでま者と	成果の方向性 競あた数の共	五	施 「意数加ら続き」 「意数を着なる。	策 は ない は ない	縮トーこ打数を	評外の関連では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	価 現状維持 、 を 高め る は アップ を 曾団	拡 大向性 として必要 なんめ、各協会
革・改善の方向性(ACTION)	今後の方向性 改革・改善策	税果の方向性 一	H 放 充 現状維持 小 止 ペタロ・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・マー・	也 ① ① ① ② 数 加 る ない の に を 続	策 減 遅ら払こいが スプな、とくあ	評 ② ③ ④ 縮 小 ト 投 ポーツの に 放技レビバ を 数値目 で 。 参加人 う る。	価 ⑤ レ ⑥ レ ⑧ 現状維持 入 の 高めるな 単 アップを図るは ととし、主管団	⑦ ⑨ 拡 大 向 性 動として必引 るため、参別 体、各協会 大会につい	WAでま者と	成果の方向性 競った数の、	五	施管職務者の経典を表する。	策 は ない は ない	縮トーこ打数を	評外の関連では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	価 現状維持 、 を 高め る は アップ を 曾団	拡 大向性 として必要 なんめ、各協会

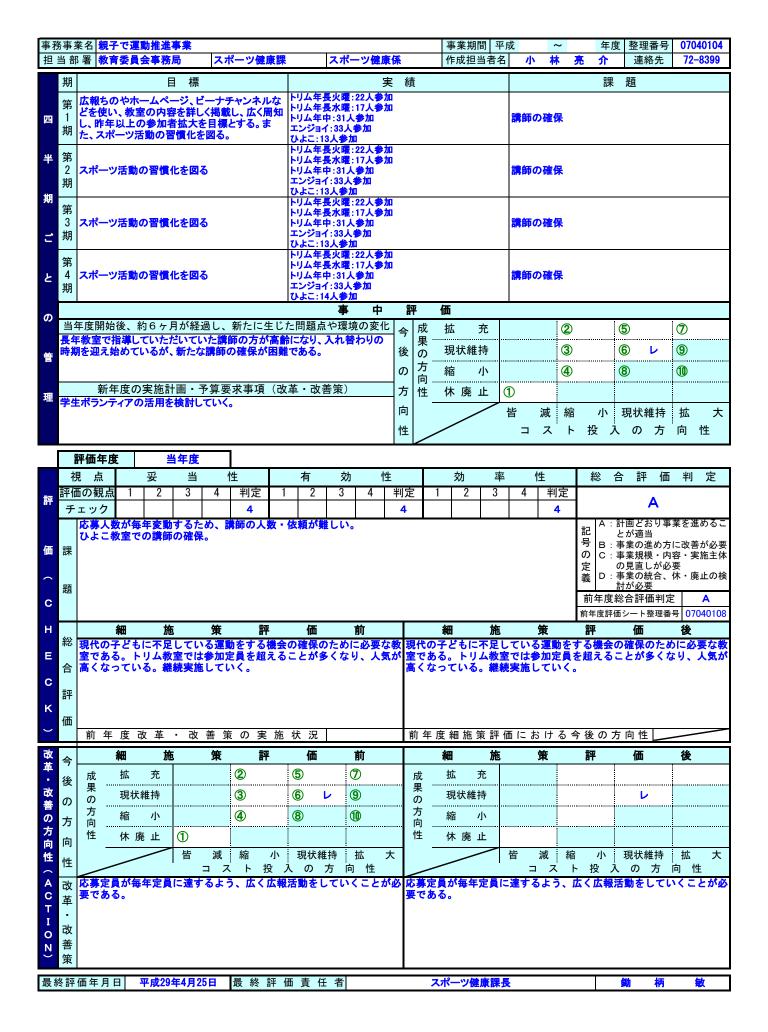
事務	事業	名	スポーツ団(本支	援事事	Ė									事業期間	平成		~		年度	整理	理番号	07040103
担旨	当部	署	教育委員会	事務.	局	7	ボー	ツ健	康課		スポー	-ツ優	康係		作成担当:	者名	上	条	直	之	連	絡先	72-8399
計	おけ	ける	プランに 位置づけ 事 業 名		ペーツ		育成	事務	策策策	03 06 12 02	スポー	で 育 か で で で で で で で で で で で で で で で で で	∈涯を通 宮・運動 『成団体	じ学び 公園の 支援事	*	会計:	きる [‡]	学習機	会の	充実と	頃(26 目	01 事業 05
画	事務	いまれる ままれる ままま かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしょう かいしゅう かいしょう かいしゅう しゅう かいしゅう かいしゅ しゅう いき	· 業 の 概 要 っかりゃすく)	スポ ・ス を支	ペーツ ペポー を援す	を通 ツ少 る。	して † 年団に	サン年 ま、青	健全	育成を こスポ-	進める。 −ツの	吹び :	を理解さ	きせ、か	らだと心	を育て	る組	織を礼					を支援し、発足しこれ
			と背景			-									進及び発		指9	•					
(対	受益者 (誰のために) 対象	競技		<u>ーツ</u> :	を行っ	ってい	る市民	民及び	これかり	ら各	種スポー	-ツを始	める市民	•							
P		象	(直接働きかける)	市月	17	ポー	ツを目	指し	., Г <u>4</u>	生涯スフ	ポー ツ」	<u>г</u>	競技スオ	ピーツ」	の振興と	充実							
L			意図な状態にしたいか)	特定	2非営	利活!	助法人	人茅野	市体育	育協会	・スポ-	ーツ	少年団										
Α			・ 方 法 やって)												<u></u>								
			行政活動の約	吉果:	からこ	こくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目标	票値割	没定の	考える	方など	最終目標値
N	評	活動	スポーツ祭	大	会の参	▶加人	数を	増や	ţ	大会	加人數	女		人	大会参加	11人数							40, 000
		標	教室の受講							教室	を講者数	枚		人	教室受	青者数							5, 000
	標の		体育協会・2 す	スポー	ーツ4	少年団			を増や	加盟和	数			人	加盟者	枚							5, 000
	作	成	成 果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	J								最終目標値
		果指	大会参加人	数の:	増加					率	比大会			%	(当年) 度参加	5数×	100	<u>)</u>					105
		136	受講者数の均	曾加						前年上 率	比教室等	き講す	香増加	%	(当年) 度受講				度受	講者数	0 /	前年	105

	I	Į	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度事業計画(予算)
	1		(a)	円	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 780, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円					
	兀	一般財	源	円	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 780, 000	3, 780, 000
施	職	正規職	員	人	0. 34	0. 34	0. 34	0. 34	0. 34
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	<u> </u>	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
状		合 -	計	人	0. 34	0. 34	0. 34	0. 34	0. 34
-	2		数 (b)						
-			(b)	円	_	_		_	_
況		<u>単 位 コーヘート (d)/</u> 受 益 者 負 担	額	円		_		_	
沉		大 <u>田 日 日 日</u> 市民一人当たりのコス		円	67. 00	68. 00	68, 00	68. 00	114, 00
-		7327017	目標		40, 000	40, 000	40, 000	40, 000	40, 000
		大会参加人数	実績	人	40, 657	42, 986	40, 013	39, 081	40, 000
$\overline{}$	活		達成率	%	101. 64	107. 47	100. 03	97. 70	100.00
	白新		目標	人	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000
	動指	教室受講者数	実績	^	4, 654	4, 931	4, 807	4, 720	4, 800
D	招標		達成率	%	93. 08	98. 62	96. 14	94. 40	96. 00
			目標	人	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	4, 800
		加盟者数	実績		4, 987	4, 975	4, 262	4, 191	4, 200
			達成率	%	99. 74	99. 50	85. 24	83. 82	87. 50
0	-	前年比大会参加者增加	目標	%	105	105	105	105	100
	成	率	実績		102	105	93	97	98
	果北		達成率	%	97. 14	100.00	88. 57	92. 38	98. 00
$\overline{}$	指	前年比教室受講者増加	目標	%	105	105	105	105	100 98
	標	率	実績達成率	%	93 88, 57	105	86 81, 90	98 93, 33	
			连队平	% 0	ŏŏ. 5 <i>1</i>	100.00	ŏ1. 9 0	93. 33	98. 00
	備								
	考								
	77								

	当 部	まる 人不		会事務	_		ペーツ値	唐鲤	1-	t #!— v	ソ健康	<u> </u>		_	来 期 恒	_		条	1	ī Ż		理番号 連絡先		-8399
J= .		77. 1	×7.			^_	- / 0	- 1075 1075		**1, *				11	/~ JC =	1		<u></u> 不	-					
	期			E	標						実	績	į							課	題			
四	1	体育協会 響のない 推進及び	ように	早期に	=補助会			動の!	平成28年 5/26補助: の見直しの	金等に	係る基	本指		基づ	く補助	金等	体協会	∂PDC	А サ	イクルシ		作成∙提	出	
半期	第 2 期	体協PDC	CAサイ	(クルシ	一卜作	成∙提	出	•	7/29体協區	PDCA+	ナイクル	シー	-卜作	成∙掛	是出		市民ス	スポー	ツ祭	の参加さ	者の何	申び悩み		
州	3	市民スポ 工事のた 開催)						- -72	市民スポ- 参加者1,8				0							iの提出 対業務撤	退に	伴う事務	室移	転
٤	第 4 期	体協PDC 体育協会				成∙提	出	1	体育協会	事務室	移転終	了3/	′ 9				体育物	為会会	員0	○確保、	スポー	-ツ少年	団員	の確保
6										事	中	ř	F	価										
Ø									問題点や			今	成	拡	3	充			2		⑤		7	
	体育	協会が受	託し	ている	総合体	育館窓	口業務	の次年	度以降の	受託取	り止		果					······································				<u>I</u> :		
管	めに た。	-より、平月	火29年	- 度以間	単は協会	安争務	のみに	専念する	る形となる	احاطت	ぱつ	後	のナ		.状維打	. 4			3		6	V	9	
												တ	方向	縮	/	J \			4		8		10	
200		新年	度の	実施計	┢画・−	予算要	求事項	[(改革	革・改善	策)		方	性	休	廃」	上 (D							
理												向					 皆	減	縮	ds	I目小	大維持	拡	大
															/					_			加向	
										性		_				ス	٢	投	(0	ם נ	PJ	Ί±		
	1	评価年度	:	2	4年度		l																	
	_	息点		妥	当	ı	<u></u> 生				効	率	-	性		総	合	評価	判	定				
		の観点	1	2	3	4	判定	1	有 2	効 3	判定	+	1 1	2	3	4	1 判 2	Ē	1110		H1 1PM	''	~_	
評		ェック					4					4						4				Α		
個	課	きている く、市民	。ス き1ス	ポーツ ポーツ	をして を目指	いる す当ず	しの中で たにおし	では、 いては重	その中で 可心者スポ 重点を置い な大からま	₹ーツ、 ヽている	。 二 ュ-	ース 方で	ポー 人口	ツ、 減 や	競技力 競技ス	i向上 ポー	等は要	望が	C	記 号 B: の C: 定 _	とが事業の見	適当 の進め方 規模・内 直しが必	に改 容・ 要	進めるこ 善が必要 実施主体 廃止の検
(0	題																		•	前年度	<u>討が</u> 総合		2	Α
н		i	細	施	<u> </u>	策	į	評	価	前				細		施		策		評	ſ	西	後	
	総		の関	心は高	まって	おり、	各協会	きでは	の心者スカ	ぺーツ 、	==-	- 7	ポー	-ツの	関心	は高ま	ってま	39.	各協	会では	初心	者スポー	-ツ、	=1-
Е	合								ている。ま している。		競技力(を図っ を目指			二、寬	技力の
С		国土にて)) J & .	X10 1	ו אַנווו	^ ₩⁻	- 7] 8		J (0.0)			1	1-1-	- 0).	JE X	16 11	100 12	\/\-	71	Z H 1 H		ა.ტ.		
K	評価																							
		前年	度改	革	· 改	善策	もの 5	美施:	状 況			前	可 年	度制	田施第				5 今	後のこ	5 向	性		
改業	今	i	細	施	ī	策	i	抨	価	前				細		施		策		評	Í	西	後	
革・	後	成	拡	充			2		⑤	7			成	拡	3	Ť								
改		果	現状網	維持			3		⑥ レ	9			果の	玥								レ		
善	の	の 						i.					の 方											
の	方	向	縮	小			4		8	10			向	縮	· 	<u>ا</u>							ļ	
の方向	向	性	休廃	上	1								性	休	廃」	Ł								
性	性			_	皆	減	縮	小	現状維持								皆	減	縮	小			拡	
<u> </u>			19	- -		コス			. の 方			بإ	_		9	<u>. – 1</u> .			۱,				向	
AC	改	市民1ス 育協会の		いる。 f									は必要 ′」の推			てし	いる。体							
) H H O Z)	革・改善策	, m																		3 00 12		- •		
	朿																							
最終	佟評	^表 │ 評価年月日 │ 平成29年4月25日 												スポー	ーツ健	康課長	Ę				鋤	柄		敏

事務	事業	業名親子で運動推進事業 事															~		年度	整理	里番号	07040104	
担当	部	署	教育委員会	事務	局	スポ・	ーツ優	康課		スポー	-ツ健	康係		作成担当	者名	小	林	亮	介	連	絡先	72-8399	
			プランに 位置づけ	有	政策	体系		策 策 施 策 務事業	03 06 12 08	第6節総合体	5 生 育館	涯を通	じ学び 公園の	しく学び 続けるこ 充実									
計	予	算	事 業 名	親于	子で運動	推進事	業費		1						会計	コート	× 00	1 款	10	項 0	6 目	01 事業 0	
	事務	事業にす	業 の 概要 oかりやすく)	ポー	-ツを楽	もしむき	つか	けとなる	るような	なスポ-	ーツ書	数室を閉	開催実施	し、障が	パい児童	を対	象に	ひよこ	.教室を	を開催	してい		
		状 と 背 景 体力の低下、屋内遊びの増加、運動量の減少、学校週 5 日制、子どものスポーツ離れなど、現在の現状に対応しスポー 動の習慣化を図るため。														スポーツ							
	目	対	受益者		章害児童、幼児、小学生とその保護者 各教室の指導者																		
P		象	対 象 (直接働きかける)																				
	的	(どん	意図						•						舌動の習	習慣化	を図	3 .					
L A		・スポーツの効果と楽しさを認識できるような教室運営への参画 ・小学生対象:様々なスポーツ種目が体験できる小学生エンジョイスポーツ開催し、スポーツを楽しみ、スポーツを通じの仲間づくりの機会をつくる。 ・保育園年中、年長対象:幼児トリム教室の実施(運動遊びを通して基本的運動能力を身につけ、身体を動かすことの楽さを知ってもらう) ・障がい児童対象:身体訓練の充実を図るひよこ教室を開催。																					
			行政活動の	結果	からつ	くりだ	すもの	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	• 目:	摽値詢	段定の	考えた	ちなど	最終目標的	
N	評	活動指	子供の体力向上、生涯スポーツの振興						教室院	教室開催数				実施回数							50		
	指	指 標																					
	標 の -																						
	作	成	成果	•	効:	果は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	• 目	摽値討	没定の	考えた	ちなど	最終目標個	
		果指	スポーツ活	助の	習慣化				教室~	教室への参加率 %				参加者数/対象者数(割合)							8		
		標																					

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	事業費等	(a)	円	946, 516	708, 868	638, 045	596, 036	663, 000
財	国庫支出	金	円					
実源	県 支 出	金	円					
内	地方	債	円					
訳	その他特定財	源	円	515, 000	450, 000	500, 000	500, 000	500, 000
Adv.	一般財	源	円	431, 516	258, 868	138, 045	96, 036	163, 000
^施 職	正規職	員	人	0. 15	0. 16	0. 16	0. 16	0. 16
員	嘱 託 職	員	ᄉ					
数	臨 時 職	員計	ᄉ	0.15	0.16	0.16	0.16	0.16
444	対象 (者)		人	0. 15	0. 16	0. 16	0. 16	0. 16
		数 (b)		4, 553 117	108	120	132	130
		(b)	円	8, 090	6, 564	5, 317	4, 515	14, 364
	<u>単 12 コース・ト (a)/</u> 受 益 者 負 担	額	円	0, 090	0, 304	0, 317	4, 515	14, 304
	文 無 有 貝 担 市民一人当たりのコス		円	17. 00	13, 00	11, 00	11, 00	34, 00
_	一 スヨたりのコス	目標		50	50	50	50	50
	教室開催数	実績		63	69	69	69	69
<u>~</u> т	** TOUR **	達成率	%	126. 00	138, 00	138, 00	138, 00	138. 00
活		目標		120.00	100.00	100.00	100.00	100.00
動	_	実績	_					
指		達成率	%	_	_	_	_	_
D 標		目標						
	_	実績	_					
		達成率	%	_	_	-	_	_
0 .		目標	%	8	8	8	8	8
成	教室への参加率	実績		9	8	8	8	8
果		達成率	%	107. 50	100.00	100. 00	100.00	100.00
果指		目標	_					
標	_	実績						
		達成率	%	_	_	_	_	_
備								
考								



事系														事業期間	平成		~		年度	整理番	号	07040105	
担	当部	署	教育委員会	事務	局	ス	ポー	ツ健康	課		スポー	-ツ健	康係	•	作成担当	者名	小	林	亮	介	連絡兒	t	72-8399
計画	おり	する	プランに 位置づけ 事業名 :業の概要 ¬ゕ りゃすく)	健月	増進	豊かり	カづく		事業 佐事業 る活力	06 12 11	第6節総合体健康増	5 生 育館 進・	涯を通 ・運動 体力づ	iじ学び# 公園の3 くり推済	た実 進事業	会計	きる学 コード	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	会の 1 款	充実と	場の提供 項 06	目(01 事業 06 生涯スポー
			と背景うして)												向にある 実践活動						は、運動で	習慣の	の目標値を
(P	=	対象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける)	茅里	「齢者、市民で生涯スポーツに興味のある人 ・野市スポーツ推進委員会 ・涯スポーツに取り組む市民を拡大したい。																		
L A	・健康づくり計画運動部会事業及び熟年体育大学との連携により推進する。 手段・方法 (どうやって)																						
N	評価指標	江	行政活動の 総 楽しみなが							指標名称 講座参加者数				人		算出方法・計算式 参加者実数			票値認	設定の 🤊	考え方な	ど	200
<u> </u>	の作成	成果指標	成 果 運動する機 :	・ 会を	対提供す	-11	は	何	?	指 開催回	標制数	名	称	単位	算出方 年間実		算式	・目析	票値認	设定の	考え方な	どま	最終目標値 6

	項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
		(a)	円	72, 863	114, 880	117, 713	159, 220	150, 000
財	国庫支出	金	円					
実源	県 支 出	金	円					
内	地方	債	円					
訳	その他特定財	源	円		444.000	115 510	450.000	450.000
244	一般財	源	円	72, 863	114, 880	117, 713	159, 220	150, 000
雕職	正規職	員	人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
員	嘱 託 職	員	ᄉ					
数	臨 時 職	員計	ᄉ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
44			人	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03	0. 03
		数 (b)						
		(b)	円	_	_		_	_
	<u>単 位 コ ヘ ト 値//</u> 受 益 者 負 担	額	円		_		_	_
	文 無 有 貝 担 市民一人当たりのコス		円	1, 00	2, 00	2, 00	3, 00	7. 00
	一 スヨたりのコス	目標		200	200	200	200	200
	講座参加者数	実績	人	187	151	150	175	180
	WALL DOWN IN SEC.	達成率	%	93, 50	75, 50	75, 00	87. 50	90, 00
活		目標		55.55			0.1.00	00.00
動 指	_	実績	_					
指		達成率	%	_	_	_	_	_
D 標		目標	_					
	_	実績	_					
		達成率	%	_	_	_	_	_
0		目標		6	6	6	6	6
成	開催回数	実績		8	11	9	11	10
果指		達成率	%	133. 33	183. 33	150. 00	183. 33	166. 67
し指		目標	_					
標	_	実績						
		達成率	%	_	_	_	_	_
備								
考								
有								

_	りゅう 当 部	来名 <mark>健原</mark>		・147 <u>ル</u> 会事務			■果 ポーツ健康	: 2里	スポーツ健康係 作成担当者							<u>~</u>				理番写 基絡先		-8399			
7년		1日 秋	女员:				・ノ運爆	RATE OF THE PARTY	スポージ				1下/火江	⊐111	4	- 17T	兀			ニハロノし	12	0000			
	期				標					実	綅	i						課	題						
四	第 1 期	参加者抗	広大を	する。					329日 ニュースポーツ教室 9人参加 325日 体力測定① 15人参加								50.60代の参加者割合が多い。20~40代の参加 者を増やす。								
半期	第 2 期	参加者抗	広大を	する。) 9人参 動教室 教室① 教室② が安果』	使用説明会① 11人参加 参加 ② 38人参加) 38人参加 18人参加 地間脱明会② 18人参加 そング 8人参加 そング 8人参加										くりに取						
ຳມ	第 3 期	参加者抗	広大を	する。				10月6日	中高年(3 スロー	のため	の優	康体操	11人	参加	取り網	担む市	民の		目指す	ために		づくりに 内容 、			
٤	第 4 期	参加者抗	広大を	する。											新年	度の耈	室開	催に向	け、準	備を行	う。				
Ø									事	中	ř	平 個	T												
	当年	年度開始	後、糸	96ヶ)	月が経	過し、	新たに生	じた問題点	や環境の	変化	今		広	充			2		⑤	レ	7				
Anto											, 後	果	現状維	持			3		6		9				
管												¥							ļ		ļ				
		+r +	- # ~	+ +	I 1257 -	7 /# 7	++=	/ 	¥ //- \		の	向		小			4		8		10				
理		新年	F度の	夫 他訂	「	ア昇 罗	* 水 争 垻	(改革・改善	苦取)		方	性	木 廃	止 (D										
									向 性						皆コ	減 ス	縮ト	小 投 <i>/</i>	1	大維持) 方	拡向	大 性			
	Ī	評価年度	Ę	7	4年度																				
	裑	見点		妥	当		性	有	有 効 性				効	率		性		総	合	評 価	判	定			
評	評価	面の観点	1	2	3	4	判定	1 2	3	4	判定	1	2	3	4	判》	定			В					
яT		ェック		レ			2	V			2			V		3									
価(C		各講座(り参加	者が少	ないた	:め、』	ことが必要 な報方法 <i>の</i> 崖したが、	である。 検討、実施 受講者が取	i内容を充 なり組みや	E分検i	付すため	る必要7 好評でで	がある。 あった。				5 (), i	A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 の C:事業規模・内容・実施主体 の見直しが必要 D:事業の統合、休・廃止の検 前年度総合評価判定 B 前年度評価シート整理番号 07040111							
н			細	护	i	策	評	価	前			4	8	施		策		評 価 後							
	総									で、4	字 清	齢者を	• •		動護原	・東 計 辿 後 率への期待は大きいと考えられるので、**									
E O K)	合 その他の講座は内容が単発のため受講者が集まりにくい。実施内容・その方法の検討が必要。 評 K 価													して に 内容か 要。	١٧.	のため	受講	者が集	まりに	こくい。					
77 4m +tr 4tr 50 (m +tr													8	施		策		評	fi	Fi .	後				
革	今	_				ж	2	<u> </u>	7				-	. 1		ж		ПI		щ	汉				
	後	成 果 ^{·····}	拡	充								果		充					ļ						
改善	の	の	現状網	維持			3	6	9			の	現状維	持					<u> </u>	V					
0	方	方 向	8	10			方 向	縮	小																
方向	向性 休廃止 ①											1.4	休廃	止											
性		_		_	皆	減	縮 /	小 現状維	持拡	大		_			皆	減	縮	小	現物	犬維持	拡	大			
コスト投入の方向性														_											
A C F I	性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 コスト投入の方向性 カ状(高齢化社会・子どもの運動離れ・運動する機会の減少)に対応する各教室の計画・実施が必要。 実施内容が継続する教室を実施し、運動の定着を図る。 と 実施内容が継続する教室を実施し、運動の定着を図る。														に対応										
0 Z)	改善策																								

事務	事業	名	自主活動応	爰事	業									事業期間	平成		~		年度	整理都	番号	07040106
担当	当部	署	教育委員会	事務	局	スポー	-ツ健康	課		スポー	ツ健原	東係		作成担当	者名	小	林	亮	介	連絡	先	72-8399
			プランに 位置づけ	有	政策	体 系	政 施 細 施 事務署		06 12	第3章 第6節 総合体 自主活	生活育館	涯を通 ・運動	じ学び 公園の	しく学び 続けるこ 充実							共	
計	予	算	事 業 名	自自	E活動応	援事業	費		- U						会計:	コート	00	款	10	項 05	目	01 事業 14
画	事務	りゅう はっぱい かいしゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	·業の概要 っかりゃすく)	=:	域のニー ュースポ と、中学	ーツを	普及する	るため、	、支捷	爰する。					ースオ	ใ —ツ	教室等	尾施に	係わる	経費を	負担	し、地域で
			と 背 景うして)																			身近な運動 持ってい
•	目	対	受益者	曹	内の健康 学生の社 野市スポ	会体育	活動者。)	に運動	助をした	こいと	思って	ている人	•								
Р		象	対象 (直接働きかける)		中学校					久 tih 下	77 +	· vı I	11 — H —	- K-1 = -	-= /	·_7	-12	小粉虫	た小面			もが、自分
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	の体社会	本力に応 全体育競	じて気 技スポ	軽にでき	きるスプ	ポーソ を図る	ツを楽し る。	み、	□ ₹ :	ュニティ	一を活性	化し、	健康	で明る	らいま	ちづく	りを目	指す	
L A			・ 方 法 やって)	茅地	野市スポ 域の指導	ーツリ 者が市	ーダー/ 内中学権	ペンク! 交の社会	に登録会体で	碌されて 育活動を	でいる	スポー	ーツリー る者への	·ダーによ 支援。	:	111	ニティ	ィスポ	一ツ都	で室の実	施。	
			行政活動の約	吉果	からつく	りだす	ナものは	何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目	票值設	定の	考え方な	よど	最終目標値
N	埀	動し	コミュニティ	r —	教室開催	Ĕ		3	正べ着	文室開催	回数			年間実	施回数							200
	価	指標	社会体育活動	りの	普及			ž	述べ着	文室開催	回数		0	年間実	施回数							200
	標の																					
	作	成	成果	•	効り	見 は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目	票値設	定のを	考え方な	ょど	最終目標値
	成	果指	スポーツリ-	ーダ	一の登録	数		4	登録者	当数			人	前年登	録者/	当年	登録者	数				100
		130	コミュニティ	1 —	教室参加	1者数		4	参加者	對			人	前年参	加者数	/当4	手参加	者数				5, 500

	IJ	Į.	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	lell.	事業費等	(a)	円	1, 696, 020	1, 460, 020	1, 512, 852	1, 363, 068	1, 520, 000
F	財	国 庫 支 出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
"		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	1, 696, 020	1, 460, 020	1, 512, 852	1, 363, 068	1, 520, 000
1	職	正規職	員	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人					
3	数	合	計	人	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
	Ż		数	人					
	3		(b)	人					
L	È		′ (b)	円	_	_	_	_	_
L	5		額	円					
	Ī	5民一人当たりのコス		円	30. 00	26. 00	27. 00	25. 00	41.00
4			目標		200	200	200	200	200
		延べ教室開催回数	実績		294	271	261	283	270
3	活		達成率	%	147. 00	135. 50	130. 50	141. 50	135. 00
Ē	動		目標		200	50	50	50	50
3	動指	述べ教室開催回数	実績		54	30	30	30	30
1	標		達成率	%	27. 00	60. 00	60. 00	60. 00	60. 00
1	ीक		目標	_					
		_	実績						
L			達成率	%	_	_		_	
١.	-	Ma AM also shir	目標	人	100	60	60	60	60
)	成	登録者数	実績		61	57	55	54	54
3	果		達成率	%	61.00	95. 00	91. 67	90.00	90.00
3	指	As I we store	目標	人	5, 500	5, 500	5, 500	5, 500	5, 500
1	標	参加者数	実績		4, 666	4, 596	3, 612	4, 379	4, 500
L		市民プランの細施策にお	達成率	%	84. 84	83. 56	65.67 番号 03020306	79. 62	81. 82

		業名 自主	活動	応援事	業								1	事業期間	平成		~	年	度 整理番号	07040106
担	当 部	署教育	委員:	会事務	局	スォ	ペーツ健康	課	ス7	ポーツ健川	康係		1	作成担当:	者名	小	林	亮 介	連絡先	72-8399
	期			E	標						実	績						課	題	
四	第 1 期	参加者の)拡大					⊐≷ュ	ニティ	スポーツ	教室 限	開始	ì			スポーツ	ソリータ	₹一の高書	冷化·新規加力	入者の不足
半期	第 2 期	参加者の	拡大					ジュニ	ニアポー	一ツ教室開	開催								いが不明確の 施が難しい。	りため、ジュ
₩ :	第 3 期	参加者の)拡大					教室	継続						コミュニ 向がある		ポーツ教園	室は、参加者	の固定化傾	
٤	第 4 期	参加者の)拡大					教室	終了			:	参加者(の固定	化					
Ø	L.,								_	価										
	当年	‡	後、礻	月6ヶ/	月か経』	過し、	新たに生	した問題	点や均		左 充			2		5	7			
管											見状維持			3		6	9			
											, 119	富 小			4		8	10		
理		新年	度の	実施計	画・	予算要	求事項	(改革・己	收善策	()		ト廃 止	1)						
											_		뒫	f 1	並 統	i /\	現状維持	拡大		
													_				入の方	向性		
							•													
	_													1.1		1	:-			
		•	- 1				_						•			総	合評価	判定		
評			1		3	4		1 2	: 3) 4	+ '		3	4			Α			
価(c		参加者の拡大 数室終了 参加者の固定化 参加者の固定化															とが適当 事業の進めた 事業規模・内 の見での統立 事業の統要 総合評価判別	休・廃止の検 と A		
н			¢ш	to	=	#	≘ ∓	/a	5	前			4 n	1	썺	d	5		価シート整理権	号 06030104
	総						H 1				区の	各均								_
E	۵																			
С		とで、参加	者のは	曽加がり	し込まれ	ると考	えられる。					とて	・、参加す	5の増加が	「見込	まれると	考えら:	れる。		
14	評	役割を果	たして	いると考	えられる	が、推	導が伴わ		陳習試1			役	則を果た	していると	考えら	れるが	、指導な		練習(練習試1	
K	価	HP/□ #J/□:	大心 円	□ 1/3 发	ッノツはい	1_0),	гэ ш гс Т 7.	15 K FR 21 1				HÞ)	ᆸᆒᄄᄎ	WEL144V,	女1ノツ	-g-v •/=0	八門苷	・セーガ快	917 O O	
		前年	度。	女 革	· 改	善策	の 実	施状多	7			前	年度	細施策	評価	にお	ける:	今後の	方向性	
改革	今		細	施	į.	策	評	個	ī	前			細	1	施	赁	ŧ	評	価	後
•	後	成	拡	充			2	5		7		月		広 充						
改善	の	果 ^{·····}	現状	維持			3	6	レ	9		0	1	見状維持					V	
の	方	方向	縮	小			4	8		10		ブ 向		宿 小						
方向	り向	性	休 廃	上	1							性		木 廃 止						
回性		_		_	皆	減	縮	小 現状	社持	拡	大				ŧ	旨 源	戈 縮	小	現状維持	拡大
~	性					コス		入の				_		10	,,				入の方	
ACTION)	改革・改善策	ダーのた 社会体育 校の協力	さめの す支援 すが得 アスポ	講習会 活動で いず 一ツ教	を積極は、各難しい室の実	的に開種目の施は、	射催する。 D活動内容 部活動で		よう。	としたが、	、学	ダ社校ジ	ーのたる 会体育 の協力 ュニア	めの講習 支援活動 が得られ	会を では、 ず難 教室(資極的! 各種! しい。 の実施!	に開催 目の活 は、部	する。 動内容を 活動で実		ドーツリー としたが、学 内容(外部講
旦纟	々≕亚	压左口口		TT =====00	Æ480		旦幼士	平価青	/r ±/	4			- 40	一ツ健康					鋤 – – – –	≨ h

事務	事事	【名	体育施設整備	甫事	業										事業期間	平成		~		年度	整理	番号	07040110
担:	当部	署	教育委員会	事務	局	ス	ポー	ツ健康	課		スポー	ーツ	建康係		作成担当	者名	上	条	直	之	連絡	各先	72-8399
	市 おり	民 ナる	プランに 位置づけ	有	政分	策 体	系	政 施 細 施	策策	06 12		下 4 本育館	主涯を通 官・運動	じ学び 公園の	しく学び 続けるこ 充実								
計	予	算	事 業 名		「施設 である			-		1			施設整備 運動公		の整備を	会計					項 06 E施する		02 事業 04
画	事和	答 事	· 業 の 概 要 _{わかりやすく)}																				
			と背景うして)	ツガ	設の	計画的	的なi	枚修・!	整備を	中、道	多要が	園施生じ	設は建 ている。	没から 3	9年が紀	を過して	ている	。利用	者の)=-7	くに応え	えるた	:め、スポー
	目	対	受益者	公園		用する	る全*	ての市	民														
P	-	象	対象 (直接働きかける)	市国	きから	のスフ	₭ 一`	ソ施設	- 設備	iに関す	トる要	望に	関する	整備を行	い、スオ	∛−ッ∄	環境を	整える	5.				
	的	(どん	意図																	利田-	ズ!	- * -	た施設の整
L			・ 方 法 やって)		行う		J- 51	/	.	.17 ჯ III	BAT PA	C IF	M. C.	Х лаж Ф		C 1018 1386 19	B 0 7 1	1 T C E	37.	49713-	- ^1	- 60	7.2.他改ひ是
			行政活動の約	結果	からつ	くり	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	上算十	・目標	票値部	定の	考え方	など	最終目標値
N	評価	活動指	施設整備の	実施						工事件	-数			件	整備工	事の発	注及	び内容	検査				1
J	指標の	標																					
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	上算十	・目標	票値部	定の	考え方	など	最終目標値
	成	果指標	施設環境を	整え	3					実施計 件数	画の第	策定	・対応	件	改修工	事の実	施						5
		尓																					

								亚代 0.0 左连 / 又答	要はなる左右
	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	-		(a)	円	27, 285, 300	8, 100, 000	23, 309, 640	15, 141, 600	39, 694, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円	4, 800, 000		6, 000, 000		11, 011, 000
	訳	一 般 財	源	円	22, 485, 300	8, 100, 000	17, 309, 640	15, 141, 600	28, 683, 000
施	職	正規 職	員	人	1. 06	1. 06	1. 06	1. 06	1. 06
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	1. 06	1. 06	1.06	1. 06	1. 06
		対象(者)	数						
-			(b)						
_			(b)	円	_	-	_	-	_
況		受 益 者 負 担 市民一人当たりのコス	額	円	486. 00	1/5 00	410.00	272 00	061 00
-		『氏一人ョたりのコス		円	400.00	145. 00	418. 00	273.00	861. 00
		工事件数	目標 実績	件		2	-	0	<u> </u>
~			達成率	%	_	100, 00	100.00	0, 00	100.00
	活		目標	70		100.00	100.00	0.00	100.00
	動指	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標						
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0		実施計画の策定・対応	目標	件		5	5	5	5
	成	小 + 米行	実績	-		5	5	4	5
	成果指	TX	達成率	%	_	100.00	100. 00	80. 00	100.00
	指		目標	-			<u>'</u>		
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								
	石								

事務	务事業	体	育施設	整備事	業									Infli	事業期間	平原	戉	~	年	度 整理番	号 07	040110
担:	当 部	署教	年委員	会事務	局	スァ	ピーツ優	康課		スポ	ーツ値	建康係		1	F成担当	者名	上	条	直之	連絡先	. 72	2-8399
	期				目 標							実	績							題		
		広場野:	は担っ			k T :	た日知/	- Ak	広場野	球帯ス	くコアオ			4/1契約]4/28項	_			HPT			
	第	江 切野	いゆへ	踵のな	一下以下	すると	ともに、	プー	広場野	球場ス	スコアオ	ドード道	包装	工事5/	2契約6/	9竣				収納フロア		事準備
四	H⊓	ル塗装	工事を	開場ま	でに済				工 幼児プ	<u>_ п.ж</u>	維工工	= 4/19	切	約6/17剪	6 T					V修工事準 よる故障等	烳	
	期	全確保	・事故	防止を	図る。									することが			//BOX	文明のフィ	547101~0	TO HAPPY		
半	第								院告 上音音	法担身	2 日 唐 1	rkı ilv sd	h 🗇 i	ロア設置	丁重什	#	. 陆 上台	会は担ぐ	插小钢土	食定申請に	ねたい	備具や
+	2	陸上競						発注	階題に				יכו	一人改造	. _ + i&	TE		の確認		火化中间(~)	めたり、	IMI DD (C
	期	陸上競	皮璃3	種公認	攻修工	争発沒			陸上競				I	事発注					と朽化に。	よる故障等		
期		D+ 1 **.	4.18.5	76 41 57	W + •												7 Art 75	_10		42 TI 40110	- IN 1 BAT -	
	第	陸上競 陸上競	攻場3	種公認 繙公認	梗疋の 給完の	生物の	上事 美	肔	H29予算											ング及びH3 トのクレー:		
	3	実施計	画作成	と公共	仮だり 施設等	文心 管理計	画によ	る長						F11/22			化、トレ	ーニン	グ室の機	器類更新、		
IJ	期	寿命化.	工事と	の関連	づけと	129予	車要求		隆工規	技場の	性公司	8快疋	w)	実施11/ 1	12		の打席	シート	收修等)			
	第	110035.4	र सम्बद्ध	キレマロ	15.47-2	~ ₩0	a date		MX 2-0-4-E	마나	tral-Mr	- -	<u> </u>	L ##+++48		en.						
L		H29予算 H29予算						C伺い						上競技場 、発注の			新年度	工事の	早期発注	と工事の事	■施	
~		準備			1 74150			1.30	出	- dok	H-907		***	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			491 1 22		1 7417072		4 ,00	
	Ш													-								
Ø			**	61 -				.1. 15		事		 	評									
									た問題点				今	成 拡	5 3	Ē		2		⑤	7	レ
									用練習/ 3種公				乡	果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 状維持	ţ		3	•••••	6	9	
管		が予想							. UT # # [÷								
												0	り	カニニ	了	`		4		8	10	
理						• • •	求事項	〔(改	革・改	善策)			方		ト廃 山	_ (D					
-		設備等					lank object	/=po	更新•25		11 44-3	l	句	-		<u> </u>	皆	減 縮	· /\	現状維持	扩	大
									史制では			•		_						201711121		
		グマシン							~_ `			13	生	/			_	スト	· 投 .	入の力	5 向	性
		平価年月	ŧ	3	当年度		1															
	_		2.				keL.		+	4.,	L	Jul			÷L	-	Jul.	L	613	^ =±	/ m \/\	_
	· 持			妥	当		性 		有。	效		性			効	率	性		総	合 評	価 判	定
評		の観点		2	3	4	判定	1	2	3	4			<u> </u>	2	3	4	判定	4	Δ		
	チ	ェック					4						4					4				
			公園は	建設後	39年	が経	置し、ブ	大規模	改修。ス	大規模	整備を	・必要	اع	している	施設が	多数!	見受けら	5ħ	記 A:	計画どおり とが適当	事業を	進めるこ
/ass	課	る。 厳し	加切い	状況σ	中で必	要件(の高い	業、	優先する	くき事	業の個	▶ 先順・	位)	及び内容	を常に	検討で	する必要	すがあ		事業の進め		
TIMU!	沐	る。																	_	事業規模・ の見直しが		実施主体
(総合的長 翌年度に					定 義 D:	事業の統合		廃止の検
	題	ならな				. M· C I	世長マノ州	以误争	нх (Чих)	4 47 07	光工 1、	- 4 %	• 3	在十段 (- 本 四	Z 19-1	Eしない	71618	* = =	対が必要	حال ا	
С				-																総合評価半価シート整理		A 7040110
			∌ m			Adr		ker:	Fee:					Δπ		J.,-		*				
Н	総	29 SL	細	ガ		策		評・ファ	価	7 #h +z	前	せたまれ	H	細動公園		施		表心画	・ 評・	価 施設が多数	後	
Е	1140								施設が3 であり、											爬設か多数であり、旅		
	合								いきたし											いきたい。		
С																						
	評												1									
K	価												1									
)	ТШ	前年	度 ;	改革	• 7b	善角	፤	主 旃	状 況	1			前	7 年 度 :	細施第	: 証 征	まに お	ける :	今後の	方向性		
75		ר נימ											13,						_		- ,,,	
改革	今		細	拼	<u>t</u>	策		評	価	:	前			紐	•	施	3		評	価	後	
	後	成	拡	充			2		⑤		7	レ		或 打	広 充	5						レ
改		果 […]	現状	維持			3		6		9			果 の ^り	見状維持	ŧ						
善	の	方	縮	/J\	·		4							±	宿 小							
のサ	方	向	和白	11,			•		8		10		ſ	白								
の方向	向	性	休息	廃 止	1								1	生り	木 廃 止	-						
性	性	_			皆	減	縮	小	現状約	Ě持	拡	大					皆 注	咸 縮	小	現状維持		大
~	注					コス	\	投			句 性		سا				⊐	ス	ト 投 .			性
A	改	_ 今後			いては		対効果		分見据え		業の個			今後のプ			'	費用対		分見据え、	事業の	
C	革	没・里: 計画を					┖・頼り こあたっ		野に入れ 、専門的	ル、幻 内な知		♪電帽 茶験が								野に入れ、 、専門的な		ソ公金帽 会解
I	•	必要と	なるの	で、コ	ンサル	タン	トに業績	多委託	するなる	ピ検討	する分		必	要となる	るので、	コン	サルタ	ントに	業務委託	するなど	食討する	余地が
0		ある。	整備工	事につ	いては	優先	ま、重要		検討や				あ	る。整備	前工事に	こつい	ては優	先度、	重要度の	検討や工事	内容に	こついて
Z)	善	も精査限り抑		・ゥスピ	. — 110	· で凶 。	اے ۔ و	こより	、事業	しいが	人をで	でざる		精査した		-	110E	⊠ る∟	こにより	、事業費の	が入る	じてる
	策	.m. e sere											<u> </u>	v versu'i								
最終	冬 評	価年月	B I	平成29	年4月2	5 B	最 終	評 化	T 青 作	F 者				スポ	一ツ健康	· 課長				動 杯	<u> </u>	敏

틕	事務	事業	[名	スポー	ツ推済	性計	可策员	を事ま	ŧ								틕	F 業期間	平成	ζ.	~	28	年度	整理番	号 07	010112
1	旦当	台部	署	教育委	員会事	務	7	,	スポー	-ツ健	康課		スポ	ーツ	建康係		1	F成担当	者名	上	条	直	之	連絡先	7.	2-8399
•		おし	ナる	プランの位置・	づけ	無		策体	系		策 策 策 策 等	03 06	第3 第6 一	_				く学び けるこ	とので	ごきる	学習機	会の	充実と	場の提供	3 01	本番 00
	"	ブ	昇	事業	_	- "	経費		* /	111-4	11.7	104	<u> </u>	• <u>10</u>	₩4= #	10 to	7	± 9# 1. □								事業 02
Ī				ま業の 材かりやす	既要	さん	に明	らか	にす	るため	に推済	進計画	を策定	きする	•									方向性や方		
				と 背 うして	(元)	ツに供の	親し	み、	スポ	ーツを	楽し る	み、又	はスァ	ドーツ	を支え	とる活	動に打	無等を問 多画でき 舌性化等	る環	境整備	が必要	更であ	り、道	らじて、E ■動する∃ るため。	常的 子供と	こスポー しない子
		目	対	受益	めに)	全市スポ		'推進	委員	・スポ	(一ツ)	リーダ	—	野市	体育協	法会	スポ-	ーツ少年	·团 ·	公民旬	1 社会	会福祉	協議会	₹ □ ₹:	ニテ・	1
	P		象	対 (直接働き:	かける)	市民	1.7	.ポー	" ~	市民の	体力[句上と	スポー	-ツ文	化の漕	₹揚~	を合き	言葉に何	らか	の形で	・スポ-	ーツに	参加し	∠、最低で	も市」	民は週1
		的	(どん	意 Data till till till till till till till t	たいか)							は維持						プセーザ	1	104	- 44 M -	7 +9_	が信仰	のあるへ	士次	し日煙太
	L A			・方	法							を作成			で味恵	######################################		~ ~ 1 618	EU,	104	-彼の	~ //\-	- ソ 飯 チ	# <i>O</i> Ø Ø *	· C 安	二日保 で
				行政活	動の約	吉果7	いらつ	つくり	丿だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単	单位	算出方	法・詞	计算式	さ・目4	票値割	定の	考え方な	ど最終	冬目標値
	N	評	活動的	策定委	員会(の開イ	<u>E</u>							開催				策定に					15 th:	策の再検		10
		指標	指標	アンケ	ートョ	と施						アンゲ	ケート	▶実施	回数	+		計を行		- rw	犬爬し	- (es. Ne	泉の丹快		1
•		の 作 成	成果	成 スポー	果ツ堆る	##+i			は	何	?	指	標	名	称	単	单位	算出方	法・言	計算式	さ・目4	漂値討	没定の	考え方な	ど最終	终目標値
			指標		→ 1EA	= H F																				

	Į	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	3	事業費等	(a)	円				24101/249F IDC/	223, 000
	財	国庫支出	金	円					220,000
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円					223, 000
施	職	正 規 職	員	人		0. 40	0. 40	0. 60	0. 40
	員	嘱 託 職	員	人		0. 10	0. 10	0. 40	0. 10
		臨 時 職	員	人					
状	数	合	計	人		0. 50	0. 50	1.00	0. 50
		対象 (者)	数						
		延利用(者)数	(b)						
			(b)]]	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					00.00
		市民一人当たりのコス		円	_	_		_	63.00
		策定委員会開催数	目標 実績			9	9	10	9
		果儿安員云册惟数	達成率	%	_	100, 00	100.00	10, 00	100, 00
	活		目標			100.00	100.00	10.00	100.00
	動指	アンケート実施回数	実績				+	1	1
	指	ノンノ 「矢旭四奴	達成率	%	_	_	100, 00	100.00	100.00
D	標		目標	70			100.00	100.00	100.00
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標						
	成	_	実績	_					
	果		達成率	%	-	-	_	_	_
)	果指		目標	-					
	標	-	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備	スポーツ推進計画の策定	が成果	指標	となるため、数値目標	の設定ができない。			
	考								

	^{労争 2} 当 部	まる 人不		性理 計 会事務			ピーツ優	* 唐 理	7	ポーツ健ノ	事体		争耒期[作成担]			<u>~</u> 条		平 及 之	登理金 ⁷ 連絡先		2-8399
끄브		1 1 秋	女具			^′	· /1X	生果体	^				1下)火江:	⊐141		不	<u> </u>			- "	_ UU33
	期			E	標						実 絹	Ī						課	題		
四	第 1 期	27年度す あったた							≥画戦略認)一括実施	∦で実施す <u>6</u> 6/10	る市民	アンケー	-トの中	に含		ート結			きるまで、	計画が	く進まな
半期	第 2 期	市民アンい素案を			課題、	施策σ	再検討	対を行 市	「民アンケ	一卜集計中						「一ト結 兄となっ			きるまで、	計画が	《進まな
# : :	第 3 期				課題、	施策の	再検討	がた行って	ア ンケート!	集計終了1	2/28				まったため、	ため、 年度内	第5次	総合計定をや	め5次総の	時期と	上重なる
٤	第 4 期	年度内の 完成を目)完成 指し、	は不可 計画第	能であ	るが、 うけたさ	29年12 準備を す	月ので		結果の報告				員	リック	コメント					
O										事中	ř	平位	6								
•													広	充		C	2)	(⑤ レ	7	
管										期と重複	後	¥				(3	3			9	
											の	向	循 .	\J\		(4	1)	(හි)	(10)	
理							求事項	頁(改革	・改善気	(表)	方	性(木 廃.	止(\mathfrak{D}						
	灰牙	品の印刷	问製本	費の予	・異計し	-					向				皆	減	縮	小	現状維持	拡	大
											性										
							1														
							₩		-	☆ 4 /	h /		솼	क		h#-		w	<u>=</u> =	II 业	
			1				_	1				, 1				.—		觉 宣	i a t 1	ш т!	リ 正
評			1		3	4			2	3 4		<u> </u>		3	4		-		D		
価(C	************************************															善が必要 実施主体 廃止の検 A					
н			如	協	ī	#		■亚	無	前		4	m	协		生					
	総										するフ										
Е		ことで、	より	市民の	声を反	映した	-計画を	を作成し	ていきた	い。	غ ا	とで、	より市	民の声	を反映	した言	十画を	作成し	ていきた	い。	
	合																				
c K	評																				
J	価		庫 ⊃	か 芋	. ah	亲	E / D =	丰 佐 4	+ :n T		_	前 任 庄	细忧生	车 証 /	≖ /- +	: I+ Z	△ 终	<u>π</u> +	· 向 - M · I		
=1											_ [E										
改革	今			施	3	策						-		施		策	F		曲	後	ŧ .
•	後		拡	充			2	(5)	Ø)		///	拡	充							
改			現状	維持			3	(<u></u>	9			現状維持	持					***************************************		
善			縮	/l\			(4)	a	3)	100		÷	縮	/l\							
の方向	方	向 性			<u> </u>		Ÿ			•••		向									
	向)± 	休房	<u> </u>	1	レ							休廃」	ш_	レ						
性	性	_	_		皆	減 コ ス	縮ト	小 投 入	現状維持 の 方	拡 向性	大				皆コ		縮 ト ‡	小 少 入	現状維持 の 方	拡向	
A	改	アンケー	- ト結	果やパ	ブリッ					やニーズ	を把っ	ンケー	卜結里	やパラ					現状把握		
C	以革	握し、製	題整	理を行	い策定	計画は	こ反映さ	させるこ	とで、1	0年後の	スー推	し、課	題整理	を行し	策定計	十画にあ	反映さ	せるこ	とで、1	0年	後のス
Ţ	+									し市民目									容を検討 その後は		
I 0	改	画どおり	ルに進	んでい	るか検	証・	平価を行	テい、必		施策や事	業、運	i どおり	に進ん	でいる	か検証	E・評値	面を行		要に応じ		
N	善	達成目標	を見	直し、	改善を	図って	ていく。				道	成目標	を見直	し、	善を図	つてに	, \ ,				
.0		l																			
	策																				
是至		価年月日	1 '	平成29:	年4日?	5 P	島 紋	証 無	責任者	考		7+	パーツ健	唐鲤.					鋤 柄		敏

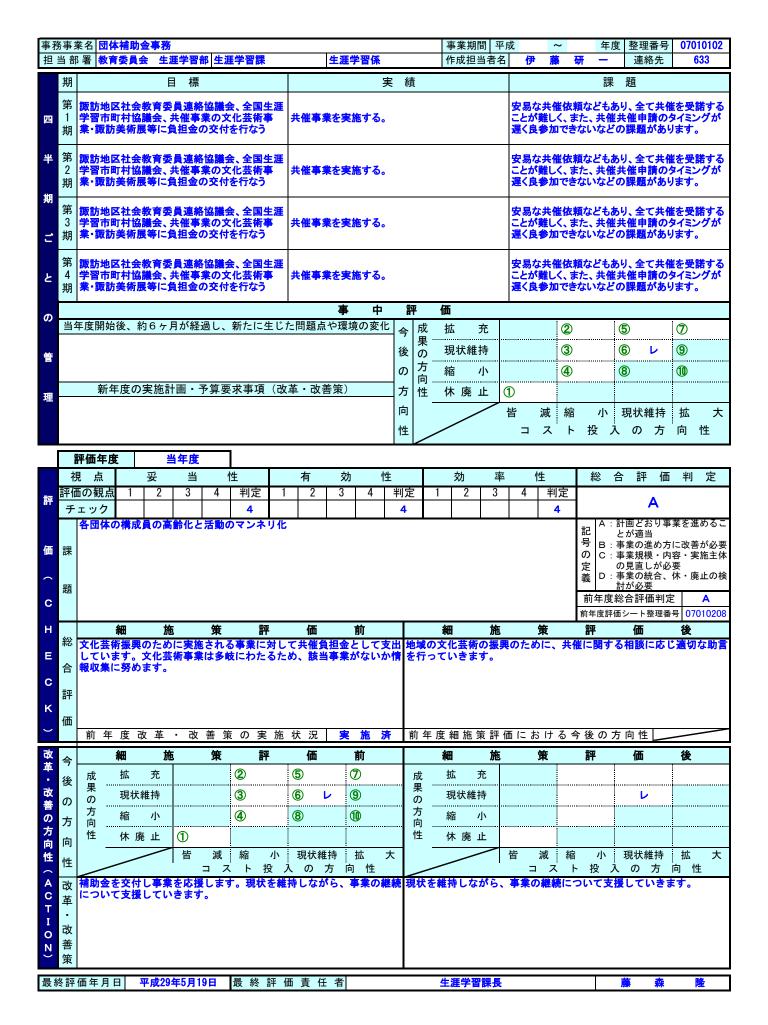
_			諏訪東京理				-	-	•		12) T	-147			事業期間] 平月	戊 2	8	~	29	年度	整理番		01110101
			企画総務部				学準	備室			庶務保	Ŕ			作成担当			F	Щ		浩	連絡先	:	272
								政	策		_													
			プランに	無	11大 台	策 体	玄	施	策		_													
	おり	ナる	位置づけ	ж	以5	R 14	ᅏ	細 施	***		_													
計								事務事			_								•••					
Al	予	算	事業名					連事業		- 04	1- 7-	=1 <i>fa</i> +	· 左 左	レーマネ	拝続する が		† -		001 公立			項 01	∄ [96 事業 11
画			· 業 の 概 要 _{わかりゃすく)}																					
			と 背 景うして)	事長学に	からて、	同大学 同大学	●の4 ●の4	立法人 立化等	化の等につ	検討に	つい 議を	ての要 進めて	要望を ている。	受け、同	年から	野県	、諏	访地 地	域市	町村				!科大学理 東京理科大
	目	対	受益者												東京理			生及で	び教団	職員				
P		象	対象 (直接働きかける)												東京理		•							
	的	(どん	意図			理科大 大学を			とによ	って更	に魅	力ある	5大学	へと変革	をし、より)地域	に責	献する	る大:	学と	して、	学生と地	域	からも必要
L A			・ 方 法 やって)	検討公立	東京 協議 大学	理科大会では	学σ L、地 主体	公立(域住月	と大 えや地	学の鬼 元産業	力づ	くりに関係者	関する	る協議を	進める。 等も参	きにし	なが	6. I	地域:	全体	の課題	として悩	鴻	養会にて、 を進める。 設立する公
			行政活動の約	洁果:	からつ	くりが	だす	ものは	何?	指	標	名	称	単位	算出力	法・	計算:	式・	目標	値設	定のネ	考え方な	Ľ	長終目標値
N	評	活動	公立大学設施	主主	体の影	置			-	一部事	務組	合の部	遺		平成29	年4月	設置	(定	量的	数值	の設定	全不可)		
	后 指	指標	公立大学運	堂主·	体の割	过			4	公立大	学法。	人の割	过		平成30	年4月	設立	(定	量的	数值	の設定	と (本可)		
J	標の																							
	作	成	成果	•	効	果	は	何 '	?	指	標	名	称	単 位							–			長終目標値
	成	果指	入学者数の対	曽加						入学定	員充	2率		%	公立大 30年4:					定	充足	率(平成		100
		標																						

		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	事業費等((a)	円				630, 815	7, 676, 000
	財 国 庫 支 出	金	円					
	_酒	金	円					
,	// ^{//} 地 方	債	円					
	内その他特定財	源	円					
	訳 一般財	源	円				630, 815	7, 676, 000
施	職正規職	員	人				4. 00	4. 00
	ᆿ│ 嘱 託 職	員	人					
	品 時 職	員	人					
状		計	人				4. 00	4. 00
1/		数						
		(b)						
		(b)	円	_	_	_	_	_
況		額	円					
	市民一人当たりのコス		円	_	_	_	11.00	682. 00
		目標	_					
		実績						
	活	達成率	%	_	_	_	_	
ī	動	目標						
		実績						
D	標	達成率	%	_	_	_	_	_
		目標	_					
		実績						
		達成率	%	_	_	_	_	_
0		目標	%					
,	成 入学定員充足率	実績						
	果	達成率	%	_	-		_	
$\overline{}$	指	目標	_					
7		実績						
		達成率	%	_		-	_	_
	備 当事業は、公立化の準備	期間に	おける	6公知効果も考慮し、	人字定員充足率の増	減を成果指標に設定	して評価を行う。	
	*							

				京理科大	学関連		A. 246 Min	_		1	the test					期間					度	整理番号		0101
		『署 企	四称			_	学準備!	*		本	務係				作队	旦当者:	名	4	山	浩		連絡先	2.	72
四	期 第1期	定。② 議会に 大学法	公立(対し) 人化	検討協議 と等検討 意見を提 に向けた	有識者 示。③ :研究·	公立(会議か 一部事	^{いら、} 検 務組合	討協	②4月 議会 事務組 期が3	13日の で報告 組合と 決定。	の有識 。 ③6月 公立大	議会(者会議 第5回 学法人	の意 検討	見を け協調 设立、	じの 第3回 第3回 第会にて 学部、	検討協 「、一部 開学時	政内東が	容は、 京理科 必要。	当事? 大学	大学の: 5間(諏)の間に	訪地はおい	とについっ 或6市町 村 て、書面に	さ学校 こて残っ	法人
半期	第 2 期	②公立 ③公立	化に大学	会の開催 関する基 設立準備 組合の規	本協定 i会を記	建置	.		公立の公立に	化に関 大学設	する基 立準備 置。 ③-	本協定 i会発足	2 8 2. ≰	・締締 ▲下(京埋科 吉。②10 こワーキ)規約案	月5日 ンググ	に合協	定める、 新公: 護し詰	事項(立大等 めてし	組合経 学の名称 い必要	費の (等) (がある		村の負 検討協	担割養で
	第 3 期	②一部 ②ワー	事務: キング	会の開催 組合規約 ブグルー	の決別 プの開	催			月定	列会に	おいて	、一部	事務	組合	の各議 対規約護 延べ7回	决。	等でで	、多くの 検討し、 決定し	項目 準備 ていく	につい 委員会 	て、各 の協	f公立大学 ワーキン 護を経て	ゲグル 検討協	·一プ 護会
٤	第 4 期	可申請	準備 ングク	会の開催 (条例、 ブループ 里事長予	見則等 及び公	の案の [.] 立大学	作成)。 設立準	② 【備会	ついて	て、3月		で準備	記 を発	7.0	を例、規 33月30 た。		催決	し、必要 が必要 備、公:	eな事 。公S	項(条例	则·規 法人関	年度に制 則・中期 係では、 いて、詳	∃標等) 法人設	の 護 立の
Ø	10	<u> </u>	1. 44	41 -	E 1845		±	- 11 18	,		•	中	評		価									
				約6ヶ 学の公 式							環境の変	変化		成 果	拡	充	ļ		2		5		7	
defer	公工	大学影	立準	備委員会	まを設し	し、公					公立大	学		木 の	現状	維持			3		6	レ	9	
-	の胃	科学に向	1772	準備が本	格的	二始動。								方向	縮	小			4		8		10	
理				の実施詞						收善策	()			性	休 廃	止	1	••••••				••••••		
	公式	大学法								学)の	_	/	/	皆	減 コ ス	縮ト				拡向が	大性			
Ī	た準備。 評価年度 当年度 視点 妥 当 性 有 効 性 効 率 性 総合評価 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定																							
	公立大学法人の設立と新公立大学(公立諏訪東京理科大学)の開学に向けた準備。 皆減縮 小 現状維持 拡														判	定								
評	評値	5の観点	描。 性 価年度 当年度 点 妥 当 性 有 効 性 の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 3 4 1 1 2 1 1 2 3 4 1 1 2 1 1 2 1 3 4 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 3 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1															4 #	引定			^		
	チ	記点 妥当性 有効性 面の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 利定 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1																	4		÷1 72		₩ + ₩	и 7 –
個 (C	評価年度 当年度 視点 妥当性 有効性 効率性 総合評価判定 評価の観点 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定 1 2 3 4 判定														が必要 施主体									
н	613															施		策		評		価	後	
EC		た。調は概ね新公立	訪東 予定 大学	京理科大通りに進 の開学に	で学のな をしいる に向けて	公立化1 5。平月 C、地域	に関す 成30年 或の意	る事務 4月の4 見等も	事業に 公立大 踏まえ	- おい 学法人 なが	ては、 、の設立 ら、今	今年度 [及び 後も継	たは新	版ね公立	訪東京 予定通 大学の	理科大 りに進 開学に	学の んい 向け	公立化 る。平 て、地	に関す 成30 域の	する事 年4月の 意見等÷	多事業 公立: と踏ま	向け準備 をにおい 大学法人 をえなが で理科大	では、 4 の設立 う、今後	今年度 :及び 後も継
к •	価	を進め 今年度	てい の入 学希	く。 試状況で 望者が増	:は、4 加する	\$ 立 化(の準備: 聖も出:	が進ん てきて	でいる いる。	اعتة			を今度	進め 年度 の入	ていく の入試 学希望	。 状況で 者が増	は、: 加す:	公立化 る好影	の準(響も)		しでい ている	ることに		
改	今		細	抗	ŧ.	策		評	個	i	前				細	施	į	策		評		価	後	
革		成	拡	充			2		⑤		7	レ	Fi.	ţ	拡	 充							:	,
改	後	果		 伏維持			3	••••••	6		9		身	₽	現状網									
善	の	の方	縮	小			4		8		10		7		縮	小								
の方	方	向性			•		••		•		W .		· 作]					-					
向	向	I± -	1不	廃止	1)) <u>.</u>	6 4	.1.	TPJU	· 4# ++	44-		- 13	r -	休廃	<u>н</u>	EK.		الميان	1	TE	1 1 1 6 H ++	44-	
性(性				皆	減 コス	縮	小 投 2		維持 方	拡向性	大 E		_			皆	減 コ <i>ブ</i>	縮スト			l状維持 の 方	拡向性	大 :
Α	改			合設立後		文立大	学法人	の設立	及び第	「公立 :	大学の	開学に			務組合		10.00	公立大	学法。	人の設立	工及び	新公立	大学の	開学に
C	革			が主とな 及び有論										. 1 1 7	準備が 結果及							公立大学ながら、		
I	· 改	におい	て必	要な事項	を決定	としてに	۱۷ !	特に、	一部事	務組	合が作	成する	<u> </u> [=:	おい	て必要	な事項	を決	定して	いく。	特に、	一部	事務組み	うが作用	する
	善策			関係者等								. , _ •										が重要。		
最終	冬評	価年月	日	平成29	年5月	18日	最 終	評(西 責	任者	Í				大学準	備室長	Ę				加	賀	美	積

事剂	务事業	Ě名	団体補助:	金事務											事業期間	平成		~		年度	整理番号	0701	0102
担	当 部	署	教育委員:	会 生活	涯学習	部生	涯学	習課			生涯等	学習係			作成担当	者名	伊	藤	研	-	連絡先	63	33
			プラン l ・位置づ l		政:	策体	系	施 細 が 事務		06 14		うり 生 ・文化	涯を選 の振興		・ 伝承						を育む 場の提供		
計	予	算	事業名	i					- U	l.						会計	コード	00	款	10	項 05 目	02 事	業 19
画	事	答事	: 業の 概!	要)																	助を行う		
	現 (状ど	と 背 景 うして)	担相相	ってい bd金を	ただ 交付	いて ; する:	らりま ことに	す。 より、	会の流	動が	更に多	・展する	5 .				の活動	かは、	市の生	涯学習活	助の一▮	【を
^	目	対	受益者	連合	}婦人	会•	美術	a会•	女性団	体連絡	格協議	会・7	ドーイス	スカウト	・ガール	ノスカウ	7ト等						
P		象	対象	క)	会教育	⊕	•																
	的	(どん	意図	b))																			
L A			・ 方 法 やって)	£	表教育	登録	団体(こ活動	費の補	助													
		·	行政活動	の結果	からつ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	算式	・目标	票値設	定のす	考え方など	最終目	標値
N	評価	活動指	社会教育	の充実	:					活動件	-数			数	申請数								6
	価 指標	拒 標																					
-	がの作	成	成果	Į •	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・討	·算式	• 目标	票値設	定のす	考え方など	最終目	目標値
	成	果 指	社会教育	の充実						活動件	-数			%	今年度	共催数	/前年	度共	催数				100
		標																					

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
			(a)	円	350, 000	350, 000	350, 000	650, 000	950, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円					
	訳	一 般 財	源	円	350, 000	350, 000	350, 000	650, 000	950, 000
施	職	正規職	員	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
		对 象 (者 <u>)</u>	数						
_			(b)						
L			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円		0.00	0.00	40.00	40.00
-		市民一人当たりのコス		円	6. 00	6.00	6. 00	12. 00	19.00
		生 觀 加 椒	目標 実績	数	<u>6</u>	6	6	6	6
		活動件数	<u>夫</u> 根	%	100, 00	100, 00	100.00	100, 00	100, 00
	活		目標	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	-	_	_
D	標		目標	70				_	_
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		100	100	100	100	100
	成	活動件数	実績	%	100	100	100	100	100
	果		達成率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	果指		目標						
	標	_	実績	_					
	125		達成率	%	-	_	-	_	_
	備	平成27年度から事務事業	名等木	かりも	っすい表現に変えた。				
	考								



			文化芸術振!	興基:	本計画	画策员	≧事業								事業期間	平成	t 27	~		年度	整理番号	070102	206
担:	当部	署	生涯学習部			<u> </u>	上涯学	習課			文化装	装術係			作成担当	者名	北:	#	ゆ き	子	連絡先	632	
計	おり	ける	プランに 位置づけ 事 業 名		市は		Γ±		事業	06 14 01	第6館芸術・	が 生 ・文化・ 文化: 仮面の	涯を通の振興活動振	に代表	・伝承 : されるt	会計	きる。	学習機 ~ 001 文文化	会の3	10 史遺産	を育む 場の提供 項 05 目 を有して 環境を活か	いる。まれ	た生
画	事	務事	· 業 の 概 要 ^{トかりゃすく)}	ためのカ	うに「	文化 を明	芸術! らか!	振興基 だ こする。	本計画	i」をst	策定し.	、今後	の茅	野市の文	化芸術を	振興	するう	えでの	目標	とその	実現に向	けた取り	組み
			と背景うして)	継承	者等	で協	兴 本 /	単携した	か削足ながら	支援し	し、地	域の文	化芸行	防資源σ 	/める人1)保護・編	建承・	門泊駅舌用を	で、「 行うこ	とが	求めら	られている	ши т. Х 1	נטטו
•	目	対	受益者	全市市		術文	化に	系る団	体、地	域のフ	文化の	継承者	i										
P		象	対象(直接働きかける)	茎里	ま市の	文化	芸術(の振興:	を推進	1.71	NC IE.	あたっ	T. 1	市民、学	校 闭化	k. 行i	内等の	· 구 わ. 구	<u> </u>	役割人	上責務を明	らかにし、	市
	的	(どん	意図な状態にしたいか)	民一	-人ひ	とり	が主	ひとな!	り、生	涯を道	して	感性や	創造	性を育み	・、心豊な	いな市」	民生活						
L A			・ 方 法 やって)	・市・基・基・	ī民、 [本計 [本計	文化 画案 画を	芸術 を市: 決定	団体、 ⁻ 長に提	サポー 言しバ	トロ、ブリ	地域 : ソクコ	文化創	造とけ	を行い、 協働で杉 施する。	素案を作詞子	を開	る。 催し、	意見第	長約→	検討−	→まとめを	行う。	
			行政活動の	結果:	からつ	つく !	ナだす	ものは	何?	指	標	名	称	単位	算出方	法・言	计算式	・目標	標値設	定の	考え方なと	最終目標	標値
N	評	活動指	策定委員会	の開 ⁴	催					策定委	長員会	開催数			策定に	向けて	の検	けとま	とめ				10
)	価指標の	標																					
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・詞	计算式	・目標	標値設	定の	考え方なと	最終目標	標値
	成	果指揮	文化芸術振	興計	画策定	È				文化芸	美術振 り	興計画		m								1	1
		標																					

事業 費等 (a) 円		項	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	事業計画(予算)
実 源 支 出 金 円 大 億 円 円 173,000 市 元 般 財 1.00 市 正 規 規 1.00 数 電 1.00 1.00 対 象 (3) (b) 円 1.00 単位 コスト(a) (b) 円 ー ー ー 要 基 者 負 担 月 市民一人当とりのコスト 円 ー ー ー ー 市民一人当とりのコスト 日標 - ー ー ー 方 定成率 % ー ー ー ー ー 方 連成率 % ー ー ー ー ー の 成 上 上 上 上 ー ー の 文化芸術振興計画 1 1 1 1 1 1 金成率 % -		事業費等	(a)	円					173, 000
実内のでは、 東京のでは、 円 月 <		├ <u>国庫支出</u>	金	円					
大		県 支 出	金	円					
TO	****	`	債	円					
Table Ta		一ての他特定別	源	円					
日本 1.00		130 761		円					
##	施贈	ぇ	員	人					1. 00
##		.│嘱 託 職	員	人					
大 対 象 (者) 数 (b) 一 一 一 一 一 一 一 一 一		二 一	員	人					
対象 (4	##			人					1. 00
単位コスト(a)/(b) 円 一	1/	対象(者)							
次 基本 名負担額 円 139.00 市民一人当たりのコスト 円 ー ー ー ー ー 139.00 5 策定委員会開催数 実績 回 実績 正成率 % ー ー ー ー ー ー ー 100.00 100.00 1 標 ー 実績 正成率 % ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー									
市民一人当たりのコスト 円 一 一 一 一 139.00 1					-	_	_	_	-
接定委員会開催数 目標 実績 回	況		額						
第定委員会開催数 実績 日		市民一人当たりのコス		円	_	_	_	_	139. 00
Table Tab			目標	3					
Tan		策定委員会開催数							
動指 -	一 注	÷		%	_	-	_	_	100. 00
The state of th	file	h	目標	_					
The state of th	±/-	<u> </u>	実績						
O 上	76	1 6		%	-	_	_	_	_
Table Tab	付付	•	目標						
O 成果 文化芸術振興計画 目標 実績 理成率 1 1 実成率 96 - - - - 100.00 指標 - 実績 速成率 96 - <t< td=""><th></th><td>_</td><td>実績</td><td>_</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></t<>		_	実績	_					
				%	-	_	-	_	_
	0		目標	1					1
標 一 実績	成	文化芸術振興計画		m					1
標 一 実績	果	<u> </u>		%	-	_	_	_	100.00
標 一 実績	し指	i	目標						
達成率 96	標	[—	実績	_					
				%	_	_	_	_	_
	/出	<u> </u>				•	•		
	考	†							

			文化芸 生涯学	術振興書 習部	本計画		₽来 重学習	課		文化芸	術係			事業期[作成担			27 澤	~ 	: き	年度 子	整理番号 連絡先		32
	期				目 標						実	績								課	題		
凹	第 1 期	ルについ		ト、策定委 案。理事 る。					6/24理事	本者協議	護の実施	i.						議で何 頼する		さとなっ	った方につ	いて委	員の
半	第 2 期	策定	委員会	経て策定 の原案を 員の確定	·策定。				9/15三 者 ジュール			計画の	概要、	, 策定ス	ケ	100000	委員 行う。		者が	く決ま	ったところ	で理事	者協
期ご	第 3 期			₹の開催。					11/29庁 ジュール 討。							第5 る。	次茅里	予市総	合計i	画との)整合、調·	整が必	要であ
٤	第 4 期	会に げる。 サポ・	委員の ・ ートCと	-関する記)推薦を依 と共催で≒ を持つ。	₹頼。策	定委員	会を立	ち上	3/3理事 庁内委員 3/26サオ いの実施	、市民 ピートCI	委員(推	i薦に J	はる)の	確定。		の振た。	興を	中心と	した記 検討	十画と 会、領	を中心とに にて行くこ を定委員会 を行う。	とが確	認され
Ø	当年	年度開]始後、	、約6ヶ	月が経	過し、	新たに	こ生じ	た問題点	や環境	の変化	今月	戉 扌	拡	充			2		(<u></u>	7	
		者協いってし		補にあれ	べった方	々の雪	員就任	£が困	難となり、	人選に	時間が] <u>/</u> [5	₹	現状維				3		(6		9	
管	文化	比芸術		と文化	オの保護	護活用を	-2本柱	として	検討してい	ベ予定	であ	版 0	´		\\ 14					(8		. 	
	る 。		5. 年 由	の実施	計画 .	予 質更	□⇒車□	百(水	(革・改善	£ 笙 \		, °	句			<u> </u>		4		Q	2)	10	
理	講師			製本費を			ハチュ	y (4)	+ w	- / /		向	生1	休廃.		1	` #	华		l. 1	rp .1 h .6 # . + +	1.4	
												性		/		皆コ	減 ス	縮ト	/. 投		現状維持 の 方	拡向	大 性
							_					II /	_				^	- 1	1X		07 71	IP)	ΙI
	_	評価生			当年度								Ī										
		見 点面の観		妥 1 I 2	当 3	4	性 判定	7 1	有 2 1	効 3	性 4	判定	1	効 l 2	率	4	性业	定	総	合	評価	判	定
評		エツ		1 2	3	4	十リ人 4	- '		ى ب	4	<u>刊</u> 足 3	<u> </u>		3	4		· 1 4			В		
価	課	ない	ことか	J年度かり いら、平原	っの第5 228年月	次茅野 Eは具体	市総合本的な	計画の スケジ	の個別計画 ュールに	当として ∵沿って	で、平原	729年月	度中に	は策定	を終	えなく	てはいかた		記 号 E		が適当 業の進め方		
(C	題	れば	ならい	١,							束疋安	員会を	開催	C ,	Eで連	(8)			の定義の	C:事 の:事討 連度総	業規模・内見面しが必 業の統合、 が必要 合評価判別	要 休・廃 定	施主体 止の検 <mark>A</mark>
т о)	題	れば	ならい細	١,					価			員会を							の定義が前年	C:事 の:事討 連度総	業規模・内 見直しが必 業の統合、 が必要	要 休・廃 定	施主体 止の検 <mark>A</mark>
(от шох)	題総合評価	れば 第5次 る 策定	ならい郷野で	`. 	施 画の個 _〒 った。	策 別計画	iとして	評 (、平月	価 或29年度「	中に策策	ń	荣 策定	全委員	田の選定	を行っ	った。	策	-	の定義が年度	こ:事の事討総 護評価:	業規模・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水	要 休·廃 定 号 070	施主体 止の検 <mark>A</mark>
HEC	総合評価	れば 第5次 る 策定	ならい郷野で	、 市総合計)人選を行	を 画の個 テった。 ・ 改	策 別計画	として きの	評 (、平月	価	中に策策	竹 をができ	荣 策定	条 員	•	を行っ	った。	策	-	の定義が年度	こ:事の事討総 護評価:	業規模・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水・水	を 注 号 070 後	施主体 止の検 <mark>A</mark>
HECK)	総合評価	第5次 る 策定 前	ならい細球事で	たい。	施 画の個 _〒 った。	策 別計画	き の	評 、平原	価 成29 年度 「 状況	育中に策策	前 定ができ 一	第二	年度	細の選定細胞	を行った	った。	策	-	の定義が年度	こ:事の事討総 護評価:	業見では、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のいいは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	要 休·廃 定 号 070	施主体 止の検 <mark>A</mark>
H E C K) 改	総合評価	第5次よ定 前 成果	ならいである。	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 画の個 テった。 ・ 改	策 別計画	として ②	評 、平原	価 找 況 価 ⑤	申に策5	市 をができ <u>ー</u> 市	前	4 	細 施 登 拡	施 を行った。	った。	策	-	の定義が年度	こ:事の事討総 護評価:	業見では、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のいいは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	を 注 号 070 後	施主体 止の検 <mark>A</mark>
H E C K) 改革·改善	総合評価 今後の	第5次 る策定:	なるできる。	市総合計 の人選を行 で、充	を 画の個 テった。 ・ 改	策 別計画	として ② ③	評 、平原	価 対 29年度 「 価 (5)	市で策力	竹 定ができ	前	全	田 の選定 細施 拡 減現状維持	施 を行き	った。	策	-	の定義が年度	こ:事の事討総 護評価:	業見では、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のいいは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	を 注 号 070 後	施主体 止の検 <mark>A</mark>
H E C K) 改革・改善の	総合評価 今後の方	お 第る策 前 成果の方向	なる「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」を表しています。	。 市総合計)人選を行 、	を 画の個 テった。 改 を	策 別計画	として ②	評 、平原	価 找 況 価 ⑤	申に策5	竹 定ができ	策 前 成果の方向	4	田の選定 細施 拡現状維 が 続端	施を行った。	った。	策	-	の定義が年度	こ:事の事討総 護評価:	業見では、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のいいは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	を 注 号 070 後	施主体 止の検 <mark>A</mark>
H E C K) 改革・改善の方向	総合評価 今後の方向	れ 第る策 前 成果の方	なる「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」を表しています。	市総合計 の人選を行 で、充	を 画の個 つった。 ・ 改 を	策 別計画 善第	さして ② ③ ④	実施評	価 対 29年度 G ⑥ ⑥	育 中に策力 (する) (する) (1)	竹 定ができ 一 前)	策 前 成果の方向性	4	田 の選定 細施 拡 減現状維持	施を行った。	面に	おけ策	る今	の定義が前年の記録を表現しています。	・ 事の事 計総 価・	業見業が合シー 価 向性 価	要休·廃 官 号 070 後	施主体 止の検 A 010207
H E C K) 改革・改善の方	総合評価 今後の方	お 第る策 前 成果の方向	なる「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」のでは、「大学」を表しています。	。 市総合計)人選を行 、	を 画の個 テった。 改 を	策 別計画	をして ② ③ ④	実施評	価 対 29年度 「 価 (5)	育 (7) (3) (10) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11	竹 をができ 一 か) レ	策 前 成果の方向性	4	田の選定 細施 拡現状維 が 続端	施を行った。	oた。 画に 皆	策	る今	の定義が前年の記録を表現しています。	・ 事の事 計総価・ 方 方 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	業見では、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まりには、大学のでは、まりには、大学のでは、大学のいいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のいいは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	要休·廃	施主体 A D10207 大
H E C K) 改革・改善の方向	総合評価 今後の方向性 改革・改善	れ 第3 策 前 成果の方向性	なるでは、大学のでは、	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 画の個 うった。 ・ 改 を	第別計画 善策 コズス	をして ② ③ ④ 縮ト	実施	価 対 29年度 G (5) (6) (8)	育 (7) (3) (1) (持方 向	前 をができ 一 前) レ	策 前 成果の方向性 策 せ、	全 年	田の選定定施 超	施を行きを存むを持ついた。	古に	策け、策が、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	る今におります。	の定義が前年が一後で評している。	こ : 度評	業見業が合シー 向性 価 現は直の必評・体が会 判理者 性 価 性 価 現状 維持	要休・ 度 号 070 後 後	施主体 A D10207 大 E 定さ
H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	総合評価 今後の方向性 改革・改	れ 第3 策 前 成果の方向性	なるでは、大学のでは、	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を 画の個 うった。 ・ 改 を	第別計画 善策 コズス	をして ② ③ ④ 縮ト	実施	横 大 況 (育 (7) (3) (1) (持方 向	前 をができ 一 前) レ	策 前 成果の方向性 策 せ、	全 年	田の選定定施 超	施を行きを存むを持ついた。	古に	策け、策は、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	る今におります。	の定義が前年が一後で評している。	こ : 度評	業見業が合と 向性 価が大いのでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	要休・ 度 号 070 後 後	施主体 A D10207 大 E 定さ

事系	务事為		市民館の	管理運	営事業	ŧ									事業期間	間 平原	龙 22	~		年度	整理番	号 (7010205
担	当 部	署	生涯学習	部		4	涯学	習課			文化	芸術係			作成担当	当者名	北	澤は) き	子	連絡兒	Ē	632
計	おり	する	プラント 位置づき 業々	はる事	野市民民と協	働で	市り		事業	06 14 01	芸術	市 生・文化・文化化創込	涯を説 の振り :活動技	関・保護 展興事業 流拠点と	続けるこ ・伝承 ・ 七 不	会計 成17年	できる	学習機 ド 001 さ した。	会の3	た実と: 02 : から管	場の提供 項 01 「理運営	目 1	0 事業 01 - 至るまで : る管理運
画	現	状	と背景	市」	Eに管	管理	運営に	れて		につし	ハてモ	ニタリ	ノング	による監							:が必要で 512年が#		。また、 ノ、安全性
P	=	対象	受益 を	指为	用者、 定管理	来館	者								:⊠ り、i	市民館	の基本	理念を	享受	できる	場とする	5.	
L		段	意 図 ***********************************	連続	5.												_				:そって : :図ってに	_	リングを
N	評価指標	活動指標	行政活動 モニタリ			o < 9	だす	ものは		指 モニタ	想!!ン	グ数	称	単位数	算出力	方法・	計算式	・目様	票値設	定の参	考え方な	ど最	終目標値 12
•	標の作成	成果指標	成 集 市民館の	-	,,,	果	は	何	?	指 入館 者		名	称	単位人	算出力	方法・	計算式	・目標	票値設	定の参	考え方な	ど最	終目標値 130,000

	· ·	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	=		(a)	円	187, 459, 400	193, 566, 888	204, 553, 778	188, 711, 655	194, 007, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円		2, 250, 000			
	内	地方	債	円					
		その他特定財	源	円	3, 402, 208	5, 150, 000	8, 300, 000	4, 500, 000	1, 900, 000
	訳	一 般 財	源	円	184, 057, 192	186, 166, 888	196, 253, 778	184, 211, 655	192, 107, 000
施	職	正規職	員	人	0. 14	0. 26	0. 55	1. 35	1. 35
	員	嘱託職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 02	0. 10	0. 80		
状	数	合	計	人	0. 16	0. 36	1. 35	1. 35	1. 35
11	7		数						
	3	延利用(者)数	(b)						
	È	単位 コスト (a)/	(b)	円	_	_	_	_	_
況	5	受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	3, 339. 00	3, 458. 00	3, 667. 00	3, 399. 00	3, 686. 00
			目標	数	12	12	12	12	12
		モニタリング数	実績	300	12	12	12	12	12
$\widehat{}$	活		達成率	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00
	動		目標						
	指	_	実績	_					
D	扣		達成率	%	-	-	_	_	-
	標		目標						
		_	実績						
			達成率	%	_	•	1	_	-
0			目標 実績	人	130, 000	130, 000	130, 000	130, 000	130, 000
	成	入館者数	実績	^	139, 017	144, 699	142, 440	148, 734	142, 000
	果		達成率	%	106. 94	111. 31	109. 57	114. 41	109. 23
	果指		目標						
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備	市民プランの細施策にお	いて様	断的な	≩事務事業である。対		番号 03060702 06	010409	
	±-								

争犯	当 部	署 生涯	經濟		4:3	厓学習 記	#		文化芸	術係			事耒期[作成担〕	_	北	48 k	Þ :	き子	诽	絡先		632
1=		10 工作	E EP			<u> </u>	*		~ IUX				下/人/上:	10 10	46	/# !!	r (・イロンし		JUL
	期			目 標						美	₹ 績	t						課	題			
	第	・指定管理・モニタリン			結			・モニタリ	ッガに仏	红、指定	答押步	その書類	室の確認	9						り、情報	最や課	題共有
四	1	·第6駐車場	利用状态	記調査開始	A			・市民館フ						•	の場を	作って	いくこ	とが大り	IJ.			
	期	・市民館ア	ノケート	果のまと	め																	
	Arter.	・H27モニタ			成			•H27モニ	タリング	レポート	・の作り	成と報告			カー	#T	 本 	とが大	TIET CO	7 TH	K V DA	R/MOTO H
半	第 2	・アンケート			18 AŁ			市民館										ントスペ		利用状	況をき	きまとめ
	期	·市民館協						•自家発電	[円台 電	心义换	人化华	F 1/11			る。							
期	741							ANT A EA TE	JE 6 494	***												
***	第	・第6駐車場	・イベン	スペース	理事者	協議の多	実施	・第6駐車 ・イベント				期限2年到	長決定	。(30	- 100		o	7 4 1 111 2	<u>+ III A</u>	⊕ #11	+**	30年度
	3	・管理運営						年度末ま		1 71 to 100	O == #	-				ノト人・			用り並	U) ØDY	ле	30年度
ij	期	・次期指定	1理有进	正の年間				・自家発電	旧台電	池文揆	の美術	E.										
	第							・指定管理	理者・サ7	ポートの	と共に	管理運営	計画見	直し検								
ے	4	·管理運営						討会を開	し、案を	作成。					·指定							ていく。
_	期	・時期指定	管埋者	選定の準	備			•3/29公0 集開始。	り施設指	定管埋	有選刀	E審査会	を実施。	4/4券	•中長	期改作	計世	の策策	E、漏フ	水調査	の実	他。
								7400720	古	-	80	i /30										
Ø	N/ 6	노르메사생	4L 0	. 🗆 1845	7 1 1	☆ r⊥ 1-	- 4L 18 J	L 8885 F	事	中	訊		*	. 1				-				
		年度開始後 <mark>f館前の通</mark>									_ = 1		広 :	充		C	2)		⑤		7	レ
detr.	必要	『畑 別 の 理 『である。 平	成30年	ルデハー 度からの	次期指	定管理	に向け	・管理運営	計画の	7月11年の	後	果一切	見状維持	持		C	3		6		9	
管	に着	ēである。∓ i手。									の の		宿	/\			<u>4</u>)		8		10	
		*** L	- ~ '	⊢= 1 	~ **-		Œ /-!	+	<i>← h/-</i> \		_	向				Q	* /		•		W	
理	杜勒	新年/ 建築·特 /						革・改善		다 士 기	_ 方	性	木 廃 」	止(\mathfrak{D}							
	رے	が最良。は	集事業	·休館日	を伴う	攻修なと	と専門を	家の判断	が必要)	向				皆	減	縮	小	現状	維持	拡	大
	経過	した耐用	数を起	えた直流	電源装	置の部	品·蕃	電池の交	換が必	要であ	性				_	ス	١	投ノ	(o	方	向	性
	5 .										'-						•	<i>.</i>	• ••	,,		.–
	ı	評価年度		当年度																		
	袳	見点	妥	当		性		有	効	性	Ē		効	率	1	生		総	合 言	平 価	判	定
評	評価	面の観点	1	2 3	4	判定	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定	?			_		
計	チ	ェック				4			V		3					4				В		
		市民館の	车田2 224		de 100 de /	til et i –	F (1.4=									AA- TII 15	_			4 V II =	要 な.	ルムフー
			4年建2	「は相正」	三型 (1)	門及につ	より17	つている	ため、	連絡調	整が	必要にな	よる。ま	きた、	適正に	官埋埋	<u>ا</u> ا	A :	計画と		未で	進めるこ
		営がされ	ているだ	につい	てモニ	タリング	グによ	るチェッ	クの必	要性が	ある。						Ē	2	とが遃	当		
価		営がされ 安心安全 である。	ているだ	につい	てモニ	タリング	グによ	るチェッ	クの必	要性が	ある。						- F	記 号 B: の C:	とが適 事業の 事業規	i当)進め方 模・内	に改	進めるこ 善が必要 実施主体
価(営がされ 安心安全	ているだ	につい	てモニ	タリング	グによ	るチェッ	クの必	要性が	ある。						10元	記 号 B: D C: 定 _	とが適 事業の 事業規 の見直	i当)進め方 !模・内 [しが必	に改 容・! 要	善が必要
価(営がされ 安心安全	ているだ	につい	てモニ	タリング	グによ	るチェッ	クの必	要性が	ある。						10 万事	記号 B: BC: を を を	と事業の事計 事業見の事計が必要が必要が必要が必要が必要がある。 というとは、これをおいる。 とのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	当)進模・内 [し統)統要	に改容・ 安休・	善が必要 実施主体 廃止の検
個 (0	課	営がされ 安心安全	ているだ	につい	てモニ	タリング	グによ	るチェッ	クの必	要性が	ある。						10 元事	記 号 B: D C: を	と事業の事計総合	当 進め方 し様・内 し統要 平価判別	に改り 字・ は 子 体・ 」	善が必要 実施主体 廃止の検 B
(C	課	営がされ 安心安全 である。	で満足的	いについ [*]	てモニ(施設運(タリン: 営のたる	グによ めに、i	るチェッ 経年劣化	クの必 ・耐用	要性が	ある。	。 よる施 誌	设設備 の	改修	、更新	が必要	1. の気事 一前	記 号 B: D C: を D: 前年度評 前年度評	と事事の事討総一番が業業見業が合う	当進模し統要 (回数・が合本) (回数・ (回数・ (回数・ (回数・ (回数・ (回数・ (回数・ (回数・	容要休・月号の	善が必要 実施主体 廃止の検 B
(課題総	営がされ 安心安全 である。	ているが で満足B ー	トについ Eの高い 施	でモニ: 施設運	タリン?	がによっめに、	るチェッ経年劣化	クの必・耐用	要性が年数経	ある。 過に、	。 よる施記	设設備の	施	、更新	が必要	話をの気事に前	記号 B: D: D: 前年度評価 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	と事事の事討総画の規値の必許を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	当進模が合い。	に改き、 ラ の 後	善が必要 実施主体 廃止の検 B 7010206
(C	課題総	営がされる。	で満足的 とうしゅう とうしゅう とうしゅう しゅうしゅう ゅう しゅうしゅう しゅう	た。 施 施	を表現で	タリン(営のたる	グによめに、i	るチェッ 経年劣化 <u>価</u> め、モニ	クの必 ・耐用 タリン	要性が年数経	、 ・ 、 指	よる施言	と設備の	施る管理	、更新	が必要 策	1 が	記号の定義 前年度 前年度評 いるた	と事事の事討総画が業業見業が合うしている。	当進模し統要性を	に容要休と号の後	善が必要 実施主体 廃止の検 B 7010206
т о т	課題総	営安で が心ある 管でな連 管な連 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	で ボー にが を にが を にが を にが を にが を にが を にが を に を に を に に を に に に に に に に に に に に に に	施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でモニに施設運営を設置がない。	タリンパ されている されてい で、状でで、状でで、状ができる。	グによい 評 で に な の 把 に に に に に に に に に に に に に	る経年 価 こが	ク・ の が が の が の の の の の の の の の の の の の	要年	「ある」 ・	。 よる 施言 電理を でご で こ で で で で で で で と の の の の の の の の の の の の	と設備の 者にい 三者会	・ 	、更新 運運営が が開催や市	が必要	1号の気事 一前 てあ	記号の定義が年度 第一年度 第一条を表	と事事の事討総画めた、第業見業が合うし、、	当進模し統要価を理理である。	に容要休をしている。	善が必要 実施主体 廃止の検 B 7010206 サポー
(с н	課題総合	営かされる。	で ボー にが を にが を にが を にが を にが を にが を にが を に を に を に に を に に に に に に に に に に に に に	施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でモニに施設運営を設置がない。	タリンパ されている されてい で、状でで、状でで、状ができる。	グによい 評 で に な の 把 に に に に に に に に に に に に に	る経年 価 こが	ク・ の が が の が の の の の の の の の の の の の の	要年	「ある」 ・	よる施言	と設備の 者にい 三者会	・ 	、更新 運運営が が開催や市	が必要	1号の気事 一前 てあ	記号の定義が年度 第一年度 第一条を表	と事事の事討総画めた、適の規値の必評し、価値においるという。	当進模し統要価を理理である。	に容要休をしている。	善が必要 実施主体 廃止の検 B 7010206 サポー
(с н ш с	課題総	営安で が心ある 管でな連 管な連 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	で ボー にが を にが を にが を にが を にが を にが を にが を に を に を に に を に に に に に に に に に に に に に	施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でモニに施設運営を設置がない。	タリンパ されている されてい で、状でで、状でで、状ができる。	グによい 評 で に な の 把 に に に に に に に に に に に に に	る経年 価 こが	ク・ の が が の が の の の の の の の の の の の の の	要年	「ある」 ・	。 よる 施言 電理を でご で こ で で で で で で で と の の の の の の の の の の の の	と設備の 者にい 三者会	・ 	、更新 運運営が が開催や市	が必要	1号の気事 一前 てあ	記号の定義が年度 第一年度 第一条を表	と事事の事討総画めた、適の規値の必評し、価値においるという。	当進模し統要価を理理である。	に容要休をしている。	善が必要 実施主体 廃止の検 B 7010206 サポー
(с н ш	課題総合評	営安で が心ある 管でな連 管な連 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	で ボー にが を にが を にが を にが を にが を にが を にが を に を に を に に を に に に に に に に に に に に に に	施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でモニに施設運営を設置がない。	タリンパ 営のたと されてし で、状	グによい 評 で に な の 把 に に に に に に に に に に に に に	る経年 価 こが	ク・ の が が の が の の の の の の の の の の の の の	要年	「ある」 ・	。 よる 施言 電理を でご で こ で で で で で で で と の の の の の の の の の の の の	と設備の 者にい 三者会	・ 	、更新 運運営が が開催や市	が必要	1号の気事 一前 てあ	記号の定義が年度 第一年度 第一条を表	と事事の事討総画めた、適の規値の必評し、価値においるという。	当進模し統要価を理理である。	に容要休をしている。	善が必要 実施主体 廃止の検 B 7010206 サポー
(с н ш с	課題総合	営安で が心ある 管でな連 管な連 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	で 	施 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	てモニア ・	タリンとと	グによい 評 いよるの把 記 け 。	る経年 低 モンがき	ク・ の が が の が の の の の の の の の の の の の の	育 グすか を 。 ら しま 、	お過に、指たトく	。 よる 施言 電理を でご で こ で で で で で で で と の の の の の の の の の の の の	型者し三者し三目指し	改修 施管がの関する を関する	、更新 理運営か 可確認が 可能 で で で で で で で で で で で う う う う う う う う	が必要なされば、大きなのでは、ためでは、大きなのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そ	正 の反導 一前 であ 動き	記号の 主義 前 近年度	と事事の事討総画めた権	当進模し統要価を理定市方内必、気質・関連を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	に容要休をしている。	善が必要 実施主体 廃止の検 B 7010206 サポー
(с н ш с к)	課題総合評価	営安でを指摘を期間を担います。	で 「 「 「 「 「 「 「 「	施 管理運 れてに行っながる。	でも選ばがない。	タ当のたる さ頃でられてに、状で	グによ、 評 いよるの把 ・ 施	る経年 (価) エッパ (価) スッパ でき : : : : : : : : : : : : : : : : : :	ク・ タ必る 実必用 インでと	要年 † / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	お過に、指たトく	。よる施言 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	田 者しこ者 日指 施	施 る 管 るるかの関	東新運運営が確保です。	が必要な必要館は	1. の 反射 「前 しの の	記号の定義が年度評している会を開いています。	と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向	当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民	に容要休を一号を開きます。	善所 を
(с н ш с	課題 総合評価 今	営安で 指適た期 前 報理状格題:	で 「 「 「 「 「 「 「 「	施 種理に行る。	てモニア ・	タリンとと	グによい 評 いよるの把 記 け 。	る 経 年 めェ <mark>握</mark> が 沢 価	ク・ タ必る リ要こ 実 情 ンでと	要年 「プイナか 施」 である。 におく におく におく におく におく におく におく におく	あるに、 指たトく f	。よる 施 管営と設 年年	型者し三目 細田 一番	を	東新運運営が確保です。	が必要なされば、大きなのでは、ためでは、大きなのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そのでは、そ	まりの 兄弟 一前	記号の E	と事事の事討総画めた権	当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民	に容要休をしている。	善所 を
(C H E C K) 改革·	課題総合評価	営安で 指適た期 前 成果	で 「 「 「 「 「 「 「 「	施 管理でいた。 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	でも選ばがない。	タリンたという。	グによ、 評 いよるの把 ・ 施	る経 ・	ク・	要年	***	。よる 定運で施 年 成果	世 者 し 三 目 指 し 三 目 指 に で 者 も し 三 目 指 に う る う る う る う る う る う る う る う る う る う	改 施 高る機 (株) 施 (株) (株) (株) <th>東新運運営が確保です。</th> <th>が必要な必要館は</th> <th>まりの 兄弟 一前</th> <th>記号の定義が年度評している会を開いています。</th> <th>と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向</th> <th>当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民</th> <th>に容要休を一号を開きます。</th> <th>善所 を</th>	東新運運営が確保です。	が必要な必要館は	まりの 兄弟 一前	記号の定義が年度評している会を開いています。	と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向	当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民	に容要休を一号を開きます。	善所 を
(C H E C K) 改革·改	課題 総合評価 今	営安で 指適た期 が心あ 管な連問 年の 4 1 1 2 4 3 1 4 1 3 1 4 1 4 1 5 1 6 1 7 2 8 1 9 1 1 1 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 4 1 5 2 6 1 7 2 8 1 9 2 9 2 1 2 1 2 1 2 2 3 2 3 3 4 4 4 4 4 5 4 6 4 7 4 8 4 8 4 9 4 1 4 1 4 1 4	で 「 「 「 「 「 「 「 「	施 管理でいた。 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	てモニュ 策	タリンとと	グによ、 評 いよるの把 ・ 施	る 経 年 めェ <mark>握</mark> が 沢 価	ク・ タ必る リ要こ 実 情 ンでと	要年	お る に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	。よ 定運C施 管営と設 年 成果の	型者し三目 細田 一番	改 施 高る機 (株) 施 (株) (株) (株) <th>東新運運営が確保です。</th> <th>が必要な必要館は</th> <th>まりの 兄弟 一前</th> <th>記号の E</th> <th>と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向</th> <th>当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民</th> <th>に容要休を一号を開きます。</th> <th>善所 を</th>	東新運運営が確保です。	が必要な必要館は	まりの 兄弟 一前	記号の E	と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向	当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民	に容要休を一号を開きます。	善所 を
(C H E C K) 改革·改善	課題総合評価今後の	営安で 指適た期 が心あ 前 成果の方 ・ () () () () () () () () () () () () ()	で 「 「 「 「 「 「 「 「	たの高いが を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	てモニュ 策	タリンたという。	グによ、 評 いよるの把 ・ 施	る経 ・	ク・	要年 「 グすか 施	************************************	。よ 定 運 C施 年 成果の方 施 を 管営と設 年 成果の方	と では できます できます できます かいま できます かいま できます かいま できます かいま できます かいま	改 施 高る機 (株) 施 (株) (株) (株) <th>東新運運営が確保です。</th> <th>が必要な必要館は</th> <th>まりの 兄弟 一前</th> <th>記号の E</th> <th>と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向</th> <th>当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民</th> <th>に容要休を一号を開きます。</th> <th>善所 を</th>	東新運運営が確保です。	が必要な必要館は	まりの 兄弟 一前	記号の E	と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向	当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民	に容要休を一号を開きます。	善所 を
(C H E C K) 改革·改善	課題 総合評価 今後の方	営安で 指適た期 が心あ 定正、の 管な連問 年 成果の方向: ・ () () () () () () () () () () () () ()	で Manual	施 管理でいた。 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	てモニュ 策	タリのたと	グによ、 評 いよるの把 ・ 施	る経 ・	ク・ タ必る 実 「フ ②	要年 「 グすか 施	************************************	。よ 定運 C施 管営と設 年 利理をのを 度	世 者 し 三 目 描 施 現 は 現 に で 者 も に で 者 も に で る も に で る も に る に る る る に る 。 る に る 。 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 。 る 。 る 。 。 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 る 。 。 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	施管 の例。	東新運運営が確保です。	が必要な必要館は	まりの 兄弟 一前	記号の E	と事事の事討総画めた権 が業業見業が合シー、、し向向	当進模し統要価を理定市が、対象の・が合い、関連を関連管民	に容要休を一号を開きます。	善所 を
(C H E C K) 改革・改善の方向	課題総合評価今後の	営安で 指適た期 が心あ 定正、の 管な連問 年 成果の方向: ・ () () () () () () () () () () () () ()	で 「 「 「 「 「 「 「 「	た で	てを設定 策ないとう 等 策	タリのたと されてに、状でられます。 の 3 ④	グめによい。	る経 が 工 が で 況 価 (5) (6) (8)	ク・ タ必る 実 育 フでと 実 育 フ (3)	要年 <u>市</u> グすか 施 <u>市</u> ()))))	お過 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	。よ 定運 C施 管営と設 年 利理をのを 度	型者し三目 細 拡 児 状維 が まいましま また いまま かんき しょう かんき しょう はん いっぱん かんき しょう はん いっぱん かんき しゅう かんしゅう しゅう かんしゅう しゅう かんしゅう かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	施管 の例。	更新運営が市場による。	が必要な必要はは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	15年の 兄弟 一川前 であまっ 一川	記号の E	と事事の事討総一画が発生した。 と事事の事討総一画が発業見業が合うといる。 とも、したいのでは、したいのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	当進模し統要価を基準定市生産の対象のでは、対象の対象の対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に容要休息号・計画・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・一・	善所 を
(C H E C K) 改革・改善の方向性	課題 総合評価 今後の方	営安で 指適た期 が心あ 定正、の 管な連問 年 成果の方向: ・ () () () () () () () () () () () () ()	で Manual	施 管理でいた。 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	て他 営るうと 善策 減	タ営のため では、	グめに、	A経 めェ握 状 が 仮 (5) (6) (8) 現状維	ク・ タ必る 実 育 フ要こ 実 育 フ (3) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	要年 <u>市</u> グすか 施 <u>市</u> ()) 」 広が経	************************************	。よ 定運 C施 管営と設 年 利理をのを 度	世 者 し 三 目 描 施 現 は 現 に で 者 も に で 者 も に で る も に で る も に る に る る る に る 。 る に る 。 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 。 る 。 る 。 。 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 。 る 。 。 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	施管 の例。	東郷では、	が必要な必要的は、	11 に で お き	記号の E	と事事の事討総一画がた権権を与っています。との主義を表現の必許は「個価管性・大阪のの必許」「個価管性・大阪のの必許」「個価管性・大阪のの必許」「個では、大阪のの必許」「個では、大阪ののでは、大阪ののでは、	当進模し統要価を基準定市生産の大力に対し、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し	に容要休息。号は計量に容要休息。日本のでは、日本	善美 ・
(C H E C K) 改革・改善の方向性(課題 総合評価 今後の方向性	営安で 指適た期 前 成果の方向性 れ全。 (根理状絡題) 和理状絡題 (人) (日本) (日本)	で 皆兄開発 古、現、宿 床	たの高いが を	Teb	タ当のためでられます。 ② ③ 縮ト	グめ 評 いよ況す 実 評 小 ク	A経 水 が工機 状 (5) ⑥ (8) 現状の	ク・	要年 <u>市</u> グすか 施 <u>市</u> ()) 広性が経 しま、 <u>済</u> レ	活過 : 早 i	。よ 定運C施 管営と設 年 成果の方向性	と では できます できます できます かいま	な 施管の別な た 寺 小 上	東新	が 策な必要館 は 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	11 前での放送 今 1 前 1 1 前 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	記号の 定義 前 年 評 いる会 後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と事事の事討総 m めた能	当進模し統要価を基準定市生力を対し、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対し	に容要体を回り、受験を関する。 (本) (を) 後間を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (善美 廃 B 7010206 つーサルただ 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性	課題 総合評価 今後の方向性 改	営安で 指適た期 前 成果の方向性 内の公式 お出状絡題 「名 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	で Manual Process	施 で で で で で に で で で で で で で で で で で で で	T を	タ営 さ質でら (図) (Z) (Z	グめ 評いよ況す 実 評 小投 とよ、	る経 が工機 状 ⑤ ⑧ 現 大 で 況 価 大 で <td< th=""><th>ク・</th><th>要年 (n) グすか 施 (n)) 広 中 性数 (を。ら) (性長) (性長) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解</th><th> Table Ta</th><th>。よ 定選C施</th><th>世 者 し に で 者 指 施 ・ に で 者 指 施 ・ に で る も に で も に で も に で も に で も に で も に る に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に る に も に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る る る る に る に る る る に る る に る る に る る る る る る る る る る る る る</th><th> 改 施管 た 寺 小 上 総 </th><th>東</th><th>が一年なが民は、は一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一</th><th>11 にのおおり 一</th><th>記号の 定義 前 年 評 いる会 後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</th><th>と事事の事討総画がた惟し、「一個」、「現の、「大」のでは、「一個」、「「」、「一個」、「「」、「「」、「」、「「」、「」、「」、「」、「「」、「」、「」、「」、「</th><th>当進模し統要価を関する。 「理定市 生」 維 野 持方 市 が 大 の と 、</th><th>に容要休息 号 後期 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</th><th>善実 廃止 B 7010206 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</th></td<>	ク・	要年 (n) グすか 施 (n)) 広 中 性数 (を。ら) (性長) (性長) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解	Table Ta	。よ 定選C施	世 者 し に で 者 指 施 ・ に で 者 指 施 ・ に で る も に で も に で も に で も に で も に で も に る に も に も に も に も に も に も に も に も に も に も に る に も に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る る る る に る に る る る に る る に る る に る る る る る る る る る る る る る	改 施管 た 寺 小 上 総	東	が一年なが民は、は一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一	11 にのおおり 一	記号の 定義 前 年 評 いる会 後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と事事の事討総画がた惟し、「一個」、「現の、「大」のでは、「一個」、「「」、「一個」、「「」、「「」、「」、「「」、「」、「」、「」、「「」、「」、「」、「」、「	当進模し統要価を関する。 「理定市 生」 維 野 持方 市 が 大 の と 、	に容要休息 号 後期 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	善実 廃止 B 7010206 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACT	課題 総合評価 今後の方向性 改革	営安で 指適た期 前 成果の方向性 小の計数 おい心あ 管な連問 年 公画発 大き生 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でで 「日記開発 き」 は、見、音 は を で	た で	て他 当るうと でかいこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 がかこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でいますでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまで	タ営 さ頃でら 度 ② ③ 4 縮 ト計っと M	グめ 評いよ況す 実 評 小投 とい因 かりしくを	る経 めェ握 が、	ク・	要年 (n) グすか 施 (n)) 広 中 性数 (を。ら) (性長) (性長) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解	Table Ta	。よ 定運C施	設定では、 	改 施管 た 寺 小 上 総	東	が一年なが民は、は一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一大の一	11 にのおおり 一	記号の 定義 前 年 評 いる会 後 評 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	と事事の事討総画がた惟し、「一個」、「現の、「大」のでは、「一個」、「「」、「一個」、「「」、「「」、「」、「「」、「」、「」、「」、「「」、「」、「」、「」、「	当進模し統要価を関する。 「理定市 生」 維 野 持方 市 が 大 の と 、	に容要休息 号 後期 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	善美 廃 B 7010206 つーサルただ 大
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	課題 総合評価 今後の方向性 改革・	営安で 指適た期 前 成果の方向性 内の公式 お出状絡題 「名 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	でで 「日記開発 き」 は、見、音 は を で	た で	て他 当るうと でかいこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 がかこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でいますでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまで	タ営 さ頃でら 度 ② ③ 4 縮 ト計っと M	グめ 評いよ況す 実 評 小投 とい因 かりしくを	る経 めェ握 が、	ク・	要年 (n) グすか 施 (n)) 広 中 性数 (を。ら) (性長) (性長) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解	Table Ta	。よ 定運C施 管営と設 年 成果の方向性 の計数要 が 大の手数要 を は 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の一名の手数要 でする。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 にしていている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。	設定した。 また であります かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	改 施 を か か か か か か か か か か か か か か か か か か か	・ 東郷 は は は は は は は は は は は は は は は は は は	が、一、策な必要館は、「一、大学のでは、「は、「一、大学のでは、」では、「は、「大学のでは、「からいは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「ない、「ない、」」」」 「「・「・」」」」 「「・「・」」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」 「「・」」」 「「・」」 「「・」」」 「「・」」 「「・」」」 「「・」」 「「・」」」 「「・」」」 「「・」」 「・」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「「・」」 「・	は、	記号の E	と事事の事計総画がた権に与り、でいきない。特別の必許はの必許はの必許はの必許は、「人」を関する。	当進模し統要価整理定市・サーバ・カウェのでは、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に容要体に言う。当中国工作、日本のでは、日本ので	善実 廃 B 7010206 では P M で
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTIO	課題 総合評価 今後の方向性 改革・改	営安で 指適た期 前 成果の方向性 小の計数 おい心あ 管な連問 年 公画発 大き生 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でで 「日記開発 き」 は、見、音 は を で	た で	て他 当るうと でかいこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 がかこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でいますでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまで	タ営 さ頃でら 度 ② ③ 4 縮 ト計っと M	グめ 評いよ況す 実 評 小投 とい因 かりしくを	る経 めェ握 が、	ク・	要年 (n) グすか 施 (n)) 広 中 性数 (を。ら) (性長) (性長) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解	Table Ta	。よ 定運C施 管営と設 年 成果の方向性 の計数要 が 大の手数要 を は 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の手数要 でする。 大の一名の手数要 でする。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 大の一名の手が、 にしている。 にしていている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。 にしている。	設定である また である また できま である また では また である また では また できま できま できま できま できま また できま また できま また できま また /b>	改 施管的のい (を) 体 会施漏 新た (を) (を) (と)	・ 連確を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	が一年な必民は、一年では、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次の	1. たのの おり は から は か	記号の E	と事事の事計総・面 めた催生 ちばられば しょう はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	当進模し統要価整理定市生」・維野・乳料のよが合料で理論では、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に容要体に言う。当中国工作、日本のでは、日本ので	善実 廃止 B 7010206 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTI	課題 総合評価 今後の方向性 改革・改善	営安で 指適た期 前 成果の方向性 小の計数 おい心あ 管な連問 年 公画発 大き生 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	でで 「日記開発 き」 は、見、音 は を で	た で	て他 当るうと でかいこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 がかこ者 等 策な、とう 第一次 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でかけて、 でいますでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまでは、 でいまで	タ営 さ頃でら 度 ② ③ 4 縮 ト計っと M	グめ 評いよ況す 実 評 小投 とい因 かりしくを	る経 めェ握 が、	ク・	要年 (n) グすか 施 (n)) 広 中 性数 (を。ら) (性長) (性長) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解	Table Ta	。よ 定運C施 管営と設 管営と設 年 成果の方向性 の計数要成 の 大の計数要成 の 大の計数要成 の 大の手数要成 の の の に に に に に に に に に に に に に	設定である また である また できま である また では また である また では また できま できま できま できま できま また できま また できま また できま また /b>	改 施管的のい (を) 体 会施漏 新た (を) (を) (と)	・ 連確を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	が一年な必民は、一年では、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次の	1. たのの おり は から は か	記号の E	と事事の事計総・面 めた催生 ちばられば しょう はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	当進模し統要価整理定市生」・維野・乳料のよが合料で理論では、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に容要体に言う。当中国に対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	善実 廃 B 7010206 では P M で
(C H E C K) 改革・改善の方向性(ACTION)	課題 総合評価 今後の方向性 改革・改善策	営安で 指適た期 前 成果の方向性 小の計数 おい心あ 管な連問 年 公画発 大き生 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	で 「古兄関節	た で	て施	タ世 さ頃でら 版 ② ③ 編 ト 計っとた でに状ます ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	グめ 評いよ況す 実 評	る経 めェ握 が、	ク・	要年 (n) グすか 施 (n)) 広 中 性数 (を。ら) (性長) (性長) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解) (対解	Table Ta	。よ 定運C施 管営と設 管営と設 年 成果の方向性 の計数要成の 大の画発が30見 に に に に に に に に に に に に に	設定である また である また できま である また では また である また では また できま できま できま できま できま また できま また できま また できま また /b>	改 施管かのい (を) (を) (を) (と) <	・ 連確を は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	が一年な必民は、一年では、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次のは、一次の	1. たのの おり は から は か	記号の E	と事事の事計総・面 めた催生 ちばられば しょう はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいまま はいま	当進模し統要価整理定市生」・維野・乳料のよが合料で理論では、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	に容要体に言う。当中国に対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対	善実 廃 B 7010206 では P M で

事	務事 ӭ	業名	資料収集事	* (美術飢	官)									事業期間	平成	22	~		年度	整理番号	07010204
担	当部	署	生涯学習部			生	涯学	習課			文化	芸術係		1	作成担当	者名	北:	澤 ゆ	き	子	連絡先	632
計	おり	ける	プランに 位置づけ 事 業 名	有	政策	策体	系 -	施細施事務		06 07	第3章 第6章 美術館 資料4	市 生 官の充	涯を通 実		♪く学び 売けるこ∂	とので	きる学	学習機会	会の方	実と	場の提供	01 中央 10
RI	ヹ	昇	争	羊丝	を輸入	管理に	+ #	守管	押去 事	度の道	* 7 1-	F 1164	i) tolk talk t	サル 創港	が行って		コード		款		項 05 目	01 事業 12 市の芸術的資
画			業の概要 っかりゃすく)	産で	きあり	、市民	憲章	iの「	文化の	香り高	いま	ち」を	目指	すために	欠かせな	いもの	つであ	る 。				
			と 背 景うして)	産て	きあり										が行って 欠かせな				有し [·]	ている	作品は、	市の芸術的資
	目	対	受益者	市月指定		者・事	修術品	寄附	等検討	委員会	- 教	育委員	会									
P		象	対象(直接働きかける)											l. 4 1-	+0+	7 N B	B 1 - 44-4	ur 4/L -de	+ cb (18-1- 7	場とする	
	的	(どん	意図な状態にしたいか)																を美	₹ 9 €) 4 3/⊂9 ⊚	•
L				美術	「館と	しての	機能	を果	たすた	:めの)	資料の	収集及	なび保り	管、資料	の修理修	復等を	行う	•				
A			・ 方 法 やって)																			
			行政活動の組	結果:	からこ	つくり:	だす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	1算式	・目標	値設	定のネ	きえ方なと	最終目標値
N	評	動	美術品寄附	等検	討委員	会の	開催			開催费	ţ			<u> </u>	年間							1
	価指標	指標																				
<u> </u>	の作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	値設	定のネ	きえ方なと	最終目標値
	成	果指	美術館の年	間入:	館者裝	Ż _				美術飢	の入	館者数	ι	人	年間					_		15, 000
		標																				

		頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	luli.		(a)	円	495, 180	309, 828	384, 295	424, 355	1, 897, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
		地方	債	円					
	内	その他特定財	源	円			3, 616	3, 216	3, 000
	訳	一 般 財	源	円	495, 180	309, 828	380, 679	421, 139	1, 894, 000
施	職	正規職	員	人	0. 10	0. 10	0. 11	0. 11	0.11
	員	嘱 託 職	員	人					
		臨 時 職	員	人	0. 01	0. 01			
状	数	合	計	人	0.11	0.11	0. 11	0. 11	0.11
11	Ż		数						
			(b)						
	Щ		(b)	円	-	-	1	_	-
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	9. 00	6. 00	7. 00	8. 00	49.00
			目標		1	1	1	1	1
		開催数	実績		1	1	1	1	1
$\widehat{}$	活		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	指	_	実績						
D	標		達成率	%	_	_	-	_	_
	示		目標	_					
		_	実績						
			達成率	%	_	_	-	_	-
0			目標	人	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000	15, 000
	成	美術館の入館者数	実績		17, 716	17, 347	12, 781	12, 724	12, 500
	果		達成率	%	118. 11	115. 65	85 . 21	84. 83	83. 33
\cup	指		目標	_					
	標	_	実績						
			達成率	%	_	_	_	_	_
	備	市民プランの細施策にお	いて植	断的な	『事務事業である。対	象細施策の政策体系	番号 03060701 030	60702	
	лн -±-								

	^{分争 2} 当 部	まる 資料	火果· 学習		天啊贴		王学習課		1-0	化芸	新係			_	● 果期间 成担当	_		_	ıφ	き 子		理番亏 連絡先		632
75		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	TH			Ξ#	1丁目杯		^	CIUZ				111	- 灰 1 三 三	1111	46	/#	iy					002
	期				標						実	績	i							課	題			
四	第 1 期	・指定管: ・美術品: ・美術品: め。	寄贈者	の紺絲	受褒章.	上申。	うう。 ートのまと		適宜、指! 美術品寄											課を踏 現の見				等検討
半期	第 2 期	·指定管: ·美術品					ゔう。		7月28日# 3月1日美											:果を踏: 規の見				等検討
州	第 3 期	・指定管: ・必要に					〒う。 :開催する	- /	適宜、指 小学校で 会での記	の対話	まによる	芸術	鑑賞	実施	医のたと	か、校				課を踏 対規の見			寄附	等検討
٤	第 4 期	・指定管: ・必要に					〒う。 ○開催する	•	適宜、指別 美術品寄 達と内規	附等	食討委	会?	・開催	催し、		F品の	-次回	委員:	会での	の内規り	見直し	楽の提	示。	
Ø										事	中	副	F	価										
0,7	当	年度開始	後、糸	16ヶ月	月が経	過し、	新たに生	Εじた	問題点や	環境の	の変化	今	成	拡	. 3	乞			2		5		7	
管												· 後	果の	瑪	! 状維排	寺			3		6	V	9	
		☆ r /	# A		l 1227 -	₹	少古石	/7 b #	- 15 - + 1	'-/- \		の	方向	縮		<u> </u> \			4		8		10	
理	矢峭	新年 虎夫作品					求事項 術館費へ			束)		方	性	休	· 廃 」	E (1)						<u> </u>	
									,			向性	_	/	/		皆 コ	減 ス	縮ト	小 投 <i>7</i>		犬維持 D 方	拡 向	大 性
	i	評価年度		<u> 1</u>	4年度																			
	礼	見点		妥	当	,	生		有	効	性				効	率	1	生		総	合	評価	判	定
評		面の観点	1	2	3	4	判定	1	2	3	4	判定		1	2	3	4	判別	Ē			Α		
	チ	ェック	DAL Ade.	A = 1 ==			4		2Me des All		* =	4		74-			= + 46	4		ΙΔ.	ᇍ		** * * *	# W 7 =
価(課	た。今後要がある	は市 。	の方針	を明ら	かにし	D内、作 ン、委員、 Dいて検	指定	管理者と	:協力	平、安. ・連携	貝会(しな)	がら	務、美術	館の充	て <u>恵</u> 実を	見父 禊 図って	を行っ	<u>&</u>	記 号 B: の C:	と事業の事	適当 の進め方 規しが の統合、	に改 容・ 要	生めるこ 善が必要 実施主体 廃止の検
С	題																		ŀ			評価判定		A
														ψm		44-		Adr		前年度評			_	1070201
Н	総	美術館の	答理	士 指	完善相		Eの道 ス I	- F N	継袖 **** ** *****************************	742会は	告が行	_ ¥	術術	細		施		策制度	മൂ≝	評 <mark>(人によ</mark>		面 Martin	後上創業	が行っ
E	合	20113200	美術	館を充	実させ	るたと	Eの導入I かの施策等 いく必要が	等につ	いては、	指定	管理者	とて	いる	5。∌	も	を充実	させる	らため	の施	策等に要があ	つい	ては、	定售	理者と
С	評																							
K	価							11- 11	, ,- '					<u></u> .	m /4- /3				, .	<i>111 -</i>		ta 1		
							の実			実		Ĥ	刂年						う分	後のプ			=	
改革	今	i	細	施	į	策	評	-	価	前				細		施		策		評	1	西	後	
•	後	成 果	拡	充			2	(5)	7			成 果	拉	3 3	Ť					ļ		ļ	
改善	の	の	現状網	維持			3	Œ	シレ	9			末 の	玗	状維持	寺						レ		
	方	方 向	縮	小			4	(8	3)	10			方 向	絲	引	١,								
の方向	向	1.4	休 廃	止	1								性	付	· 廃 」	Ł	••••••							
性	性	_	_	_	皆	減 コス			現状維持 の 方									減 ス	縮ト	小投		大維持) 方	拡向	大性
AC	改革	・美術品・登録博			委員会	のあり	/方の見]		//	. ,	-							あり		見直し		,,,	-	
) T I O Z)	改善														. —			- × -						
9.4	策	価左口 「	1 .	Tr Ethan	在FP1	0 🖻	見 幼 =	₩	害に	李				٠ ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	医标题:						**	*		略
取礼	冷評	価年月日	1 3	一八八29	年5月1	3 二	最終言	i于 1価	貝 壮	白				生》	厓学習	床投					藤	森		隆

事務	务事業	集名	芸術鑑賞講	座事	業										事業期間	平成	12	~		年度	整理番号	07010202
担:	当部	署	生涯学習部			4	生涯学	響課			文化芸	術係			作成担当	者名	髙	橋	慶	樹	連絡先	632
								政	策	03	第3章	生	涯を通	じて楽	しく学び	続ける.	、元気	で心	豊かな	市民	を育む	
	市	民	プランに	_	π - Δ	± /+		施	策	02	第2節	児	童・思	春期:	みんなと	学び、	豊かな	人生	を送る	ための	の基本を身	たつける
	おり	ける	位置づけ	有	政分	木 14	・ボ	細が	1 策	03	子ども	たち	が様々	な体験を	通して成	長し、	社会(カー員	として	自立	できるよう	応援します
								事務	事業	03	体験学	習推	進事業									
計	予	算	事 業 名													会計:					頁 05 目	01 事業 05
				優才	た芸	術の	鑑賞	を通し	て、知	職や	枚養を2	とい、	情操皇	とかな市	民(特に	児童・	青少年) を i	育成す	る。		
			業の概要																			
画	(簡	潔 に:	りかりやすく)																			
	現 状 と 背 暑 市内の小中学校において、演劇鑑賞と音楽鑑賞を一年ごと交互に実施する。																					
	現 状 と 背 景 (ど う し て)																					
	(現																				
			受 益 者	市内	切の小	中学	校の.	見童・生	E徒													
	目	対	(誰のために)																			
		象	対 象	市内	内の小	中学	校の:	全児童	・生徒													
Р		*	(直接働きかける)																			
				優才	た芸	術の	鑑賞	を通し	て、文	化レイ	ベルの「	り上を	目指す	ナととも	に、生き	る勇気	や希	望、心	豊かね	八間	性を身に	つける。
	的	(どん	意図 な状態にしたいか)																			
				A 3	= /- 0	<u></u>	11-		<i>h</i> = d= 1-	Arabe		N ±± 4	C 4D 31/ 4/	4 5 4 4 4		*#⇔	<u> </u>					
L				公法	制作品 自仕例	たつ 年5	日下	ま、削 旬~6	平度に 月上旬	・谷小し 頃。	₽字校0	ノ云州	7担当第	メ調の 協	護により	選正さ	れる。					
	手	卧	方法	鑑賞	料と	して	児童·	一人当	たりっ	3 O F	円、生物	ŧーノ	当たり	900円	(平成28	年度実	責) き	徴収	してい	る。		
			やって)																			
Α																						
			行政活動の	結果	からつ	۱ > د	りだす	ものは	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式	・目標	植設:	定の考	きえ方など	最終目標値
		活	優良芸術鑑:	業 の	内容(かから	E			打合士	と会数				打合せ	事施回	Str					2
N	評	動	EACHINE.			- ,									,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							_
	価	指標																				
	指標	175																				
J	の																					
	作	成	成果	•	効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	算式	・目標	植設:	定の考	きえ方など	最終目標値
	成	果	芸術鑑賞者	率の	増加					芸術館	監賞者 理	<u> </u>		%								100
		指揮													+							
		標																				
			•											•	•							

	J	頁	目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	P I		(a)	円	4, 367, 688	4, 295, 478	4, 079, 899	4, 286, 799	3, 974, 000
	財	国庫支出	金	円					
実	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
				円	3, 041, 250	3, 130, 300	3, 036, 800	3, 193, 460	3, 018, 000
	訳	一 般 財	源	円	1, 326, 438	1, 165, 178	1, 043, 099	1, 093, 339	956, 000
施	職	正規職	員	人	0. 15	0. 15	0. 15	0. 15	0. 15
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					
状		合	計	人	0. 15	0. 15	0. 15	0. 15	0. 15
-1/4	7		数						
			(b)						
			(b)	円	_	_	_	_	_
況		受益者負担	額	円					
	Ī	市民一人当たりのコス		円	78. 00	77. 00	73. 00	77. 00	92. 00
		1 A . I A #4	目標		2	2	2	2	2
		打合せ会数	実績		2	2	2	2	2
	活		達成率	%	100.00	100.00	100. 00	100.00	100.00
	動		目標	_					
	動指	_	実績達成率	%		_			_
D	標			%	_	_	_	_	_
		_	目標 実績	_					
		_	達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		100	100	100	100	100
U	成	芸術鑑賞者率	実績	%	98	98	98	97	98
	果	公 阿娅莫有牛	達成率	%	98. 00	98. 00	98, 00	97. 00	98, 00
	指		目標	/0	00.00	00.00	55.00	07.00	00.00
)	標	_	実績	_					
	ीर्गर		達成率	%	_	_	_	_	_
	1-44-								
	備								
	考								

事務	事	業名				業										事	業期	間平	成	12	~	年	度	整理番号	070102	202
担	当 剖	『署 4	生涯学	智部			生涯	手学習	課		3	化芸	術係			作	成担	当者名	7	5 A	青 人	夏 樹		連絡先	632	
	期				E	標							実	三 約	ŧ								果:	題		
四	第 1 期	校担	当者·	公演	芸術質者との	打ち台	当校長 わせ: 程で4	会を開	催す	日程 小学 中学	で公演 校 西 校 ゆ	を実施 遊記(M きと鬼/	わせ会る i。 削団影ぶ んべ(劇	を開催 去師) 団た	と しん		日~2	5日の	各学	校の	状況! 公演な	こ合わせ	せた	 打ち合わせ よう配慮す	!を行い、 る。	ス
	第 2 期	8月末 らう。	まで(に各力	卜中学	校の貿	監賞料	を納入	しても	小学	校 2	校の鑑 ,725名 ,339名		納力	•				学校での納入人数の把握が遅れる傾向に 納付期限が守られていない。							J.
期ご	第 3 期		上旬に				会を開	催し、	来年度	鑑賞	の演目 学校	を決定	。 トライト				成29年度音楽 鑑賞料の個人負担額を上げずに、よりよい 選定できるよう情報収集を行う。							りよい演	目を	
٤	第 4 期	4 中歌艦賞教室担当校長と協議し、平成29年度 各小中学校の公演日を決定する。 小学校 5月15日から5月19日の 中学校 5月15日から5月19日の																		決定 じた。		学校の	都合	合により何	回かの変	更
Ø												事	中	i	Ŧ	価										
	当	年度開	始後	、約	6ヶ月	月が経	過し、	新た	に生じ	た問題	題点や	5環境(の変化	今	月			充			2		(5		7	-
														後	身		状維	持			3		6	3)	9	
官	管														ナ.	,		小			4		8		10	
		±	5. 左 🛱	± M =	2 t/c =J	. idoi	文	1.北市	項(改	· 보 .	ル羊	<u>/-</u> \		の	庐]					•		Q	ν 	UV.	
理		木	リサゟ	シリチ	その心で	画•	了异多	水争	垻 (口	(中・	以 告	來/		方	性	E 1杯	廃	止	1)							
														向					皆	減	縮	小	Į	見状維持	拡	大
														性	_	/			⊐	ス	۲	投	入	の方	向 性	
			- etc		NI.	/ /m mbs		1						-												
		評価生				年度		사		+		#L	ıl-tıl-				÷r	ರೂ		h4L		6//	^	=a; /ac	Nat E	_
	礼	見 点 五の観		1 1	妥 2	当	4	性制定	5	有	2	<u>勃</u>	性	: 判定	,	1 [効 2	· 率	4	性业	定	総	合	評価	判	Ē
評				-		3	4		E	-		3	4	+リル 4	-	'		3	4	_	」 4			A		
	チェック 4 4 質の高い芸術に触れる機会を提供していく必要がある。																	1			•	A	: 計	画どおり事	業を進め	るこ
		演目選定のための情報収集が必要である。																				記号日		が適当 業の進め方	にみ美が	心亜
価	課																					o c	: 事	業規模・内	容・実施	
																						定 義 D		見直しが必 業の統合、		の検
	題																					找	討:	が必要		-
С																								合評価判別 	_	
н			細		施		策		評	- 1	西	前	it			細		施		策		評	年度評価シート整理番		等 0/01020 後	
	総	市の						憂れた						すき	쇧枝		良芸		につ	7.14	t, i		もを	担う若者(芸術
E	_	るこ	とはfl	6操機	かな	人間性	を育る	い意味	で重要	なこ	とでは	あり、	児童・	曹书	二触	れる様	会を	市が排	供す	るこ	とは、	情操制	事かれ	な人間性で 観点からに	を育む意!	味で
С	合						がある。		C 80 %)。貝(' '	一円曳イレ	3	1 3	質の高	い芸	術に角	出れる	機会	を提供	単土門の	いく	成点からん 必要がある	5。	C a
	評																									
K																										
)	価	前	年 度	₹ 747	苗	• ≥b	盖 領	`	実施	1 +	.	実	施済	١,	*	年 度 糸	甲梅:	第 証 4	픎 /-	おけ	ス 🗠	後の	+ 1	向 性		_
ah-		נים						. 07						+	ינינ		ш лв.		<u>ш</u> 10		· W		/ 1		14	
改革	今		細		施		策		評	-	西	İ				細		施		策	:	評		価	後	
•	後	成果	扐		充			2		5		7			成果	拉		充								
改善	の	の	玛	1状維	持			3		6	レ	9)		木の	瑪	状維	持						レ		
曹の	方	方向	紑	首	小			4		8		10	1		方向	縮	ì	小								
方		向 性	仂		<u>т</u>	1									向性	体	廃	ıĿ								
向₩	向			. ,,,,	_	皆	減	縮	小	押、	犬維 拝	事 打	<u> </u>	-	_		.,,,,	_	皆	減	縮	小	Į		拡	大
性(性		_			В	コス		小 投					`				l		ルル コース				の 方		^
A	改		琴線に				は、す	ナぐに	結果が	見え	るもの	りでは	ないが	, 3										術担当教理		り鑑
C	革												いきた れるよ		演	目の遺	定を	した。								
T)。 う、	さらに	三学校	の二	一ズを	・把握し	バ し、資	料を整	えた	mi~』	買ってい	りいめみ													
0	改																									
N	善																									
0	策																									
最終	冬評	価年.	月日	Ψ.	成29:	年5月1	9日	最 絲	冬評	価 責	任	者				生活	王学 晋	課長					亷	· 森	隆	
				•				J															•	. """	-	

事務	务事等	Ě名	団体負担金	事務										1	事業期間	平成		~	年度	整理番号	07010101
担:	当 部	署	教育委員会	生	涯学習	部 生	涯学	習課			生涯学	2習保		1	作成担当	者名	両	角	悠	連絡先	633
計画	市おり予事	民する	プランに位置づけ事業名	有諏訪	政步	策 体 社会	系	政施細務	事業	06 14 01	第3章第6節芸術・芸術・	E 生 文化 文化	涯を通 涯を通 の振男 活動振	じて楽し	人 (学び) 使けるこ (伝承)	続ける とので 会計:	きる学 コード	で心豊智機会		を育む 場の提供 項 05 目	02 事業 19 条術事業や飯
			と背景うして)											村協議会 いるため		社会保	険協会	≹の構用	戊員である	ため。また	:、茅野市教
(P	目的	対 象	受益者 (誰のために) 対象 (直接働きかける) 意図 な状態にしたいか)	同」	E				絡協議 るため						、共催事	業の文	化芸術	事業	・諏訪美術	ī Ŗ	
L			・ 方 法 やって)	共和	崔事業	を実施	もする	.													
			行政活動の	結果	からこ	つくり	だす	ものに	は何?	指	標	名	称	単 位	算出方	法・計	算式•	目標	直設定の着	考え方など	最終目標値
N	価	活動指	共催事業を増やす							共催申	請数			数	共催申	請数					2
)	指標の作	標	成果		効	果	は	何	?	指	標	名	称	単位	算出方	法・計	· 算式 •	・目標ℓ	直設定の着	考え方など	最終目標値
	成	成果指標	共催事業数を増やす								+数			%	% 今年度共催数/前年度共催数						
														1	<u> </u>						

	IJ		目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度(予算 又は決算額)	平成29年度 事業計画(予算)
	甲	214 20 3	(a)	円	136, 041	158, 620	157, 350	238, 315	255, 000
	財	国庫支出	金	円					
	源	県 支 出	金	円					
	内	地方	債	円					
	訳	その他特定財	源	円	100.011	450.000	455 050		
44-		一般財	源	·田	136, 041	158, 620	157, 350	238, 315	255, 000
施	職	正規職	員	<u> </u>	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	員	嘱 託 職	員	人					
	数	臨 時 職	員	人					• • • •
状		合	計	人	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
	Ż		数						
-	夏		(b)						
	単		(b)	円	_	_	_	_	_
況	Š		額	円	2.00	2.00	2.00	4.00	6.00
-		5民一人当たりのコス		円	2.00	3.00	3.00	4.00	6. 00
		共催申請数	目標 実績	数				1	<u> </u>
\sim		大准中請奴	達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00
	活		目標	70	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	動指	_	実績	_					
	指		達成率	%	_	_	_	_	_
D	標		目標	/0					
		_	実績	_					
			達成率	%	_	_	_	_	_
0			目標		100	100	100	100	100
	成	事業件数	実績	%	100	100	100	100	100
	果		達成率	%	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00	100, 00
	果指		目標						
	標	_	実績	_					
	17/1		達成率	%	_	_	_	_	_
	備								
	考								

				担金¶ 員会	•	王学習	部生涯	重学習	課		生	涯学習	冒係					間 平		両	~ 角	· 生	F度	整理番号 連絡先	0701010 633)1	
	期				E	標							実	緑	Į							į	課	題			
卫	第 1 期	学習ī	有町村	協議会	€ 、∮	も催事	各協議: 業の文 の交付	化芸	析事		事業を	実施	する。							とが難	しく、こ	た、共	催共)、全て共作 :催申請の 課題があ	崖を 受諾 す タイミング か ります。	る が	
	2	学習i	有町村	協議会	€ 、∌	も催事	格協議: 業の文 の交付	化芸	析事		事業を	実施	する。							上が難	しく、こ	た、共	催共		崖を受諾す タイミング <i>が</i> ります。		
	第 3 期	学習ī	有町村	協議会	€ 、∮	も催事	格協議: 業の文 の交付	化芸	析事		事業を	実施で	する。						こと	とが難	しく、こ	また、共	催共)、全て共作 :催申請の 課題があ	崖を受諾す タイミング / ります。	るが	
٤	第 諏訪地区社会教育委員連絡協議会、全国生涯 4 学習市町村協議会、共催事業の文化芸術事 業・諏訪美術展等に負担金の交付を行なう 事 中 評																安易な共催依頼などもあり、全て共催を受ことが難しく、また、共催共催申請のタイミ 遅く良参加できないなどの課題があります							タイミング			
o o												-	中	î	F	価											
	当年	年度開	始後、	、約6	ケ月	が経	過し、	新た	に生じ	た問題	点や	環境の	変化	今	成田			充			2		Œ	5)	Ø		
管														後	果の	· ,	状維	持			3		Œ) V	9		
														の	方向		縮小				4			3)	10		
理		亲	f年度	の実	拖計	画・	予算要	求事	項(改	する	改善策	(表)		方	性		廃	止	1								
-														向					皆	洞	丸 縮	i /j	۱ غ	見状維持	拡 :	大	
														性	-					- 7	λ ト	· 投	入	の方	向 性		
	評価年度 当年度																										
	_	見点		妥		当		<u> </u>		有		効	性				効	率	<u> </u>	性		緃	合	評 価	判定	,	
-		面の観			2	3	4	判別	Ē	1 2		3		判定	:	1	2	3			判定	MACA			13 7		
評	チ	ェック	7					4						4							4			Α			
		あり.	全て	##							、共催負担金として支出しています。安易なお - 、共催申請のタイミングが遅く良参加できた。								ないなどの課題 記 とが適当						事業を進めるこ		
価	課	があ	ります	•	_	ин У	<i></i>	J AL C	• • • •	,,_,,	共催中間のダイミングが遅く反参加できな!										PL KG				で改善が必 1容・実施主		
																						定	の	見直しが必			
	題																					72,	討	が必要		/12	
С																								合評価判別	E A F号 070102	211	
н			細		施		策		評	Ø	5	前				細		施		策		評		後			
E	総	文化	芸術振	興の	こめ	に実施	色される	る事業	に対し	ノて共作 :め、i	負担	金とし	こて支	出地	域	の文化	芸術	の振り	異の7	ため に	二、共·	催に関	する	相談に応	じ適切な助	言	
	合			めます		M) 4. 3	KI& 37	XI~12	1_61.	_ G) \ E	× 3 Ŧ	***	¥ 0 • 73 •	1111	.11	5 (0	. 4. 4	•									
С	評																										
ĸ	пΤ																										
)	価	盐	年 庄	改		. zh	羊 与	± Λ	宇 佐	; 状 :	- T	実が	も 済	-	π 4	= 庄 纟	四七字	生 証	/ ////////////////////////////////////	- to 1	+ 2 .	今後の	\ +	白州		_	
改		ניפ	十 ^反	. 4.	施		策	(0)	評	, 10 <i>1</i>		前		<u> </u>	I] -	+ /文 ·· 細		施	јш 1.	策		評	, ,,	価	後	=	
革	今		拡				來	2	at .	<u>u</u> (5)	Ц	7				拉		充		來		ar	i	Щ	120		
改	後	成果								<u> </u>					成果												
善	の	の方		!状維持				3		6	レ	9			の 方		状維							V			
の方	方	向	縮					4		8		10			向	絲		小									
向	向	性	休	. 廃 山	E _	1	- h	L			5 AP 1 1				性		廃	止	Li-					TO 11 6" 11	T.L		
性(性					皆	減 コ ス	縮	小 投	現り 入 の									皆	減 コ			- 1	現状維持 の 方		大	
Ā	改	共催	助成金	2 2 1	(事	業を属	<u>- /</u> / 接し							H	状	を維持	しな	がら、	事					していき			
C	革																										
I	· 改																										
0 Z	改善																										
<u>.</u>	策																										
最終	· 評	価年	月日	平月	29 4	年5月	19日	最 絲	冬評	価 責	任者					生	王学 晋	課長						· 森	隆	_	
4X 1/3	нΙ	,per T /	, п	1 //9		. 4/1		42 T	¬ н1	,四	<u> </u>	1					- 7" =	- W- LX						- Mi	P2E.		